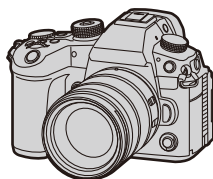


取扱説明書 詳細ガイド デジタルカメラ

品番 DC-GH7

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(18～24ページ)を必ずお読みください。
- パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします。詳しくは、897ページをご覧ください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

DVQP3108ZA
F0624KN0

取扱説明書について

本書は、カメラのすべての機能や操作方法を詳しく説明している「取扱説明書 詳細ガイド」です。

❖ 本書で使用する記号について

黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。

例:

写真・動画

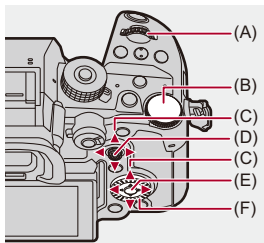


撮影モード



操作記号

本書では、カメラの操作部を以下の記号を使って説明しています。



(A)  :

前ダイヤル

(B)  :

後ダイヤル

(C)  :

カーソルボタンの上下左右

または

ジョイスティックの上下左右

(D)  :

ジョイスティックの中央押し




(E)  :

[MENU/SET] ボタン

(F)  :


コントロールダイヤル


- その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。
- 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。
例) 写真メニュー(画質)の[写真画質]を[STD.]に設定する


 → [] → [] → [写真画質] → [STD.]を選ぶ


お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。

 : 機能を使う前にご確認くださいこと

 : 上手に使うためのヒントや撮影のポイント

 : 仕様に関するお知らせや補足事項

 : 関連する機能や情報

- 本書の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 本書では交換レンズ(H-ES12060)を用いて説明しています。

目次



「安全上のご注意」を必ずお読みください(18～24ページ)

取扱説明書について	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	18
はじめに	25
ご使用の前に.....	26
同梱品.....	29
使用できるレンズ.....	33
使用できるメモリーカード.....	34
各部の名前.....	37
カメラ.....	37
同梱レンズ.....	45
ファインダー／モニターの表示.....	46
準備	48
ショルダーストラップの取り付け.....	49
バッテリーの充電.....	51
チャージャーを使った充電.....	53
バッテリーの挿入.....	55
カメラにバッテリーを入れて充電する.....	57
電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電).....	60
充電／給電についてのお知らせ.....	61
エコモード.....	63
カード(別売)の挿入.....	65

レンズの取り付け.....	68
レンズフードの取り付け.....	71
モニターの向きと角度の調整.....	73
時計の設定（初めて電源を入れるとき）.....	74

基本操作 **77**

カメラの構え方.....	78
撮影モードの選択.....	80
カメラの設定操作.....	81
モニター／ファインダーの表示設定.....	87
ファインダーの設定.....	87
モニターとファインダーの切り換え.....	88
情報表示の切り換え.....	91
クイックメニュー.....	94
コントロールパネル.....	96
メニューの操作方法.....	99
設定リセット.....	104
文字の入力.....	105
インテリジェントオートモード.....	106
タッチ撮影.....	113
タッチAF／タッチシャッター.....	113
タッチAE.....	115

写真の撮影 **117**

写真を撮る.....	118
画像横縦比.....	120
画像サイズ.....	121
写真画質.....	123

動画の撮影 **125**

動画を撮る	126
システム周波数	134
記録ファイル方式	136
動画画質	137
RAW 動画記録	154
プロキシ記録	156
動画撮影範囲	161

フォーカス／ズーム **163**

フォーカスモードの選択	164
AFを使う	166
AFポイントスコープ	170
AFカスタム設定(写真)	172
フォーカスリミッター	174
AF補助光	176
フォーカス枠の移動速度	177
AF微調整	178
AFモードの選択	181
自動認識	184
追尾	188
フルエリア	189
ゾーン(横・縦)／ゾーン	191
1点+補助／1点	193
ピンポイント	195
AFエリアの操作	197
AFエリアの移動	197
AFエリアのサイズ変更	200
AFエリアのリセット	201

タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE])	202
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作	203
縦/横位置フォーカス切換	205
MFで撮る	206
ピーキング	211
ズームを使って撮る	212
クロップズーム(写真)	214
クロップズーム(動画)	217
パワーズームレンズ	220

ドライブ／シャッター／手ブレ補正 221

ドライブモードの選択	222
連写する	224
ハイレゾモード	232
インターバル撮影	237
コマ撮りアニメ撮影	243
インターバル／コマ撮りアニメの動画	246
セルフタイマー撮影	248
ブラケット撮影	251
ライブビューコンポジット撮影	258
サイレントモード	261
シャッター方式	263
長秒ノイズ除去	266
シンクロスキャン(写真)	267
下限シャッター速度	269
シャッターディレイ	270
手ブレ補正	271
手ブレ補正の設定	273

測光／露出／ISO感度 278

測光モード	279
プログラムAEモード.....	281
プログラムシフト	283
絞り優先AEモード.....	285
シャッター優先AEモード.....	288
マニュアル露出モード.....	291
設定可能なシャッタースピード(秒)	293
B(バルブ)	294
プレビューモード.....	295
露出補正	297
iダイナミックレンジ	300
ピントや露出の固定(AF／AEロック)	301
ISO感度.....	303
ISO感度設定(写真)	307

ホワイトバランス／画質 308

ホワイトバランス(WB).....	309
ホワイトバランスの調整.....	315
フォトスタイル	317
フィルター設定	330
フィルターなし同時記録	334
リアルタイムLUT	335
LUTライブラリ	336
LUTファイルのベースフォトスタイル.....	340
レンズ補正.....	342
周辺光量補正	342
回折補正	343

フラッシュ **344**

外部フラッシュ(別売)を使う.....	345
ホットシューカバーの取り外し.....	346
フラッシュの設定.....	349
フラッシュモード.....	350
発光モード、マニュアル発光量設定.....	352
フラッシュ光量調整.....	354
フラッシュシンクロ.....	355
露出補正連動.....	356
ワイヤレスフラッシュ撮影.....	357

動画の設定 **363**

動画専用撮影モード(クリエイティブ動画).....	364
動画撮影に適した表示.....	365
露出を設定して動画を撮る.....	366
動画と写真の撮影設定を分ける.....	369
AFを使う(動画).....	370
AF連続動作.....	370
AFカスタム設定(動画).....	372
動画ライブビュー拡大表示.....	373
動画の明るさ、色合い.....	375
輝度レベル設定.....	375
マスターペダスタル.....	377
白飛びを抑えて撮影する(二一).....	378
ISO感度設定(動画).....	380
音声の設定.....	381
録音レベル表示.....	382
音声入力ミュート.....	382
録音ゲイン切換.....	383
録音レベル設定.....	384

録音音質	385
録音レベルリミッター	387
風音キャンセラー	387
レンズ動作音低減	388
オーディオ情報表示	388
外部マイク(別売)	389
收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)	391
風雑音の低減	391
XLRマイクロホンアダプター(別売)	392
4chオーディオ記録	395
ヘッドホン	396
音声モニタチャンネル	397
タイムコード	399
タイムコードを設定する	399
外部機器とタイムコードを同期する	402
タイムコード同期の準備	403
本機のタイムコードに外部機器を同期させる(TC OUT)	405
外部機器のタイムコードに本機を同期させる(TC IN)	407
主なアシスト機能	410
フリッカー軽減(動画)	411
SS/ゲイン操作	412
WFM/ベクトルスコープ表示	414
スポット輝度メーター	418
ゼブラパターン表示	419
フレーム表示	421
カラーバー/テストトーン	423

特殊な動画撮影

425

バリエブルフレームレート	426
ハイレームレート動画	431

フォーカストランジション	434
ライブクロップ	438
Log撮影する	443
Logビューアシスト	449
HLG動画	450
HLGビューアシスト	452
アナモフィック撮影	453
アナモフィック デスクイーズ表示	455
シンクロスキャン(動画)	457
ループ記録(動画)	459
動画分割記録	461
特殊な動画を撮影できる動画画質一覧	462

HDMI出力(動画) 473

HDMI機器と接続する	474
HDMI出力の画質	475
HDMI出力する映像	475
ダウンコンバート設定	478
HDMI出力の設定	483
カメラの情報表示をHDMI出力する	483
外部レコーダーに制御情報を出力する	484
音声をHDMI出力する	484
HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示	485
4K/120p(4K/100p)でHDMI出力する	486
4K/120p(4K/100p)省電力ライブビュー	487
動画RAWデータ出力	488
動画RAWデータをHDMI出力する	490
動画RAWデータ出力時のお知らせ	494

外付けSSD(市販)を使う **495**

使用できる外付けSSD	496
外付けSSDを接続する	497
外付けSSDのフォーマット	500
外付けSSDについてのお知らせ	501

画像の再生／編集 **502**

写真の再生	503
動画の再生	505
動画のリピート再生	509
写真の切り出し	511
動画分割	512
表示方法の切り換え	514
拡大表示	514
サムネイル表示	516
カレンダー表示	518
グループ画像	519
画像の消去	521
RAW現像	523
動画修復	530
再生メニュー	533
再生メニューでの画像の選び方	533
再生メニュー(表示方法)	535
再生メニュー(画像の加工)	538
再生メニュー(情報の付与・削除)	539
再生メニュー(画像の編集)	540
再生メニュー(その他)	543

カメラのカスタマイズ

544

Fn ボタン	545
Fn ボタンへの機能の登録	548
Fn ボタンを使う	558
ダイヤル動作切換	559
ダイヤルへの機能の登録	559
ダイヤルの動作を一時的に変更する	561
クイックメニューのカスタマイズ	562
クイックメニューへの登録	562
カスタムモード	569
カスタムモードへの登録	569
カスタムモードを使う	572
設定内容の呼び出し	573
カスタムメニュー	574
カスタムメニュー(画質)	575
カスタムメニュー(フォーカス/リリース)	580
カスタムメニュー(操作)	586
カスタムメニュー(モニター/表示(写真))	593
カスタムメニュー(モニター/表示(動画))	603
カスタムメニュー(IN/OUT)	607
カスタムメニュー(レンズ/その他)	609
セットアップメニュー	612
セットアップメニュー(カード/ファイル)	613
セットアップメニュー(モニター/表示)	622
セットアップメニュー(IN/OUT)	625
セットアップメニュー(設定)	631
セットアップメニュー(その他)	634
マイメニュー	638
マイメニューへの登録	638
マイメニューの編集	639

メニュー一覧 **640**

写真メニュー	641
動画メニュー	643
カスタムメニュー	646
セットアップメニュー	650
マイメニュー	652
再生メニュー	653

Wi-Fi / Bluetooth **655**

「LUMIX Lab」と接続する	657
「LUMIX Lab」のインストール	658
スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)	659
「LUMIX Lab」を使う	662
LUTライブラリ操作	662
画像取り込み	664
自動画像転送	666
位置情報記録	668
「LUMIX Sync」と接続する	669
「LUMIX Sync」のインストール	670
スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)	671
スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続)	676
カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る	681
「LUMIX Sync」を使う	683
リモート撮影	685
シャッターリモコン	687
画像取り込み	690
自動画像転送	692
位置情報記録	695
リモート起動	696

自動時刻合わせ	698
カメラ設定コピー	699
カメラからパソコンへ画像を送る	700
Wi-Fi接続	704
ネットワーク経由	705
直接接続	709
以前と同じ設定でWi-Fi接続する	710
[Wi-Fi]を登録したFnボタン	712
送信設定、画像の選択	713
画像の送信設定	713
画像の選択	714
有線LAN/Wi-Fi 設定メニュー	715

Frame.io Camera to Cloud 718

Frame.ioとの接続	719
Frame.ioに画像を送る	724
アップロード設定	725

ストリーミング機能 727

スマートフォンを操作して配信する	729
カメラを操作して配信する	733
パソコンで操作して配信する	738
ストリーミングの設定	741
ストリーミング機能使用時のお知らせ	748
USBテザリング/有線LAN接続時のお知らせ	749

他機器との接続 750

接続する	751
テレビで見る	753

パソコンに画像を取り込む	757
パソコンに画像をコピーする	758
ソフトウェアのインストール	762
レコーダーにダビングする	763
テザー撮影	764
ソフトウェアのインストール	765
パソコンからカメラを操作する	766
有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う	767
複数台のカメラのリモート操作	769

資料

772

別売品のご紹介	773
別売品を使う	775
シャッターリモコン (別売)	776
トライポッドグリップ (別売)	777
DCカプラー (別売)	778
モニター／ファインダーの表示	779
撮影画面	779
再生画面	794
メッセージ表示	799
Q&A 故障かな?と思ったら	803
電源、バッテリー	804
撮影	805
動画	808
再生	809
モニター／ファインダー	809
フラッシュ	810
Wi-Fi機能	811
テレビ、パソコン	813
その他	814

使用上のお願い	815
無線機能(Wi-Fi / Bluetooth)使用上のお願い.....	825
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間.....	828
記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間	831
初期設定 / カスタム保存 / 設定コピーの一覧	842
各撮影モードで設定できる機能一覧.....	867
仕様	875
商標、ライセンス	889
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	893

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険



バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない

(*以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものを使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオープンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- 落下や衝撃を与えない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーチャージャー*は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

(*以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーの充電は、本体または専用のチャージャーを使用し、指定された方法で行う

指定以外の方法で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



ACアダプターは、誤った使いかたをしない
感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因になります。






- 粉じんの発生する場所でも使わない








外部フラッシュの発光部やAF補助光を至近距離で人に向けない







運転者に向かって使用すると、事故の誘発につながります。
視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1m以上離してください。

	<p>ショルダーストラップ、メモリーカード、ホットシューカバー、フラッシュシンクロ端子キャップ、アイカップを乳幼児の手の届くところに置かない</p> <p>ショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。</p> <p>小さな部品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none">• 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。
	<p>電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない</p> <p>本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 長時間で使用する場合は、三脚などをお使いください。 <p>* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
	<p>ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない</p> <p>耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。</p>
 分解禁止	<p>分解、改造をしない</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴ったら、触れない</p> <p>感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 本体やチャージャー、ACアダプターには、金属部があります。

	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する</p> <p>-----</p> <p>異常があったときには、バッテリーを外す</p> <ul style="list-style-type: none">• 煙が出たり、異常なおいや音がする• 映像や音声が出ないことがある• 内部に水や異物が入った• 電源プラグが異常に熱い• 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した <p>そのまま使うと火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。• 電源プラグがすぐ抜けるよう、ACアダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。• 電源を切り、販売店にご相談ください。
	<p>電源プラグは、正しく扱う</p> <p>感電や、ショートによる火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)• 根元まで確実に差し込む
	<p>ショルダーストラップは肩に掛けて使う</p> <p>けがや事故の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 首に掛けての使用はしない
	<p>病院内や航空機内など、使用が禁止／制限されている場所では、電源を切る／無線機能を無効にするなどの指示に従う</p> <p>本機からの電磁波などが、機器類に影響を及ぼすことがあります。</p>
	<p>自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くや、医療用電気機器のある場所では電源を切る</p> <p>本機からの電波が機器類に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。</p>

注意

	<p>外部フラッシュの発光部を人体やものでふさがない、ごみなどの異物が付いたまま使わない やけどや発光熱による発煙の原因となることがあります。</p>
	<p>次のような場所に放置しない 火災や感電の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)• 油煙や湯気の当たるところ• 湿気やほこりの多いところ
	<p>布で覆うなど、本機、ACアダプターの放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>低温下で長時間、直接触れて使用しない 寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 長時間で使用の場合は、手袋などをお使いください。
	<p>メモリーカード取り出し時に、カードの高温に関する注意がモニターやファインダーなどに表示されたら、カードに触らない メモリーカードが高温になっているため、やけどの原因となったり、取り出すときに落下させて破損するおそれがあります。</p>



**次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す
通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化
やろう電などにより、火災の原因になることがあります。**

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

はじめに

本章では、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

- ご使用の前に: 26
- 同梱品: 29
- 使用できるレンズ: 33
- 使用できるメモリーカード: 34
- 各部の名前: 37

ご使用の前に

❖ カメラ／レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。お買い上げのカメラ／レンズのファームウェアが最新のバージョンになっているかご確認ください。最新のファームウェアバージョンでのご使用をお勧めします。

- カメラ／レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニュー(その他)の[バージョン表示]でご確認ください。
[バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。(→ [バージョン表示: 636](#))
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index.html>

❖ カメラの取り扱いについて

カメラを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。カメラおよびレンズの故障や破損の原因になります。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

低温(-10℃~0℃)で使用する場合

- 推奨使用温度が-10℃までに対応した当社製レンズを取り付けてお使いください。

カメラのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF中にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

❖ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。

- 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
- カメラの扉部や端子キャップなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
- 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

❖ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

❖ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 使用上のお願いも、併せてお読みください(→使用上のお願い:815)

同梱品

デジタルカメラボディ

(本書ではカメラと表記します)



付属品をご確認ください。(品番は2024年5月現在)

バッテリーパック

DMW-BLK22

(本書ではバッテリーと表記します)

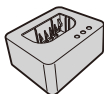
- 充電してからお使いください。



バッテリーチャージャー*1

DVLC1005Z

(本書ではチャージャーと表記します)



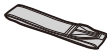
BNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)

K1TYYYY00286



ショルダーストラップ

DVPW1030Z



ボディキャップ*2

VKF4971



アイカップ*2

1YE1MC501Z



ホットシューカバー*2

4HR1MC5229Z



フラッシュシンクロ端子キャップ*2

VKF5108



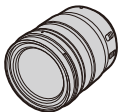
*1 バッテリーチャージャーには、ACアダプター、電源コードおよびUSB接続ケーブル付きの別売品(DMW-BTC15)があります。

*2 お買い上げ時はカメラに装着されています。

DC-GH7L(レンズキット商品)に同梱

交換レンズ

H-ES12060 (LEICA DG VARIO-ELMARIT 12-60mm/F2.8-4.0 ASPH./POWER O.I.S.)



- 防じん防滴対応
- 推奨使用温度 - 10℃～40℃

レンズフード

1ZE4Z260Z



レンズキャップ*3

SYF0083



レンズリアキャップ*3

VFC4605



*3 お買い上げ時はレンズに装着されています。

- メモリーカードは別売です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™ システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。



❖ レンズと機能について

お使いのレンズによっては、フォーカス、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

- 本機に対応するレンズの情報は、[カタログ／ホームページ](https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html)をご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>



- マイクロフォーサーズのレンズに表記されている焦点距離は、35 mm フィルムカメラで換算すると2倍に相当します。
(50 mm レンズを使用した場合は、35 mm 換算で100 mm レンズ相当になります)

使用できるメモリーカード

本機は、CFexpressカードおよびSDメモリーカードを使用できます。
使用できるメモリーカードは下記のとおりです。(2024年5月現在)

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの総称を**SDカード**と表記します。
- CFexpressカードとSDカードを区別しないときは、**カード**と表記します。
- 動作確認済みメモリーカードについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

カードスロット1:CFexpressカード

CFexpressカード(CFexpress Ver.2.0 TypeB)(64 GB～2 TB)

カードスロット2:SDメモリーカード

SDメモリーカード / SDHCメモリーカード / SDXCメモリーカード(最大512 GB)

- 本機はUHS-I / UHS-II UHS Speed Class 3規格およびUHS-II Video Speed Class 90規格のSDカードに対応しています。



❖ 本機で使用できるSDカード

以下の機能を使う場合は、対応したSDスピードクラス、UHSスピードクラス、Videoスピードクラスのカードを使用してください。

- スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するための規格です。

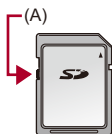
動画撮影

動画画質のビットレート	スピードクラス	表示の例
72 Mbps以下	Class 10	CLASS10 10
	UHS Speed Class 1以上	U1
	Video Speed Class 10以上	V10
200 Mbps以下	UHS Speed Class 3	U3
	Video Speed Class 30以上	V30
400 Mbps以下	Video Speed Class 60以上	V60
600 Mbps以下	Video Speed Class 90	V90

- 以下の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
 - ビットレートが800 Mbps以上の[MOV]の動画
 - 解像度がFHD以外の[Apple ProRes]の動画
 - 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のバリエーションフレームレート動画



- SDカードの書き込み禁止スイッチ(A)を「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去を禁止できます。

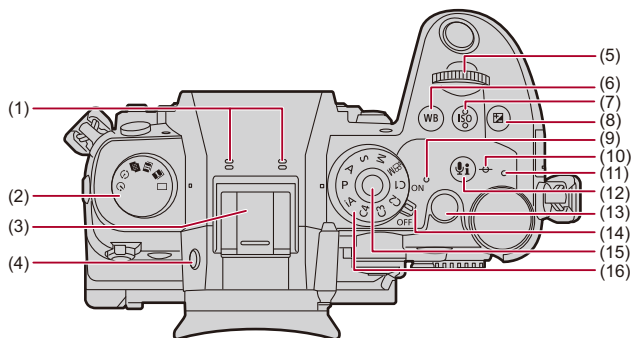





- 電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。

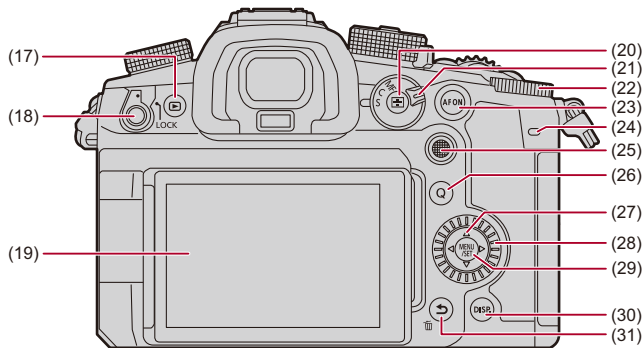
各部の名前



- カメラ: 37
- 同梱レンズ: 45
- ファインダー/モニターの表示: 46

カメラ

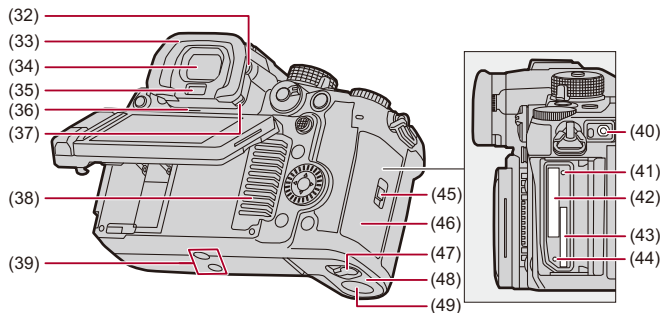


- (1) ステレオマイク(→ [音声の設定: 381](#))
 - マイクを指で塞がないでください。音声記録されにくくなります。
- (2) ドライブモードダイヤル(→ [ドライブモードの選択: 222](#))
- (3) ホットシュー(ホットシューカバー)(→ [ホットシューカバーの取り外し: 346](#))
- (4) [LVF]ボタン(→ [モニターとファインダーの切り換え: 88](#))
- (5) 前ダイヤル(→ [前ダイヤル/後ダイヤル: 82](#))
- (6) [WB](ホワイトバランス)ボタン(→ [ホワイトバランス\(WB\): 309](#))
- (7) [ISO](ISO感度)ボタン(→ [ISO感度: 303](#))
- (8) [] (露出補正)ボタン(→ [露出補正: 297](#))
- (9) 電源表示ランプ(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 74](#))
- (10) [] (撮影距離基準マーク)(→ [MFアシスト画面での操作: 208](#))
- (11) 充電ランプ(→ [充電ランプの表示: 58](#)) /
NETWORK接続ランプ(→ [Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 656](#))
- (12) [] (オーディオ情報表示)ボタン(→ [オーディオ情報表示: 388](#))
- (13) 動画記録ボタン(→ [動画を撮る: 126](#))
- (14) 電源スイッチ(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 74](#))
- (15) モードダイヤルロックボタン(→ [撮影モードの選択: 80](#))
- (16) モードダイヤル(→ [撮影モードの選択: 80](#))



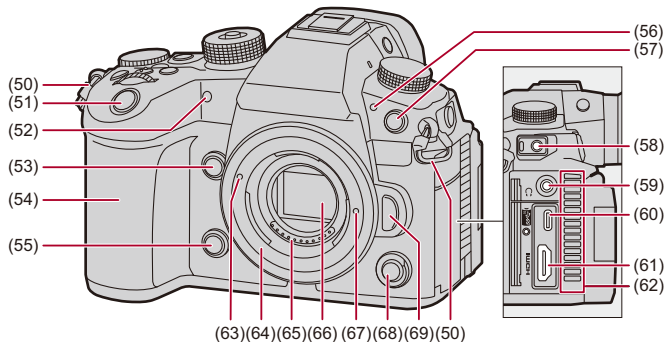
- (17) [](再生)ボタン(→ [画像の再生／編集: 502](#))
- (18) 操作ロックレバー(→ [操作ロックレバー: 86](#))
- (19) モニター(→ [ファインダー／モニターの表示: 46](#), [モニター／ファインダーの表示: 779](#))/
タッチパネル(→ [タッチパネル: 85](#))
- (20) [](AFモード)ボタン(→ [AFモードの選択: 181](#))
- (21) フォーカスモードレバー(→ [フォーカスモードの選択: 164](#), [AFを使う: 166](#), [MFで撮る: 206](#))
- (22) 後ダイヤル(→ [前ダイヤル／後ダイヤル: 82](#))
- (23) [AF ON]ボタン(→ [\[AF ON\]ボタン: 168](#))
- (24) リアタリーランプ(→ [動画を撮る: 126](#))
- (25) ジョイスティック(→ [ジョイスティック: 84](#))/
Fnボタン(→ [Fnボタン: 545](#))
中央:Fn9、▲:Fn10、▶:Fn11、▼:Fn12、◀:Fn13

- (26) [Q](クイックメニュー)ボタン(→クイックメニュー: 94)
- (27) カーソルボタン(→カーソルボタン: 83) /
Fnボタン(→Fnボタン: 545)
▲:Fn14、▶:Fn15、▼:Fn16、◀:Fn17
- (28) コントロールダイヤル(→コントロールダイヤル: 82)
- (29) [MENU/SET]ボタン(→[MENU/SET]ボタン: 83、メニューの操作方法: 99)
- (30) [DISP]ボタン(→情報表示の切り換え: 91)
- (31) [↶](戻る)ボタン(→メニューの操作方法: 99) /
[🗑️](消去)ボタン(→画像の消去: 521) /
Fnボタン(Fn1)(→Fnボタン: 545)



- (32) 視度調整ダイヤル(→ファインダーの視度の調整: 87)
- (33) アイカップ(→ファインダーのお手入れについて: 818)
- (34) ファインダー(→ファインダー/モニターの表示: 46、モニターとファインダーの切り換え: 88、モニター/ファインダーの表示: 779)
- (35) アイセンサー(→モニターとファインダーの切り換え: 88)
- (36) スピーカー(→電子音: 625)
- (37) アイカップロックレバー(→ファインダーのお手入れについて: 818)
- (38) 吸気口(→ファン動作モード: 608)
- 冷却用ファンの吸気口です。
 - 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の吸気口を塞がないでください。
- (39) 三脚取り付け部(→三脚: 823)
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。
- (40) [REMOTE]端子(→シャッターリモコン(別売): 776)
- (41) カードアクセスランプ1(→カードアクセス中の表示: 66)
- (42) カードスロット1(→カード(別売)の挿入: 65)

- (43) カードスロット2(→カード(別売)の挿入:65)
- (44) カードアクセスランプ2(→カードアクセス中の表示:66)
- (45) カード扉ロックレバー(→カード(別売)の挿入:65)
- (46) カード扉(→カード(別売)の挿入:65)
- (47) バッテリー扉開閉レバー(→バッテリーの挿入:55)
- (48) バッテリー扉(→バッテリーの挿入:55)
- (49) DCカプラー扉(→DCカプラー(別売):778)

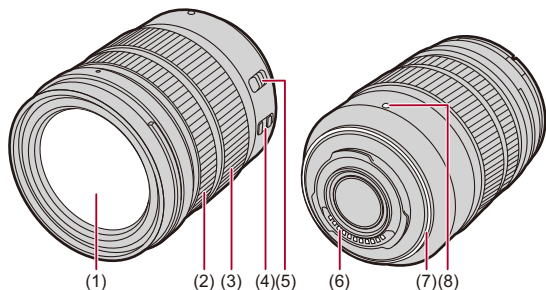


- (50) ショルダーストラップ取り付け部(→ショルダーストラップの取り付け: 49)
- (51) シャッターボタン(→写真を撮る: 118)
- (52) セルフタイマーランプ(→セルフタイマー撮影: 248) /
AF補助光ランプ(→AF補助光: 176)
- (53) 動画ライブビュー拡大表示ボタン(→動画ライブビュー拡大表示: 373) /
Fnボタン(Fn2)(→Fnボタン: 545)
- (54) グリップ
- (55) プレビューボタン(→プレビューモード: 295) /
Fnボタン(Fn3)(→Fnボタン: 545)
- (56) フロントタリーランプ(→動画を撮る: 126)
- (57) フラッシュシンクロ端子(フラッシュシンクロ端子キャップ)(→フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する: 347)
- シンクロ電圧が250 V以下のフラッシュをご使用ください。
 - 外部機器とタイムコードを同期する場合、付属のBNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)を接続します。(→外部機器とタイムコードを同期する: 402)

- (58) [MIC]端子(→外部マイク(別売): 389)
- (59) ヘッドホン端子(→ヘッドホン: 396)
- (60) USB端子(→カメラにバッテリーを入れて充電する: 57、外付けSSDを接続する: 497、ストリーミング機能: 727、USB端子: 752、有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う: 767)
- (61) HDMI端子(→HDMI機器と接続する: 474、動画RAWデータ出力: 488、HDMI端子: 751)
- (62) 排気口(→ファン動作モード: 608)
 - 冷却用ファンの排気口です。
 - 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の排気口を塞がないでください。
- (63) レンズ取り付けマーク(→レンズの取り付け: 68)
- (64) マウント
- (65) 接点
- (66) センサー
- (67) レンズロックピン
- (68) サブ動画記録ボタン(→動画を撮る: 126)
- (69) レンズ取り外しボタン(→レンズの取り外し: 69)

同梱レンズ

H-ES12060



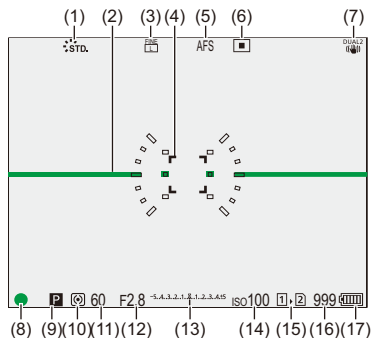
- (1) レンズ面
- (2) フォーカスリング(→MFで撮る: 206)
- (3) ズームリング(→ズームを使って撮る: 212)
- (4) O.I.S.スイッチ(→手ブレ補正: 271)
- (5) AF/MFスイッチ(→AFを使う: 166、MFで撮る: 206)
 - AFとMFを切り換えます。レンズ側か、カメラ側のどちらかが[MF]になっていれば、MF動作になります。
- (6) 接点
- (7) レンズマウントラバー
- (8) レンズ取り付けマーク(→レンズの取り付け: 68)

ファインダー／モニターの表示

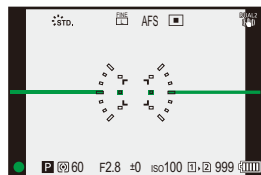
お買い上げ時、ファインダー／モニターには以下のアイコンが表示されます。

- ここに記載している以外のアイコンについて(→[モニター／ファインダーの表示: 779](#))

ファインダー



モニター



- (1) フォトスタイル(→[フォトスタイル: 317](#))
- (2) 水準器(→[水準器表示: 601](#))
- (3) 写真画質(→[写真画質: 123](#)) /
画像サイズ(→[画像サイズ: 121](#))
- (4) AFエリア(→[AFエリアの操作: 197](#))
- (5) フォーカスモード(→[フォーカスモードの選択: 164](#), [AFを使う: 166](#), [MFで撮る: 206](#))
- (6) AFモード(→[AFモードの選択: 181](#))
- (7) 手ブレ補正(→[手ブレ補正: 271](#))
- (8) フォーカス(緑点灯)(→[写真を撮る: 118](#), [AFを使う: 166](#)) /
記録動作表示(赤点灯)(→[動画を撮る: 126](#), [ハイレゾモード: 232](#))
- (9) 撮影モード(→[撮影モードの選択: 80](#))
- (10) 測光モード(→[測光モード: 279](#))
- (11) シャッタースピード(→[写真を撮る: 118](#), [シャッター優先AEモード: 288](#))
- (12) 絞り値(→[写真を撮る: 118](#), [絞り優先AEモード: 285](#))
- (13) 露出補正值(→[露出補正: 297](#)) /
マニュアル露出アシスト(→[マニュアル露出アシスト: 292](#))
- (14) ISO感度(→[ISO感度: 303](#))
- (15) カードスロット(→[カード\(別売\)の挿入: 65](#)) /
ダブルスロット機能(→[ダブルスロット機能: 614](#))
- (16) 写真撮影枚数(→[記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 831](#)) /
連続撮影可能枚数(→[連続撮影可能枚数: 229](#))
- (17) バッテリー残量(→[電源に関する表示: 61](#))



• [↔] ボタンを押すと、水準器の表示 / 非表示を切り換えることができます。

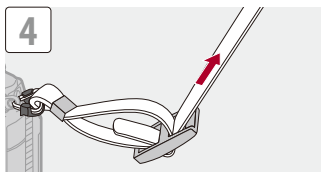
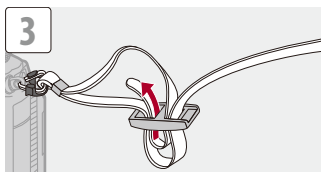
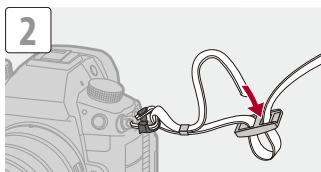
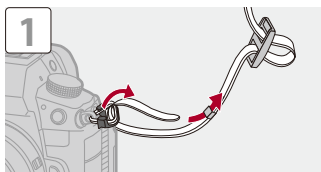
準備

撮影前に、本章を読んでカメラを準備してください。

- ショルダーストラップの取り付け: 49
- バッテリーの充電: 51
- カード(別売)の挿入: 65
- レンズの取り付け: 68
- モニターの向きと角度の調整: 73
- 時計の設定(初めて電源を入れるとき): 74

ショルダーストラップの取り付け

落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。





- ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認してください。
- 反対側も、同じ手順で取り付けてください。

バッテリーの充電

- チャージャーを使った充電: 53
- バッテリーの挿入: 55
- カメラにバッテリーを入れて充電する: 57
- 電力を供給しながらカメラを使う(給電/充電): 60
- 充電/給電についてのお知らせ: 61
- エコモード: 63

バッテリーは付属のチャージャー、またはカメラ本体を使って充電できません。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給(給電)することもできます。

別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)も使用できます。

- 本機で使うことができるバッテリーはDMW-BLK22です。(2024年5月現在)

別売のバッテリーDMW-BLF19について

DMW-BLF19(別売)もお使いいただけますが、以下の制約があります。

- 以下の機能は使用できません。
 - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイレームレート動画用の[動画画質]
 - フレームレートが60 fpsを超える[バリエーションフレームレート]
 - [HDMI RAWデータ出力]
 - 外付けSSD
 - [ストリーミング]
 - バッテリー容量が少ないため、撮影可能枚数や撮影可能時間が減少します。
 - バッテリーの残量表示の目盛りが4つになります。
- DMW-BLK22(付属/別売)をお使いいただくことをお勧めします。

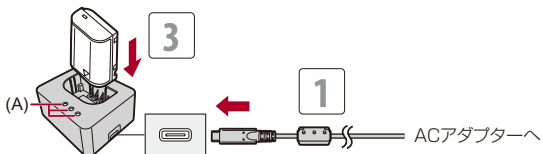


- お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

チャージャーを使った充電

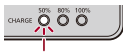

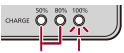
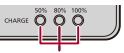


- 充電には当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで充電できます。
 - ※ 市販品のACアダプターの推奨仕様
 - PD(Power Delivery)対応
 - DC 9V / 3A (27W)出力対応
 - USB Type-C端子
 - ※ 充電には27W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。
- 充電には5V / 500mA以上のACアダプターも使用できます。ただし、推奨のACアダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。



- 1** チャージャーとACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ
 - 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 2** ACアダプターを電源コンセントに差し込む
- 3** バッテリーを差し込む
 - 充電ランプ([CHARGE])(A)が点滅し、充電が始まります。

❖ 充電ランプの表示

充電状態	0%～49%	50%～79%	80%～99%	100%
充電ランプ	 (B)	 (C) (B)	 (C) (B)	 (D)

(B) 点滅

(C) 点灯

(D) 消灯

- チャージャーを電源に接続していないときにバッテリーを差し込むと、充電ランプが一定時間点灯してバッテリー残量を確認できます。

充電時間: 約175分

- 別売のACアダプター(DMW-AC11)、または別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品を使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



- チャージャーは屋内で使用してください。

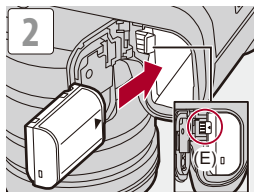
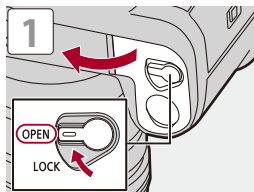


- 充電完了後は、電源との接続を解除して、バッテリーを取り外してください。
- [50%]のランプが速く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電してください。
 - チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。電源との接続を解除してから、汚れを乾いた布でふき取ってください。

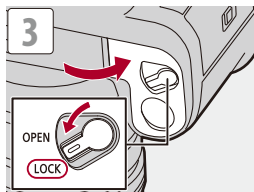
バッテリーの挿入



- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

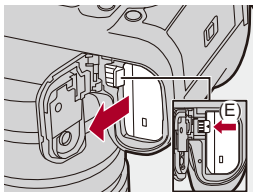


- バッテリーに(E)のレバーがかかっていることを確認してください。



❖ バッテリーの取り出し

- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 バッテリー扉を開く
- 3 (E)のレバーを矢印の方向に押し、バッテリーを取り出す
 - カードアクセスランプの消灯を確認してからバッテリーを取り出してください。(→ [カードアクセス中の表示: 66](#))

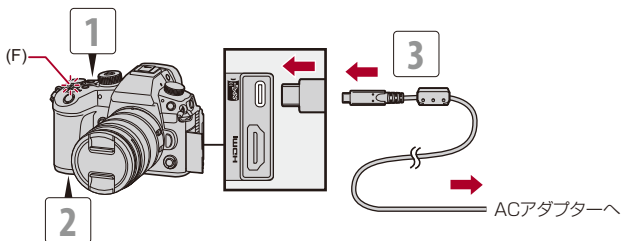


- バッテリー扉の内側(クッション)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温かくなります。また使用中はカメラも温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

カメラにバッテリーを入れて充電する



- 充電には当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)、またはバッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC15)の付属品の使用を推奨します。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで充電できます。
 - ※ 市販品のACアダプターの推奨仕様
 - PD(Power Delivery)対応
 - DC 9V / 3A (27W)出力対応
 - USB Type-C端子
 - ※ 充電には27W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。
- 充電には5V / 500mA以上のACアダプターも使用できます。ただし、推奨のACアダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。

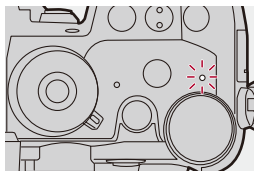


- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 カメラにバッテリーを入れる
- 3 カメラのUSB端子とACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ
 - 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)

4 ACアダプターを電源コンセントに差し込む

- 充電ランプ(F)が赤色点灯し、充電が始まります。

❖ 充電ランプの表示



充電ランプ(赤色)

点灯: 充電中

消灯: 充電完了

点滅: 充電エラー

充電時間: 約170分

- カメラ本体と別売のACアダプター(DMW-AC11)、または別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品を使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブルでつないでも充電できません。この場合、充電時間が長くなる場合があります。




- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- 充電ランプが赤く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところでも再度充電してください。
 - バッテリーの端子部が汚れています。バッテリーを取り出して汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電)

本機と別売のACアダプター(DMW-AC11)、および別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品は、USB PD(USB Power Delivery)に対応しているため、電力を供給(給電)しながら充電できます。

USB 接続ケーブル、AC アダプター、電源コードとカメラを接続し、電源をオンにしてください。

- カメラにバッテリーを挿入してください。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで給電できます。
 - ※ 市販品のACアダプターの推奨仕様
 - PD(Power Delivery)対応
 - DC 9V / 3 A (27 W)出力対応
 - USB Type-C端子
 - ※ 給電には27 W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。
- 給電時は、画面にが表示されます。
- 電源オン中の充電は、電源オフ中よりも充電時間が長くなります。

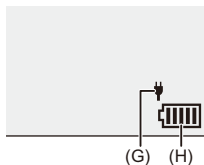


- USB PD非対応の機器(パソコンなど)と接続してカメラの電源をオンにした場合は、給電だけが行われます。
- 電源プラグを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。
- **高温表示について(→ [高温表示について: 132](#))**

充電／給電についてのお知らせ

❖ 電源に関する表示

モニター表示




(G) USB接続ケーブルから電源供給中

(H) バッテリー残量

	80 %以上
	60 %～79 %
	40 %～59 %
	20 %～39 %
	19 %以下
 赤色点滅	残量不足(電源表示ランプも点滅します) • バッテリーを充電または交換してください。

• 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。

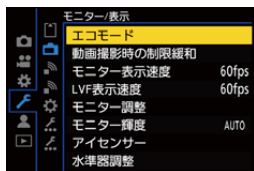


- パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。
- 純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプターは使用しないでください。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電／給電が中止されることがあります。
- 充電が完了してもバッテリー残量表示が[

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

MENU/SET → **[]** → **[]** → **[エコモード]を選ぶ**



スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。	
スリープモード(Wi-Fi)	Wi-Fi切断後、15分でスリープするように設定します。	
LVF/モニター自動OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファインダー撮影	ファインダー／モニター自動切換で、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。	
	スリープするまでの時間	スリープするまでの時間を設定します。
	動作する条件	<p>スリープが働く画面を設定します。</p> <p>[コントロールパネルのみ]: コントロールパネル(→ コントロールパネル: 96)を表示しているときだけスリープします。</p> <p>[撮影待機中]: 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。</p>

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。



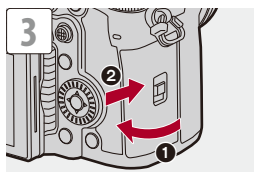
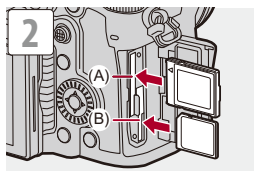
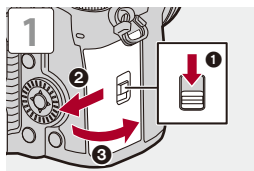
- 以下の場合は、[エコモード]が動きません。
 - パソコン接続中
 - 動画撮影／動画再生中
 - インターバル撮影中
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
 - [ライブビューコンポジット撮影]時
 - [フォーカストランジション]撮影時
 - スライドショー中
 - HDMI出力して撮影中

カード(別売)の挿入



- 使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 613](#))

本機はダブルスロット機能に対応しています。カードを2枚使用すると、リレー記録やバックアップ記録、振り分け記録ができます。



- (A) カードスロット1:CFexpressカード
- (B) カードスロット2:SDカード

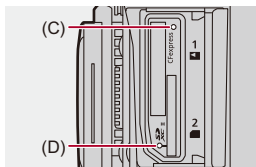
• カードの向きを図に合わせ、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



- カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定できます：
(→ [ダブルスロット機能: 614](#))
- DCIM フォルダー内の画像を保存するフォルダとファイル名を設定できます：
(→ [フォルダ/ファイル設定: 619](#))
- カードに動画を保存するときのファイル名をシネスタイルに切り換えることができます(保存先フォルダも切り換わります)：
(→ [動画ファイル名: 616](#))
- [動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき、カードのボリュームレベルを設定できます：
(→ [シネスタイルファイル設定: 618](#))

❖ カードアクセス中の表示

カードアクセス中は、カードアクセスランプが点灯します。

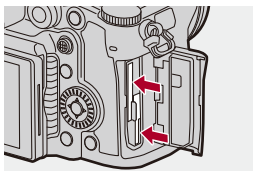


- (C) カードスロット1のカードアクセスランプ
- (D) カードスロット2のカードアクセスランプ



- カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。
- アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、電源プラグを抜く
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える

❖ カードの取り出し



- 1 カード扉を開く
- 2 「カチッ」と音がするまでカードを押して、まっすぐ引き抜く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、カードを取り出してください。

レンズの取り付け

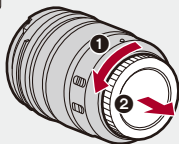
• レンズフードの取り付け: 71

本機は、マイクロフォーサーズ™ システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使用することができます。
使用できるレンズについて(→ [使用できるレンズ: 33](#))

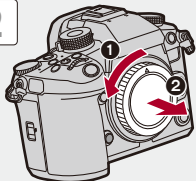


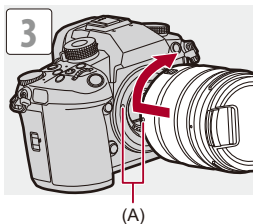
- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみやほこりが付着した場合(→ [撮像素子のごみの付着について: 817](#))
- レンズの交換は、レンズキャップを取り付けた状態で行ってください。

1



2

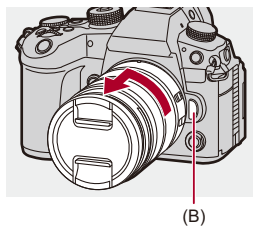




(A) レンズ取り付けマーク

❖ レンズの取り外し

- レンズ取り外しボタン(B)を押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外してください。





- 本機との通信機能がないレンズを取り付けた場合は、電源を入れたときにレンズ情報の確認メッセージが表示されます。[はい]を選ぶとレンズの焦点距離などを登録できます。登録済みのレンズ情報から選択することもできます。(→ [レンズ情報: 277](#))
- 確認メッセージを非表示にできます:
(→ [レンズ情報確認表示: 611](#))
- レンズはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んで取り付けようとすると、カメラのレンズ取り付け部を傷つけるおそれがあります。
- レンズを取り外したあとは、ボディキャップとレンズリアキャップを必ず取り付けてください。

レンズフードの取り付け

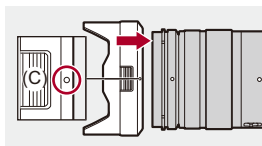
強い逆光下の撮影で、レンズ内部で光の乱反射が生じて光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮ることができます。

交換レンズに付属しているレンズフード(花型)を取り付ける場合

- 図のように、指を添えてレンズフードを持ってください
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

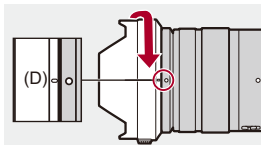


1 レンズフードの指標(C)(O)とレンズ先端の指標を合わせる



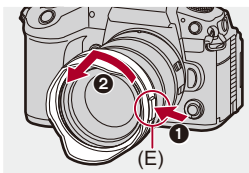
2 レンズフードを矢印の方向に回し、レンズフードの指標(D)(○)と、レンズ先端の指標を合わせる

- 「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。



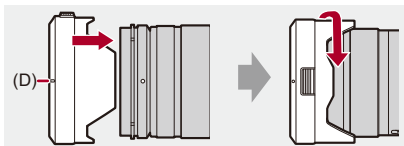
❖ レンズフードの取り外し

レンズフードのボタン(E)を押しながら、矢印の方向に回して取り外す



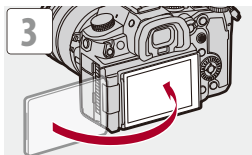
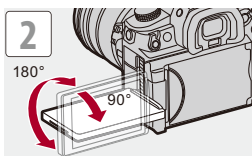
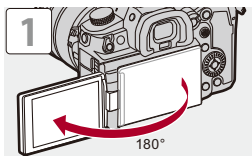
- 持ち運ぶときに、レンズフードを逆向きに取り付けることができます。

- 1 レンズフードの指標(D)(○)と、レンズ先端の指標を合わせる
- 2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して取り付ける



モニターの向きと角度の調整

お買い上げ時はモニターが収納状態になっています。



- 調整できる角度は目安です。
- モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- カメラを使用しないときは、モニター面を内側にして閉じてください。



- 撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます：
(→ [LVF/モニター表示設定: 597](#))

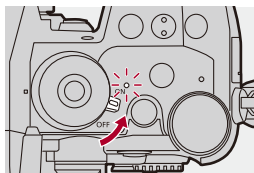
時計の設定 (初めて電源を入れるとき)

初めて電源を入れたときは、タイムゾーンと時計を設定する画面が表示されます。

正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。




1 電源スイッチを[ON]にする

- 電源表示ランプが点灯します。



2 [タイムゾーンを設定してください]と表示されたら、 または を押す



3 タイムゾーンを設定する

- ◀▶ でタイムゾーンを選び、 または  を押します。
- サマータイム [] (夏時間) を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。



(A)

(A) GMT(グリニッジ標準時)との時差

4 [時計を設定してください]と表示されたら、 または  を押す



5 時計を設定する

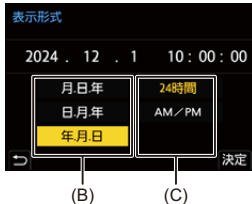
◀▶: 項目(年・月・日・時・分・秒)の選択

▲▼: 数値の選択



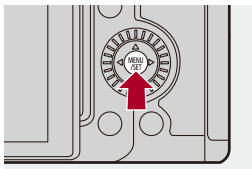
表示順・時刻表示形式を設定する場合

- ◀▶ で [表示形式] を選び、 または  を押すと、表示順(B)・時刻表示形式(C)の設定画面が表示されます。



6 決定する

-  または  を押します。



7 [時計を設定しました]と表示されたら、 または を押す



- 時計の設定をしなくてカメラを使うと、2024年1月1日 0:00:00に設定されます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約24時間入れたままにしてください)



- [タイムゾーン]、[時計設定]はメニューから変更できます：
(→ [タイムゾーン: 634](#)、[時計設定: 634](#))
- 電源表示ランプが点灯しないように設定できます：
(→ [電源 / NETWORK ランプ: 630](#))

基本操作

カメラの基本的な操作方法や、すぐに撮影してみたいときに便利なインテリジェントオートモードについて説明しています。

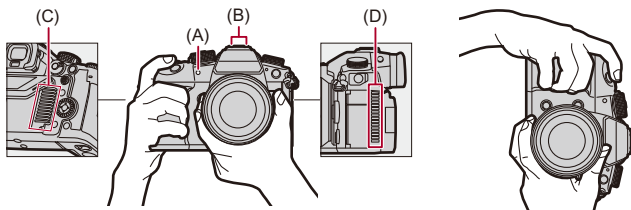
- カメラの構え方: 78
- 撮影モードの選択: 80
- カメラの設定操作: 81
- モニター／ファインダーの表示設定: 87
- クイックメニュー: 94
- コントロールパネル: 96
- メニューの操作方法: 99
- 文字の入力: 105
- インテリジェントオートモード: 106
- タッチ撮影: 113

カメラの構え方

手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。
- AF補助光ランプ(A)およびマイク(B)を指などで塞がないでください。
- 冷却用ファンの吸気口(C)および排気口(D)を手などで塞がないでください。



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。

初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。



- [縦位置自動回転]を[OFF]にすると、写真を回転せずに再生します。(→ [縦位置自動回転: 536](#))



- カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。



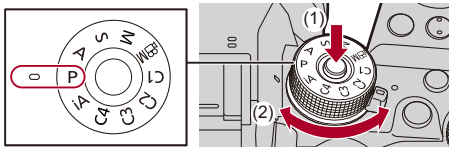
- 動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます：
(→ [動画の縦位置情報: 611](#))

撮影モードの選択

1 モードダイヤルロックボタンを押して(1)、ロックを解除する

- モードダイヤルロックボタンが下がっているときはロックされています。押すごとにロック/ロックの解除が切り換わります。

2 モードダイヤルを回して(2)、撮影モードを合わせる



iA
インテリジェントオートモード(→[インテリジェントオートモード: 106](#))

P
プログラムAEモード(→[プログラムAEモード: 281](#))

A
絞り優先AEモード(→[絞り優先AEモード: 285](#))

S
シャッター優先AEモード(→[シャッター優先AEモード: 288](#))

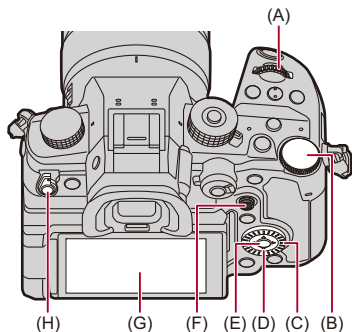
M
マニュアル露出モード(→[マニュアル露出モード: 291](#))

 **M**
クリエイティブ動画モード(→[動画専用撮影モード\(クリエイティブ動画\): 364](#))

C1 / C2 / C3 / C4
カスタムモード(→[カスタムモード: 569](#))

カメラの設定操作

カメラの設定を変更するときには、以下の操作部を使って操作します。
誤操作を防ぐために、操作ロックレバーで操作を無効にできます。



(A) 前ダイヤル(☀️)(→前ダイヤル/後ダイヤル:82)

(B) 後ダイヤル(☀️)(→前ダイヤル/後ダイヤル:82)

(C) コントロールダイヤル(⚙️)(→コントロールダイヤル:82)

(D) カーソルボタン(▲▼◀▶)(→カーソルボタン:83)

(E) [MENU/SET]ボタン(MENU/SET)(→[MENU/SET]ボタン:83)

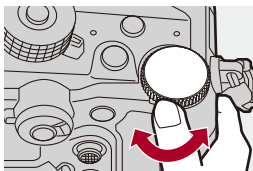
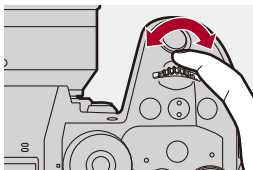
(F) ジョイスティック(▲▼◀▶/🌀)(→ジョイスティック:84)

(G) タッチパネル(→タッチパネル:85)

(H) 操作ロックレバー(→操作ロックレバー:86)

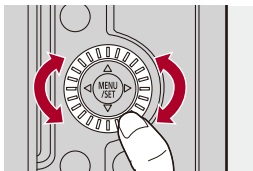
❖ 前ダイヤル／後ダイヤル

回す：項目や数値を選択します。



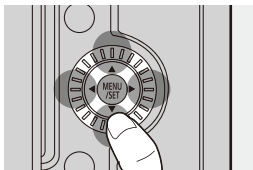
❖ コントロールダイヤル

回す：項目や数値を選択します。



❖ カーソルボタン

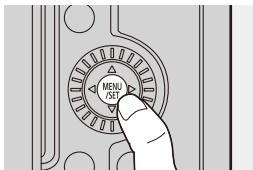
押す：項目や数値を選択します。



❖ [MENU/SET]ボタン

押す：設定内容を決定します。

- 撮影時と再生時は、メニューを表示します。



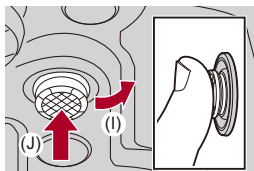
❖ ジョイスティック

ジョイスティックは、上下左右斜めに傾ける8方向操作と、中央部分を押し込む操作ができます。

(I) **傾ける**：項目、数値の選択や、位置の移動をします。

- ジョイスティックの中央に指の腹を当てて傾けると、操作しやすくなります。側面から押すと正しく動作しない場合があります。

(J) **押す**：設定内容を決定します。



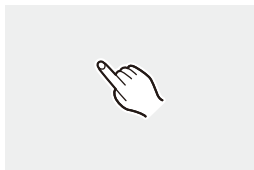
- 操作部の動作を無効にできます：
(→ [ロックレバー設定: 587](#))

❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライドバー、メニューなどを指で触れて操作できます。

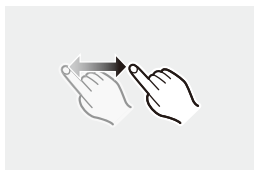
タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。



ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる(ピンチアウト)動作と縮める(ピンチイン)動作です。



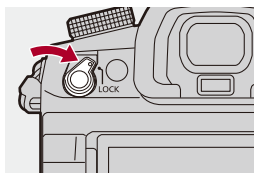


- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)



- タッチ操作を無効にできます：
(→ [タッチ設定: 586](#))

❖ 操作ロックレバー



操作ロックレバーを[LOCK]に合わせると、カスタムメニュー(操作)の[ロックレバー設定]で設定した操作部を無効にできます。(→ [ロックレバー設定: 587](#))

モニター／ファインダーの表示設定

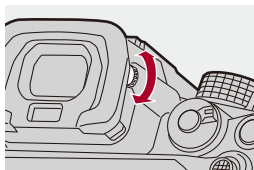
- ファインダーの設定: 87
- モニターとファインダーの切り換え: 88
- 情報表示の切り換え: 91

ファインダーの設定

❖ ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤルを回す

- ファインダー内の文字がはっきり見えるまで調整してください。

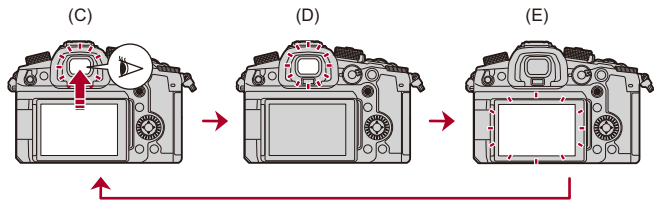
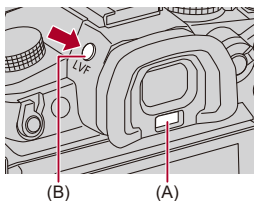


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー/モニター自動切換が設定されています。ファインダーをのぞくとアイセンサー(A)が働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

[LVF]ボタン(B)で、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF]ボタンを押す



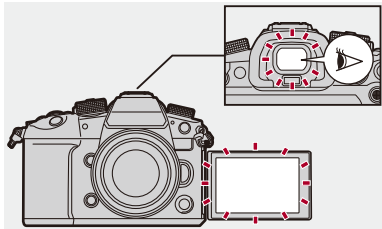
(C) ファインダー/モニター自動切換

(D) ファインダー表示

(E) モニター表示

❖ モニターとファインダーの同時表示

ファインダー／モニター自動切換(C)時、モニターをレンズ方向に向けると、ファインダーをのぞいたときでも撮影画面がモニターに表示されます。





- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中やスライドショー中は、ファインダー／モニター自動切替が働きません。
- 動画のフレームレートが200p以上のときや[プロキシ記録]を使用中は、以下の機能を使用すると、モニターとファインダーの同時表示はできません。
 - HDMI出力
 - スマートフォンとのWi-Fi接続
 - テザー撮影

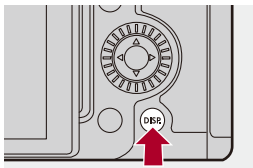


- ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：
(→ [アイセンサーAF: 584](#))
- アイセンサーの感度を変更できます：
(→ [アイセンサー: 624](#))
- 写真撮影時におけるモニターのライブビュー表示速度を設定できます：
(→ [モニター表示速度: 623](#))
- 写真撮影時におけるファインダーのライブビュー表示速度を設定できます：
(→ [LVF表示速度: 623](#))
- モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整できます：
(→ [モニター調整／LVF調整: 623](#))
- モニター／ファインダーの輝度を調整できます：
(→ [モニター輝度／LVF輝度: 624](#))

情報表示の切り換え

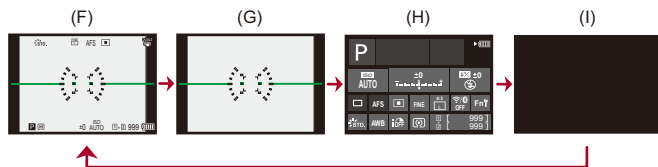
[DISP.]ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。



❖ 撮影画面

モニター



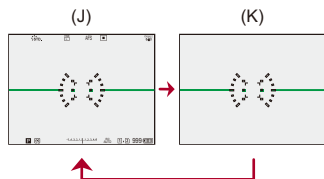
(F) 情報あり

(G) 情報なし

(H) コントロールパネル

(I) 消灯

ファインダー



(J) 情報あり

(K) 情報なし

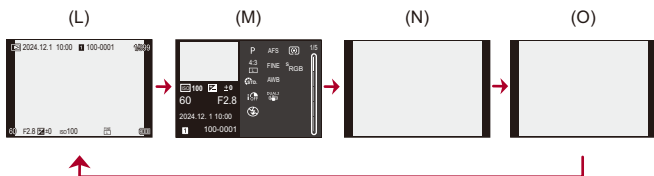


- [↔] ボタンを押すと、水準器の表示/非表示を切り換えることができます。[水準器表示](→ [水準器表示: 601](#))でも設定できます。



- コントロールパネルの操作(→ [コントロールパネル: 96](#))
- コントロールパネル、消灯画面を非表示にできます:
(→ [撮影画面の遷移\(モニター\): 602](#))
- ライブビューと情報表示が重ならないように表示を変更できます:
(→ [LVF/モニター表示設定: 597](#))
- ライブビューの境界線を表示できます:
(→ [ライブビュー境界線表示: 602](#))

❖ 再生画面



(L) 情報あり

(M) 詳細情報表示

- ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。(→ [詳細情報表示: 797](#))

(N) 情報なし

(O) ハイライト表示なし

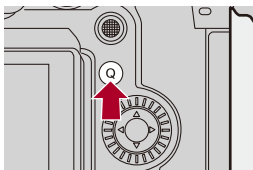
- カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[ハイライト表示]を[ON]にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。(→ [ハイライト表示: 599](#))

クイックメニュー

撮影でよく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目の変更もできます。

1 クイックメニューを表示する

- [Q]ボタンを押します。





2 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼◀▶ を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。
- 歯車アイコンを回しても選択できます。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



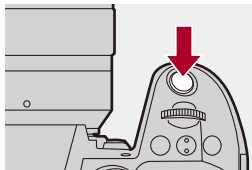
3 設定項目を選ぶ

-  または  を回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [Q]ボタンを押しても終了できます。



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。



- クイックメニューのカスタマイズができます：
(→ [クイックメニューのカスタマイズ: 562](#))

コントロールパネル

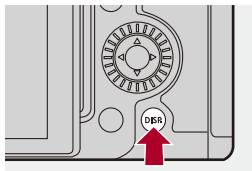
現在の撮影設定をモニターで確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

[ⒻM]モード(クリエイティブ動画モード)では、動画専用の表示に変わります。

- 画面表示について(→ [コントロールパネル: 787](#)、[コントロールパネル\(クリエイティブ動画モード\): 790](#))

1 コントロールパネルを表示する

- [DISP.]ボタンを数回押します。



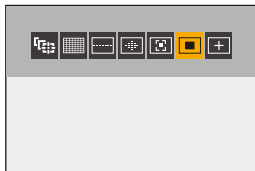
2 項目をタッチする

例)AFモードの変更



3 設定を変更する

- 設定項目をタッチします。
- 設定の変更操作については、各項目の説明ページをお読みください。

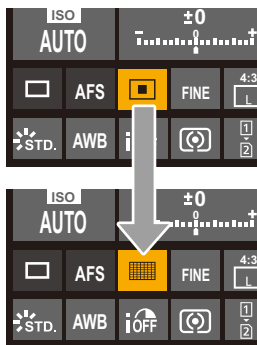


4 [決定]をタッチする

❖ ダイヤルを使った直接変更

手順**2**～**4**は以下の操作でも変更できます。

- 1 ▲▼◀▶のいずれかを押して、項目を選択可能な状態にする
 - 選択中の項目が黄色で表示されます。
- 2 ▲▼◀▶を押して、項目を選ぶ
 - ☀ または ⚙ を回しても選択できます。
- 3 ☀ を回して、設定を変更する



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

メニューの操作方法

● 設定リセット: 104

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。

メニューの操作はカーソル、ジョイスティック、ダイヤル、タッチのどれでも可能です。

メニューの構成と操作部

メニュー画面を ◀▶ で移動することで、メニューを操作できます。

また、メインタブ、サブタブ、ページタブ、メニュー項目は、下図で示した操作部を使うと、メニューの各階層に移動しなくても操作できます。

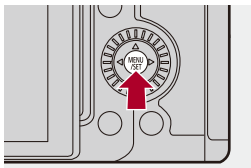
- アイコンやメニュー項目、設定項目をタッチしても操作できます。



- (A) メインタブ ([Q] ボタン)
- (B) サブタブ (◀)
- (C) メニュー項目 (☰)
- (D) ページタブ (▶)
- (E) 設定項目

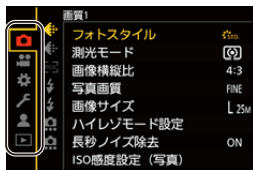
1 メニューを表示する

- **MENU/SET** を押します。



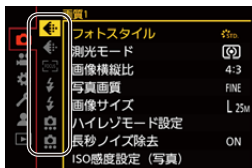
2 メインタブを選ぶ

- ▲▼でメインタブを選び、▶を押します。
-  を回してメインタブを選び、**MENU/SET** または  を押しても同じ操作ができます。



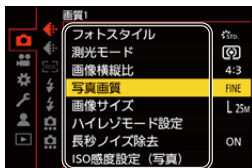
3 サブタブを選ぶ

- ▲▼でサブタブを選び、▶を押します。
- 設定アイコンを回してサブタブを選び、MENU/SET または 設定アイコンを押しても同じ操作ができます。
- ページタブがある場合は、ページタブ(D)が順に切り換わったあとに、次のサブタブに切り換わります。



4 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。
- 設定アイコンを回してメニュー項目を選び、MENU/SET または 設定アイコンを押しても同じ操作ができます。




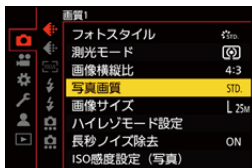
5 設定項目を選び決定する

- ▲▼で設定項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
-  を回して設定項目を選び、**MENU/SET** または  を押しても同じ操作ができます。



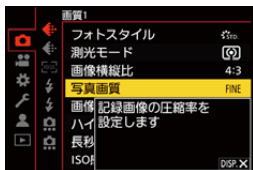
6 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
-  ボタンを数回押しても終了できます。



❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

メニュー項目や設定項目を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。

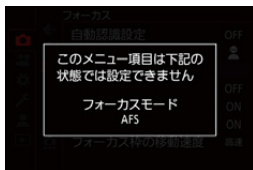


❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。

グレーのメニュー項目を選択中に  または  を押すと、設定できない理由が表示されます。

- メニュー項目によっては、設定できない理由は表示されません。

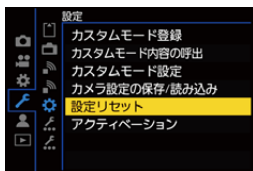


設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定 ([ストリーミング設定]、[有線LAN/Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]の設定内容)
- セットアップ/カスタム設定 ([ストリーミング設定]、[有線LAN/Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]以外)

 →  →  → [設定リセット]を選ぶ



- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、再生メニューもリセットされます。
- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、[LUTライブラリ]は初期設定に戻ります。登録したLUTは削除されます。
- 写真メニュー(その他(写真))/動画メニュー(その他(動画))の[手ブレ補正]の[レンズ情報]は、セットアップ/カスタム設定をリセットすると初期設定に戻ります。
- フォルダー番号、時計はリセットされません。















- 初期設定とリセット対象の一覧(→ [初期設定/カスタム保存/設定コピーの一覧: 842](#))

文字の入力



文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲▼◀▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで  または  を押します。(繰り返す)
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、 または  を右側に回して入力位置を移動してください。
- 項目を選んで  または  を押すと、以下の操作ができます。
 - [切換]:  (ひらがな)、 (カタカナ)、 /  (アルファベット)、 (数字)、 (記号)に文字を切り換え
 - []: 空白を入力
 - [消去]: 文字を消去
 - [<]: 入力位置を左に移動
 - [>]: 入力位置を右に移動
- パスワードを入力するときは、入力した文字数 / 入力できる文字数 (A) が表示されます。



2 入力を終了する

- [決定] を選び、 または  を押します。

インテリジェントオートモード

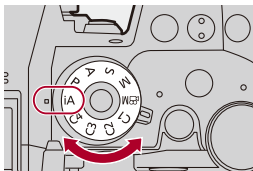


[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。

被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 撮影モードを[iA]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))




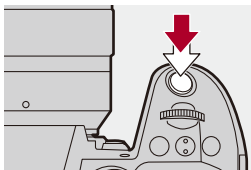
2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。(自動シーン判別)



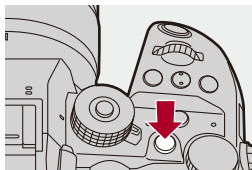
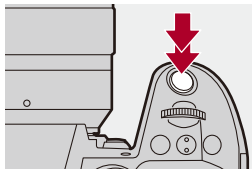
3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカスアイコンが点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- AFモードの[]が動き、人物に合わせてAFエリアが表示されます。



4 撮影する

- 写真を撮影するには、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するには、動画記録ボタンを押します。



- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

		写真撮影時	動画撮影時
	i人物 ^{*1}	✓	✓
	i風景	✓	✓
	iマクロ	✓	✓
	i夜景 & 人物 ^{*2}	✓	
	i夜景	✓	
	i料理	✓	
	i夕焼け	✓	
	iローライト		✓
	iA ^{*3}	✓	✓

*1 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]([認識する被写体])を[人物]にしているときに判別されます。

*2 外部フラッシュ使用時に判別されます。

*3 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]([認識する被写体])を[人物]以外にしているときに判別されます。

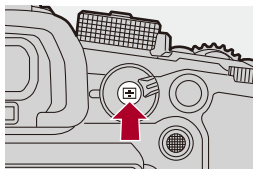


- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA](標準的な設定)で撮影します。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
- 設定どおりにすべての被写体を認識できるわけではありません。
- [自動認識の対象]([認識する被写体])が[動物]のとき、動物以外の被写体に対して動物認識する場合があります。

❖ AFモード

AFモードを切り換える

- [AF] ボタンを押すごとに、AFモードが切り換わります。
- 画面をタッチする、またはジョイスティックを長押しして切り換えることもできます。
- [自動認識設定]は[ON]に固定されます。
- [自動認識の対象]は、[iA]モード以外の撮影モードでの設定を引き継ぎます。(→ [自動認識: 184](#))



フルエリア

対象となる被写体を認識してピントを合わせます。



- 白色のAFエリアをタッチする、またはジョイスティックの▲▼◀▶で、ピントを合わせる被写体を切り換えることができます。

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。



被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにする



- シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。



• AFモードについて(→ [自動認識: 184](#)、[追尾: 188](#))

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

スローシンクロ([, [) のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。



- 外部フラッシュについて (→ [外部フラッシュ \(別売\) を使う : 345](#))

タッチ撮影

- タッチAF / タッチシャッター: 113
- タッチAE: 115

タッチAF / タッチシャッター



タッチした位置にピントを合わせたり、シャッターを切ったりします。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 586](#))

1 [**⏪**]をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするたびに、アイコンが切り換わります。



☞ **AF (タッチAF)**

タッチした位置にピントを合わせます。

☞ **☞ (タッチシャッター)**

タッチした位置にピントを合わせて撮影します。

☞ **✕ (OFF)**

3 (OFF以外に設定した場合)被写体をタッチする



- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤色になったあと消えます。



- AFエリアの操作方法について(→[AFエリアの操作: 197](#))
- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます:
(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 202](#))

タッチAE



タッチした位置に明るさを合わせます。

人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 586](#))

1 [◀]をタッチする

2 [AE]をタッチする

- タッチAEの設定画面が表示されます。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。



4 [決定]をタッチする

❖ タッチAEの解除方法

【】をタッチする



- 以下の機能を使用中は、タッチAEは使用できません。
- [ライブクロップ]



- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます(このとき、タッチAEは使用できません):
(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 202](#))

写真の撮影

写真を撮影するための基本的な操作と設定です。

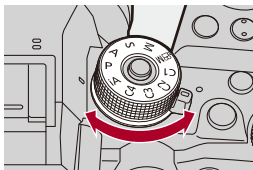
- [写真を撮る: 118](#)
- [画像横縦比: 120](#)
- [画像サイズ: 121](#)
- [写真画質: 123](#)

写真を撮る



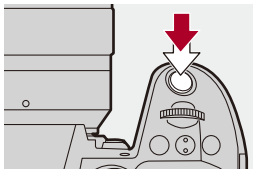
1 撮影モードを選ぶ([iA]/[P]/[A]/[S]/[M])

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

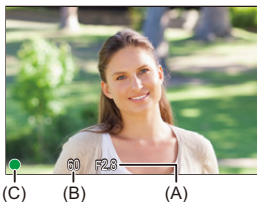


2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押し(軽く押し)します。

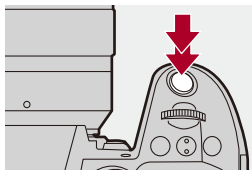


- 絞り値(A)とシャッタースピード(B)が表示されます。(適正な露出が得られないときは、赤く点滅します)
- ピントが合うとフォーカスアイコン(C)が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- [AF ON]ボタンを押しても同じ操作ができます。



3 撮影する

- シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)します。



- カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[オートレビュー]を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。(→ [オートレビュー: 593](#))



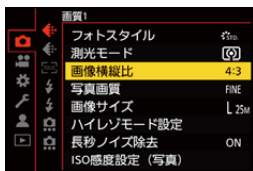
- 初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。
カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[フォーカス/リリース優先]を[バランス]または[リリース]にすると、ピントが合っていないでも撮影できます。
(→ [フォーカス/リリース優先: 580](#))

画像横縦比



画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

MENU/SET → [**📷**] → [**📐**] → [**画像横縦比**]を選ぶ



4:3

4:3 モニターの横縦比

3:2

一般のフィルムカメラの横縦比

16:9

16:9 テレビの横縦比

1:1

正方形横縦比



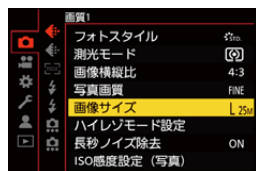
- 撮影画面にトリミング(クロップ)用のフレームを表示できます：
(→ [フレーム表示: 421](#))

画像サイズ



写真の画像サイズを設定します。

MENU/SET → **[カメラ]** → **[設定]** → **[画像サイズ]**を選ぶ



画像横縦比	画像サイズ	
4:3	L(25M)	5776×4336
	M(12.5M)	4096×3072
	S(6.5M)	2944×2208
	XS(3M)	1920×1440
3:2	L(22M)	5776×3848
	M(11M)	4096×2728
	S(5.5M)	2944×1960
	XS(2.5M)	1920×1280
16:9	L(18.5M)	5776×3248
	M(9.5M)	4096×2304
	S(5M)	2944×1656
	XS(2M)	1920×1080
1:1	L(19M)	4336×4336
	M(9.5M)	3072×3072
	S(5M)	2208×2208
	XS(2M)	1440×1440

- [クロップズーム(写真)]設定時は、画像サイズに[Cr]が表示されません。



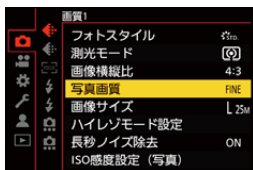
- 以下の機能を使用中は、[画像サイズ]は設定できません。
 - [写真画質]の[RAW]
 - ハイレゾモード

写真画質



写真を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU/SET → [**📷**] → [**⚙️**] → [**写真画質**] を選ぶ



FINE

画質を優先したJPEG画像です。

ファイル形式: JPEG

STD.

標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。

ファイル形式: JPEG

RAW+FINE / RAW+STD.

RAW画像とJPEG画像([FINE]または[STD.])を同時に記録します。

ファイル形式: RAW+JPEG

RAW

RAW画像を記録します。

ファイル形式: RAW



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- カメラでRAW画像を現像できます。(→ [RAW現像: 523](#))
- パソコンでRAWファイルの現像、編集をする場合は、ソフトウェア(アドワー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(→ [SILKYPIX Developer Studio SE: 762](#))



- RAW画像は常に画像横縦比[4:3]の[L]サイズで記録されます。
- [RAW+FINE]、[RAW+STD.]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[写真画質]は設定できません。
 - ハイレゾモード



- 1回だけRAW画像とJPEG画像を同時に撮影する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [ワンショットRAW+JPG: 550](#))
- 色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます：
(→ [色空間: 578](#))

動画の撮影

動画を撮影するための基本的な操作と設定です。

- 動画撮影についてさらに詳しく知るには、以下の章もお読みください。
 - 動画の設定: 363
 - 特殊な動画撮影: 425
 - HDMI出力(動画): 473
- 動画を撮る: 126
- システム周波数: 134
- 記録ファイル方式: 136
- 動画画質: 137
- RAW動画記録: 154
- プロキシ記録: 156
- 動画撮影範囲: 161

動画を撮る

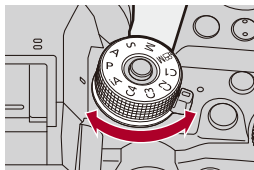


本機は、最大5.8K(5760×4320)解像度の動画撮影が可能です。また、システム周波数の切り換えや、MP4 / MOV / Apple ProResの3種類の記録ファイル方式に対応しています。

動画撮影専用の[M]モード(クリエイティブ動画モード)では、すべての動画機能が使用できます。

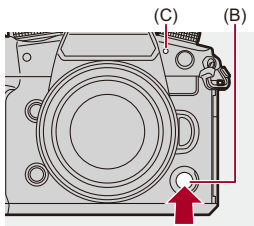
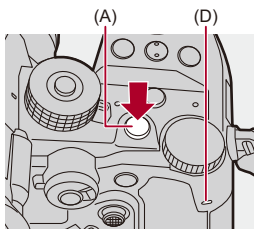
1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))



2 撮影を開始する

- 動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。
- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、フロントタリールンプ(C)およびリアタリールンプ(D)が点灯します。



3 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。

❖ 動画撮影中の画面表示

ライブビューの画角が動画撮影用になり、動画記録時間(E)と記録経過時間(F)が表示されます。(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画の記録中は、記録動作表示(G)とカードアクセス表示(H)が赤く点灯します。



- AFで動画撮影中にピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

❖ 動画撮影中の露出制御

絞り値、シャッタースピード、ISO感度は、以下の設定で動画撮影されます。

撮影モード	絞り値、シャッタースピード、ISO感度
iA	シーンに合わせてカメラが自動で設定します。(→ 自動シーン判別の種類: 109)
P / A / S / M	カスタムメニュー(画質)の[P/A/S/M動画の露出自動制御]によって切り換わります。初期設定は[ON]に設定されています。 (→ P/A/S/M動画の露出自動制御: 579) [ON]: カメラが自動で設定した値で撮影します。 [OFF]: [P] / [A] / [S] / [M]モードで設定した値で撮影します。
M	手動で設定した値で撮影します。

❖ ファイル分割

連続記録時間、またはファイルサイズが以下の条件を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。

- (A) SDHCメモリーカード使用時
- (B) SDXCメモリーカード使用時
- (C) 外付けSSD使用時
- (D) CFexpressカード使用時

記録ファイル方式	解像度	ビットレート	記録メディア	ファイル分割	
				連続記録時間	ファイルサイズ
MP4	FHD	すべて	(A)	30分	4 GB
			(B)		
			(C)		
			(D)		
	FHD以外		(A)	30分	4 GB
			(B)	3時間4分	96 GB
			(C)		
			(D)		
MOV	すべて	600 Mbps以下	(A)	30分	4 GB
			(B)	3時間4分	192 GB
			(C)		
			(D)		
		800 Mbps以上	(A)		
			(B)		
			(C)	3時間4分	640 GB
			(D)		

Apple ProRes	FHD	すべて	(A)	30分	4 GB	
			(B)	3時間4分	192 GB	
			(C)			
			(D)			
	FHD以外		(A)			
			(B)			
			(C)	3時間4分	640 GB*	
			(D)			

* 動画画質が[Apple ProRes RAW HQ]または[Apple ProRes RAW]のときは、記録を停止します。



- 動画撮影中にバッテリーやカードの残量が少なくなると、タリーランプが長い間隔で点滅します。バッテリーやカードの残量がなくなると、動画撮影を停止し、タリーランプが短い間隔で点滅します。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- レンズの動作音(AFや手ブレ補正)が動画に記録される場合があります。
- 撮影終了時の動画記録ボタンやサブ動画記録ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニュー(画像の編集)の[動画分割]で動画の終わりの部分を分割する
 - シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使って撮影する
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがありますが、異常ではありません。
- 対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- 以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
- **高温表示について**

カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。



- 動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定できます：
(→ [動画撮影時の制限緩和: 622](#))
- 撮影画面の表示を、[M]モードと同じように動画撮影に適したものに切り換えることができます：
(→ [動画優先表示: 606](#))
- タリーランプの点灯/消灯を設定できます。タリーランプの明るさを変更することもできます：
(→ [タリーランプ: 608](#))
- 撮影画面に動画記録中であることを示す赤色の枠を表示できます：
(→ [動画記録中の赤枠表示: 606](#))

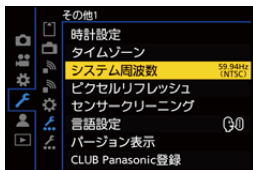
システム周波数



本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。

初期設定では、お買い上げの地域のテレビ放送方式に合ったシステム周波数が設定されています。

MENU/SET → [**設定**] → [**システム周波数**] を選ぶ



59.94Hz(NTSC)

放送方式がNTSCの地域向けのシステム周波数

50.00Hz(PAL)

放送方式がPALの地域向けのシステム周波数

24.00Hz(CINEMA)

映画制作用のシステム周波数



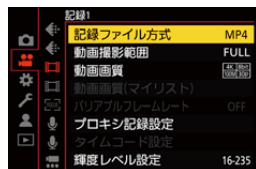
- 設定変更後は、カメラの電源を入れ直してください。
- お住まいの地域の放送方式と異なるシステム周波数で記録すると、テレビで動画を正常に再生できない場合があります。放送方式に詳しくない方や、映画用の動画制作をしない方は、お買い上げ時の設定で使用することをお勧めします。
- 設定を変更したあとは、別のカードに入れ替え、本機でフォーマットすることをお勧めします。
- [システム周波数]の設定は、撮影時と再生時で同じ設定にしてください。

記録ファイル方式



撮影する動画の記録ファイル方式を設定します。

MENU / **SET** → [] → [] → [記録ファイル方式] を選ぶ



MP4

パソコンでの再生に適したデータ形式です。

MOV

映像編集に適したデータ形式です。

Apple ProRes

Apple ProRes コーデックで記録します。映像編集に適したデータ形式です。

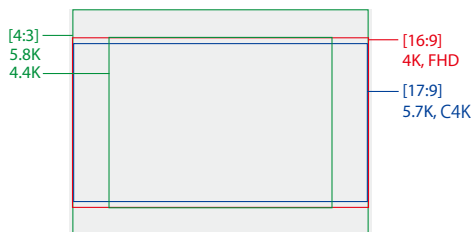


- 以下の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
 - ビットレートが800 Mbps以上の[MOV]の動画
 - 解像度がFHD以外の[Apple ProRes]の動画
 - 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のバリアブルフレームレート動画

動画画質

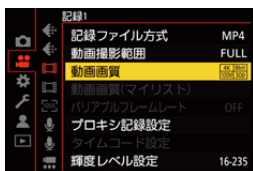


撮影する動画の画質を設定します。選択できる画質は、撮影モード、[システム周波数]、[記録ファイル方式]の設定によって異なります。[動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。[動画画質]の設定には、条件に合う項目だけを表示する[絞り込み](→[絞り込み: 151](#))や、よく使う動画画質を登録する[マイリスト登録](→[マイリスト登録: 152](#))も利用できます。



- 上記は使用できる動画画質の一部です。

MENU/SET → [カメラ] → [動画] → [動画画質] を選ぶ



- ビットレートが72 Mbps以上の動画を撮影するには、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。
- ビットレートが800 Mbps以上の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードをお使いください。
- 解像度がFHD以外の[Apple ProRes]の動画はSDカードに記録できません。CFexpressカードをお使いください。
- 使用できるカードについて(→ [本機で使用できるSDカード: 35](#))

❖ 記録ファイル方式:[MP4]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [10bit]の動画画質: 4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [8bit]の動画画質: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: AAC(2ch)

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(**HEVC**: H.265/HEVC、**AVC**: H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/60p	✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	100	HEVC
4K/10bit/72M/30p	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	72	HEVC
4K/8bit/100M/30p	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/10bit/72M/24p	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	72	HEVC
4K/8bit/100M/24p	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/8bit/28M/60p	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	28	AVC
FHD/8bit/20M/30p	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	20	AVC
FHD/8bit/24M/24p	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	24	AVC

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/50p	✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	100	HEVC
4K/10bit/72M/25p	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	72	HEVC
4K/8bit/100M/25p	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/8bit/28M/50p	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	28	AVC
FHD/8bit/20M/25p	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	20	AVC

❖ 記録ファイル方式:[MOV]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [422/10-I]の動画画質: 4:2:2、10 bit、ALL-Intra
 - [422/10-L]の動画画質: 4:2:2、10 bit、Long GOP
 - [420/10-L]の動画画質: 4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [420/8-L]の動画画質: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット:LPCM(2ch/4ch)
 XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)接続時、[4chオーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。

⊞M:クリエイティブ動画モード時にだけ設定できます。

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(HEVC:H.265/HEVC、AVC:H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]								
動画画質	⊞M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.8K/30p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	29.97p	200	HEVC
5.8K/24p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	23.98p	200	HEVC
5.7K/60p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	59.94p	300	HEVC
5.7K/48p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	47.95p	300	HEVC
5.7K/30p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	200	HEVC
5.7K/24p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	200	HEVC
4.4K/60p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	59.94p	300	HEVC
4.4K/48p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	47.95p	300	HEVC

C4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	119.88p	300	HEVC
C4K/60p/422/10-I(H) [*]		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	800	AVC
C4K/60p/422/10-I(L) [*]		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	600	AVC
C4K/60p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	AVC
C4K/60p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	HEVC
C4K/60p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	150	AVC
C4K/48p/422/10-I(H) [*]		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	800	AVC
C4K/48p/422/10-I(L) [*]		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	600	AVC
C4K/48p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	AVC
C4K/48p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	HEVC
C4K/30p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	400	AVC
C4K/30p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	AVC
C4K/30p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	HEVC
C4K/30p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	100	AVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	HEVC
C4K/24p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	100	AVC
4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	119.88p	300	HEVC
4K/60p/422/10-I(H) [*]		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	800	AVC
4K/60p/422/10-I(L) [*]		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	600	AVC
4K/60p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	AVC
4K/60p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	HEVC
4K/60p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	150	AVC
4K/48p/422/10-I(H) [*]		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	800	AVC
4K/48p/422/10-I(L) [*]		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	600	AVC
4K/48p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	AVC
4K/48p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	HEVC
4K/30p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	400	AVC
4K/30p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	AVC
4K/30p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	HEVC
4K/30p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC

4K/24p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	HEVC
4K/24p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/240p/422/10-I	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	800	AVC
FHD/240p/422/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	200	AVC
FHD/240p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	200	HEVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	150	HEVC
FHD/60p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	200	AVC
FHD/60p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	AVC
FHD/60p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	HEVC
FHD/60p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	50	AVC
FHD/60i/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	100	AVC
FHD/60i/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	50	AVC
FHD/48p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	200	AVC
FHD/48p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	AVC
FHD/48p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	HEVC
FHD/30p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	200	AVC
FHD/30p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	AVC
FHD/30p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	HEVC
FHD/30p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	25	AVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	HEVC
FHD/24p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	25	AVC

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]								
動画画質	M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.8K/25p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	25.00p	200	HEVC
5.7K/50p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	50.00p	300	HEVC
5.7K/25p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	200	HEVC
4.4K/50p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	50.00p	300	HEVC
C4K/100p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	100.00p	300	HEVC
C4K/50p/422/10-I(H)*		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	800	AVC
C4K/50p/422/10-I(L)*		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	600	AVC
C4K/50p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	AVC
C4K/50p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	HEVC
C4K/50p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	150	AVC
C4K/25p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	400	AVC
C4K/25p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	AVC
C4K/25p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	HEVC
C4K/25p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	100	AVC
4K/100p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	100.00p	300	HEVC
4K/50p/422/10-I(H)*		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	800	AVC
4K/50p/422/10-I(L)*		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	600	AVC
4K/50p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	AVC
4K/50p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	HEVC
4K/50p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	150	AVC
4K/25p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	400	AVC
4K/25p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	AVC
4K/25p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	HEVC
4K/25p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC

FHD/200p/422/10-I	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	800	AVC
FHD/200p/422/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	200	AVC
FHD/200p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	200	HEVC
FHD/100p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	400	AVC
FHD/100p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	150	AVC
FHD/100p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	150	HEVC
FHD/50p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	200	AVC
FHD/50p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	AVC
FHD/50p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	HEVC
FHD/50p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	50	AVC
FHD/50i/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	100	AVC
FHD/50i/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	50	AVC
FHD/25p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	200	AVC
FHD/25p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/25p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	HEVC
FHD/25p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	25	AVC

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]								
動画画質	4K/8K	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.8K/24p/420/10-L	✓	✓		5760×4320	4:3	24.00p	200	HEVC
5.7K/48p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	48.00p	300	HEVC
5.7K/24p/420/10-L	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	200	HEVC
4.4K/48p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	48.00p	300	HEVC
C4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	120.00p	300	HEVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	HEVC
C4K/24p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	100	AVC
4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	120.00p	300	HEVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	HEVC
4K/24p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	150	HEVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	HEVC
FHD/24p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	25	AVC

* [動画画質]の[(H)]はビットレートが800 Mbps、[(L)]は600 Mbpsを示します。[(H)]の動画はSDカードに記録できません。

❖ 記録ファイル方式:[Apple ProRes]

• 音声フォーマット:LPCM(2ch/4ch)

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)接続時、[4ch オーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。

📷M:クリエイティブ動画モード時にだけ設定できます。

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート

(C) ビデオ圧縮方式(**RAW HQ**: Apple ProRes RAW HQ、**RAW**: Apple ProRes RAW、**422 HQ**: Apple ProRes 422 HQ、**422**: Apple ProRes 422)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	📷M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.7K/30p/RAW HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	4.2 Gbps	RAW HQ
5.7K/30p/RAW	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	2.8 Gbps	RAW
5.7K/30p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	1.9 Gbps	422 HQ
5.7K/30p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	29.97p	1.3 Gbps	422
5.7K/24p/RAW HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	3.3 Gbps	RAW HQ
5.7K/24p/RAW	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	2.2 Gbps	RAW
5.7K/24p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	1.5 Gbps	422 HQ
5.7K/24p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	23.98p	1.0 Gbps	422
C4K/60p/RAW HQ	✓		✓	4096×2160	17:9	59.94p	4.2 Gbps	RAW HQ
C4K/60p/RAW	✓		✓	4096×2160	17:9	59.94p	2.8 Gbps	RAW
C4K/60p/422 HQ		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	1.9 Gbps	422 HQ
C4K/60p/422		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	1.3 Gbps	422
C4K/30p/RAW HQ	✓		✓	4096×2160	17:9	29.97p	2.1 Gbps	RAW HQ
C4K/30p/RAW	✓		✓	4096×2160	17:9	29.97p	1.4 Gbps	RAW
C4K/30p/422 HQ		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	972 Mbps	422 HQ
C4K/30p/422		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	648 Mbps	422

C4K/24p/RAW HQ	✓		✓	4096×2160	17:9	23.98p	1.7 Gbps	RAW HQ
C4K/24p/RAW	✓		✓	4096×2160	17:9	23.98p	1.1 Gbps	RAW
C4K/24p/422 HQ		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	778 Mbps	422 HQ
C4K/24p/422		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	519 Mbps	422
FHD/60p/422 HQ		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	454 Mbps	422 HQ
FHD/60p/422		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	302 Mbps	422
FHD/30p/422 HQ		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	227 Mbps	422 HQ
FHD/30p/422		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	151 Mbps	422
FHD/24p/422 HQ		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	181 Mbps	422 HQ
FHD/24p/422		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	121 Mbps	422

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]								
動画画質		動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.7K/25p/RAW HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	3.5 Gbps	RAW HQ
5.7K/25p/RAW	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	2.3 Gbps	RAW
5.7K/25p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	1.6 Gbps	422 HQ
5.7K/25p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	25.00p	1.1 Gbps	422
C4K/50p/RAW HQ	✓		✓	4096×2160	17:9	50.00p	3.5 Gbps	RAW HQ
C4K/50p/RAW	✓		✓	4096×2160	17:9	50.00p	2.4 Gbps	RAW
C4K/50p/422 HQ		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	1.6 Gbps	422 HQ
C4K/50p/422		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	1.1 Gbps	422
C4K/25p/RAW HQ	✓		✓	4096×2160	17:9	25.00p	1.8 Gbps	RAW HQ
C4K/25p/RAW	✓		✓	4096×2160	17:9	25.00p	1.2 Gbps	RAW
C4K/25p/422 HQ		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	811 Mbps	422 HQ
C4K/25p/422		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	541 Mbps	422
FHD/50p/422 HQ		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	378 Mbps	422 HQ
FHD/50p/422		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	252 Mbps	422
FHD/25p/422 HQ		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	189 Mbps	422 HQ
FHD/25p/422		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	126 Mbps	422

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]								
動画画質	M	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.7K/24p/RAW HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	3.3 Gbps	RAW HQ
5.7K/24p/RAW	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	2.2 Gbps	RAW
5.7K/24p/422 HQ	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	1.5 Gbps	422 HQ
5.7K/24p/422	✓	✓		5728×3024	17:9	24.00p	1.0 Gbps	422
C4K/24p/RAW HQ	✓		✓	4096×2160	17:9	24.00p	1.7 Gbps	RAW HQ
C4K/24p/RAW	✓		✓	4096×2160	17:9	24.00p	1.1 Gbps	RAW
C4K/24p/422 HQ		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	779 Mbps	422 HQ
C4K/24p/422		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	519 Mbps	422
FHD/24p/422 HQ		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	182 Mbps	422 HQ
FHD/24p/422		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	121 Mbps	422

• 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。

- 5.8K(5760×4320)の動画:**5.8K動画**
- 5.7K(5728×3024)の動画:**5.7K動画**
- 4.4K(4352×3264)の動画:**4.4K動画**
- C4K(4096×2160)の動画:**C4K動画**
- 4K(3840×2160)の動画:**4K動画**
- フルハイビジョン(1920×1080)の動画:**FHD動画**



- 本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、動画記録時間は短くなります。
- ALL-Intraの動画や4:2:2、10 bitの動画、[記録ファイル方式]が[Apple ProRes]の動画は、映像制作用のパソコン編集を前提とした動画です。





- [システム周波数]、[記録ファイル方式]、[動画撮影範囲]、[動画画質]の設定の組み合わせをマイリストに登録できます。(→ [マイリスト登録: 152](#))

❖ 絞り込み

[記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、フレームレート、画素数(解像度)、圧縮形式(YUV、ビット数、映像圧縮)などを指定して、条件に合う動画画質だけを表示できます。

- 1 [動画画質]の設定画面で[DISP.]ボタンを押す



- 2 ▲▼で項目を選び、**MENU/SET** または  を押す
 - 設定: [フレームレート] / [画素数] / [圧縮形式] / [バリエャブルフレームレート] / [ハイブリッドログガンマ] / [プロキシ記録]
- 3 ▲▼で絞り込む条件を選び、**MENU/SET** または  を押す
- 4 [DISP.]ボタンを押して決定する
 - [動画画質]の設定画面に戻ります。

絞り込みの解除方法

手順3で、[すべて]を選ぶ

- 以下の操作をした場合も、絞り込みが解除されます。
 - [記録ファイル方式]の変更
 - [システム周波数]の変更
 - [動画画質(マイリスト)]から動画画質を選択



- 絞り込みを使って動画画質を変更すると、現在の絞り込み条件を記憶します。

❖ マイリスト登録

動画画質を選んでマイリストに登録します。登録した動画画質は[動画画質(マイリスト)]から設定できます。

[動画画質]の設定画面で[Q]ボタンを押す

- 以下の設定も同時に登録されます。
 - [システム周波数]
 - [記録ファイル方式]
 - [動画撮影範囲]



マイリストから設定する、消去する

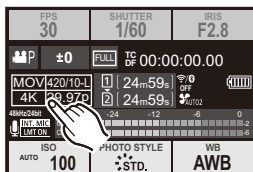
- 1 [動画画質(マイリスト)]を選ぶ
 - ⇒ ⇒ ⇒ [動画画質(マイリスト)]
- 2 ▲▼で項目を選び、 または を押す
 - システム周波数の異なる設定項目は選択できません。
 - マイリストから消去するには、項目を選んで[Q]ボタンを押してください。

コントロールパネルから設定する

[M]モード時、または[動画優先表示]設定時、コントロールパネルから、動画画質のマイリストを表示できます。

動画画質の項目をタッチする

- マイリストに登録済みの場合は、[動画画質(マイリスト)]の設定画面が表示されます。未登録の場合は、[動画画質]の設定画面が表示されます。
- [DISP]ボタンを押すごとに、[動画画質(マイリスト)]と[動画画質]が切り換わりま
- す。
- 次に設定画面を表示するときは、最後に使用した画面が表示されます。



- 登録できる動画画質は12種類までです。

RAW 動画記録



高ビットレートのRAW動画(ProRes RAW HQ / ProRes RAW形式)をカメラ内で記録します。(SDカードには記録できません)

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [記録ファイル方式]を[Apple ProRes]に設定する

- → → → [記録ファイル方式] → [Apple ProRes]

3 RAW動画を記録できる動画画質に設定する

- → → → [動画画質]
- [Apple ProRes RAW HQ]または[Apple ProRes RAW]の動画画質を選び、 または を押します。







• RAW動画について

RAW動画とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。本機以外でRAW動画を再生・編集するには、対応したソフトウェアが必要です。



- 動画RAW記録時は、以下のように動作します。
 - ISO感度は500～12800の範囲で設定できます。[拡張ISO感度]設定時は125～12800の範囲で設定できます。
 - ホワイトバランスの[AWB]や[AWBc]、[AWBw]、[ - [フォトスタイル]は[V-Log]に固定され、画質調整できません。
 - AFモードの[ - [Logビューアシスト]で使用するLUTは[Vlog_709]に固定されます。
- RAW動画記録時は、以下の機能は使用できません。
 - [マスターペダスタル]
 - [iダイナミックレンジ]
 - [周辺光量補正]
 - [回折補正]
 - [フィルター設定]
 - [バリエアブルフレームレート]
 - [輝度レベル設定]
 - [手ブレ補正]の[電子手ブレ補正(動画)]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [ライブクロープ]
 - [色空間]
 - [カラーバー]
 - [ダブルスロット機能]
- 対応するソフトウェアでは、V-Log/V-Gamut変換だけをサポートしています。

プロキシ記録



動画撮影時に、低ビットレートのプロキシ動画を同時に記録できます。容量が小さいため、クラウドなどへのデータ送信に適しています。また、編集時にはパソコンの負荷を軽減できます。

1 [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- **MENU/SET** → [] → [] → [記録ファイル方式]

2 プロキシ動画を撮影できる動画画質を選ぶ

- **MENU/SET** → [] → [] → [動画画質]
- プロキシ動画を撮影できる項目には、[プロキシ可能]と表示されます。



3 プロキシ記録を設定する

- [MENU/SET] → [人] → [映像] → [プロキシ記録設定] → [プロキシ記録] → [ON]






- [動画画質]で設定したオリジナル動画をカードスロット1に記録し、プロキシ動画をカードスロット2に記録します。
- オリジナル動画には[■], プロキシ動画には[□Px]が、再生時に表示されます。



- プロキシ動画の記録先を変更することはできません。
- いずれかの記録先にカードが入っていないときは[プロキシ記録]は使用できません。
- [USB-SSD]が[ON]のときは外付けSSDにオリジナル動画が記録されます。プロキシ動画を再生するには、[USB-SSD]を[OFF]にしてください。
- 撮影開始後、カードの容量不足などでオリジナル動画の撮影が停止すると、[プロキシ記録]も停止します。先にプロキシ動画の撮影が停止した場合は、オリジナル動画の撮影を継続します。
- 以下の記録メディアの組み合わせでは、[プロキシ記録]は使用できません。
 - SD / SDHCメモリーカードと、CFexpressカード
 - SD / SDHCメモリーカードと、外付けSSD
- 以下の機能を使用中は、[プロキシ記録]は使用できません。
 - [記録ファイル方式]の[MP4]
 - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
 - 横縦比が[4:3]または[3:2]の[動画画質]
 - 記録フレームレートが[59.94i]または[50.00i]の[動画画質]
 - ハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [HDMI RAW データ出力]
 - [ストリーミング]
- プロキシ動画記録中は、以下の機能は使用できません。
 - Fnボタンの[フォトスタイル]、[LUT適用]、[リアルタイムLUT]

❖ プロキシ画質を設定する

 →  →  → [プロキシ記録設定] → [プロキシ画質] を選ぶ

(A) ビデオ圧縮方式 (HEVC:H.265/HEVC、AVC:H.264/MPEG-4 AVC)

プロキシ画質	解像度	YUV、ビット数	ビットレート(Mbps)					(A)
			60p	50p	30p	25p	24p	
H	1980×1080	4:2:0 10bit	16	16	12	12	12	HEVC
M	1980×1080	4:2:0 10bit	9	9	6	6	6	HEVC
L	1280×720	4:2:0 8bit	6	6	4	4	4	AVC

- ビットレート(Mbps)は映像だけの数値です。記録する音声によって変動します。
- フレームレートはオリジナル動画と同じです。
- 横縦比は[16:9]に固定されます。オリジナル動画が[17:9]のときは、画面の上下に黒い帯が表示されます。
- 音声はLPCM、48 kHz/16 bitに固定されます。チャンネル数はオリジナル動画と同じです。
- [フォトスタイル]が[ARRI LogC3]のときは[プロキシ画質]の[L]は使えません。

❖ プロキシ動画の保存先




プロキシ動画は、カードスロット2の [xxx_PRXY] フォルダに保存されます。

[動画ファイル名]が[シネスタイル]のときは、オリジナル動画が保存されるフォルダと同じフォルダ番号で末尾を“S”に変更したフォルダをカードスロット2に作成して保存します。

- プロキシ動画のファイル名はオリジナル動画と同じです。

❖ プロキシ動画にLUTファイルを設定する

[フォトスタイル]が[リアルタイムLUT]またはマイフォトスタイルのときに設定できます。

 →  →  → [プロキシ記録設定] → [リアルタイムLUT (プロキシ)]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [フォトスタイル]の[リアルタイムLUT]またはマイフォトスタイルでLUTを適用しているときは[ON]に固定されます。



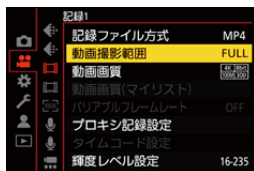
- 以下の機能を使用中は、プロキシ動画だけにLUTを適用することはできません。
 - [クロップズーム(動画)]
 - [ライブクロップ]

動画撮影範囲



動画撮影時の撮影範囲を設定します。撮影範囲によって画角も変わります。撮影範囲を狭くすると、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。

MENU/SET → **[動画]** → **[映画]** → **[動画撮影範囲]** を選ぶ



FULL

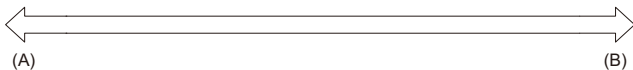
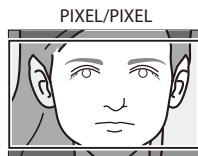
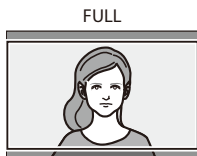
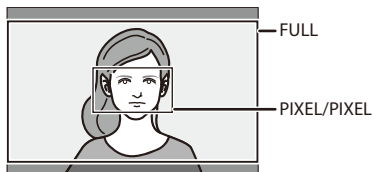
マイクロフォーサーズ用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。

PIXEL/PIXEL

センサーの1ピクセルを動画の1ピクセルにして記録します。[動画画質](→ [動画画質: 137](#))の解像度に応じた範囲で撮影します。

- [動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。
(→ [動画画質: 137](#))

撮影範囲(例:FHD動画)



(A) 画角: 広い / 望遠効果: なし

(B) 画角: 狭い / 望遠効果: あり

フォーカス／ズーム

撮影状況や被写体に適したフォーカスモードとAFモードを選ぶと、より快適なピント合わせができます。

- 本機は、位相差AFとコントラストAFに対応しています。

- [フォーカスモードの選択: 164](#)
- [AFを使う: 166](#)
- [AFモードの選択: 181](#)
- [AFエリアの操作: 197](#)
- [MFで撮る: 206](#)
- [ズームを使って撮る: 212](#)

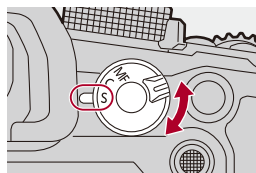
フォーカスモードの選択



被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択できます。

[AFC]ではAF追尾動作の特性をカスタマイズすることも可能です。(→[AFカスタム設定\(写真\): 172](#))

フォーカスモードレバーを合わせる



S(AFS)

静止している被写体の撮影に適しています。

シャッターボタンを半押しすると、1回だけピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間はピントが固定されます。

C(AFC)

動いている被写体の撮影に適しています。

シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。

- 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。(動体予測)

MF

手でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、AFを働かせたくない場合に使います。(→[MFで撮る: 206](#))



- 以下の場合にシャッターボタンを半押しすると、[AFC]は[AFS]と同じ動作をします。
 - [M]モード
 - 動画撮影中
 - 低照度時
- 以下の機能を使用中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
 - ハイレゾモード

AFを使う

- AFポイントスコープ: 170
- AFカスタム設定(写真): 172
- フォーカスリミッター: 174
- AF補助光: 176
- フォーカス枠の移動速度: 177
- AF微調整: 178



AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

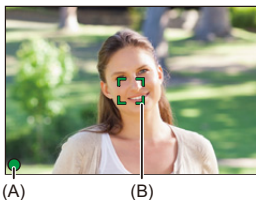
- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 164](#))

2 AFモードを選ぶ

- [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示し、 または で決定します。(→ [AFモードの選択: 181](#))
- [iA]モードでは、 を押すごとに と が切り換わります。(→ [AFモード: 110](#))

3 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。



	ピント	
	合っている	合っていない
フォーカスアイコン(A)	点灯	点滅
AFエリア(B)	緑	赤
合焦音	ピピッ	—

低照度AF

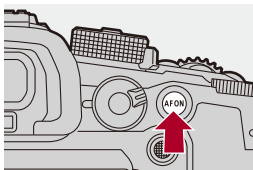
- 暗い環境では低照度AFが自動で働き、フォーカスアイコンが[●^{LOW}]と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空AF

- 低照度AFと判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空AFが働きます。ピントが合うとフォーカスアイコンが[●^{STAR}]と表示され、ピントが合った場所にAFエリアが表示されます。
- 画面の端では、星空AFの検知ができません。

❖ [AF ON]ボタン

[AF ON]ボタンを押してもAFが働きます。





• **AFでピントが合いにくい被写体や撮影環境**

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい被写体
- 濃淡のない被写体
- ガラス越しにある被写体
- 光るものの近くにある被写体
- 非常に暗い場所にある被写体
- 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき






- [AFC]で撮影中に以下の操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
 - W端からT端にズームする
 - 被写体を遠くから近くに急に変える
- ピントを合わせたあとにズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。



- AFの作動範囲を制限できます：
(→ [フォーカスリミッター: 174](#))
- カメラのブレが小さくなると自動でピントを合わせる設定ができます：
(→ [クイックAF: 584](#))
- シャッターボタン半押し時にAFが働かないように設定を変更できます：
(→ [シャッター半押しリリース: 583](#))
- 合焦音の音量や音色を変更できます：
(→ [電子音: 625](#))
- 近くの被写体を優先してAFが動くようにする機能をFnボタンに登録できます。誤ってピントが背景に合ってしまうときに便利な機能です：
(→ [AF-ON:近側: 551](#))
- 遠くの被写体を優先してAFが動くようにする機能をFnボタンに登録できます。柵やネット越しに撮影するときに便利な機能です：
(→ [AF-ON:遠側: 551](#))

AFポイントスコープ

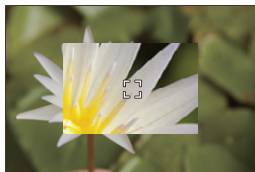





AFモードが[], [], []のときに、ピント位置を拡大表示します。(それ以外のAFモードでは、画面中央が拡大表示されます)

ピントを確認したり、望遠鏡のように被写体を観察したりできます。

- 1 Fnボタンに[AFポイントスコープ]を登録する(→Fnボタン: 545)
- 2 拡大表示する

- 手順1で設定したFnボタンを押したままにします。
- 押している間、ピント位置が拡大表示されます。



- 拡大表示中にシャッターボタンを半押しすると、中央の小さなAFエリアでピントを合わせ直します。
- 拡大表示中に  または  を回して、拡大倍率を調整できます。
-  を使うとより細かく調整できます。



- 拡大表示中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
- 以下の機能を使用中は、AFポイントスコープは働きません。
 - 動画撮影、SH連写



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
(→ [AFポイントスコープ設定: 583](#))

AFカスタム設定(写真)



[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。

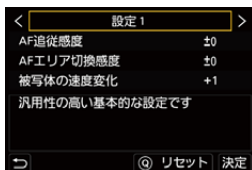
各特性は、さらに詳細なカスタマイズができます。

1 フォーカスモードを[AFC]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 164](#))

2 [AFカスタム設定(写真)]を設定する

- → [📷] → [FOCUS] → [AFカスタム設定(写真)]



設定1

汎用性の高い基本的な設定

設定2

被写体が一定方向に等速で進むシーンに適した設定



設定3

被写体が前後左右に動き、障害物が入りやすいシーンに適した設定

設定4

被写体の速度変化が大きいシーンに適した設定

❖ AFカスタム設定の調整

- 1 ◀▶ でAFカスタム設定の種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する
 - [DISP.] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。
 - 初期設定に戻すには、[Q] ボタンを押してください。
- 3  または  を押す

AF 追従感度	被写体の動きに追従する感度を設定します。	
	+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
	-	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合でも、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。
AF エリア切換感度	被写体の動きに合わせて AF エリアを切り換える感度を設定します。(AF モードをフルエリアに設定しているとき)	
	+	被写体が AF エリアから外れたとき、すぐに AF エリアを切り換え、ピントを合わせ続けます。
	-	AF エリアを緩やかに切り換えます。被写体の僅かな動きやカメラの前の障害物からの影響を受けにくくします。
被写体の速度変化	被写体の動きの速度変化に対して、追従する方式を設定します。	
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定値を大きくするほど、急な被写体の動きでも、ピントを合わせようとします。ただし、僅かな動きの影響を受けやすく、ピントが不安定になることがあります。 	
	0	速度変化の少ない被写体に適しています。
	+1	被写体の速度が変化する被写体に適しています。
+2		

フォーカスリミッター



AFの作動範囲を制限できます。

AFの作動範囲を制限すると、AFの合焦スピードが速くなります。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 164](#))

2 [フォーカスリミッター]を設定する

- → / → → [フォーカスリミッター]

ON

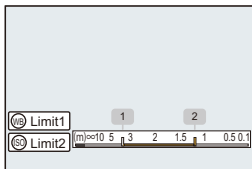
下記の設定を有効にします。

OFF

下記の設定を無効にします。

設定

- MF(→MFで撮る: 206)と同じ操作でピントを確認し、[WB]または[ISO]を押してAFの作動範囲を設定する
 - [Limit1]／[Limit2]をタッチしても設定できます。
 - [Limit1]／[Limit2]はどちらからでも設定できます。



- [DISP.]ボタンを押すと、作動範囲を初期設定に戻します。



- フォーカスリングまたはフォーカスレバーのあるレンズ使用時に設定できます。
- レンズのフォーカススイッチで作動範囲を制限しているときは設定できません。
- レンズを交換すると設定値はリセットされます。
- [フォーカスリミッター]作動中は[AfS]／[AfC]が画面に表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フォーカスリミッター]は動きません。
 - [AF+MF]

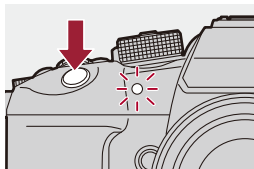
AF補助光



暗い場所で撮影するときにはシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。

→ / → → **[AF補助光]** を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]







- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
 - 交換レンズ(H-ES12060)使用、W端時:約1.0 m～約3.5 m
- レンズフードは外してください。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、ピントが合いにくい場合があります。

フォーカス枠の移動速度



AFエリア／MFアシストを移動させるときの速度を設定します。

 ⇒  /  ⇒  ⇒ **[フォーカス枠の移動速度]**を選ぶ

設定: [高速] / [標準]

AF微調整

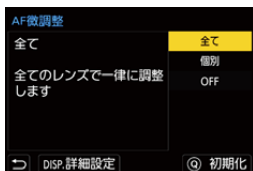


位相差AFでピントを合わせるときのピント位置を微調整します。



- 通常はピント位置を調整する必要はありません。必要な場合だけ調整してください。正常なレンズを調整すると、ピントが合わなくなる場合があります。

MENU SET → [設定] → [AF微調整] → [AF微調整]を選ぶ



全て

すべてのレンズで一律に調整します。[個別]で登録していないレンズ装着時などに使用します。



個別

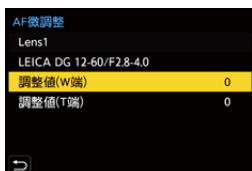
レンズごとに調整し、調整値をカメラに登録します。登録済みのレンズを装着し、[個別]に設定すると調整値が呼び出されます。






- ズームレンズをお使いの場合、W端とT端のピント位置をそれぞれ調整できます。
- すでに登録済みのレンズの場合は、調整値を上書きします。

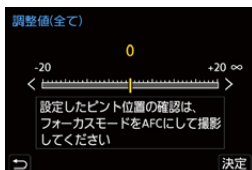
OFF

❖ 調整値の登録

- 1 [全て]または[個別]を選び、[DISP.]ボタンを押す
- 2 ([個別]選択時)レンズを登録する
 - [DISP.]ボタンを押し、[はい]を選んで登録します。
 - すでに登録済みのレンズの場合は、手順**3**の画面に進みます。
- 3 ([個別]選択時)[調整値(W端)]または[調整値(T端)]を選ぶ
 - ▲▼で選択し、 または  を押します。
 - 単焦点レンズをお使いの場合は、[調整値]が表示されます。



- 4 ピント位置を調整する
 - ◀▶でピント位置を調整し、 または  を押します。
 - 、 または  を回しても調整できます。
 - [+]側に調整するとピント位置を奥側に合わせます。[-]側に調整するとピント位置を手前側に合わせます。



- 5 撮影し、ピント位置が合うまで手順**4**を繰り返す
 - 設定したピント位置は、[フォーカス/リリース優先]の[AFC]を[フォーカス]に設定し、フォーカスモードを[AFC]にして撮影した画像で確認してください。
(→ [フォーカス/リリース優先: 580](#))



- 実際に撮影する環境での調整をお勧めします。
- 調整するときは三脚の使用をお勧めします。



- [個別]に登録できるレンズは最大40本です。上限を超えると、登録済みのレンズ情報を上書きして登録できます。
- [個別]調整時にテレコンバーターを使用している場合は、「レンズ+テレコンバーター」の組み合わせで登録されます。
- [全て]ではW端とT端のピント位置をそれぞれ調整することはできません。
- [個別]に登録する登録番号とレンズ名は自動で入力され、変更はできません。

❖ 初期化

登録したレンズ情報と調整値を初期化します。

- 1 [全て]または[個別]を選び、[Q]ボタンを押す
- 2 [はい]を選び、初期化を実行する



- [全て]／[個別]の選択にかかわらず、[AF微調整]に登録したすべてのレンズ情報と調整値を初期化します。

AFモードの選択

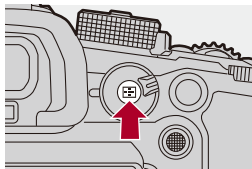
- 自動認識: 184
- 追尾: 188
- フルエリア: 189
- ゾーン(横・縦)/ゾーン: 191
- 1点+補助/1点: 193
- ピンポイント: 195



被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。ピンポイント以外のAFモードでは、被写体を認識して、自動でピントを合わせることもできます。

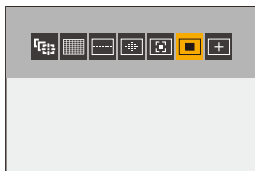
1 [AF]ボタンを押す

- AFモードの選択画面が表示されます。




2 AFモードを選ぶ

- ◀▶で項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- [] ボタンを押しても選択できます。




 追尾

(→ [追尾: 188](#))

 フルエリア

(→ [フルエリア: 189](#))

 ゾーン(横・縦)

(→ [ゾーン\(横・縦\): 191](#))

 ゾーン

(→ [ゾーン: 192](#))

 1点+補助

(→ [1点+補助: 193](#))

 1点

(→ [1点: 193](#))

 ピンポイント

(→ [ピンポイント: 195](#))



- 以下の機能を使用中は、**[Fn]**は使用できません。
 - インターバル撮影
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- フォーカスモードを**[AFC]**に設定しているときは、**[+]**は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、**[Fn]**に固定されます。
 - [ライブクロップ]



- AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定できます：
(→ [AFモード表示の制限: 582](#))





自動認識

自動認識を有効にすると、対象となる被写体を自動で認識してピントを合わせます。



















- 設定どおりにすべての被写体を認識できるわけではありません。
- [自動認識の対象]([認識する被写体])が[動物]のとき、動物以外の被写体に対して動物認識する場合があります。

1 [自動認識設定]を[ON]にする

-  ⇒  /  ⇒  ⇒ [自動認識設定] ⇒ [ON]
- AFモードの選択画面で▲を押して、自動認識の[ON]/[OFF]を切り換えることもできます。

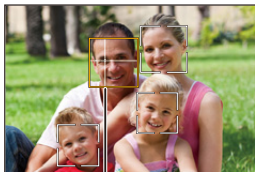
2 [自動認識の対象]を選ぶ

-  ⇒  /  ⇒  ⇒ [自動認識の対象]
- [認識する被写体]と[被写体の部位]を選択します。
- AFモード選択画面で[DISP.]ボタンを押して選択することもできます。

認識する 被写体	人物	人物を認識します。 [被写体の部位]を[瞳・顔・体]または[瞳・顔]から選択できます。 ● AFモードアイコンに  /  が表示されます。
	動物	動物を認識します。 [被写体の部位]を[体]または[瞳・体]から選択できます。 ● 認識できる動物は、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)です。 ● AFモードアイコンに  /  が表示されます。
	車	車(主にモータースポーツ)を認識します。 [被写体の部位]を[全体]または[主要部優先]から選択できます。 ● AFモードアイコンに  /  が表示されます。
	バイク	バイク(主にモータースポーツ)を認識します。 [被写体の部位]を[全体]または[ヘルメット優先]から選択できます。 ● AFモードアイコンに  /  が表示されます。
	列車	鉄道車両を認識します。 [被写体の部位]を[先頭車両]または[主要部優先]から選択できます。 ● AFモードアイコンに  /  が表示されます。
	飛行機	飛行機、ヘリコプターを認識します。 [被写体の部位]を[機体]または[機首優先]から選択できます。 ● AFモードアイコンに  /  が表示されます。
被写体の 部位	ピントを合わせる部位を選択します。 [認識する被写体]の設定によって、選択できる部位が異なります。	

❖ [■]のとき

対象となる被写体を認識すると、AFエリアが表示されます。複数の被写体を認識した場合は、AFエリアも複数表示され、その中からピントを合わせる被写体を選択できます。



(A)

黄色

ピントを合わせる対象のAFエリアです。カメラが自動で選びます。

- 人物の瞳を認識すると、AFエリア内に十字線を表示します。(A)

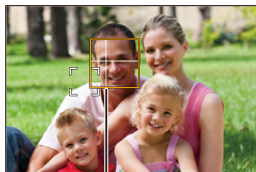
白色

複数の被写体を認識すると表示されます。

❖ [AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON] のとき

対象となる被写体がAFエリア内に一部でも入ると自動認識してピントを合わせます。

- AFエリア内で瞳を認識すると瞳認識(B)が働きます。ピントを合わせる瞳の切り換えはできません。



(B)



- [自動認識設定]は[+]を除くすべてのAFモードに適用されます。
- 人物の瞳を認識した場合、カメラに近い側の瞳にピントを合わせます。露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]に設定時)
- [自動認識の対象]によって、AFモードの[]で一度に認識できる被写体の数が異なります。
[人物]([瞳・顔・体]、[瞳・顔]):最大15(体の認識は最大3)
[動物]([体]、[車]、[バイク]、[列車]、[飛行機]):最大3
[動物]([瞳・体]):最大1
- カメラの設定によっては、自動認識が使用できない場合があります。



- 自動認識が働いたときに、自動露出の測光範囲が瞳・顔を優先しないようにできます:
(→ [マルチ測光時の顔優先: 577](#))
- 合焦時に人物の瞳の十字線を非表示にできます:
(→ [合焦時の人物瞳認識表示: 583](#))

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。




追尾を開始する

- AFエリアに被写体を入れて、シャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。
- 追尾に失敗したときは、AFエリアが赤色で点滅します。
- [AFS]のときは、AFエリアの位置でピントを合わせます。追尾は動きません。




- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 197](#))



- [AFM]モード時および動画撮影中は、シャッターボタンを離しても追尾を維持します。追尾を解除するには、 または  を押す、または  をタッチしてください。また、[AFS]でも追尾できます。



- 自動認識が働いているときは認識した被写体を追尾します。
- [測光モード]を[☉]にすると、露出も合わせ続けます。
- カメラの設定によっては、 が使用できない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、追尾は使用できません。
 - [プロキシ記録]と[Frame.io接続]の設定が[ON]のときに、HDMI出力中

フルエリア

カメラが最適なAFエリアを選んでピントを合わせます。

複数のAFエリアが選ばれるときは、選ばれたすべてのAFエリアでピントが合います。

フォーカスモードを[AFC]にしているときは、フルエリアのエリア内に被写体を入れて撮影すると、被写体にピントを合わせ続けることができます。

❖ ピントを合わせる被写体の指定

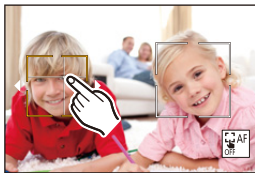
自動認識を[ON]にしているときは、複数の被写体が認識されます。

ピントを合わせたい被写体に白色のAFエリアが表示されているときに、黄色のAFエリアに変えることができます。

● タッチ操作


白色のAFエリアが表示されている被写体をタッチする

- AFエリアが黄色に変わります。
- 指定を解除するには、をタッチしてください。



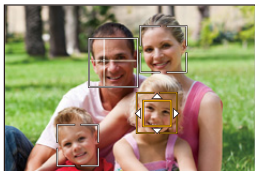
● ジョイスティック操作

ジョイスティックを▲▼◀▶に傾ける

- ▲▼◀▶に傾けるごとに、ピントを合わせる被写体が切り換わります。
- 指定を解除するには、を押してください。

● ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する



- 3 白色のAFエリアが黄色になったら、**MENU/SET**を押す
 - 指定を解除するには、**MENU/SET**を押してください。

❖ 任意の位置にAFエリアを設定する

[**□**]

のAFエリアを任意の位置に設定できます。

● タッチ操作

撮影画面の任意の位置をタッチして、[決定]をタッチする

- [**AF OFF**]をタッチすると、[**■**]に戻ります。

● ジョイスティック操作

ジョイスティックを長押しする

- 画面中央に[**□**]のAFエリアが設定されます。
- もう一度ジョイスティックを長押しするか、**MENU/SET**を押すと[**■**]に戻ります。

● ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動し、**MENU/SET**を押して決定する
 - もう一度**MENU/SET**を押すと[**■**]に戻ります。



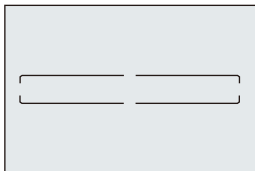
• 設定したAFエリアは、移動したり大きさを変更したりできます。(→AFエリアの操作: 197)

☰ ゾーン(横・縦) / ☰ ゾーン

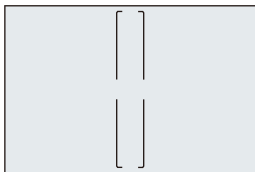
☰ ゾーン(横・縦)

フルエリアのうち、縦方向と横方向のゾーンでピント合わせができます。

横方向



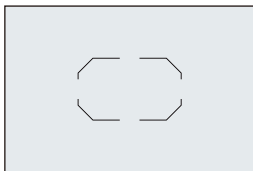
縦方向



- 横方向と縦方向を切り換えるには、AFエリア設定画面で▲▼◀▶を押してください。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 197](#))



ゾーン

フルエリアのうち、中央の楕円形ゾーンでピント合わせができます。




- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 197](#))




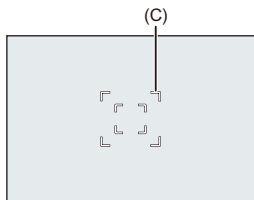
- 以下の場合、はに切り換わります：
 - 動画撮影中
 - モード時

 **1点+補助** /  **1点**

 **1点+補助**

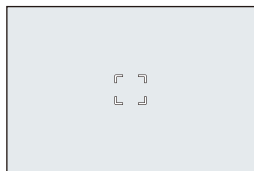
1点のAFエリア内で重点的にピントを合わせます。1点のAFエリアから被写体が外れた場合も、補助AFエリア(C)内でピントを合わせます。

- [] では追従が難しい、動きのある被写体を撮影するときに有効です。

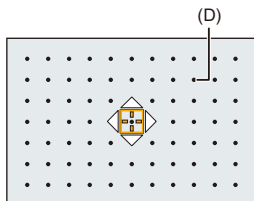


 **1点**

ピント位置を指定します。



1点のAFエリアを最小まで縮小すると、撮影画面にドット(D)が表示されます。ドットが表示されている位置にAFエリアを設定できます。



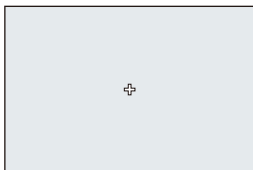
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 197](#))



- 以下の機能を使用中は、1点のAFエリアを最小まで縮小できません。
 - 動画撮影中
 - [M]モード時
 - [クロップズーム(写真)]



ピンポイント

小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するために画面が拡大表示されます。






- AFエリアを設定すると、拡大画面が表示されます。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 197](#))



- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、は使用できません。
- では、自動認識は働きません。




- 以下の機能を使用中は、がに切り換わります。
 - 動画撮影中
 - モード時

拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+]の移動 ・ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を拡大/縮小
		拡大表示の切り換え (画面の一部*1 / 画面全体*2) 
[DISP.]	[リセット]	拡大表示をやめる

*1 約3倍～6倍に拡大できます。

*2 約3倍～10倍に拡大できます。

- ・をタッチして写真を撮影できます。



- ・拡大画面の表示方法を変更できます：

(→ [ピンポイントAF設定: 582](#))

AFエリアの操作

- AFエリアの移動: 197
- AFエリアのサイズ変更: 200
- AFエリアのリセット: 201
- タッチした位置にピントと明るさを合わせる ([AF+AE]): 202
- タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 203
- 縦/横位置フォーカス切替: 205



AFエリアの移動

❖ タッチ操作

初期設定では、画面をタッチすると、タッチした位置にピントを合わせません。(→ [タッチ設定: 586](#))

撮影画面をタッチする

- AFエリアの設定画面が表示されます。
[決定]をタッチするか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されま
す。



- タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 202](#))
- タッチした位置にピントを合わせてシャッターを切ることができます。(→ [タッチAF/タッチシャッター: 113](#))

❖ ジョイスティック操作

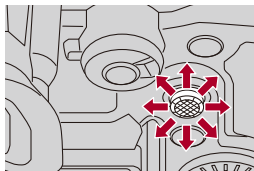
初期設定ではジョイスティックでAFエリアの操作ができます。(→ [ジョイスティック設定: 592](#))


撮影画面でジョイスティックを傾ける

- AFエリアの設定画面が表示されます。

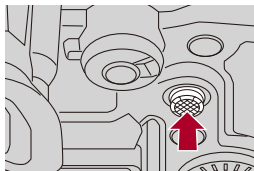


を押すか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されます。




-  を押し、AFエリアの位置を初期設定の位置と設定した位置で交互に切り換えます。


[+] では、拡大画面を表示します。



❖ ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
 - AFエリアの設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - を押すか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されます。



- [測光モード]が[]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。



- AFエリアのループ移動を設定できます：
(→ [フォーカス枠のループ移動: 584](#))
- AFエリア/MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [フォーカスエリア選択: 551](#))

AFエリアのサイズ変更

❖ タッチ操作

AFエリアの設定画面で、AFエリアをピンチアウト/ピンチインする

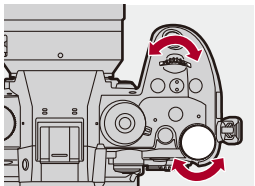
- [決定]をタッチするか、シャッターボタンを半押しして決定します。



❖ ダイヤル操作

☀️、☂️または⚙️を回す

- [MENU/SET]を押すか、シャッターボタンを半押しして決定します。



- [Fn], [Fn], [Fn]では、AFエリアの大きさは変更できません。

AFエリアのリセット

❖ タッチ操作

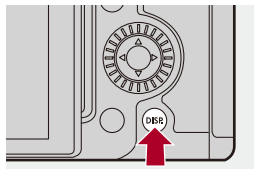
AFエリアの設定画面で[リセット]をタッチする

- 1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

❖ ボタン操作

AFエリアの設定画面で[DISP.]ボタンを押す

- 1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE])

1 [タッチAF]を設定する

- **MENU/SET** ⇒ **[設定]** ⇒ **[AF]** ⇒ [タッチ設定] ⇒ [タッチAF] ⇒ [AF+AE]

2 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所に**[AF]**と同じ働きのAFエリアが表示されます。AFエリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 197](#))






3 [決定]をタッチする

- 撮影画面で**[AF/ON AE]**(**[AF]**、**[ON AE]**設定時は**[ON AE]**)をタッチすると、**[AF+AE]**の設定が解除されます。

タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

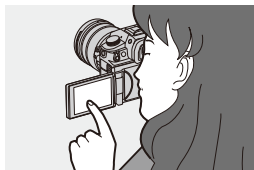
ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 [タッチパッドAF]を設定する

-  →  →  → [タッチ設定] → [タッチパッドAF] → [絶対位置] / [相対位置1] ~ [相対位置7]

2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。
- AFエリアの操作方法 (→ [AFエリアの操作: 197](#))



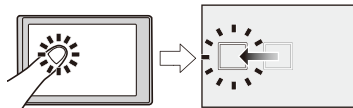
3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目(タッチパッドAF)

絶対位置

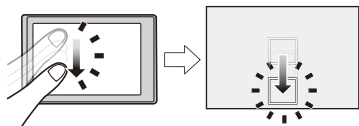
タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。



相対位置1(全域)／相対位置2(右半分)／相対位置3(右上)／相対位置4(右下)／相対位置5(左半分)／相対位置6(左上)／相対位置7(左下)

タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。

ドラッグ操作を検知する範囲を選択します。



OFF

縦/横位置フォーカス切換

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置は左右の2種類を記憶します。



MENU/SET → **[設定]** → **[AF]** → **[縦/横位置フォーカス切換]**を選ぶ

ON

縦位置と横位置を別々に記憶します。

OFF

縦位置と横位置を同じ設定にします。



- MF時は、MFアシストの位置を記憶します。

MFで撮る

- ピーキング: 211



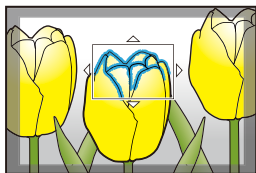
MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

1 フォーカスモードを[MF]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ [フォーカスモードの選択: 164](#))

2 ピント位置を選ぶ

- ジョイスティックを傾けてピント位置を選びます。
- ピント位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

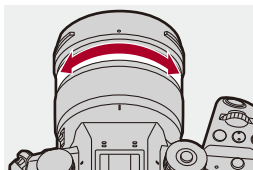


3 決定する

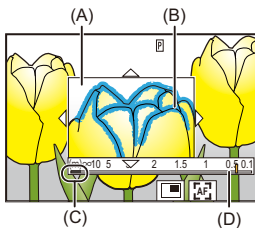
-  を押します。
- MFアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。

4 ピントを合わせる

- フォーカスリングを回します。




- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 撮影距離の目安が表示されます。(MFガイド)



- (A) MFアシスト(拡大画面)
(B) ピーキング
(C) ∞(無限)を示す目安
(D) MFガイド








5 MFアシスト画面を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
-  を押しても同じ操作ができます。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。


❖ MFアシスト画面での操作

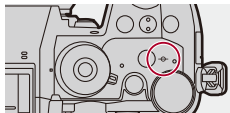
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ● ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を拡大/縮小
		拡大表示の切り換え (画面の一部 ^{*1} /画面全体 ^{*2}) 
[DISP.]	[リセット]	1回目: MFアシストの位置を中央に戻す 2回目: MFアシストの拡大倍率を初期設定に戻す
[AF ON]		AFが働きます。

*1 約3倍～6倍に拡大できます。

*2 約3倍～20倍に拡大できます。(動画撮影中、[撮影時HDMI出力]の[ライブビュー拡大表示]を[OFF]に設定してHDMI出力中、および[AFM]モード時は最大6倍)



- 撮影画面でフォーカスリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。フォーカスリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめて一定時間が経過すると、アシスト画面を終了します。
- [] ボタンを押しても、MFアシスト画面を表示できます。
- MF時に[AF ON]ボタンを押すと、AFが働きます。
- MFアシスト画面は動画撮影中にも表示できます。
- 撮影距離基準マークは、撮像面の位置を示しています。撮影距離を実測するときの基準になります。





- [クロップズーム(写真)]または[クロップズーム(動画)]が[ON]のとき、MFアシストの拡大倍率は約3倍～6倍になります。(ただし、動画撮影中、および[PM]モード時は3倍に固定されます)
- 以下の機能を使用中は、MFアシストは表示されません。
 - SH連写
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、MFアシスト画面を表示できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [バリエャブルフレームレート]
 - [ライブクロップ]



- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
 - (→ [ピーキング: 211](#))
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
 - (→ [縦/横位置フォーカス切替: 205](#))
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
 - (→ [MFアシスト: 581](#))
- MFガイドの表示単位を変更できます：
 - (→ [MFガイド: 582](#))
- フォーカスリングの操作を無効にできます：
 - (→ [フォーカスリングロック: 582](#))
- MFアシストのループ移動を設定できます：
 - (→ [フォーカス枠のループ移動: 584](#))
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
 - (→ [レンズ位置メモリー: 609](#))
- ピントの移動量を設定できます：
 - (→ [フォーカスリング制御: 610](#))
- AFエリア/MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
 - (→ [フォーカスエリア選択: 551](#))


ピーキング

MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。

 →  /  →  → **[ピーキング]**を選ぶ

ON	ピーキング表示を行います。	
OFF	—	
設定	ピーキング感度	マイナス方向に設定すると、色を付けて表示される範囲が狭くなるため、より厳密なピント合わせができます。
	表示色	ピントが合っている部分に表示する色を設定できます。
	AFS時の表示	[ON]に設定すると、フォーカスモードの[AFS]でシャッターボタンを半押ししたときにも、ピーキング表示ができます。
	MF時の表示	[ライブビュー時の表示] : 撮影画面でピーキング表示します。 [ライブビュー拡大時の表示] : MFアシスト画面、動画ライブビュー拡大表示画面でピーキング表示します。 [シャッター操作時の表示] : [OFF]にすると、シャッターを押したときにピーキングを非表示にします。



- タッチタブを表示すると(→ **タッチ設定: 586**)、の**[PEAK]**をタッチして[ON]/[OFF]を切り換えることができます。
- [ライブビューブースト]使用中は、[ピーキング]は動きません。

ズームを使って撮る

- クロップズーム(写真): 214
- クロップズーム(動画): 217
- パワーズームレンズ: 220



iA P A S M

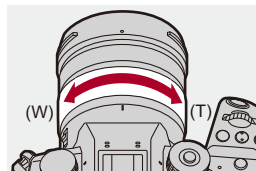
レンズの光学ズームを使って、望遠または広角にズーミングします。

ズームリングがある交換レンズ

ズームリングを回す

(T)側: 望遠

(W)側: 広角

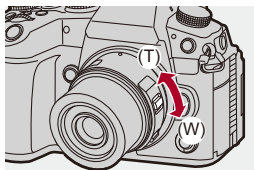


パワースーム(電動式ズーム)に対応した交換レンズ

ズームレバーを動かす

(動かす幅によって、ズーム速度が変わります)

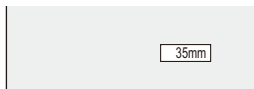
- Fn ボタンに[ズーム操作]を割り当てると、◀▶ でゆっくり、▲▼ で速く、光学ズーム操作ができます。(→ [Fn ボタン: 545](#))



ズームに対応していない交換レンズ

光学ズームはできません。

- 焦点距離が撮影画面に表示されます。



- 焦点距離を非表示にできます:
(→ [焦点距離: 599](#))

クロップズーム(写真)





画像の中央部を切り出して、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。
単焦点レンズでも使用できます。

MENU/SET → **[📷]** → **[🔍]** → **[クロップズーム(写真)]** を選ぶ

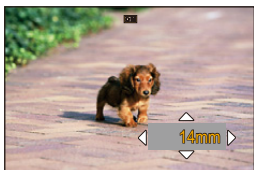
ON	クロップズームを有効にします。	
OFF	—	
設定	焦点距離表示設定	焦点距離の表示方法を設定します。 [合成焦点距離] : 光学ズームの焦点距離×クロップ倍率の計算結果 (例: 180 mm) [焦点距離×倍率] : 光学ズームの焦点距離とクロップ倍率 (例: 60 mm × 3.0)
	下限画像サイズ	[画像サイズ]が小さいほど高倍率でズームできます。 [M] : 最大1.4倍 [S] : 最大2.0倍 [XS] : 最大約3倍
	記録画像サイズの固定	[ON] : 常に[下限画像サイズ]で設定した[画像サイズ]で記録します。 [OFF] : ズーム位置によって[画像サイズ]が変化します。
	ズーム速度(写真)	ズーム操作時のズーム速度を設定します。 設定: [H]、[M]、[L]、[SL]

❖ [クロップズーム(写真)]を使う





1 [クロップズーム(写真)]を[ON]にする

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [クロップズーム(写真)] ⇒ [ON]
- [クロップズーム(写真)]を[ON]に設定している間は、▲▼◀▶を押すとズーム操作が有効になります。(▲▼◀▶に[Fnボタン設定]の[ズーム操作]が割り当てられます)

2 ズーム操作を行う



拡大/縮小

- ▲▼を押す、または  /  を回します。
- [タッチタブ]を[ON]に設定している場合は、タッチズームを使って拡大/縮小できます。
- [ズーム操作(T側)]または[ズーム操作(W側)]を割り当てたFnボタンを押しても拡大/縮小できます。
- [ズーム操作]を割り当てたFnボタンでズーム操作を有効にした場合、 /  では拡大/縮小できません。
- パワースームレンズを使用しているときは、光学ズームを最大まで拡大したあと、クロップズームが働きます。



ステップズーム

クロップ倍率([下限画像サイズ])を切り換えます。

1.0倍[L]/1.4倍[M]/2.0倍[S]/約3倍[XS]

- ◀▶を押します。
 - [クロップズーム(ステップ)]を割り当てたFnボタンを押しても切り換えられます。
 - パワースームレンズを使用しているときは、光学ズームを最大まで拡大したあと、クロップ倍率を切り換えます。
-

3 決定する

-  または  を押します。
- タッチズーム、Fnボタンの[ズーム操作(T側)]、[ズーム操作(W側)]、[クロップズーム(ステップ)]は、撮影画面でも使用できます。



- RAW画像はクロップされずに記録されます。



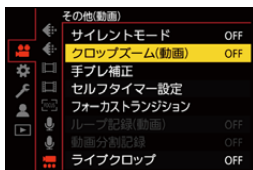
- [焦点距離表示設定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [クロップズーム(写真)]
 - [クロップズーム(動画)]
- 以下の機能を使用中は、[クロップズーム(写真)]は使用できません。
 - [写真画質]の[RAW]
 - ハイレゾモード

クロップズーム(動画)



画像の中央部を切り出して、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。
単焦点レンズでも使用できます。

MENU/SET → **[]** → **[]** → **[クロップズーム(動画)]** を選ぶ



ON	クロップズームを有効にします。	
OFF	—	
設定	焦点距離表示設定	焦点距離の表示方法を設定します。 【合成焦点距離】 : 光学ズームの焦点距離×クロップ倍率の計算結果(例: 180 mm) 【焦点距離×倍率】 : 光学ズームの焦点距離とクロップ倍率(例: 60 mm × 2.7)
	ズーム速度(動画)	【撮影待機中】 : 撮影待機中のズーム速度を設定します。 【撮影中】 : 撮影中のズーム速度を設定します。 設定: [H]、[M]、[L]、[SL]

❖ [クロップズーム(動画)]を使う





1 [クロップズーム(動画)]を[ON]にする

- **MENU SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [クロップズーム(動画)] ⇒ [ON]
- [クロップズーム(動画)]を[ON]に設定している間は、▲▼◀▶を押すとズーム操作が有効になります。(▲▼◀▶に[FN ボタン設定]の[ズーム操作]が割り当てられます)

2 ズーム操作を行う



拡大/縮小

- ▲▼を押す、または  /  を回します。
- [タッチタブ]を[ON]に設定している場合は、タッチズームを使って拡大/縮小できます。
- [ズーム操作(T側)]または[ズーム操作(W側)]を割り当てたFnボタンを押しても拡大/縮小できます。
- [ズーム操作]を割り当てたFnボタンでズーム操作を有効にした場合、 /  では拡大/縮小できません。
- パワースームレンズを使用しているときは、光学ズームを最大まで拡大したあと、クロップズームが働きます。



ステップズーム

クロップ倍率([動画撮影範囲])を切り換えます。

FULL/PIXEL/PIXEL

- ◀▶を押します。
 - [クロップズーム(ステップ)]を割り当てたFnボタンを押しても切り換えられます。
 - パワースームレンズを使用しているときは、光学ズームを最大まで拡大したあと、クロップ倍率を切り換えます。
-

3 決定する

-  または  を押します。
- タッチズーム、Fnボタンの[ズーム操作(T側)]、[ズーム操作(W側)]、[クロップズーム(ステップ)]は、撮影画面でも使用できます。

❖ [動画画質]とクロップ倍率

[動画画質]	最大クロップ倍率
5.8K動画、5.7K動画、4.4K動画	—
C4K動画/4K動画(120p/100p)	—
C4K動画(60p/50p/48p/30p/25p/24p)	約 1.3倍
4K動画(60p/50p/48p/30p/25p/24p)	約 1.4倍
FHD動画(240p/200p/120p/100p)	—
FHD動画(60p/50p/48p/30p/25p/24p)	約 2.7倍






- [焦点距離表示設定]の設定は、以下のメニュー間で連動します。
 - [クロップズーム(写真)]
 - [クロップズーム(動画)]
- 以下の機能を使用中は、[クロップズーム(動画)]は使用できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - フレームレートが60 fpsを超える[バリエブルフレームレート]
 - ライブクロップ

パワーズームレンズ

パワーズーム (電動式ズーム) 対応レンズ使用時のズーム動作を設定します。

- 対応交換レンズをお使いの場合に選択できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ **[パワーズームレンズ]**を選ぶ

ステップズーム	[ON] に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 • 動画撮影時には働きません。
ズーム速度(写真)	ズーム操作時のズーム速度を設定できます。 [H]、[M]、[L]、[SL]
ズーム速度(動画)	• [ステップズーム] を [ON] に設定すると、ズーム速度は変わりません。
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応レンズを装着しているときに選択できます。[OFF] に設定すると、誤操作を防止するため、ズームリングでの操作を無効にできます。

ドライブ／シャッター／手ブレ補正

本章では、ドライブモードで撮影できる機能や、手ブレ補正機能について説明しています。

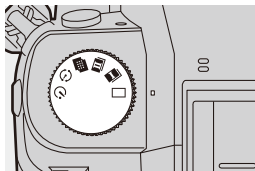
- [ドライブモードの選択: 222](#)
- [連写する: 224](#)
- [ハイレゾモード: 232](#)
- [インターバル撮影: 237](#)
- [コマ撮りアニメ撮影: 243](#)
- [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 246](#)
- [セルフタイマー撮影: 248](#)
- [ブラケット撮影: 251](#)
- [ライブビューコンポジット撮影: 258](#)
- [サイレントモード: 261](#)
- [シャッター方式: 263](#)
- [手ブレ補正: 271](#)

ドライブモードの選択



撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



単写

シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。

I / II 連写(→連写する: 224)

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

ハイレゾモード(→ハイレゾモード: 232)

複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。



インターバル/コマ撮り撮影(→インターバル撮影: 237、コマ撮りアニメ撮影: 243)

インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

セルフタイマー(→セルフタイマー撮影: 248)

シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



- ドライブモードごとの詳細設定画面をFnボタンで呼び出すことができます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [ドライブモード設定]

連写する



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
高画質で連写ができる[H]、[M]、[L]と、電子シャッターで超高速連写するSH連写から、撮影状況に合わせて連写設定を選択できます。

- 1 ドライブモードを[**I**] (連写1) または[**II**] (連写2) にする
 - ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 222](#))
 - [**I**] と [**II**] のそれぞれに連写設定ができます。
- 2 連写速度を選ぶ
 - **MENU SET** → [**☺**] → [**🔴**] → [連写設定] → [連写1設定] / [連写2設定]
 - 初期設定では[**I**] に[H]が、[**II**] に[SH75]が設定されています。



[SH75]

電子シャッターで75コマ/秒の超高速連写をします。

[SH60]

電子シャッターで60コマ/秒の超高速連写をします。

[SH20]

電子シャッターで20コマ/秒の超高速連写をします。

[SH75 PRE]

75コマ/秒の超高速でプリ連写します。(→ [SH プリ連写: 226](#))

[SH60 PRE]

60コマ/秒の超高速でプリ連写します。(→ [SH プリ連写: 226](#))

[SH20 PRE]

20コマ/秒の超高速でプリ連写します。(→ [SH プリ連写: 226](#))

[H]

高速で連写します。

[M]

中速で連写します。

[L]

低速で連写します。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

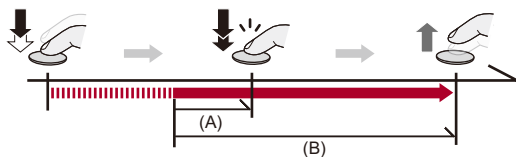
4 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。

❖ SHプリ連写

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間も、設定した時間分画像を記録します。

[SH連写プリ記録時間]で、シャッター全押し前に記録する時間を設定できます。



(A) SH連写プリ記録時間

(B) 記録される範囲

MENU/SET → [カメラ] → [設定] → [連写設定] → [SH連写プリ記録時間]

[1.5秒]

シャッターボタンを全押しする1.5秒前から記録します。

[1.0秒]

シャッターボタンを全押しする1秒前から記録します。

[0.5秒]

シャッターボタンを全押しする0.5秒前から記録します。

- [SH連写プリ記録時間]の設定は[連写1設定]と[連写2設定]のどちらにも適用されません。
- SHプリ連写中は、撮影画面に[PRE]と表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたまま約1分経過すると、全押し前のコマを保存できなくなります。シャッターボタンを半押しし直してください。

❖ 連写速度

	メカシャッター	電子先幕	電子シャッター	連写中のライブビュー
[SH75] / [SH75 PRE]	—	—	75 コマ/秒 (AFS, MF)	なし
[SH60] / [SH60 PRE]	—	—	60 コマ/秒 (AFS, AFC, MF)	なし
[SH20] / [SH20 PRE]	—	—	20 コマ/秒 (AFS, AFC, MF)	なし
[H](高速)	14 コマ/秒 (AFS, MF) 10 コマ/秒 (AFC)	14 コマ/秒 (AFS, MF) 9 コマ/秒 (AFC)	14 コマ/秒 (AFS, MF) 9 コマ/秒 (AFC)	なし (AFS, MF) あり (AFC)
[M](中速)	6 コマ/秒 (AFS, AFC, MF)			あり
[L](低速)	2 コマ/秒 (AFS, AFC, MF)			あり

- [画像サイズ]やフォーカスモードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 最大撮影可能コマ数

	写真画質		
	[FINE]、[STD.]	[RAW+FINE]、 [RAW+STD.]	[RAW]
[SH75] / [SH75 PRE]	190コマ*1		
[SH60] / [SH60 PRE]			
[SH20] / [SH20 PRE]			
[H](高速)	260コマ以上*2,3 / 250コマ以上*2,4	170コマ以上*2,3 / 165コマ以上*2,4	215コマ以上*2,3 / 200コマ以上*2,4
[M](中速)			
[L](低速)			

• 当社測定条件による撮影時。

撮影条件によっては最大撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。

*1 最大撮影コマ数まで撮影すると、撮影が停止します。

SHプリ連写時は、プリ連写で記録される枚数を含みます。

*2 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

*3 Nextorage製CFexpress Type Bカード使用時

*4 Nextorage製UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時

❖ プリ連写でシャッターボタン全押し前に保存できるコマ数

SH連写プリ記録時間	[SH75 PRE]	[SH60 PRE]	[SH20 PRE]
1.5秒	113コマ	90コマ	30コマ
1.0秒	75コマ	60コマ	20コマ
0.5秒	38コマ	30コマ	10コマ

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面に表示されます。

例) 20枚のとき: [r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
 - [H] / [M] / [L] 連写のとき: [r0] と表示されると、連写速度が低下します。
 - SH 連写のとき: [r0] と表示されると、連写が停止します。
- 撮影画面に [r99+] と表示されているときは、100 枚以上の連写ができます。

❖ 連写時のピント

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先(→フォーカス/リリース優先: 580)	[SH75] / [SH75 PRE]	[SH60] / [SH60 PRE] / [SH20] / [SH20 PRE] / [H]	[M] / [L]
AFS	フォーカス	1コマ目のピントに固定		
	バランス			
	リリース			
AFC	フォーカス	—	予測ピント	常時ピント
	バランス		予測ピント	
	リリース			
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス		

- [AFC]で被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
- 予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- 常時ピント時は、連写速度が遅くなることがあります。

❖ 連写時の露出

フォーカスモード	[SH75] / [SH75 PRE]	[SH60] / [SH60 PRE] / [SH20] / [SH20 PRE] / [H]	[M] / [L]
AFS	1コマ目の露出に固定		1コマごとに露出を調整
AFC	—	1コマごとに露出を調整	
MF	1コマ目の露出に固定		



- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大撮影可能コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、連写は働きません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]

SH連写について

- [シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- SH連写中は、設定できるシャッタースピードに制限があります。
 - [SH75]/[SH75 PRE]: 下限 1/80 まで
 - [SH60]/[SH60 PRE]: 下限 1/60 まで
 - [SH20]/[SH20 PRE]: 下限 1/60 まで
- 連写撮影中、絞りは固定されます。
- 撮影した画像は、1つの連写グループとして記録されます。(→ [グループ画像: 519](#))
- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[SH75]/[SH75 PRE]は使用できません。

SHプリ連写について

- 以下の場合、シャッターボタン全押し前のコマは保存されません。
 - タッチシャッター撮影時
 - カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)の[シャッター半押しレリーズ]を[ON]に設定時
- 周囲の温度が高かったり、連続でプリ連写撮影を行ったりした場合は、温度上昇から本機を保護するため、半押ししてもプリ連写が使用できないことがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- カードの空き容量が少ない場合、半押ししてもプリ連写が使用できないことがあります。

ハイレゾモード



複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。動きのない被写体の撮影に適しています。[手持ち撮影]をオンにすると、三脚を使わなくても解像度を高めた写真を撮影できます。

合成後の写真は、RAWまたはJPEG形式で保存できます。



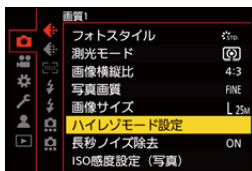
- [手持ち撮影]を[OFF]にして撮影するときは、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 ドライブモードを[](ハイレゾ)にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 222](#))

2 撮影の設定をする

- → [] → [] → [ハイレゾモード設定]



手持ち撮影

三脚を使わずに撮影できます。手ブレ補正機能をオンにしてください。

- [OFF]のときは、手ブレ補正機能は使用できません。

写真画質

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

[連動] / [FINE] / [RAW+FINE] / [RAW]

- [連動]に設定しているときは、写真メニュー(画質)の[写真画質]と同じ設定で撮影します。(ただし、[STD.]は[FINE]に変わります)

画像サイズ

合成後の画像サイズを設定します。

画像横縦比:[4:3]のとき

XL(100M): 11552×8672

LL(50.5M): 8192×6144

画像横縦比:[3:2]のとき

XL(89M): 11552×7696

LL(44.5M): 8192×5464

画像横縦比:[16:9]のとき

XL(75M): 11552×6496

LL(37.5M): 8192×4608

画像横縦比:[1:1]のとき

XL(75M): 8672×8672

LL(37.5M): 6144×6144

- RAW画像は常に画像横縦比[4:3](11552×8672)で記録されます。
-

通常撮影同時記録

[ON]にすると、合成前の写真を同時に撮影できます。1枚目の写真を[画像サイズ]の[L]で保存します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

[30秒] / [15秒] / [8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [1/2秒] / [1/4秒] / [1/8秒] / [OFF]

被写体ブレの処理


被写体が動いた場合の補正方法を設定します。

[MODE1]: ハイレゾモードの効果を優先するため、被写体ブレが残像のように見えます。

[MODE2]: 被写体ブレの残像を抑えますが、補正した範囲ではハイレゾモードの効果は得られません。

- [手持ち撮影]が[ON]のときは、[MODE2]に固定されます。
-

3 構図を決めて、カメラを固定する

- ブレを検知すると、ハイレゾモードアイコン(A)が点滅します。
- [手持ち撮影]を[ON]にすると、アイコンが[]に変わります。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- 初期設定では[シャッターディレイ]が働くため、シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまでに間が空きます。
- 撮影中は画面が黒くなります。
- 記録動作表示(赤)(B)が点滅します。点滅中は、カメラを動かさないください。
- 撮影後の合成処理が終わると続けて撮影できます。





- ハイレゾモードでは、以下の設定で撮影されます。
 - シャッター方式:[電子シャッター]に固定
 - 最小絞り値:F11
 - シャッタースピード:1秒~1/32000秒
 - ISO感度:上限1600
 - フォーカスモード:[AFS]/[MF]
- 手持ち撮影中は、カメラがブレないようにしっかりと構えてください。ブレが大きいと撮影に失敗する場合があります。
- 手持ち撮影では、画像の合成に時間がかかることがあります。
- 極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 本機以外では、ハイレゾモードで撮影した画像を再生できない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、ハイレゾモードは使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]

インターバル撮影



設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。(→ [グループ画像: 519](#))



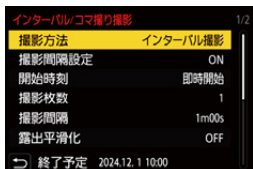
- 時計が正しく設定されているか確認してください。(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 74](#))
- 撮影間隔が長いときは、カスタムメニュー(レンズ/その他)の[レンズ位置メモリ]を[ON]に設定することをお勧めします。

1 ドライブモードを[📷]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 222](#))

2 [撮影方法]を[インターバル撮影]に設定する

- **MENU/SET** → [📷] → [📷] → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [インターバル撮影]



3 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

撮影間隔設定

[ON]: 次の撮影までの間隔を設定できます。

[OFF]: 撮影間隔を空けずに連続で撮影します。

開始時刻

[即時開始]: シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。

[2秒後開始]: シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影が始まります。

[開始時刻設定]: 設定した時刻から、撮影が始まります。

撮影枚数/撮影間隔

撮影枚数と撮影間隔を設定します。

撮影枚数と撮影間隔を自動で計算して設定できます。(→ [インターバル撮影の設定アシスト: 240](#))

- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、[撮影間隔]が使用できません。
-

露出平滑化

連続するコマで大きく明るさが変化しないように、自動で露出を調整します。

撮影開始時のフォルダー作成

[新規フォルダー作成]: [ON]にすると、インターバル撮影を開始するごとにフォルダーを新規作成します。

[ファイル番号リセット]: [ON]にすると、フォルダーを新規作成するごとにファイル番号をリセットします。

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

5 撮影を開始する



- シャッターボタンを全押しします。
- [開始時刻設定]を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。

6 動画を作成する(→ [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 246](#))

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[インターバル動画作成]で、動画を作成できます。(→ [インターバル動画作成: 538](#))

❖ インターバル撮影の設定アシスト

[撮影枚数] / [撮影間隔] の設定画面で [DISP.] ボタンを押すと、作成する動画のフレームレートや時間、撮影所要時間から、[撮影枚数] と [撮影間隔] を自動で計算して設定できます。

- 1 ▲▼で項目を選び、 または  を押す



作成動画フレームレート

作成する動画のフレームレートを設定します。1 fps～99 fps の範囲で設定できます。

作成動画時間

作成する動画の再生時間を設定します。00m01s～99m59s の範囲で設定できます。

インターバル撮影時間

インターバル撮影の所要時間を設定します。00h00m01s～99h59m59s の範囲で設定できます。

- 2 [DISP.] ボタンを押して決定する
- [(はい)] を選ぶと設定を反映します。



- [撮影枚数]は1枚～9999枚の範囲で設定できます。
- [撮影間隔]は00m01s～99m59sの範囲で設定されます。割り切れないときは、小数点以下を切り捨てます。
- 撮影できない設定の場合は、[撮影枚数]または[撮影間隔]が赤字で表示されます。
- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、インターバル撮影設定の自動計算はできません。

❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッターボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に[Q]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続

撮影に戻ります。(撮影中のみ)

一時停止

撮影を中断します。(撮影中のみ)

再開

撮影を再開します。(一時停止中のみ)

- シャッターボタンを押しても再開できます。

終了

インターバル撮影を終了します。



- 複数のカードに記録すると、1つの動画にできません。
- 標準露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき電源スイッチを[OFF]にして、バッテリーやカードを交換できます。電源スイッチを[ON]にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。(ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます)
- [M]モードでISO感度を[AUTO]以外に設定しているときは、[露出平滑化]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[インターバル撮影]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]

コマ撮りアニメ撮影



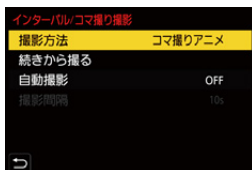
被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。
(→ [グループ画像: 519](#))

1 ドライブモードを[🕒]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 222](#))

2 [撮影方法]を[コマ撮りアニメ]に設定する

- → → → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [コマ撮りアニメ]



3 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

続きから撮る

撮影済みのコマ撮り画像に、続けて撮影できます。

- 画像を選択したあと、手順 **5** へ進んでください。
-

自動撮影

[ON]: 設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。

[OFF]: 1コマずつ手動で写真を撮影します。

撮影間隔

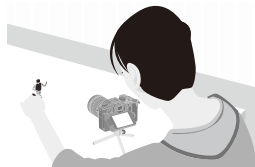
[自動撮影]の撮影間隔を設定します。

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

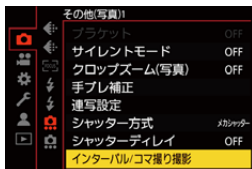
5 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。
- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影中に[▶]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[🗑]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。



6 撮影を終了する

- **MENU/SET** を押し、写真メニューから[インターバル/コマ撮り撮影]を選んで終了します。



7 動画を作成する(→ [インターバル/コマ撮りアニメの動画: 246](#))

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[コマ撮りアニメ作成]で、動画を作成できます。(→ [コマ撮りアニメ作成: 538](#))



- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 標準露出を優先するため、フラッシュ撮影したときなどは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [Frame.io接続]

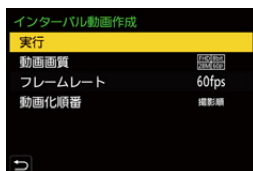
インターバル/コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

- 撮影については、以下をお読みください。
 - インターバル撮影: 237
 - コマ撮りアニメ撮影: 243
- 動画の作成は、再生メニューの[インターバル動画作成](→[インターバル動画作成: 538](#))、[コマ撮りアニメ作成](→[コマ撮りアニメ作成: 538](#))からでも可能です。

- 1 撮影後に表示される確認画面で、[はい]を選ぶ
- 2 動画の作成方法を設定する
- 3 [実行]を選ぶ

- [MP4]の記録ファイル方式で動画が作成されます。



実行

動画を作成します。

動画画質

動画の画質を設定します。

フレームレート

1秒当たりのコマ数を設定します。

数字が大きいほど滑らかな動画になります。

動画化順番

[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。

[逆順]: 撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。



- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定すると、動画は作成できません。
- 記録時間が30分を超える動画は作成できません。
- 以下の場合は、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカードを使用し、4Kの[動画画質]に設定
 - FHDの[動画画質]に設定
- 以下の機能を使用中は、[インターバル動画作成]は使用できません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

セルフタイマー撮影



1 ドライブモードを[∞]にする

- ドライブモードダイヤルを合わせます。(→ [ドライブモードの選択: 222](#))

2 セルフタイマーの時間を設定する(→ [セルフタイマーの時間を設定する: 250](#))

- 動画撮影時は、動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]に設定してください。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

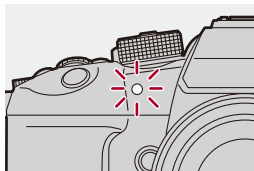
4 構図を決め、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。






5 撮影する

- シャッターボタン、動画記録ボタンまたはサブ動画記録ボタンを押します。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影または動画記録を開始します。








❖ セルフタイマーの時間を設定する

写真:  → [] → [] → [セルフタイマー]を選ぶ

動画:  → [] → [] → [セルフタイマー設定] → [セルフタイマー]を選ぶ*


* 動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]にすると設定できます。

	10秒後に撮影します。	
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。(動画撮影時は[]と同じ動作になります)	
	2秒後に撮影します。 • シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。	
 (カスタム)	[カスタムの時間]で選んだ時間経過後に撮影します。	
設定	カスタムの時間	撮影までの時間を設定します。 [10秒] / [9秒] / [8秒] / [7秒] / [6秒] / [5秒] / [4秒] / [3秒] / [2秒]
	カウントダウン表示	セルフタイマーがカスタムするとき、撮影画面にカウントダウンを表示します。



• セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。



- 写真メニュー(その他)の[セルフタイマー]と、[セルフタイマー設定](動画メニュー(その他))の[セルフタイマー]は連動しています。
- 以下の機能を使用中は、[]は使用できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]
 - [ブラケット]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

ブラケット撮影



シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランス(調整値または色温度)の設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。



- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
 - [A]モード
 - [M]モード(ISO感度を[AUTO]に設定したとき)
- ホワイトバランス(色温度)ブラケットは、ホワイトバランスを[$\frac{1}{K_1}$], [$\frac{1}{K_2}$], [$\frac{1}{K_3}$], [$\frac{1}{K_4}$]に設定したときに選択できます。

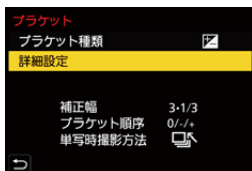
1 [ブラケット種類]を設定する

- → → → [ブラケット] → [ブラケット種類]



2 [詳細設定]を設定する

- [詳細設定]については、各ブラケットのページをお読みください。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 ピントを合わせて撮影する

❖ 設定項目(ブラケット種類)

露出ブラケット

シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(露出ブラケット\): 255](#))

絞りブラケット

シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(絞りブラケット\): 255](#))

FOCUS フォーカスブラケット

シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(フォーカスブラケット\): 256](#))

WB ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ [詳細設定\(ホワイトバランスブラケット\): 257](#))

WB ホワイトバランス(色温度)ブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの色温度を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ [詳細設定\(ホワイトバランス\(色温度\)ブラケット\): 257](#))

OFF

❖ ブラケットの解除方法

手順 **1** で **[OFF]** に設定する



- 以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケットは使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
 - [フィルター設定]
- 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は使用できません。
 - SH連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - ハイレゾモード
 - [ライブビューコンポジット撮影]

❖ 詳細設定(露出ブラケット)

補正幅

撮影枚数と露出補正幅を設定します。


[3・1/3](3枚撮影・1/3 EV幅)～**[7・1]**(7枚撮影・1 EV幅)

ブラケット順序

画像の撮影順を設定します。

単写時撮影方法

[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。

[]: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

- 設定枚数分がすべて撮影されるまで[BKT]アイコンが点滅します。



- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

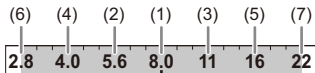
❖ 詳細設定(絞りブラケット)

撮影枚数

[3] / **[5]**: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。

[ALL]: すべての絞り値で撮影。

開始位置をF8.0に設定しているときの例



(1) 1枚目、(2) 2枚目、(3) 3枚目…(7) 7枚目

❖ 詳細設定(フォーカスブラケット)

補正幅

ピント合わせの幅を設定します。

- ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。

撮影枚数

撮影枚数を設定します。

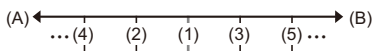
- 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。

ブラケット順序

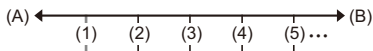
[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。

[0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

【ブラケット順序】:[0/-/+]設定時の例



【ブラケット順序】:[0/+]設定時の例



(A) フォーカス: 近い

(B) フォーカス: 遠い

(1) 1枚目、(2) 2枚目…(5) 5枚目…



- [フォーカスリミッター]を設定しているときは、設定したAFの作動範囲内で撮影します。
- フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。(→ [グループ画像: 519](#))

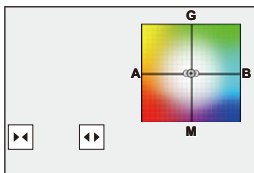
❖ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット)

☀️、🌧️ または ⚙️ を回して補正幅を設定し、**MENU/SET** または 🔄 を押す

右回し:横方向([A]~[B])

左回し:縦方向([G]~[M])

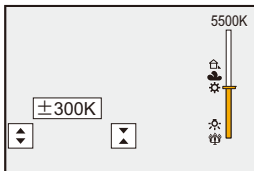
• [◀▶] / [◀▶] / [⬆] / [⬇] をタッチしても補正幅を設定できます。



❖ 詳細設定(ホワイトバランス(色温度)ブラケット)

☀️、🌧️ または ⚙️ を回して補正幅を設定し、**MENU/SET** または 🔄 を押す

• [⬆] / [⬇] をタッチしても補正幅を設定できます。



ライブビューコンポジット撮影



複数回撮影した画像の、明るく変化した部分だけを合成します。設定した露光時間(シャッタースピード)で撮影するごとに合成した画像が表示され、仕上がりを確認しながら撮影できます。

全体の明るさを抑えて撮影できるため、明るい夜景を背景にして、星や花火の光跡を撮影するとき便利です。



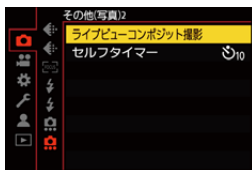
- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [ライブビューコンポジット撮影]を設定する

- → → → [ライブビューコンポジット撮影]







3 ライブビューコンポジット撮影を開始する

- [開始]を選び、 または を押します。

4 構図を決めて、カメラを固定する

5 シャッタースピードとISO感度を設定する

-  を回してシャッタースピードを設定します。
- [ISO] ボタンを押し、、 または  を回してISO感度を設定します。
- シャッタースピードは、60秒～1/1.6秒の範囲で設定できます。使用するフォトスタイルによって、ISO感度を設定できる範囲は異なります。
- ISO感度は、100～1600([拡張ISO感度]設定時: 50～1600)の範囲で設定できます。

6 ノイズリダクション用の画像を取得する

- シャッターボタンを全押しします。

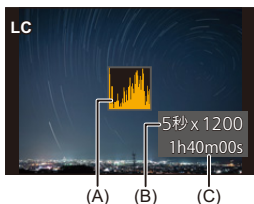
7 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 手順5の設定に従って撮影し、ノイズリダクション処理をした画像を1コマごとに合成します。

(A) ヒストグラム表示

(B) シャッタースピード×合成した枚数

(C) 経過時間



8 撮影を終了する

- シャッターボタンを全押しします。
- 1回のライブビューコンポジット撮影につき、最大3時間まで撮影できます。(3時間を超えると、自動的に撮影を終了します)

9 [ライブビューコンポジット撮影]を終了する

- [Q]ボタンを押します。

❖ 設定項目(ライブビューコンポジット撮影)

開始

ライブビューコンポジット撮影を開始します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

[8秒]/[4秒]/[2秒]/[1秒]/[OFF]



- [長秒ノイズ除去]は[ON]に固定されます。
- フラッシュ撮影時は、1コマ目だけ発光します。
- ノイズリダクション用の画像を取得したあとは、一部のメニューが表示されません。
- 以下の操作をすると、ノイズリダクション用の画像が破棄されます。再度手順**6**の操作をしてください。
 - シャッタースピード/ISO感度を変更する
 - 再生モードに切り換える
- シャッターボタンを全押しして撮影を終了するときは、最後の画像が合成されない場合があります。
- ライブビューコンポジット撮影中は、HDMI接続した外部機器に音声は出力されません。
- 以下の機能を使用中は、[ライブビューコンポジット撮影]は使用できません。
 - [シャッター方式]の[電子シャッター]、[電子シャッター+NR]
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]
 - [サイレントモード]

サイレントモード



カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。

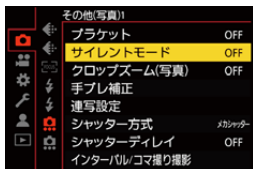
スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード]: [🚫] (発光禁止)
 - [AF補助光]: [OFF]
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [前方タリールンプ]: [OFF]
 - [後方タリールンプ]: [OFF]
 - [電子音量]: [🔇] (OFF)
 - [合焦音量]: [🔇] (OFF)
 - [電子シャッター音音量]: [🔇] (OFF)

写真: → → → [サイレントモード] を選ぶ

動画: → → → [サイレントモード] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]





- [ON]に設定していても、以下の機能は点灯/点滅します。
 - 電源表示ランプ
 - 充電ランプ/NETWORK接続ランプ
 - カードアクセスランプ
 - セルフタイマーランプ
- 以下の機能を使用中は、[サイレントモード]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

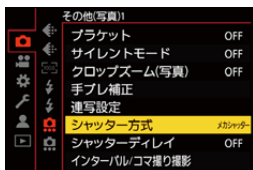
シャッター方式

- 長秒ノイズ除去: 266
- シンクロスキャン(写真): 267
- 下限シャッター速度: 269
- シャッターディレイ: 270



写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU/SET → **[カメラ]** → **[設定]** → **[シャッター方式]** を選ぶ



自動切換

撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。

メカシャッター

メカシャッター方式で撮影します。

電子先幕

電子先幕方式で撮影します。

電子シャッター

電子シャッター方式で撮影します。

電子シャッター+NR

電子シャッター方式で撮影します。遅いシャッタースピードで撮影したときは、撮影後にシャッターを閉じて長秒ノイズ除去を行います。

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	✓	✓	—
シャッター速度	B(バルブ、最大約30分間) ^{*1} 、60秒～1/8000秒	B(バルブ、最大約30分間) ^{*1} 、60秒～1/2000秒	B(バルブ、最大約60秒間) ^{*1} 、60秒～1/32000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音 ^{*2}

*1 [M]モード時に設定できます。

*2 セットアップメニュー(IN/OUT)の[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(→ [電子音: 625](#))

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないため、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。



• シャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押した数秒後にシャッターを切る設定ができます:

(→ [シャッターディレイ: 270](#))



- 画面に[E]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しまが記録されることがあります。このようなときは、シャッター速度を遅くすると横しまが軽減されることがあります。

長秒ノイズ除去



遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。

→ → → **[長秒ノイズ除去]**を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- ノイズ除去中は撮影できません。
- 以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去]は動きません。
 - 動画撮影、SH連写
 - 電子シャッター（[電子シャッター+NR]使用時を除く）、[サイレントモード]
 - ハイレゾモード

シンクロスキャン(写真)



シャッタースピードを微調整することで、光源のちらつきや横しまを軽減します。

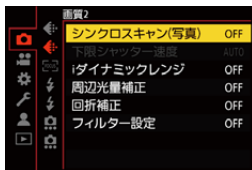
シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 撮影モードを[S]または[M]にする






- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [シンクロスキャン(写真)]を設定する

- → → → [シンクロスキャン(写真)] → [ON]



3 シャッタースピードを設定する

- 、 または  を回して数値を選び、 または  を押しします。
- シャッタースピードは1/48.0秒～1/8192.0秒の範囲で設定できます。
- ▲▼を押すと、1/4TV刻みでシャッタースピードが変化します。◀▶を押すと、細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- 撮影画面の表示と撮影結果が異なる場合があります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。
- [シンクロスキャン(写真)]の設定値で動画を撮影するには、[P/A/S/M動画の露出自動制御]を[OFF]に設定してください。
- 以下の機能を使用中は[シンクロスキャン(写真)]は使用できません。
- メカシャッター

下限シャッター速度



ISO感度[AUTO]時のシャッタースピードの下限を設定します。

 →  →  → [下限シャッター速度]を選ぶ

AUTO

シャッタースピードの下限をカメラが自動で設定します。

1/32000～1/1






- 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなる場合があります。

シャッターディレイ



手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

 →  →  → [シャッターディレイ]を選ぶ

設定: [8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [OFF]



- 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ]は使用できません。
 - 動画撮影、SH連写
 - ハイレゾモード
 - [ライブビューコンポジット撮影]

手ブレ補正

- [手ブレ補正の設定: 273](#)



本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.2方式に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

レンズと手ブレ補正の組み合わせ(2024年5月現在)

装着するレンズによって、使用できる手ブレ補正は異なります。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	アイコンの例
Dual I.S. 方式に対応した当社製レンズ (マイクロフォーサーズ規格準拠)*	ボディ+レンズ (Dual I.S./Dual I.S.2)	DUAL / DUAL2 (/)
手ブレ補正機能に対応したレンズ (マイクロフォーサーズ規格準拠)	ボディまたはレンズ	()
手ブレ補正機能がないレンズ	ボディ	()
本機との通信機能がないレンズ	ボディ	()


* 対応レンズを使用しても撮影画面のアイコンに[DUAL]や[DUAL2]が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。(→ [カメラ/レンズのファームウェアについて: 26](#))

- 5軸ハイブリッド手ブレ補正(→ [電子手ブレ補正\(動画\): 275](#))は、どのレンズでも使用できます。

❖ 手ブレ補正を使う

- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、レンズ側でスイッチを[ON]にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合は、カメラの電源を入れたときに、レンズ情報の確認メッセージが表示されます。
手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせて焦点距離を設定する必要があります。メッセージに従って焦点距離を設定してください。メニューでも設定できます。(→ [レンズ情報: 277](#))



- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン[]が表示される場合があります。表示されたときは、三脚やセルフタイマー、シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使用することをお勧めします。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。



- 手ブレ補正が働いているときに、振動や動作音がすることがありますが故障ではありません。



- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合、電源を入れたときに表示されるレンズ情報の確認メッセージを非表示にできます:
(→ [レンズ情報確認表示: 611](#))
- 基準点を表示して、手ブレ状態を確認できます:
(→ [手ブレ状態スコープ: 601](#))

手ブレ補正の設定

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

写真:  →  →  → **[手ブレ補正]を選ぶ**

動画:  →  →  → **[手ブレ補正]を選ぶ**

動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。(→ [動作設定: 274](#))

電子手ブレ補正(動画)

動画撮影中の上下、左右、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレと、広角レンズ使用時に発生しやすい周辺のゆがみを、レンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正)(→ [電子手ブレ補正\(動画\): 275](#))

手ブレ補正ブースト(動画)

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。(→ [手ブレ補正ブースト\(動画\): 276](#))

アナモフィック(動画)

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。(→ [アナモフィック\(動画\): 276](#))

レンズ情報

本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズの情報を登録します。(→ [レンズ情報: 277](#))



- 以下の機能を使用中は、[電子手ブレ補正(動画)]は使用できません。
 - [バリアブルフレームレート]
 - [ライブクロップ]
- 以下の機能を使用中は、[電子手ブレ補正(動画)]の[強]は使用できません。
 - [アナモフィック(動画)]の[OFF]以外

❖ 動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。

通常

上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。通常の撮影に適しています。

流し撮り(左右)



上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。

流し撮り(上下)

左右の動きに対する手ブレを補正します。上下方向に流し撮りするときに適しています。

OFF

手ブレ補正機能をOFFにします。

- 使用するレンズにより、使用できる動作設定は異なります。
- 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用しているときは、[動作設定]は[[]](通常)に固定されます。
- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用しているときは、カメラの動作設定で[OFF]に設定できません。レンズ側でスイッチを[OFF]にしてください。
- 以下の機能を使用中は、[動作設定]は[[]](通常)に切り換わります。
 - [M]モード
 - 動画撮影

❖ 電子手ブレ補正(動画)

動画撮影中の上下、左右、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレと、広角レンズ使用時に発生しやすい周辺のゆがみを、レンズ、ボディ、電子式を組み合わせて補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正)

強

大きなブレ、周辺のゆがみを電子的に補正します。


[標準]より画角が狭くなります。

- 動画撮影中、画面に[]が表示されます。
-

標準

ブレ、周辺のゆがみを電子的に補正します。

画角が狭くなります。

- 動画撮影中、画面に[]が表示されます。
-

OFF

電子手ブレ補正(動画)をOFFにします。




- 記録する動画モード、撮影条件により、補正効果は変化します。
- [電子手ブレ補正(動画)]を使用すると、解像感が低下する場合があります。

❖ 手ブレ補正ブースト(動画)

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。

設定: [ON] / [OFF]



- [手ブレ補正ブースト(動画)]が働いているときは、撮影画面に[]が表示されます。
- 撮影中に構図を変える場合は、設定を[OFF]にしてからカメラを動かしてください。撮影中に[OFF]に切り換えるには、Fnボタンをお使いください。(→Fnボタン: 545)
- 焦点距離が大きくなるほど、補正効果は弱くなります。

❖ アナモフィック(動画)

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。

設定:

[](2.0x) / [](1.8x) / [](1.5x) / [](1.33x) / [](1.30x) / [OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて、設定してください。
- [アナモフィック(動画)]が働いているときは、[]や[]のように、設定した倍率が撮影画面の手ブレ補正アイコンに表示されます。



- [手ブレ補正ブースト(動画)]設定時は、[手ブレ補正ブースト(動画)]が優先されます。
- レンズの手ブレ補正機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、レンズの手ブレ補正機能をオフにしてください。





❖ レンズ情報

本機との通信機能がないレンズの情報を登録します。
登録したレンズ情報に応じて、ボディ内手ブレ補正が動作します。

▲▼で使用するレンズ情報を選び、 または を押す


- 初期設定では、焦点距離 24 mm から 135 mm の 6 本のレンズ情報が登録されています。レンズ情報は 12 本まで登録できます。

レンズ情報の登録、変更、消去

- 1 ▲▼でレンズ情報を選び、[DISP.] ボタンを押す
 - 未登録のレンズ情報を選択した場合は、 または  を押して手順 3 に進んでください。
- 2 ▲▼で[編集]、[並べ換え]または[消去]を選び、 または  を押す
 - [並べ換え]を選ぶと、レンズ情報の表示順を変更できます。
 - [消去]を選ぶと、レンズ情報が消去されます。
 - 使用中のレンズ情報は消去できません。
- 3 レンズ情報を入力する
 - 登録済みのレンズ情報の場合は、レンズ情報が変更されます。
- 4 (未登録のレンズ情報選択時)[DISP.] ボタンを押して、レンズ情報を登録する

焦点距離

焦点距離を入力します。

-  を回すと、ライブビュー映像を拡大表示できます。

レンズ名

レンズ名を登録します。

- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))
 - 入力できる文字数は最大 30 文字です。
-

測光／露出／ISO感度

本章では、露出を決定するための撮影モードやISO感度について説明しています。

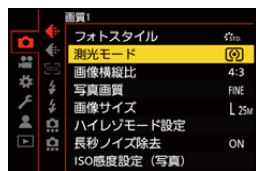
- 測光モード: 279
- プログラムAEモード: 281
- 絞り優先AEモード: 285
- シャッター優先AEモード: 288
- マニュアル露出モード: 291
- プレビューモード: 295
- 露出補正: 297
- ピントや露出の固定(AF／AEロック): 301
- ISO感度: 303

測光モード



明るさを測る方式を切り換えることができます。

MENU/SET → **[カメラ]** / **[ビデオ]** → **[設定]** → **[測光モード]** を選ぶ



(マルチ測光)

画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。

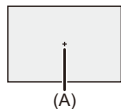
(中央重点)

画面中央部に重点を置いて測光する方式です。

(スポット)

スポット測光ターゲット(A)周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。


- AFエリアを移動すると、スポット測光ターゲットも合わせて移動します。



(ハイライト重点)

白飛びしないように、画面のハイライト部分に重点を置いて測光する方式です。舞台撮影などに適しています。



- 標準露出の基準値を調整できます：
(→ [基準露出レベル調節: 576](#))
- 1回だけ測光モードを[(スポット)にして撮影できる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [ワンショットスポット測光: 550](#))

プログラムAEモード

- プログラムシフト: 283



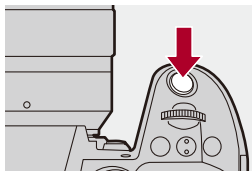
[P]モード(プログラムAEモード)では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 撮影モードを[P]にする

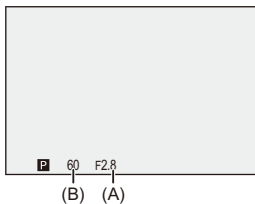
- モードダイヤルを合わせます。(→[撮影モードの選択: 80](#))

2 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値(A)とシャッタースピード(B)の数値が赤色で点滅します。



3 撮影する

プログラムシフト

カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。

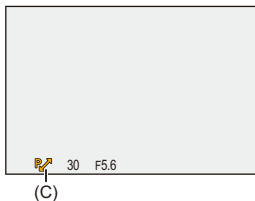
より背景をぼかす(絞り値を小さくする)、動きを表現する(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。(約10秒間)

2 数値が表示されている間に、☀ または ☂ を回す

- 撮影画面にプログラムシフトアイコン(C)が表示されます。



3 撮影する

プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを[OFF]にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、☀ または ☂ を回す



- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。
- フラッシュ



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイヤル設定: 590](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 599](#))

絞り優先AEモード



[A]モード(絞り優先AEモード)では、絞り値を設定して撮影できます。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。



絞り値が小さい

背景をぼかしやすくなります。



絞り値が大きい

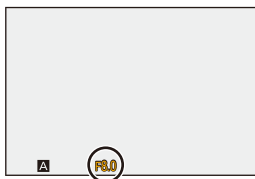
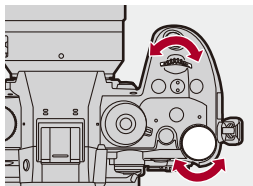
背景までピントが合った状態にしやすいです。

1 撮影モードを[A]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 絞り値を設定する

-  または  を回します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ 被写界深度の性質

絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離	望遠	広角
被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいとき	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいとき



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 295](#))
[A]モードで常に絞り効果のプレビューを働かせ、被写界深度を確認しながら撮影できます:
(→ [常時プレビュー: 593](#))
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。



- ダイアルの動作をカスタマイズできます:
(→ [ダイヤル設定: 590](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:
(→ [露出メーター: 599](#))
- 対応したレンズを使用しているとき、絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます:
(→ [絞りリング設定: 610](#))

シャッター優先AEモード



[S]モード(シャッター優先AEモード)では、シャッタースピードを設定して撮影できます。

絞り値はカメラが自動で設定します。



シャッタースピードが遅い

動きを表現しやすくなります。



シャッタースピードが速い

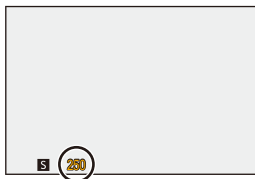
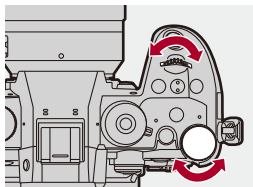
動きを止めやすくなります。

1 撮影モードを[S]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 シャッタースピードを設定する

-  または  を回します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 295](#))
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- フラッシュ撮影時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ [フラッシュモード別のシャッタースピード: 351](#))



- ダイアルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイアル設定: 590](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 599](#))

マニュアル露出モード

- 設定可能なシャッタースピード(秒): 293
- B(バルブ): 294



[M]モード(マニュアル露出モード)では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。

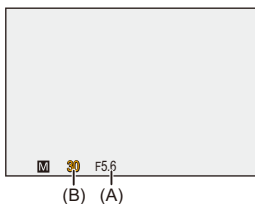
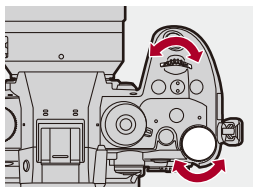
初期設定では、ISO感度が[AUTO]に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じてISO感度が設定されます。ISO感度[AUTO]設定時は露出補正も使用できます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 絞り値とシャッタースピードを設定する


-  を回して絞り値(A)を、 を回してシャッタースピード(B)を設定します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ マニュアル露出アシスト

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト(例：+1)が撮影画面に表示されます。

現在の露出値と、カメラが測光した標準露出(±0)との差を確認できます。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

設定可能なシャッタースピード(秒)

- **メカシャッター:**

B(バルブ、最大約30分間)、60～1/8000

- **電子先幕:**

B(バルブ、最大約30分間)、60～1/2000

- **電子シャッター:**

B(バルブ、最大約60秒間)、60～1/32000



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 295](#))

[M]モードで常に絞り効果、シャッタースピード効果のプレビューを働かせ、被写界深度や被写体の動きを確認しながら撮影できます:

(→ [常時プレビュー: 593](#))

- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。

- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。

- フラッシュ撮影時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ [フラッシュモード別のシャッタースピード: 351](#))



- ダイアルの動作をカスタマイズできます:

(→ [ダイアル設定: 590](#))

- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:

(→ [露出メーター: 599](#))

B(バルブ)

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約30分間)シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。



- バルブ撮影中は、三脚やシャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、写真メニュー(画質)の[長秒ノイズ除去](→[長秒ノイズ除去: 266](#))を[ON]にして撮影することをお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、バルブは使用できません。
 - SH連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - ハイレゾモード
 - [ブラケット]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

プレビューモード

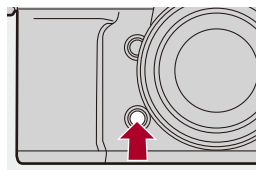


実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。

また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果も同時に確認できます。

- [プレビュー]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(→Fnボタン: 545)

プレビューボタンを押す



- ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り換わります。

絞り効果: **OFF**

シャッタースピード効果: **OFF**



絞り効果: **ON**

シャッタースピード効果: **OFF**



絞り効果: **ON**

シャッタースピード効果: **ON**



- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/32000秒です。
- [常時プレビュー]の設定によっては、表示されない確認画面があります。



- [A]／[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます：
(→ [常時プレビュー: 593](#))
- ボタンを押している間だけ絞り効果を確認できる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [プレビュー\(絞りのみ\): 553](#))

露出補正

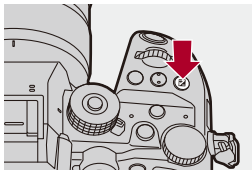
- iダイナミックレンジ: 300






カメラが決めた標準露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正できます。

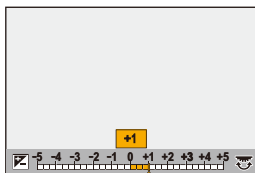
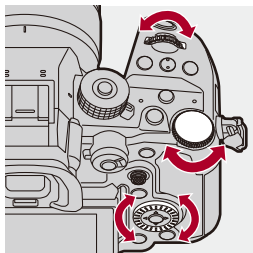
露出補正できる範囲は、1/3 EVステップ、 ± 5 EVです。動画撮影では ± 3 EVの範囲になります。

1 [] ボタンを押す



2 露出を補正する

- 、 または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- [M]モードでは、ISO感度を[AUTO]に設定すると露出補正できます。
- 露出補正値が±3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、またはAEロックすると、撮影画面に反映されず。
- 設定した露出補正値は、電源を切っても記憶しています。



- 標準露出の基準値を調整できます：
(→ [基準露出レベル調節: 576](#))
- 電源を切ると露出補正値をリセットするように設定できます：
(→ [露出補正リセット: 579](#))
- [] ボタンの動作を変更できます：
(→ [WB/ISO/露出補正ボタン: 589](#))
- 露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
(→ [露出補正画面の操作: 590](#))
- 絞り値やシャッタースピードを標準露出に合わせる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [ワンタッチAE: 550](#))

iダイナミックレンジ



背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。

 ⇒  /  ⇒  ⇒ **[iダイナミックレンジ]を選ぶ**

設定: [AUTO] / [強] / [中] / [弱] / [OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[iダイナミックレンジ]は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[ARRI LogC3]、[リアルタイムLUT]、[ハイブリッドログガンマ]
 - [フィルター設定]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

ピントや露出の固定(AF／AEロック)



撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

1 Fnボタンに[AE LOCK]、[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]を登録する(→Fnボタン: 545)

- [Fn4]～[Fn8]には登録できません。

AE LOCK

露出を固定します。

AF LOCK

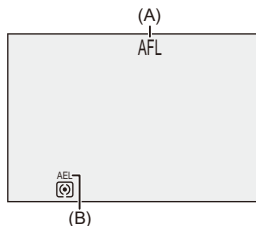
ピントを固定します。

AF/AE LOCK

ピントと露出を固定します。

2 ピントや露出を固定する

- Fnボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AFロックアイコン(A)が表示されます。
- 露出がロックされると、AEロックアイコン(B)が表示されます。



3 Fnボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



- AEロック中でも、プログラムシフトを設定できます。



- Fnボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようになります：
(→ [AF/AEロック維持: 580](#))
- AFロック中に手動でピントを微調整できます：
(→ [AF+MF: 581](#))

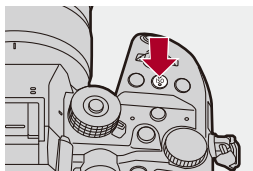
ISO感度

- ISO感度設定(写真): 307



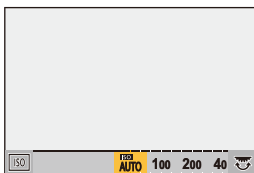
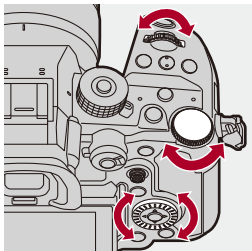
光に対する感度(ISO感度)を設定できます。初期設定では、1/3 EVごとに100～25600([M]モード時は100～12800)の範囲で設定できます。

1 [ISO]ボタンを押す



2 ISO感度を選ぶ

- 、 または  を回します。
- [ISO] ボタンを押しても選択できます。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



ISO感度の性質

ISO感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くして、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO感度が高いほど、撮影した画像のノイズも多くなります。

❖ 設定項目(ISO感度)

AUTO

明るさに応じて、自動でISO感度を調整します。

- 写真撮影時: 最大3200^{*1}
 - 動画撮影時: 最大6400^{*2}(センサー出力60 fps以下)
最大3200^{*3}(センサー出力61 fps以上)
-

100^{*4}～25600

[M]モード時:

100^{*4}～12800(センサー出力60 fps以下)

100^{*4}～3200^{*5}(センサー出力61 fps以上)

それぞれのISO感度に固定します。

*1 初期設定。[ISO感度設定(写真)]によって上限を変更できます。

*2 初期設定。[ISO感度設定(動画)]によって上限を変更できます。

*3 初期設定。[拡張ISO感度]を[ON]にすると、[ISO感度設定(動画)]によって上限を6400に設定できます。

*4 カスタムメニュー(画質)の[拡張ISO感度](→ [拡張ISO感度: 576](#))を[ON]にすると、下限値50までISO感度を拡張できます。

*5 カスタムメニュー(画質)の[拡張ISO感度](→ [拡張ISO感度: 576](#))を[ON]にすると、上限値12800までISO感度を拡張できます。

- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
 - ハイレゾモード：上限1600まで
 - [フィルター設定]：上限3200まで
 - [フォトスタイル]の[709ライク]：下限100まで
 - [フォトスタイル]の[V-Log]：
写真：下限500、上限12800まで
([拡張ISO感度]設定時：下限125まで)
動画：下限500(センサー出力60 fps以下)／250(センサー出力61 fps以上)まで
([拡張ISO感度]設定時：下限125まで)
 - [フォトスタイル]の[ARRI LogC3]：下限320(センサー出力60 fps以下)／160(センサー出力61 fps以上)まで
 - [フォトスタイル]の[ハイブリッドログガンマ]：下限250まで
 - [ライブビューコンポジット撮影]：上限1600まで
- [フォトスタイル]を[リアルタイムLUT]に設定しているときは、適用するLUTファイルのベースフォトスタイルによって、使用できるISO感度の範囲が変わります。



- ISOオートの上限と下限を設定できます：
(→ [ISO感度設定\(写真\)](#): 307、[ISO感度設定\(動画\)](#): 380)
- ISO感度の設定値の刻みを変更できます：
(→ [ISO感度ステップ](#): 576)
- 設定できるISO感度の範囲を拡張できます：
(→ [拡張ISO感度](#): 576)
- ISOオート時のシャッタースピードの下限を設定できます：
(→ [下限シャッター速度](#): 269)
- [ISO]ボタンの動作を変更できます：
(→ [WB/ISO/露出補正ボタン](#): 589)
- ISO感度の設定画面でISOオートの上限を設定できます：
(→ [ISO感度画面の操作](#): 589)
- 動画撮影時の感度の単位をdBに切り換えることができます：
(→ [SS/ゲイン操作](#): 412)

ISO感度設定(写真)



ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

 →  →  → **[ISO感度設定(写真)]**を選ぶ

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- 100～12800の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- AUTO、200～25600の範囲で設定できます。



- 以下の機能を使用中は、[ISO感度設定(写真)]は使用できません。
- [ライブビューコンポジット撮影]

ホワイトバランス／画質

本章では、ホワイトバランスやフォトスタイルなど、イメージどおりの画像を撮影するための機能について説明しています。

- [ホワイトバランス\(WB\): 309](#)
- [フォトスタイル: 317](#)
- [フィルター設定: 330](#)
- [リアルタイムLUT: 335](#)
- [LUTライブラリ: 336](#)
- [レンズ補正: 342](#)

ホワイトバランス(WB)

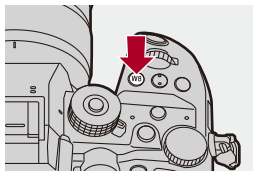
- ホワイトバランスの調整: 315



ホワイトバランス(WB)は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。

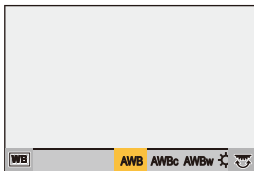
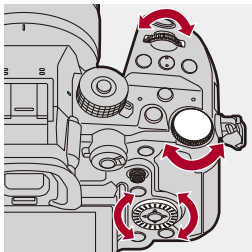
通常はオート([AWB]、[AWBc]または[AWBw])で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに設定してください。

1 [WB]ボタンを押す



2 ホワイトバランスを選ぶ

- 、 または  を回します。
- [WB] ボタンを押しても選択できます。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目(ホワイトバランス)

AWB

オート

AWBc

オート(白熱電球下で赤みを抑えます)

AWBw

オート(白熱電球下で赤みを残します)



晴天



曇天



晴天の日陰



白熱灯



フラッシュ

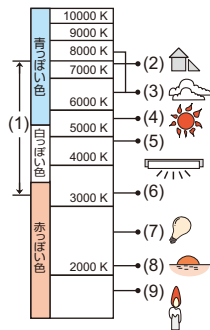


セットモード1~4(→[ホワイトセット登録: 314](#))



色温度1~4(→[色温度設定: 314](#))

* 動画撮影では[AWB]と同じ動作をします。



- (1) [AWB]が働く範囲
- (2) 日陰
- (3) 曇り空
- (4) 太陽光
- (5) 白色蛍光灯
- (6) ハロゲン電球
- (7) 白熱電球
- (8) 日の出・日の入り前
- (9) ろうそく



- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[]～[]をご使用ください。







- [フィルター設定]使用中は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。



- オートホワイトバランスを一時的にロックできます：
(→ [AWBロック設定: 577](#))
- [WB]ボタンの動作を変更できます：
(→ [WB/ISO/露出補正ボタン: 589](#))








❖ ホワイトセット登録

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。

- 1 [WB]ボタンを押し、～のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押す
- 3 画面中央の枠内に白いものを映し、または を押す
 - ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

❖ 色温度設定

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

- 1 [WB]ボタンを押し、～のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押す
 - 色温度の設定画面が表示されます。
- 3 ▲▼で色温度を選び、または を押す
 - 、または を回すと、ホワイトバランス(色温度)ブラケットの設定ができます。(→ [詳細設定\(ホワイトバランス\(色温度\)ブラケット\): 257](#))



- 2500K～10000Kまで設定できます。
- [P/M]モード時、またはカスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[動画優先表示]を[ON]に設定したときは、撮影画面にケルビン値が表示されます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB]ボタンを押す

2 ホワイトバランスを選び、▼を押す

- 調整画面が表示されます。

3 色合いを調整する

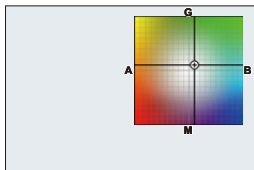
◀:[A](アンバー:オレンジ系)

▲:[G](グリーン:緑系)

▶:[B](ブルー:青系)

▼:[M](マゼンタ:赤系)

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも調整できます。
- グラフをタッチしても調整できます。
- 調整していない状態に戻すには、[DISP]ボタンを押してください。
- ☀️、☂️ または 🔄 を回すと、ホワイトバランスブラケットの設定ができます。(→ [詳細設定\(ホワイトバランスブラケット\):257](#))



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。G方向に調整すると[+]が、M方向に調整すると[-]が表示されます。

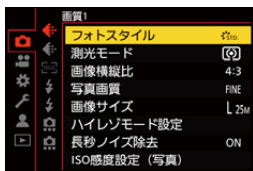
フォトスタイル



被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。フォトスタイルごとに画質調整ができます。

カメラに読み込んだLUTファイルを適用した写真や動画を撮影することもできます。

MENU SET → **[カメラ]** / **[ビデオ]** → **[設定]** → **[フォトスタイル]** を選ぶ



STD. スタンダード

標準的な設定

VIVID ヴィヴィッド

彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定

NAT ナチュラル

コントラストが低めの柔らかな設定

L.CLAS N L.クラシックネオ

ノスタルジックで優しい色合いのフィルム風の設定

FLAT フラット

彩度とコントラストが低めの誇張を抑えた設定

LAND 風景

青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定

PORT 人物

健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した設定

MONO モノクローム

色味を抜いた単色の設定

L.モノクローム

階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定

L.モノクロームD

ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定

L.モノクロームS

ポートレートに適した柔らかな印象のモノクロ設定

LEICA モノクローム

LEICAのモノクロームを踏襲した、深い黒と白のコントラストが特徴のモノクロ設定

シネライク D2

ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

- 動画編集時の処理に適しています。
-

シネライク V2

コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

709ライク

Rec.709相当のガンマカーブで、高輝度部分を圧縮(ニー)して白飛びを抑える設定
(→ [白飛びを抑えて撮影する\(二\)](#): 378)

- Rec.709とは「ITU-R Recommendation BT.709」の略称で、ハイビジョン放送の規格です。
-

V-Log

ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの設定(→ [Log撮影する](#): 443)

- ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げるすることができます。

ARRI LogC3

ARRI社が提供するLogC3規格のEI800ガンマカーブに準拠したログ動画の設定
(→[Log撮影する: 443](#))







- ポストプロダクション処理により、階調豊かな映像に上げることができます。
- アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→[アクティベーション: 633](#))
- [M]モード時に使用できます。
- [ARRI LogC3]を使用できる動画画質 (→[特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462](#))

リアルタイムLUT

[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用できます。(→[LUTライブラリ: 336](#))

- 初期設定では[Sample LUT1]が適用されています。
- 適用するLUTファイルによって、ベースとなるフォトスタイルは自動で設定されます。(LUTファイルにベースフォトスタイル情報がないときは、[V-Log]または[ARRI LogC3]を選択できます)
ベースとなるフォトスタイルを変更したいときは、マイフォトスタイルを使用してください。
- 撮影画面で[リアルタイムLUT]に登録したFnボタンを押してもフォトスタイルを[リアルタイムLUT]に変更できます。(→[リアルタイムLUT: 335](#))

適用するLUTファイルを選ぶ

- 1 ▲▼で[LUT]を選び、 ボタンを押す
- 2 、 または  で適用するLUTファイルを選び、 または  を押す
- 3 シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して撮影する

ハイブリッドログガンマ^{*1}

HLG方式の動画を撮影するための設定(→[HLG動画: 450](#))

MY PHOTO STYLE 1^{*2}～MY PHOTO STYLE 10^{*2}



フォトスタイルを好みに合わせて画質調整し、マイフォトスタイルとして登録できます。(→ [設定をマイフォトスタイルに登録する: 329](#))

- 初期設定では[MY PHOTO STYLE 4]までが表示されています。

LUTファイルを適用する

画質調整で、[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを2つまで適用できます。

(→ [LUTライブラリ: 336](#))

- LUTファイルを2つ適用する場合、[LUT1]を適用した映像に対して[LUT2]が適用されます。
- フォトスタイルは適用するLUTファイル(LUTファイルを2つ適用する場合は[LUT1])のベースフォトスタイルになります。
画像編集ソフトで作成したLUTファイルを適用するときは、作成時にベースとしたフォトスタイルと同じ[フォトスタイル]を選んでください。異なる[フォトスタイル]を選ぶと、画像を正しく表示/記録できない場合があります。
- 画質調整で[LUT1]または[LUT2]を適用しているときは、 MY]は LUT]に変わります。

*1 [M]モードで10 bitの[動画画質]に設定しているときだけ選択できます。(→ [動画画質: 137](#))

*2 [フォトスタイル設定]の[フォトスタイル表示の制限]で、メニューに表示する項目を設定できます。(→ [フォトスタイル設定: 575](#))



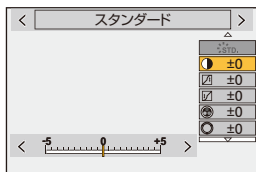
- [iA]モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
 - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
 - 画質調整できません。
- [フォトスタイル]を以下に設定したときは、使用できるISO感度の範囲が変化します。(→ [設定項目 \(ISO感度\): 305](#))
 - [709ライク]、[V-Log]、[ARRI LogC3]、[リアルタイムLUT] (ベースフォトスタイルが[V-Log]/[ARRI LogC3])、[ハイブリッドログガンマ]
- [709ライク]ではニーモードを設定できます。(→ [白飛びを抑えて撮影する \(二\): 378](#))
- [リアルタイムLUT]の画質調整で[LUT]を[OFF]にすると、[フォトスタイル]はベースとなるフォトスタイルと同じ動作になります。
- [フィルター設定]使用中は、[フォトスタイル]は使用できません。




- フォトスタイルの詳細な設定ができます：
(→ [マイフォトスタイル設定: 575](#))

❖ 画質調整

- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する
 - 調整した項目に[*]が表示されます。



- 3  または  を押す
 - 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[*]が表示されます。

設定項目(画質調整)

コントラスト

画像の明暗差を調整します。

ハイライト

明部の明るさを調整します。

シャドウ

暗部の明るさを調整します。

彩度

色の鮮やかさを調整します。

色調

青み、黄色みを調整します。

色相

赤を基準とした場合、紫／マゼンタ方向または黄色／緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。

フィルター効果

- 黄**:コントラストを強調します。(効果:弱)青空をくっきりと撮影できます。
オレンジ:コントラストを強調します。(効果:中)青空を色濃く撮影できます。
赤:コントラストを強調します。(効果:強)青空をさらに色濃く撮影できます。
緑:人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。

OFF

粒状

弱／**中**／**強**:粒状感の強弱を設定します。

OFF

色ノイズ

ON:粒状感に色味を追加します。

OFF

シャープネス

画像の輪郭を調整します。

NR ノイズリダクション

ノイズリダクションの効果を調整します。



- 効果を強めた場合、解像感が僅かに低下する場合があります。
-

ISO ISO感度*3

ISO感度を設定します。(→ISO感度: 303)





WB ホワイトバランス*3

ホワイトバランスを設定します。(→ホワイトバランス(WB): 309)

- [WB]選択中に[]ボタンを押すと、ホワイトバランスの設定画面が表示されます。もう一度[]ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
-

LUT LUT1 LUT2 LUT



プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用します。(→LUTライブラリ: 336)

- 1 [フォトスタイル]の[リアルタイムLUT]または[MY PHOTO STYLE 1]~[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
 - 2 ▲▼で[LUT]を選び、[]ボタンを押す
 - 3 で適用するLUTファイルを選び、 または  を押す
-

LUT LUT1 LUT2 LUT濃度

LUTファイルの効果を調整します。

*3 [MY PHOTO STYLE 1]~[MY PHOTO STYLE 10]選択中に、以下を設定すると使用できません。

[] → [] → [フォトスタイル設定] → [マイフォトスタイル設定] → [調整項目の追加] → [ISO感度]/[ホワイトバランス] → [ON]

- フォトスタイルの種類により、画質を調整できる項目は変わります。

	STD. VIVID NAT FLAT LAND PORT CNE D2 CNE V2	CLAS N	MONO L MONO L MONO D L MONO S LEICA MONO	709L HLG	V-Log ARRI LOG C3	LUT
	✓	✓	✓			✓*4
	✓	✓	✓			✓*4
	✓	✓	✓			✓*4
 (彩度)	✓	✓		✓		✓
 (色調)			✓			
	✓	✓		✓		
			✓			
		✓	✓			✓
		✓*5				✓*4, 5
	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓	✓
/ / /	✓*6	✓*6	✓*6	✓*6	✓*6	✓

- *4 ベースのフォトスタイルによっては、調整できない場合があります。
- *5 [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。
- *6 [フォトスタイル]がマイフォトスタイルの場合にLUTファイルを2つまで設定できます。



- [粒状]と[色ノイズ]の効果は、撮影画面では確認できません。
- RAW画像には[LUT]を適用できません。[写真画質]を[RAW]にして撮影した場合は、ライブビューと再生画面のサムネイル表示にだけLUTファイルを適用します。
- 以下の機能を使用中は、[粒状]と[色ノイズ]は使用できません。
 - 動画撮影

❖ LUTファイルを適用して撮影したときのレンジ属性

フォトスタイルにLUTファイルを適用して撮影した動画のレンジ属性は以下のようになります。

- (A) MP4
 (B) MOV
 (C) Apple ProRes 422HQ/422

[リアルタイムLUT]の ベースフォトスタイル/ マイフォトスタイル	適用する LUTファイル	[記録ファイル方式]			[輝度レベル設定]	レンジ 属性
		(A)	(B)	(C)		
[V-Log]	[Vlog_709]	✓	✓		[16-255] ([64-1023])固定	⇒ ビデオ レンジ
				✓	[16-235] ([64-940])固定	⇒ ビデオ レンジ
	[Vlog_709] 以外	✓	✓		[0-255]([0-1023]) 固定	⇒ フルレ ンジ
				✓	[16-235] ([64-940])固定	⇒ ビデオ レンジ
[ARRI LogC3]/[ハイプ リッドログガンマ]	すべて	✓	✓	✓	[64-940]固定	⇒ ビデオ レンジ
上記以外	すべて				[0-255]([0-1023])	⇒ フルレ ンジ
		✓	✓		[16-235] ([64-940])/[16-255] ([64-1023])	⇒ ビデオ レンジ
				✓	[16-235] ([64-940])固定	⇒ ビデオ レンジ



- 画像編集ソフトで動画を編集する場合は、フルレンジ用のLUTファイルの使用をお勧めします。
- 撮影した動画ファイルから画像編集ソフトを使ってLUTファイルを生成するときは、[輝度レベル設定]を[0-255]([0-1023])または[16-235]([64-940])に設定して撮影した動画ファイルの使用をお勧めします。
- 写真を撮影するときは、フルレンジ用のLUTファイルを使用してください。ビデオレンジ用のLUTファイルを適用して撮影すると、画像を正しく表示／記録できないことがあります。
- 適用したLUTファイルのレンジ属性と動画ファイルのレンジ属性が異なると、画像編集ソフトで画像が正しく生成されないことがあります。画像編集ソフトに動画ファイルを読み込むときは、動画ファイルごとに正しいレンジ設定を選んでください。
- 本機でLUTファイルを適用して撮影した画像と、画像編集ソフトでLUTファイルを適用した結果は、完全には一致しません。

❖ 設定をマイフォトスタイルに登録する



- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 画質を調整する
 - マイフォトスタイルでは、画質調整のいちばん上にフォトスタイルの種類が表示されます。ベースとなるフォトスタイルを選択してください。
- 3 [DISP.]ボタンを押す
- 4 ([MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択時)
▲▼ で[現在の設定を登録]を選び、 または を押す
- 5 ▲▼ で登録先の番号を選び、 または を押す
 - 確認画面が表示されます。
確認画面で[DISP.]ボタンを押すと、マイフォトスタイルの名前を変更できます。
入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。
文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))

❖ マイフォトスタイルの登録内容の変更

- 1 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押し、項目を設定する

登録された設定の呼出

現在の設定を登録

名称変更

デフォルトに戻す

フィルター設定

- フィルターなし同時記録: 334

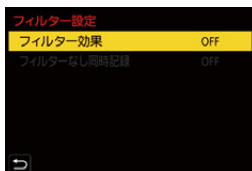


画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。


フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真も同時に撮影できます。

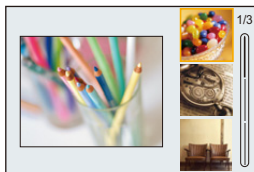
1 [フィルター効果]を設定する

- → [カメラ] / [ビデオ] → [設定] → [フィルター設定] → [フィルター効果] → [設定]






2 フィルターを選ぶ

- ▲▼で選択し、**MENU/SET** または  を押します。
- 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。



❖ フィルター効果の調整

フィルター効果の調整ができます。

- 1 フィルターを選ぶ
- 2 撮影画面で[WB]ボタンを押す
- 3 、 または  を回して設定する
 - 撮影画面に戻るには、もう一度[WB]ボタンを押してください。
 - フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルターアイコンに[*]が表示されます。






フィルター	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
クロスプロセス	色合い
ブリーチバイパス	コントラスト

❖ タッチ操作でフィルターを設定する



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定:586](#))

- []をタッチする
- 設定する項目をタッチする
 []: フィルターの入/切
 [POP]: フィルター
 []: フィルター効果の調整





- ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[☹](発光禁止)に固定されます。
- ISO感度の上限は3200になります。
- フィルターによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フィルター効果]は使用できません。
 - ハイレゾモード
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [ライブクロップ]



- Fn ボタンで[フィルター効果]の設定画面を表示しているときに[DISP.]ボタンを押すと、フィルター選択画面が表示されます。

フィルターなし同時記録



フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。

MENU / **SET** ⇒ **[カメラ]** / **[ビデオ]** ⇒ **[戻る]** ⇒ **[フィルター設定]** ⇒ **[フィルターなし同時記録]** を選ぶ

設定: **[ON]** / **[OFF]**



- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録]は使用できません。
 - 連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
 - [ブラケット]

リアルタイムLUT



フォトスタイルを[リアルタイムLUT]に設定し、LUTファイルを適用します。

- Fnボタンに[リアルタイムLUT]を登録する(→Fnボタン: 545)**
- LUTファイルの選択画面を表示する**
 - 手順1で設定したFnボタンを押します。
 - お買い上げ後、初めて設定するときなど、「LUMIX Lab」のダウンロードサイトへのQRコードが表示される場合があります。
- LUTを選ぶ**



- ◀▶で選択し、MENU/SETを押します。
- ☀️、🌧️または⚙️を回しても選択できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、LUTファイルがリスト表示されます。
- [LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用できます。(→LUTライブラリ: 336)
- 初期設定では[Sample LUT1]が適用されています。
- LUTファイルを適用していないときは、撮影画面に[V-Log]が表示されます。
- リアルタイムLUTを解除するには[Q]ボタンを押してください。

LUTライブラリ

- [LUTファイルのベースフォトスタイル: 340](#)



フォトスタイルやLUTビューアシストで使用するLUTファイルをカメラに登録します。

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Lab」を使用すると、スマートフォン内のLUTファイルをカメラの[LUTライブラリ]に登録できます。

(→ [LUTライブラリ操作: 662](#))

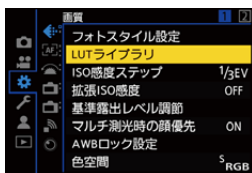


- 使用できるLUTファイル:
 - 「VARICAM 3DLUT REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠した「.vlt」形式
 - 「.cube」形式
- 「.cube」形式のLUTファイルは、2ポイント～33ポイントの3D LUTに対応しています。
- カメラにはフルレンジ用のLUTファイルを読み込むことをお勧めします。レンジ属性が異なる場合、画像が正しく表示/記録されない場合があります。
- ファイル名に使用できる文字数は、カードのファイルシステムによって異なります。(ファイル名は半角英数字をお使いください)
 - FAT32(SDメモリーカード/SDHCメモリーカード)**:8文字まで(拡張子を除く)
 - exFAT(CFexpressカード/SDXCメモリーカード)**:255文字まで(拡張子を含む)
- LUTファイルは、カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)に、拡張子を「.vlt」または「.cube」にして保存してください。



1 LUTファイルを保存したカードをカメラに入れる

2 [LUTライブラリ]を選ぶ

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [LUTライブラリ]





3 登録先を選ぶ

- ▲▼で選択し、 または  を押します。
- 登録済みの項目を選択すると、LUTファイルを上書きして登録します。



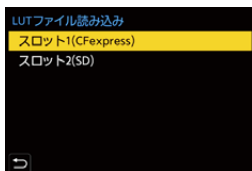
4 [読み込み]を選ぶ

-  または  を押します。
- [並べ換え]を選ぶと、LUTファイルの表示順を変更できます。
- [名称変更]を選ぶと、LUTファイルの登録名を変更できます。
- [消去]を選ぶと、登録済みのLUTファイルを消去します。





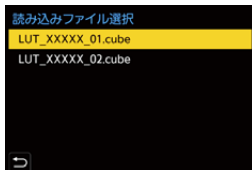
5 [スロット1(CFexpress)]または[スロット2(SD)]を選ぶ

-  または  を押します。



6 読み込むLUTファイルを選ぶ

- ▲▼で選択し、 または  を押します。





- 初期設定では、[Vlog_709]、[ARRI 709]*と3つのサンプルLUTが登録されています。
- * [ARRI 709]はアップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→[アクティベーション:633](#))
- LUTファイルは、39ファイルまで登録できます。
- [Vlog_709]、[ARRI 709]は、[並べ換え]および[消去]はできません。
- サンプルLUTの[並べ換え]および[消去]はできますが、[設定リセット]を行うと初期設定に戻ります。
- 作成時にフォトスタイル情報(ベースフォトスタイル)を設定したLUTファイル(「.cube」形式のみ)には、ベースフォトスタイルのアイコンが表示されます。

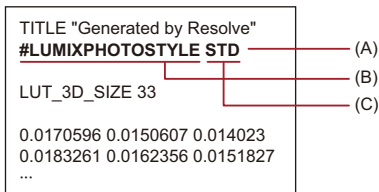
LUTファイルのベースフォトスタイル

リアルタイムLUTでは、LUTファイルに設定されたフォトスタイル情報(ベースフォトスタイル)を判別してフォトスタイルを決定します。自作したLUTファイル(「.cube」形式のみ)には、ベースフォトスタイルの情報を付与できます。LUTファイルをテキストエディターで開き、タイトル行の下にフォトスタイル情報を挿入してください。

- テキストエディターに文字コードの選択機能がある場合はUTF-8を選んでください。

例) LUTファイル(「.cube」形式)

```
TITLE "Generated by Resolve"  
#LUMIXPHOTOSTYLE STD (A)  
LUT_3D_SIZE 33 (B)  
0.0170596 0.0150607 0.014023  
0.0183261 0.0162356 0.0151827  
...
```



- (A) フォトスタイル情報
- (B) 識別タグ
- (C) フォトスタイルタグ

- 識別タグとフォトスタイルタグの間には半角スペースが必要です。
- フォトスタイル情報がない、または正しく設定されていない場合のベースフォトスタイルは[V-Log]になります。

フォトスタイル情報一覧

- #LUMIXPHOTOSTYLE STD: スタンダード
- #LUMIXPHOTOSTYLE VIVID: ヴィヴィッド
- #LUMIXPHOTOSTYLE NAT: ナチュラル
- #LUMIXPHOTOSTYLE LCLASN: L.クラシックネオ
- #LUMIXPHOTOSTYLE FLAT: フラット
- #LUMIXPHOTOSTYLE LAND: 風景
- #LUMIXPHOTOSTYLE PORT: 人物
- #LUMIXPHOTOSTYLE MONO: モノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONO: L.モノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONOD: L.モノクロームD
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONOS: L.モノクロームS
- #LUMIXPHOTOSTYLE LEICAMONO: LEICAモノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNED2: シネライク D2
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNEV2: シネライク V2
- #LUMIXPHOTOSTYLE 709L: 709ライク
- #LUMIXPHOTOSTYLE HLG: HLG
- #LUMIXPHOTOSTYLE VLOG: V-Log
- #LUMIXPHOTOSTYLE LOGC3: ARRI LogC3

レンズ補正

- 周辺光量補正: 342
- 回折補正: 343

周辺光量補正



レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。

 → [] / [] → [] → [周辺光量補正] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

回折補正



絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

 →  /  →  → **[回折補正]を選ぶ**

設定: [AUTO] / [OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。

フラッシュ

ホットシューにフラッシュライト(別売:DMW-FL580L、DMW-FL200L)を装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用することもできます。また、ワイヤレスフラッシュ撮影に対応した外部フラッシュを本機に装着すると、離れた位置にある外部フラッシュをワイヤレスで制御することもできます。

- フラッシュライトの取扱説明書もお読みください。
- 外部フラッシュ(別売)を使う: 345
- フラッシュの設定: 349
- ワイヤレスフラッシュ撮影: 357

外部フラッシュ(別売)を使う

- [ホットシューカバーの取り外し: 346](#)



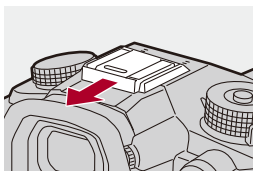
- ケラレを防止するために、レンズフードを取り外してください。
- 以下の機能を使用中は、フラッシュ撮影できません。
 - 電子シャッター、[サイレントモード]
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]
 - SH連写

ホットシューカバーの取り外し

フラッシュライト(別売)を取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。

フラッシュライトの取り付け方について詳しくは、フラッシュライトの取扱説明書をお読みください。

ホットシューカバーを矢印の方向に引いて取り外す



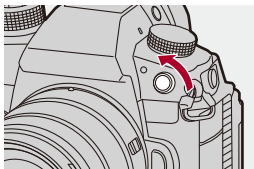
❖ フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する

フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用できます。



- シンクロ電圧が250 V以下の外部フラッシュをご使用ください。
- シンクロケーブルは3 m未満のものをご使用ください。

- 1 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す
 - フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。



- 2 シンクロケーブルをフラッシュシンクロ端子に接続する
 - 端子には、ケーブルの抜け落ちを防止するロックねじが付いています。
 - 接続については、シンクロケーブルの取扱説明書をお読みください。



- フラッシュシンクロ端子に極性はありません。シンクロケーブルの極性と関係なく、そのまま使用できます。
- [M]モードでは、フラッシュシンクロ端子を外部機器とのタイムコード同期に使用します。(→外部機器とタイムコードを同期する: 402) [M]モードに設定したときは、フラッシュシンクロ端子に外部フラッシュを接続しないでください。本機の故障の原因になります。

❖ フラッシュ撮影時のお知らせ



- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュの設定




- フラッシュモード: 350
- 発光モード、マニュアル発光量設定: 352
- フラッシュ光量調整: 354
- フラッシュシンクロ: 355
- 露出補正連動: 356



カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できません。

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

 →  →  → **[フラッシュモード]**を選ぶ


 (強制発光) /  (赤目軽減強制発光)

フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。

 (スローシンクロ) /  (赤目軽減スローシンクロ)





フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景も明るく写します。

- シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。

 (発光禁止)

フラッシュは発光しません。



- フラッシュは2回発光します。特に[], [] 設定時は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
- 以下を設定しているときは、[], [] は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [フラッシュシンクロ]: [後幕]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]
- 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(✓: 設定可、—: 設定不可)

撮影モード					
P / A	✓	✓	✓	✓	✓
S / M	✓	✓	—	—	✓



- [iA]モード時は、[i $\frac{1}{2}$ A]または[]に設定できます。[i $\frac{1}{2}$ A]では、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

❖ フラッシュモード別のシャッタースピード

/ : 1/60秒* ~ 1/250秒

/ : 1秒 ~ 1/250秒

* [S]モード時は60秒、[M]モード時はB(バルブ)になります。

発光モード、マニュアル発光量設定

フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。



- 一部の他社製フラッシュライト装着時に、設定した内容が有効になります。
フラッシュライト(別売:DMW-FL580L、DMW-FL200L)装着時は、フラッシュ側で設定してください。

1 発光モードを設定する

- → → [発光モード]

TTL

フラッシュの発光量をカメラが自動で設定します。

マニュアル

フラッシュの発光量を手動で設定します。

- [TTL]では発光量が大きくなりがちで暗いシーンでも、意図どおりの撮影ができます。
- 撮影画面のフラッシュアイコンに発光量([1/1]など)が表示されます。

2 ([マニュアル]設定時)[マニュアル発光量設定]を選び、

- または を押す

3 ◀▶で発光量を設定し、またはを押す




- [1/1](フル発光)～[1/128]の範囲で、1/3段ごとに設定できます。



フラッシュ光量調整

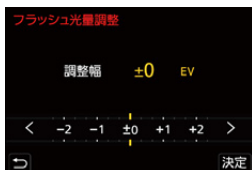
TTLの発光モードでフラッシュ撮影するとき、フラッシュの発光量を調整できます。


1 [フラッシュ光量調整]を選ぶ

-  →  →  → [フラッシュ光量調整]

2 ◀▶ で発光量を調整し、 または を押す



- -3 EV～+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。



- 撮影画面に  が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ光量調整について(→ [フラッシュ光量調整: 361](#))
- 以下を設定しているときは、[フラッシュ光量調整]は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

 →  →  → [フラッシュシンクロ]を選ぶ

先幕

一般的なフラッシュ撮影の方法です。



後幕

被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。



- [後幕]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[先幕]に固定されます。
 - [ワイヤレスモード]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

露出補正連動

露出補正量(→[露出補正: 297](#))に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

 →  →  → [露出補正連動]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

ワイヤレスフラッシュ撮影



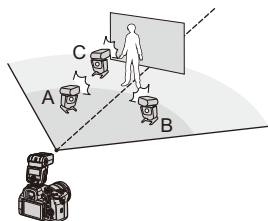
別売のフラッシュライト(DMW-FL580L、DMW-FL200L)を使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

設置例

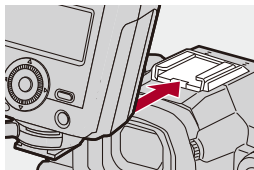
発光グループA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合





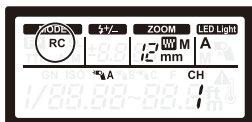
- 設置範囲はカメラを横に構えて撮影する場合の目安です。範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。(→ [ワイヤレス通信光量: 362](#))

1 カメラに外部フラッシュを取り付ける(→ [ホットシューカバーの取り外し: 346](#))



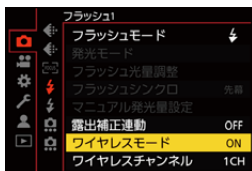
2 ワイヤレスフラッシュの設定を[RC]モードにして配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。



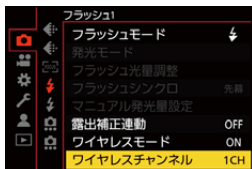
3 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- **MENU/SET** ⇒ **[カメラアイコン]** ⇒ **[ワイヤレスフラッシュアイコン]** ⇒ **[ワイヤレスモード]** ⇒ **[ON]**



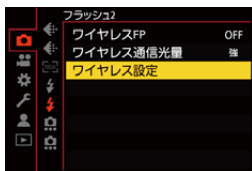
4 [ワイヤレスチャンネル]を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



5 [ワイヤレス設定]を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



- [ワイヤレスモード]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。

❖ 設定項目(ワイヤレス設定)

- テスト発光するには、[DISP.] ボタンを押してください。



外部フラッシュ ^{*1}	発光モード	<p>[TTL]:カメラが自動で発光量を設定します。</p> <p>[AUTO]^{*2}:外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>[マニュアル]:外部フラッシュの発光量を手動で設定します。</p> <p>[OFF]:外部フラッシュは通信発光だけ行いません。</p>
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	<p>[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。




Aグループ／B グループ／C グループ	発光モード	<p>[TTL]:カメラが自動で発光量を設定します。</p> <p>[AUTO]^{*1}:ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>[マニュアル]:ワイヤレスフラッシュの発光量を手で設定します。</p> <p>[OFF]:設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。</p>
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手で調整します。
	マニュアル発光量設定	<p>[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>• [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。</p>

*1 [ワイヤレスFP]を設定したときは選択できません。

*2 フラッシュライト(別売:DMW-FL200L)使用時は設定できません。

❖ ワイヤレスFP




ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)し、速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

 ⇒  ⇒  ⇒ [ワイヤレスFP]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [ワイヤレス通信光量]を選ぶ

設定: [強] / [中] / [弱]

動画の設定



動画専用の撮影モードであるクリエイティブ動画モードや、動画を撮影するときの設定について説明しています。

- 動画専用撮影モード(クリエイティブ動画): 364
- AFを使う(動画): 370
- 動画の明るさ、色合い: 375
- 音声の設定: 381
- 外部マイク(別売): 389
- XLRマイクロホンアダプター(別売): 392
- ヘッドホン: 396
- タイムコード: 399
- 外部機器とタイムコードを同期する: 402
- 主なアシスト機能: 410

動画専用撮影モード(クリエイティブ動画)

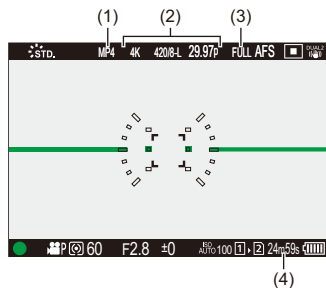
- 動画撮影に適した表示: 365
- 露出を設定して動画を撮る: 366
- 動画と写真の撮影設定を分ける: 369



[M]モード(クリエイティブ動画モード)は、すべての動画機能が使用できる、動画撮影専用の撮影モードです。[M]モードでは、撮影画面が動画撮影に適した表示に切り換わります。シャッターボタンで動画撮影の開始と終了ができます。露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。露出やホワイトバランスなどを、写真撮影時と分けて設定できます。

動画撮影に適した表示

撮影画面の以下の部分が、動画撮影に適した表示に切り換わります。



- (1) 記録ファイル方式(→ [記録ファイル方式: 136](#))
- (2) 動画画質(→ [動画画質: 137](#))
- (3) 動画撮影範囲(→ [動画撮影範囲: 161](#))
- (4) 動画記録時間(→ [動画記録時間\(h:時間、m:分、s:秒\): 832](#))

• お買い上げ時の表示例です。ここに記載している以外のアイコンについて(→ [モニター/ファインダーの表示: 779](#))



- [iA]/[P]/[A]/[S]/[M]モードでも、[PM]モードと同じように、動画撮影に適した表示に切り換えることができます:
(→ [動画優先表示: 606](#))

露出を設定して動画を撮る

1 撮影モードを[**M**]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 露出モードを設定する

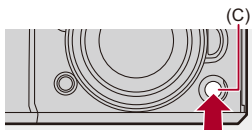
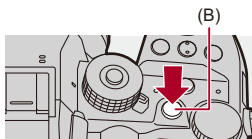
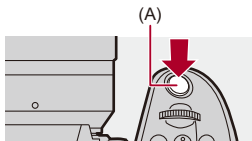
- **MENU/SET** → [**人**] → [**露出**] → [動画露出設定] → [P] / [A] / [S] / [M]
- [P] / [A] / [S] / [M]モードと同じ露出操作ができます。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 撮影を開始する

- シャッターボタン(A)、動画記録ボタン(B)、またはサブ動画記録ボタン(C)を押します。



5 撮影を終了する

- もう一度シャッターボタン、動画記録ボタン、またはサブ動画記録ボタンを押します。




- シャッターボタンを使用した記録開始/終了操作を無効にできます：
(→ [シャッター全押し動画記録: 584](#))
- [M]モード時にだけ動画撮影を開始/停止する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [動画撮影\(クリエイティブ動画時\): 553](#))

❖ 動画撮影中の操作

露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 586](#))

- 1 をタッチする

2 アイコンをタッチする

T↑
w↓ ズーム

F 絞り値

SS シャッタースピード

露出補正

ISO/GAIN ISO感度/ゲイン(dB)

録音レベル設定

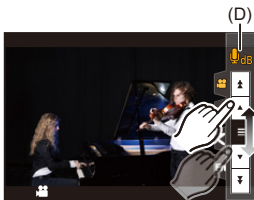
(→ [録音レベル設定: 384](#))

3 スライドバーをドラッグして設定する

[▼]/[▲]: ゆっくり設定を変える

[▽]/[▲]: 速く設定を変える

- アイコン(D)をタッチすると手順2の画面に戻ります。



動画と写真の撮影設定を分ける



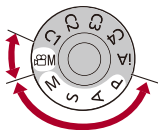
初期設定では、[iA/M]モードで変更した露出やホワイトバランスなどの設定は、[P]/[A]/[S]/[M]モードでの写真撮影にも反映されます。[クリエイティブ動画の設定値]メニューで、動画撮影時と写真撮影時の設定を分けることができます。

MENU/SET → **[設定]** → **[クリエイティブ]** → **[クリエイティブ動画の設定値]** を選ぶ

絞り値/SS/ISO/露出補正/ホワイトバランス/フォトスタイル/測光モード/AFモード:
[カメラアイコン]: 撮影モード間で撮影設定が連動します。



[動画モード]: [iA/M]モードと[P]/[A]/[S]/[M]モードで撮影設定を分けることができます。



- [iA]モードはカメラが自動で最適な撮影設定をするため、本機能の設定にかかわらず、独立した撮影設定になります。

AFを使う(動画)

- AF連続動作: 370
- AFカスタム設定(動画): 372
- 動画ライブビュー拡大表示: 373

AF連続動作



動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

 →  →  → **[AF連続動作]**を選ぶ

MODE1

撮影中だけ自動でピントを合わせ続けます。

MODE2

撮影待機中と撮影中にピントを合わせ続けます。

- [iA/M]モード時に設定できます。

OFF

撮影開始時のピント位置に固定されます。



- [iA]モードでは、[AF連続動作]の設定にかかわらず、撮影待機中に自動でピントを合わせます。
- 撮影環境や使用しているレンズによっては、動画撮影中にAFの動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]を[OFF]に設定して撮影してください。
- 動画撮影中にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- [iM]モード時にHDMI出力すると、[MODE1]は[MODE2]に切り換わります。
- [MODE2]に設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。

AFカスタム設定(動画)



[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

→ → → **[AFカスタム設定(動画)]**を選ぶ

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF駆動速度	[+]側:速いスピードでピントを合わせます。 [-]側:緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF追従感度	[+]側:被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-]側:被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

- [DISP.] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。

動画ライブビュー拡大表示



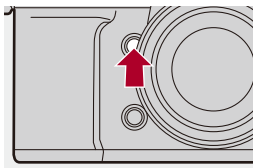
AFモードが[], [], []のとき、またはMFで撮影中に、ピント位置を拡大表示します。(AFモードが[], []のときは、画面中央が拡大表示されます)

動画撮影中にもピント位置を拡大して確認できます。

- [動画ライブビュー拡大表示]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。
(→Fnボタン: 545)

動画ライブビュー拡大表示ボタンを押して、ピント位置を拡大表示する

- 拡大表示画面の操作は、MFアシスト画面の操作と同じです。(→MFアシスト画面での操作: 208)





- 以下の機能を使用すると、拡大表示の倍率は3倍に固定されます。
 - [クロップズーム(動画)]
- 使用するレンズによって、動画ライブビュー拡大表示画面が表示されない場合があります。
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、動画ライブビュー拡大表示画面を表示できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [バリエャブルフレームレート]
 - [ライブクロップ]
- フォーカスリングがない交換レンズ装着時、以下の機能を使用中は、動画ライブビュー拡大表示画面を表示できません。
 - [バリエャブルフレームレート]



- 拡大表示画面の表示方法を変更できます：
(→ [動画ライブビュー拡大表示設定: 585](#))
- HDMI接続した外部機器に拡大表示を出力するか設定できます：
(→ [HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 485](#))

動画の明るさ、色合い

- 輝度レベル設定: 375
- マスターペダスタル: 377
- 白飛びを抑えて撮影する(二一): 378
- ISO感度設定(動画): 380

輝度レベル設定



動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

動画の基準である [16-235] や [16-255]、写真と同様に輝度の全域を使用する [0-255] を設定できます。

 →  →  → **[輝度レベル設定] を選ぶ**

[0-255]([0-1023])

フルレンジで動画を記録するための設定です。

[16-235]([64-940])

ビデオレンジで動画を記録するための設定です。

[16-255]([64-1023])

ビデオレンジで動画を記録するための設定です。

- 使用するモニター、動画再生ソフト、動画編集ソフトによっては、正しい階調で表示されない場合があります。
-



- 10 bitの[動画画質]に設定しているときは、設定項目が[0-1023]、[64-940]、[64-1023]に切り換わります。
- [記録ファイル方式]を[Apple ProRes]の422 HQ、422に設定しているときは、[16-235]([64-940])に固定されます。
- [記録ファイル方式]を[MP4]、[MOV]に設定し、[フォトスタイル]を[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-log])に設定しているときは、[0-255]([0-1023])に固定されます。ただし、[フォトスタイル]を[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])に設定、またはマイフォトスタイルでフォトスタイルを[V-Log]に設定しても、[Vlog_709]のLUTファイルを適用したときは、[16-255]([64-1023])に固定されます。
- [フォトスタイル]を[ARRI LogC3]、[ハイブリッドログガンマ]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[ARRI LogC3]、[ハイブリッドログガンマ])に設定しているときは、[64-940]に固定されます。

マスターペDESTAL



映像の基準となる黒を調整します。

1 撮影モードを[M]にする

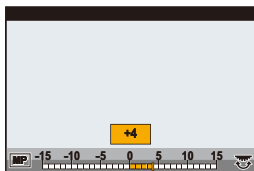
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [マスターペDESTAL]を選ぶ

- **MENU/SET** → [] → [] → [マスターペDESTAL]

3 マスターペDESTALを調整する

- 、 または を回します。
- -15～+15の範囲で設定できます。






- 以下の機能を使用中は、[マスターペDESTAL]は使用できません。
- [フォトスタイル]の[V-Log]、[ARRI LogC3]、[リアルタイムLUT]

白飛びを抑えて撮影する(二)



[フォトスタイル]を[709ライク]に設定すると、ニーを調整して白飛びを抑えた撮影ができます。

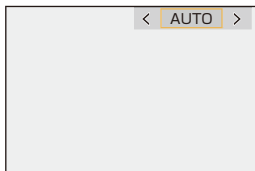
1 [フォトスタイル]を[709ライク]に設定する

-  →  →  → [フォトスタイル] → [709ライク]

2 [Q]ボタンを押す

3 ニー設定を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選びます。



AUTO

自動で高輝度部分の圧縮レベルを調整します。



MANUAL

圧縮を開始する輝度(ニーマスターポイント)と圧縮の強さ(ニーマスタースロープ)を任意に設定します。

▲▼で項目を選び、◀▶で調整する

[POINT]:ニーマスターポイント

[SLOPE]:ニーマスタースロープ

-  を回すとニーマスターポイントを、 を回すとニーマスタースロープを調整できます。
 - 以下の範囲で設定できます。
 - ニーマスターポイント:80.0~107.0
 - ニーマスタースロープ:0~99
-

OFF

4 決定する

-  または  を押します。

ISO感度設定(動画)



ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [ISO感度設定(動画)]を設定する

- → [] → [] → [ISO感度設定(動画)]

❖ 設定項目(ISO感度設定(動画))

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- センサー出力60 fps以下: 100 ~ 6400の範囲で設定できます。
- センサー出力61 fps以上: 100 ~ 1600の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- センサー出力60 fps以下: AUTO, 200 ~ 12800の範囲で設定できます。
- センサー出力61 fps以上: AUTO, 200 ~ 3200の範囲で設定できます。



- 使用するフォトスタイルによって、ISO感度を設定できる範囲は異なります。

音声の設定

- 録音レベル表示: 382
- 音声入力ミュート: 382
- 録音ゲイン切換: 383
- 録音レベル設定: 384
- 録音音質: 385
- 録音レベルリミッター: 387
- 風音キャンセラー: 387
- レンズ動作音低減: 388
- オーディオ情報表示: 388



録音レベル表示

録音レベルを撮影画面に表示します。

 →  →  → **[録音レベル表示]**を選ぶ

ON	録音レベルを撮影画面に表示します。	
OFF	—	
設定	録音レベルの表示サイズを設定します。	
	表示サイズ	[大]／[小]



- [録音レベルリミッター]が[OFF]のとき、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。

音声入力ミュート

音声入力をミュートにします。

 →  →  → **[音声入力ミュート]**を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]



- 撮影画面にが表示されます。

録音ゲイン切換

音声入力のゲインを切り換えます。

 →  →  → **[録音ゲイン切換]**を選ぶ

標準

標準の入力ゲイン設定です。(0 dB)

低

音量が大きい環境で、音声入力を抑えて記録します。(-12 dB)



- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、CH3 / CH4の録音ゲインを調整できます。(→[4chオーディオ記録: 395](#))
- [マイク端子]を[LINE]にして、外部音声機器を接続しているときは、[録音ゲイン切換]は使用できません。

録音レベル設定


録音レベルを手動で調整します。

 →  →  → **[録音レベル設定]**を選ぶ

• ◀▶ で録音レベルを調整し、 または  を押す。

設定: [MUTE] / [-18 dB] ~ [+12 dB]



- 1 dBごとに調整できます。
- 動画記録中にも設定できます。
- 表示されるdB値は目安です。
- [MUTE]に設定すると、撮影画面にが表示されます。
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、CH3 / CH4の録音レベルを調整できます。(→[4chオーディオ記録: 395](#))

録音音質

[記録ファイル方式]が[MOV]または[Apple ProRes]のときの動画の音質を設定します。

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)を接続すると、32bit フロート録音ができます。



→ [] → [] → [録音音質]を選ぶ

96kHz/32bit

96kHz/32bitのフロート形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプターを接続し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のときに設定できます。

48kHz/32bit

48kHz/32bitのフロート形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプターを接続し、[4chオーディオ記録]が[XLR]または[OFF]のときに設定できます。

96kHz/24bit

96kHz/24bitのリニア形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)や、ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)、ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時に設定できます。
(→XLRマイクロホンアダプター(別売): 392、外部マイク(別売): 389)

48kHz/24bit

48kHz/24bitのリニア形式で音声を記録します。



- [4ch オーディオ記録]が[XLR]のときは、[96kHz/32bit]または[96kHz/24bit]に設定できません。
- [4ch オーディオ記録]が[XLR+カメラ]のときは、[96kHz/32bit]または[48kHz/32bit]に設定できません。
- 以下の場合は、[48kHz/16bit]に固定されます。
 - [記録ファイル方式]を[MP4]に設定時
- フロート形式とリニア形式の切り換えを行うと、記録音量が変化する場合があります。

録音レベルリミッター




録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

 →  →  → **[録音レベルリミッター]**を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

風音キャンセラー

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

 →  →  → **[風音キャンセラー]**を選ぶ

強

強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減します。

標準

音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減します。

OFF




機能をオフにします。



- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- [風音キャンセラー]は、内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク接続時は[風音低減]が表示されます。(→ [風雑音の低減: 391](#))

レンズ動作音低減

パワーズーム対応のレンズを使用しているとき、動画撮影中に記録されるズーム動作音を低減します。

 →  →  → **[レンズ動作音低減]**を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

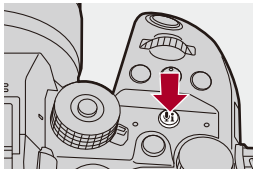
オーディオ情報表示

音声の設定や記録状況をまとめて確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

- オーディオ情報表示画面の操作は、コントロールパネルの操作と同じです。(→ [コントロールパネル: 96](#))

[] ボタンを押す

- コントロールパネル(クリエイティブ動画モード)の音声表示エリアをタッチしても表示できます。
- 画面表示について(→ [オーディオ情報表示: 793](#))



外部マイク(別売)

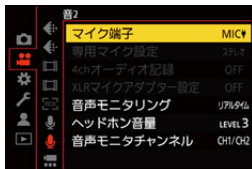
- 収音範囲の設定(別売:DMW-MS2): 391
- 風雑音の低減: 391



ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクよりも高音質なハイレゾ音声を記録できます。

1 接続する機器に合わせて[マイク端子]を設定する

- [MENU/SET] → [人] → [マイク] → [マイク端子]



MIC⇩マイク入力(Plug-in Power)

カメラの[MIC]端子から電源供給が必要な外部マイクを接続するとき

MIC マイク入力

カメラの[MIC]端子から電源供給が不要な外部マイクを接続するとき

LINE ライン入力

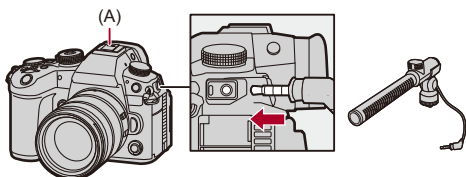
ライン出力する外部音声機器を接続するとき

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時は、[MIC▼]に固定されます。
- [MIC▼]設定時に、電源供給が不要な外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが故障する場合があります。接続前にご確認ください。

2 電源スイッチを[OFF]にする

3 カメラに外部マイクをつなぎ、カメラの電源を入れる

- 外部マイクをカメラのホットシュー(A)に取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(→ [ホットシューカバーの取り外し: 346](#))




4 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する(→ [録音音質: 385](#))



- ステレオマイクロホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- 外部マイク接続中は、画面に[EXT.]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)使用時、マイクの收音範囲を設定できます。

 →  →  → **[専用マイク設定]**を選ぶ

ステレオ




広い範囲の音を收音します。

ガン

周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音します。

風雑音の低減

外部マイク接続時の風雑音を低減します。

 →  →  → **[風音低減]**を選ぶ

設定: [強] / [中] / [弱] / [OFF]



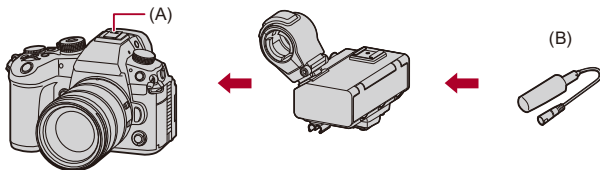
- [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。

XLRマイクロホンアダプター(別売)

- 4chオーディオ記録: 395



XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)を装着すると、市販のXLRマイクなどを使用して高音質な32bitフロート録音や4チャンネルの音声記録ができます。(→ [録音音質: 385](#)、[4chオーディオ記録: 395](#))






(A) ホットシュー

(B) 市販のXLRマイクなど

準備:

- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(→ [ホットシューカバーの取り外し: 346](#))

1 ホットシューにXLRマイクロホンアダプターを取り付け、カメラの電源を入れる

●  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [XLRマイクアダプター設定]

- XLRマイクロホンアダプターを装着すると、[XLRマイクアダプター設定]が自動で[ON]になります。

ON

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声を記録します。

OFF

カメラの内蔵マイクの音声を記録します。

2 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する(→ [録音音質: 385](#))



別売のXLRマイクロホンアダプターDMW-XLR1について

DMW-XLR1(別売)もお使いいただけますが、以下の制約があります。

- 以下の機能は使用できません。
 - [4chオーディオ記録]の[XLR]
 - [録音音質]の[96kHz/32bit]、[48kHz/32bit]
- DMW-XLR2(別売)をお使いいただくことをお勧めします。



- XLRマイクロホンアダプター装着時は、画面に[XLR]が表示されます。
- [XLRマイクロホンアダプター設定]を[ON]に設定し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のとき、以下の設定が固定されます。
 - [録音レベルリミッター]:[OFF]
 - [風音キャンセラー]:[OFF]
 - [音声モニタリング]:[記録音]
- [XLRマイクロホンアダプター設定]を[ON]に設定し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のとき、[録音ゲイン切換]や[録音レベル設定]は使用できません。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、XLRマイクロホンアダプターを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- カメラの電源を入れた直後に動画撮影を開始すると、冒頭に無音区間ができる場合があります。
- 詳しくは、XLRマイクロホンアダプターの取扱説明書をお読みください。

4chオーディオ記録

市販のXLRマイクなどを接続したXLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)を使って、4チャンネルの音声を記録できます。

内蔵マイクの代わりにステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、96kHz/24bitのハイレゾ音声での4チャンネル記録も可能です。(→外部マイク(別売):389)

 →  →  → **[4chオーディオ記録]を選ぶ**

XLR

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2 / CH3 / CH4に記録します。

XLR+カメラ

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2に記録します。CH3 / CH4にはカメラの内蔵マイクまたはカメラに接続した外部マイクの音声を記録します。

OFF

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2に記録します。



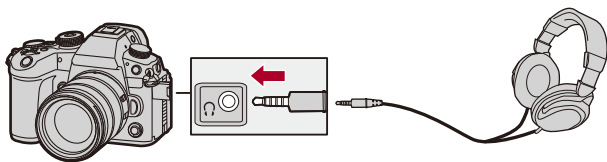
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、画面に[4ch]と表示されます。
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているとき、HDMI接続した外部機器には4チャンネルの音声を出力します。
- [記録ファイル方式]が[MP4]のときは設定できません。
- [XLRマイクアダプター設定]が[OFF]のときは設定できません。

ヘッドホン

- 音声モニタチャンネル: 397



カメラに市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。

❖ 音声の出力方法の切り換え

→ [] → [] → [音声モニタリング] を選ぶ

リアルタイム

遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。

記録音

動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。



- 以下の場合は、[記録音]に固定されます。
 - XLR マイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)使用時([4chオーディオ記録]を[OFF]に設定時)

❖ ヘッドホンの音量の調整

ヘッドホン接続中に を回す

: 音量を下げる

: 音量を上げる

メニューで調整する場合:

- 1 [ヘッドホン音量]を選ぶ
 - ⇒ ⇒ ⇒ [ヘッドホン音量]
- 2 ▲▼でヘッドホン音量を調整し、 または を押す
 - 0~LEVEL15の範囲で調整できます。

音声モニタチャンネル

撮影時、ヘッドホンに出力する音声のチャンネルを設定できます。

再生時の音声チャンネル設定について(→ [音声モニタチャンネル\(再生時\)](#):626)

⇒ ⇒ ⇒ [音声モニタチャンネル]を選ぶ

[CH1/CH2]

CH1(L)／CH2(R)を出力します。

[CH3/CH4]

CH3(L)／CH4(R)を出力します。

[CH1+CH2/CH3+CH4]

CH1+CH2(L)／CH3+CH4(R)を出力します。

[CH1]

CH1を出力します。

[CH2]

CH2を出力します。

[CH3]

CH3を出力します。

[CH4]

CH4を出力します。

[CH1+CH2]

CH1とCH2をミックスして出力します。

[CH3+CH4]

CH3とCH4をミックスして出力します。

[CH1+CH2+CH3+CH4]

CH1、CH2、CH3、CH4をミックスして出力します。



- 動画記録中にも設定できます。

タイムコード







- タイムコードを設定する: 399



[記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、動画撮影時にタイムコードが自動で記録されます。[MP4]では、タイムコードは記録されません。

タイムコードを設定する

タイムコードの記録や表示、出力を設定します。

- 1 [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する
 -  →  →  → [記録ファイル方式] → [MOV] / [Apple ProRes]
- 2 [タイムコード設定]を選ぶ
 -  →  →  → [タイムコード設定]

タイムコード表示

撮影画面／再生画面にタイムコードを表示します。

カウントアップ方式

[レックラン]: 動画記録中だけタイムコードをカウントします。

[フリーラン]: 動画記録停止中や電源OFF中もタイムコードをカウントします。

- 以下の機能を使用中は、[カウントアップ方式]は[レックラン]に固定されます。
- [バリエブルフレームレート]
-

タイムコード値設定

[リセット]: 00:00:00:00(時:分:秒:フレーム)に設定します。

[手動入力]: 時:分:秒:フレームを手動で入力します。

[現時刻]: 時:分:秒を現在の時刻に設定し、フレームを00に設定します。

タイムコードモード

[DF]: ドロップフレーム。記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。

- 秒とフレームの間が"."で表示されます。

例)00:00:00.00

[NDF]: ノンドロップフレーム。ドロップフレームせずにタイムコードを記録します。

- 秒とフレームの間が":"で表示されます。


例)00:00:00:00


- 以下の機能を使用中は、[タイムコードモード]は[NDF]に固定されます。

– [システム周波数]の[50.00Hz(PAL)]、[24.00Hz(CINEMA)]

– 47.95p、23.98pの[動画画質]

HDMIタイムコード出力

[]モードで撮影中に、HDMI出力する映像にタイムコードの情報を付け加えて出力します。

- 再生中も、モードダイヤルを[]に合わせるとタイムコードをHDMI出力できます。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。(→[出力解像度\(再生時\): 629](#))
 - 接続する機器によっては機器の画面が黒くなる場合があります。
-

外部タイムコード設定

タイムコードの入力、出力に対応した外部機器とタイムコードの初期値を同期します。(→[外部機器とタイムコードを同期する: 402](#))

[タイムコード同期]: タイムコード信号の入力、出力を選びます。

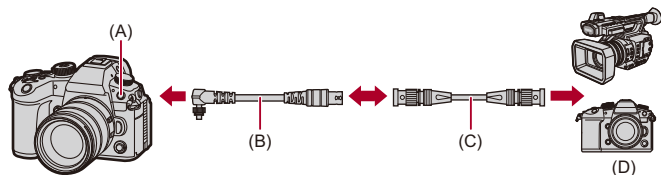
[タイムコード出力基準]: タイムコード信号を出力するタイミングを設定します。

外部機器とタイムコードを同期する

- タイムコード同期の準備: 403
- 本機のタイムコードに外部機器を同期させる (TC OUT): 405
- 外部機器のタイムコードに本機を同期させる (TC IN): 407



タイムコード信号の入力、出力に対応した外部機器とタイムコードの初期値を同期します。



- (A) フラッシュシンクロ端子
- (B) BNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用) (付属)
- (C) BNCケーブル(市販)
- (D) 外部機器




タイムコード同期の準備

[M]モードで[カウントアップ方式]を[フリーラン]にしたときに、外部機器とタイムコードの初期値を同期できます。

1 撮影モードを[M]にする

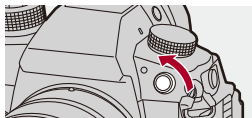
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [カウントアップ方式]を[フリーラン]に設定する

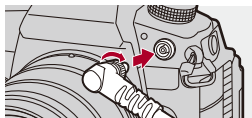
-  →  →  → [タイムコード設定] → [カウントアップ方式] → [フリーラン]

3 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す

- フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。



4 BNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)を差し込み、矢印の方向にロックねじを回して取り付ける



5 BNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)と外部機器をBNCケーブルで接続する






- 付属のBNC変換ケーブル(TC IN/OUT専用)をお使いください。
- BNCケーブルは2.8 m未満のものをお使いください。
- BNCケーブルは、5C-FB 相当の二重シールドのものをお勧めします。

本機のタイムコードに外部機器を同期させる(TC OUT)

本機のタイムコード信号(LTC信号)に合わせて、外部機器のタイムコードの初期値を同期させます。

1 タイムコード同期の準備をする(→ [タイムコード同期の準備: 403](#))

2 [タイムコード出力基準]を選ぶ

-  →  →  → [タイムコード設定] → [外部タイムコード設定] → [タイムコード出力基準]




撮影基準

撮影する映像に合わせて、タイムコード信号を出力します。

HDMI基準

外部機器(外部レコーダーなど)とHDMI接続しているときに、HDMIの映像に合わせてタイムコード信号を少し遅らせて出力します。

3 [タイムコード同期]を[TC出力]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [タイムコード設定] ⇒ [外部タイムコード設定] ⇒ [タイムコード同期] ⇒ [TC出力]
- [動画画質]の記録フレームレートと[タイムコードモード](DF/NDF)の設定に合わせて、タイムコード信号を出力します。

4 外部機器でタイムコードを同期させる

❖ タイムコード信号の再出力

以下のように設定しておくこと、BNCケーブルで外部機器と接続するだけでタイムコード信号(LTC信号)を出力できます。




- [M]モード
- [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]:[フリーラン]
- [タイムコード設定]の[外部タイムコード設定]の[タイムコード同期]:[TC出力]

外部機器のタイムコードに本機を同期させる (TC IN)

外部機器のタイムコード信号(LTC 信号)に合わせて、本機のタイムコードの初期値を同期させます。

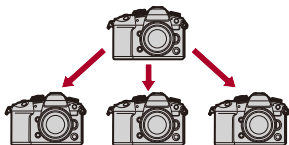


- 事前に[システム周波数](→システム周波数: 134)、[動画画質](→動画画質: 137)、[タイムコードモード](→タイムコードモード: 401)を外部機器に合わせてください。

- 1 タイムコード同期の準備をする(→タイムコード同期の準備: 403)
- 2 [タイムコード同期]を[TC入力]に設定する
 -  →  →  → [タイムコード設定] → [外部タイムコード設定] → [タイムコード同期] → [TC入力]
- 3 外部機器でタイムコード信号を出力する
 - 外部機器のタイムコードのカウント方法をフリーランに設定し、出力します。
 - 外部機器のタイムコードに同期すると、本機がスレーブ状態になり、画面に表示されるタイムコードの[TC]が[TC]に切り換わります。



- 複数の本機を同期させると、タイムコードと露光タイミングを同期し、カメラ間の露光開始タイミングを合わせることができます。



- 露光タイミングが同期できるのは、[タイムコード同期]を [TC入力]にしたあとの初回だけです。

❖ スレーブ状態の維持／解除／復帰

BNCケーブルを取り外しても、本機のスレーブ状態は維持されます。

- 以下の操作をすると、スレーブ状態が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - 撮影モードの切り換え
 - [システム周波数]の変更
 - [パリアブルフレームレート]の設定
 - 記録フレームレートが239.76p / 119.88p / 59.94p / 59.94i / 29.97pの[動画画質]とそれ以外の[動画画質]の間で変更
 - [タイムコード設定]の以下の設定項目を変更
[カウントアップ方式]、[タイムコード値設定]、[タイムコードモード]、[タイムコード同期]
- スレーブ状態に復帰するには、以下のように設定した状態で、BNCケーブルで外部機器と接続し直してください。
接続するだけでタイムコード信号(LTC信号)の入力ができます。
 - [PM]モード
 - [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]:[フリーラン]
 - [タイムコード設定]の[外部タイムコード設定]の[タイムコード同期]:[TC入力]



- 本機と外部機器のシステム周波数が異なる場合でも、タイムコードの初期値が同期することがあります。カウントアップするごとにタイムコードがずれるため、お気をつけください。

主なアシスト機能

- フリッカー軽減(動画): 411
- SS/ゲイン操作: 412
- WFM/ベクトルスコープ表示: 414
- スポット輝度メーター: 418
- ゼブラパターン表示: 419
- フレーム表示: 421
- カラーバー/テストトーン: 423






- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))には、センターマーカーやセーフティゾーンマーカーなどの表示アシスト機能があります。
(→ [カスタムメニュー\(モニター/表示\(動画\)\)](#): 603)

フリッカー軽減(動画)



動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。

 → [] → [] → [フリッカー軽減(動画)]を選ぶ

1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120

OFF



- [P/A/S/M動画の露出自動制御]が[ON]のときに設定できます。(→ [P/A/S/M動画の露出自動制御: 579](#))

SS/ゲイン操作



シャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えます。

⇒ ⇒ ⇒ **[SS/ゲイン操作]を選ぶ**

秒/ISO

シャッタースピードを秒、ゲインをISOの単位で設定します。

角度/ISO

シャッタースピードを角度、ゲインをISOの単位で設定します。

- 11°～357°の範囲で角度を設定できます。([シンクロスキャン(動画)]を[OFF]に設定時)
- [バリエブルフレームレート]で撮影するときは、フレームレートの設定によって、以下の範囲で角度を設定できます。
 - 1 fps: 11°～45°
 - 2 fps: 11°～90°
 - 12 fps以上: 11°～355°

秒/dB

シャッタースピードを秒、ゲインをdBの単位で設定します。

- ゲインの設定項目は以下になります。
 - 通常: AUTO、0 dB ~ 42 dB
 - [拡張ゲイン設定]設定時: -6 dB ~ 42 dB
 - 0 dBは以下のISO感度に相当します。
 - 通常: 100
 - [フォトスタイル]の[V-Log] / [リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])設定時: 500(センサー出力60 fps以下) / 250(センサー出力61 fps以上)
 - [フォトスタイル]の[ARRI LogC3] / [リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[ARRI LogC3])設定時: 320(センサー出力60 fps以下) / 160(センサー出力61 fps以上)
 - [フォトスタイル]の[ハイブリッドログガンマ]設定時: 250
-



- 使用するフォトスタイルによって、ゲインを設定できる範囲は異なります。
- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、以下のようにメニュー名が切り換わります。
 - [ISO感度設定(動画)] ➔ [ゲイン設定]
 - [ISOオート下限設定] ➔ [オートゲイン下限設定]
 - [ISOオート上限設定] ➔ [オートゲイン上限設定]
 - [拡張ISO感度] ➔ [拡張ゲイン設定]
 - [ISO感度画面の操作] ➔ [ゲイン設定画面の操作]

WFM/ ベクトルスコープ表示



撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。ウェーブフォームは、表示サイズを変更できます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [WFM/ ベクトルスコープ表示]を設定する

- → → → [WFM/ ベクトルスコープ表示]

WAVE




ウェーブフォームを表示します。

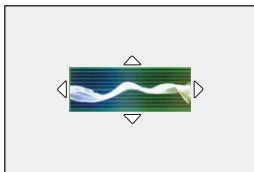
VECTOR

ベクトルスコープを表示します。

OFF

3 表示する位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、 または  を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- タッチ操作でも移動できます。
-  を回すと、ウェーブフォームの大きさを変更できます。
- 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。ウェーブフォームの場合は、もう一度 [DISP.] ボタンを押すと大きさを初期設定に戻すことができます。



❖ 画面の表示

ウェーブフォーム

- 本機のウェーブフォームでは、輝度値を以下として表示します。

0 % (IRE*) = 輝度値 16 (8 bit) / 64 (10 bit)

100 % (IRE*) = 輝度値 235 (8 bit) / 940 (10 bit)

* IRE : Institute of Radio Engineers



(A) 109 % (IRE) (点線)

(B) 100 % (IRE)

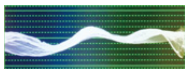
(C) 50 % (IRE)

(D) 0 % (IRE)

(E) -4 % (IRE) (点線)

(F) 0 % ~ 100 % の間は、10 % ごとに点線を表示

表示例:



ベクトルスコープ



- (G) R(レッド)
- (H) YL(イエロー)
- (I) G(グリーン)
- (J) MG(マゼンタ)
- (K) B(ブルー)
- (L) CY(シアン)

表示例:



- Fn ボタンに機能を登録すると、動画撮影中に表示／非表示を切り換えることができます。(→Fn ボタン: 545)
- 撮影画面上でドラッグしても位置を移動できます。
- ウェーブフォームとベクトルスコープは、HDMI 出力されません。

スポット輝度メーター



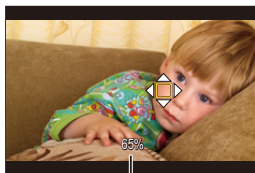
被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。

1 [スポット輝度メーター]を設定する

- → → → [スポット輝度メーター] → [ON]

2 輝度を測る位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、 または を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。



(M)

(M) 輝度値

❖ 測定範囲

-7% ~ 109% (IRE) の範囲を測定できます。

- [フォトスタイル] が [V-Log]、[ARRI LogC3] のとき、または [リアルタイムLUT] (ベースフォトスタイルが [V-Log]、[ARRI LogC3]) で LUT ファイルを適用していないときは、Stop の単位で測定します。(18% グレーの出力レベルを 0 Stop で換算します)

ゼブラパターン表示



基準値より明るい部分をしま模様で表示します。

また、基準と幅を設定して、指定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示することもできます。




ゼブラ1



ゼブラ2



ゼブラ1+2

 →  →  → **[ゼブラパターン表示]を選ぶ**

ゼブラ1	基準値より明るい部分をゼブラ1のしま模様で表示します。	
ゼブラ2	基準値より明るい部分をゼブラ2のしま模様で表示します。	
ゼブラ1+2	[ゼブラ1]、[ゼブラ2]の両方を表示します。	
OFF	—	
設定	基準の明るさを設定します。	
	ゼブラ1	[50%]～[105%] / [基準/幅]
	ゼブラ2	[50%]～[105%] / [基準/幅]

❖ **[設定]で[基準/幅]を選択したとき**

[基準]で設定した明るさを中心に、[幅]で設定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示します。

- [基準]は0%～109%(IRE)の範囲で設定できます。
- [幅]は±1%～±10%(IRE)の範囲で設定できます。
- [フォトスタイル]が[V-Log]、[ARRI LogC3]のとき、または[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log]、[ARRI LogC3])でLUTファイルを適用していないときは、Stopの単位で設定します。(18%グレーの出力レベルを0 Stopで換算します)



● [基準/幅]設定時は、[ゼブラ1+2]は選択できません。

フレーム表示



設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。

後工程でトリミング(クロップ)するときの画角をイメージしながら撮影できます。

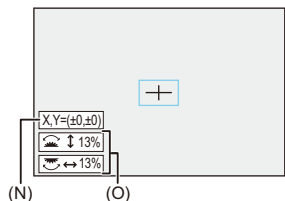
⇒ ⇒ ⇒ **[フレーム表示]**を選ぶ

ON	撮影画面に枠を表示します。	
OFF	—	
設定	フレーム横縦比	枠の横縦比を設定します。 [2.39:1] / [2.35:1] / [2.00:1] / [1.85:1] / [16:9] / [4:3] / [5:4] / [1:1] / [4:5] / [9:16] /[カスタム]
	フレーム色	枠の色を設定します。
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 [100%] / [75%] / [50%] / [25%] / [OFF]

❖ [設定]の[フレーム横縦比]で[カスタム]を選択したとき

フレームの横縦比を自由に設定できます。

- ▲▼◀▶ で中心の位置を移動します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- [🏔️]で枠の高さ、[🏞️]で枠の幅を設定します。
- フレームをピンチアウト/ピンチインしても大きさを変更できます。



(N) 中心の座標(画面中央を0とする)

(O) 枠の高さと幅

- 横縦比は1%～100%の範囲で設定できます。
- [DISP]ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの大きさを初期設定に戻します。

カラーバー／テストトーン



撮影画面にカラーバーを表示します。カラーバー表示中は、テストトーンが出力されます。

⇒ ⇒ ⇒ **[カラーバー]**を選ぶ

設定: **[SMPTE]** / **[EBU]** / **[ARIB]**

• 表示を終了するには、 を押してください。



SMPTE



EBU



ARIB

❖ テストトーン調整

テストトーンのレベルは、4段階(-12 dB、-18 dB、-20 dB、MUTE)から選択できます。

、またはを回してテストトーンのレベルを選択する



- カラーバーの表示中に動画の記録を開始すると、カラーバーとテストトーンが動画に記録されます。
- 本機のモニター／ファインダーに表示される明るさや色合いは、外部モニターと異なる場合があります。

特殊な動画撮影

本章では、スローモーション／クイックモーション動画やLog撮影など、応用的な動画撮影について説明しています。

- バリアブルフレームレート: 426
- ハイフレームレート動画: 431
- フォーカストランジション: 434
- ライブクロップ: 438
- Log撮影する: 443
- HLG動画: 450
- アナモフィック撮影: 453
- シンクロスキャン(動画): 457
- ループ記録(動画): 459
- 動画分割記録: 461
- 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462

バリアブルフレームレート



記録フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、滑らかなスローモーション動画、クイックモーション動画を撮影します。

スローモーション動画(オーバークランク撮影)

フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより多く設定してください。

例) 24.00pの[動画画質]に設定しているときに48 fpsで撮影すると、1/2倍速になります。

クイックモーション動画(アンダークランク撮影)

フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより少なく設定してください。

例) 24.00pの[動画画質]に設定しているときに12 fpsで撮影すると、2倍速になります。



- 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質のバリアブルフレームレート動画は、SDカードに記録できません。CFexpressカードを使用してください。
- スローモーション動画は、記録するデータ量が増えるため、カードの書き込み速度が足りない場合、記録が停止することがあります。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- **MENU/SET** → [人] → [フィルム] → [記録ファイル方式] → [MOV]

3 [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質を選ぶ

- **MENU/SET** → [人] → [フィルム] → [動画画質]
- [バリアブルフレームレート]を使用できる項目には、[VFR可能]と表示されます。
- [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462](#))



4 [バリアブルフレームレート]を設定する

- **MENU/SET** → [人] → [フィルム] → [バリアブルフレームレート] → [ON]
- ◀▶ で[ON]/[OFF]を切り換えます。

5 フレームレートを設定する

- ☀️、☂️ または ⚙️ を回して数値を選び、**MENU/SET** または 🔄 を押しま

❖ フレームレートの設定可能範囲

[動画画質]の設定によって、設定できるフレームレートが異なります。

動画画質	フレームレート
映像圧縮方式が Long GOP の C4K/4K 動画	1 fps～120 fps
5.7K 動画／映像圧縮方式が ALL-Intra の C4K/4K 動画	1 fps～60 fps
映像圧縮方式が Long GOP の FHD 動画	1 fps～300 fps
映像圧縮方式が ALL-Intra の FHD 動画	1 fps～240 fps

❖ バリアブルフレームレート動画撮影時のシャッタースピード

バリアブルフレームレート動画撮影時は、設定したフレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

フレームレート	シャッタースピードの下限
1 fps ~ 2 fps	1/8 秒
12 fps	1/13 秒
15 fps	1/15 秒
20 fps	1/20 秒
21 fps ~ 25 fps	1/25 秒
26 fps ~ 30 fps	1/30 秒
32 fps ~ 37 fps	1/40 秒
45 fps ~ 50 fps	1/50 秒
52 fps ~ 60 fps	1/60 秒
62 fps ~ 75 fps	1/80 秒
84 fps ~ 100 fps	1/100 秒
105 fps ~ 125 fps	1/125 秒
132 fps ~ 156 fps	1/160 秒
165 fps ~ 200 fps	1/200 秒
204 fps ~ 240 fps	1/250 秒
250 fps ~ 300 fps	1/320 秒



- [バリエーションフレームレート]を使用できる動画画質に絞り込むことができます。
(→ [絞り込み: 151](#))
- [バリエーションフレームレート]で撮影するときは、三脚の使用をお勧めします。



- フォーカスモードはMFに切り換わります。
(フォーカスリングがない交換レンズ装着時、MFでのピント合わせができません)
- 撮影開始前だけ、[AF ON] ボタンを押すと自動でピントを合わせます。
- バリエーションフレームレート撮影中は、音声は記録されません。
- 60 fpsを超えるフレームレートに設定すると、画質が劣化する場合があります。
- [動画撮影範囲]を[PIXEL/PIXEL]に設定しているときは、120 fpsを超えるフレームレートに設定できません。
- 以下の機能を使用中は、[バリエーションフレームレート]は使用できません。
- [フィルター設定]

ハイフレームレート動画



iA P A S M

高フレームレートのMOV動画をカードに記録できます。対応したソフトウェアでフレームレートを変換することで、スローモーション動画に仕上げるすることができます。[バリエラブルフレームレート]ではできない、AF撮影や音声記録が可能です。

1 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- → → → [記録ファイル方式] → [MOV]


2 ハイフレームレート動画用の動画画質を選ぶ

- → → → [動画画質]
- 以下の動画画質は[PM]モード時に設定できます：
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
- [動画画質]をフレームレートで絞り込むと、条件に合ったフレームレートの動画画質だけを表示できます。(→ [絞り込み: 151](#))
- ハイフレームレート動画用の動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462](#))

❖ ハイフレームレート動画撮影時のシャッタースピード

ハイフレームレート動画撮影時は、動画の記録フレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

動画の記録フレームレート	シャッタースピードの下限	
	AFS / AFC	MF
47.95p	1/30 秒	1/8 秒*
48.00p	1/25 秒	
100.00p	1/100 秒	
119.88p / 120.00p	1/125 秒	
200.00p	1/200 秒	
239.76p	1/250 秒	

* [M]モード([P/A/S/M動画の露出自動制御]を[OFF]に設定時)または[M]モード([動画露出設定]を[M]に設定時)のときに設定可能




- HDMI出力時は、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。(→ [ダウンコンバート設定: 478](#))

ハイフレームレート動画撮影時のAFについてのお知らせ

- 記録フレームレートが200.00p以上の[動画画質]に設定したときは、AFができるレンズが制限されます。

「フォーサーズ規格商品との動作確認情報」で、本機の対応レンズを確認できます。「動画撮影中のオートフォーカス」の項目をご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

- 記録フレームレートが200.00p以上の[動画画質]に設定したときは、AFの動作は以下のようになります。
 - AFモードは[ - 自動認識は使用できません。
 - [AF連続動作]は使用できません。
 - [クイックAF]は使用できません。
 - [アイセンサーAF]は使用できません。

フォーカストランジション




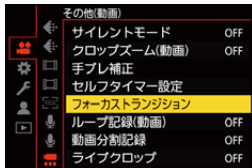
フォーカス位置を、現在の位置から事前に登録した位置に滑らかに移動します。

1 撮影モードを[**M**]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

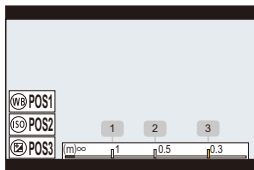
2 [フォーカストランジション]を選ぶ

- **MENU/SET** → [人] → [三] → [フォーカストランジション]
- [フォーカス位置を設定してください]のメッセージが表示されたら、**MENU/SET** または  を押してください。



3 フォーカス位置の設定をする

- MF(→MFで撮る: 206)と同じ操作でピントを確認し、[WB]、[ISO]、
[]を押してフォーカス位置を設定してください。
- [POS1]～[POS3]をタッチしても設定できます。



4 フォーカス位置を登録する

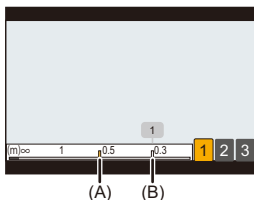
- [MENU/SET] または [OK] を押してフォーカス位置を登録します。

5 撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 撮影前に[DISP]ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。(→設定項目(フォーカストランジション): 436)
- [フォーカストランジションレック]を設定したときは、撮影開始と同時に、フォーカストランジションを開始します。

6 フォーカストランジションを開始する

- ◀▶で[1]、[2]または[3]を選び、[MENU/SET] または [OK] を押します。
- [フォーカストランジションウエイト]を設定したときは、設定した時間が経過したあと、フォーカストランジションを開始します。



- (A) 現在のフォーカス位置
(B) 登録したフォーカス位置

7 フォーカストランジションを終了する

- [Q] ボタンを押します。

8 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。

❖ 設定項目(フォーカストランジション)

フォーカス位置設定

フォーカス位置を登録します。

フォーカストランジション速度

フォーカス位置を移動する速さを設定します。

- 移動速度:[SH] (速い)～[SL] (遅い)

フォーカストランジションレック

撮影開始と同時にフォーカストランジションを開始します。

- [フォーカス位置設定]で登録した位置を選んでください。

フォーカストランジションウエイト

フォーカストランジションを開始するまでの時間を設定します。

- [↶] ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



- フォーカス位置の設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。
- フォーカス位置が移動する速さは、使用するレンズによって異なります。
- レンズの最短撮影距離付近、または無限遠付近では、フォーカス位置が移動する速さが低下します。
- [フォーカストランジション]使用中は、登録したフォーカス位置以外にピントを合わせられません。
- 以下の操作をすると、フォーカス位置の登録が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - ズーム操作
 - フォーカスモードの切り換え
 - 撮影モードの切り換え
 - レンズの交換
- 以下の機能を使用中は、[フォーカストランジション]は使用できません。
 - [ライブクロップ]
- フォーカスモードの[AFC]に対応していない交換レンズを装着しているときは、[フォーカストランジション]は使用できません。

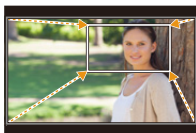
ライブクロップ



ライブビューで表示される画像の範囲から一部を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えた4K／FHD動画を記録できます。



パン



ズームイン






• カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。




1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 ライブクロップを撮影できる動画画質を選ぶ

-  →  →  → [動画画質]
- ライブクロップを撮影できる動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462](#))

3 パンやズームの効果を設定する

-  →  →  → [ライブクロップ] → [設定]

動作時間

2～40秒の間で設定します。

イーズ設定

効果を選択します。

[リニア]: 等速で移動します。

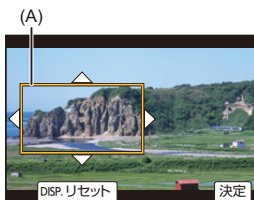
[イーズイン]: 徐々に加速します。

[イーズアウト]: 徐々に減速します。


[イーズインアウト]: 加速したあと減速します。

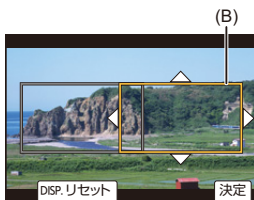
4 切り出し枠を設定する

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ライブクロップ] ⇒ [設定] ⇒ [切り出し枠設定]
- 切り出しを開始する範囲を選び、**MENU/SET** または  を押します。



(A) 切り出し開始枠

- 切り出しを終了する範囲を選び、**MENU/SET** または  を押します。



(B) 切り出し終了枠

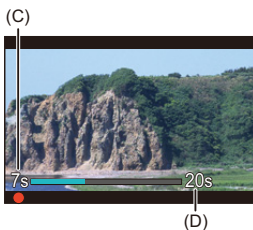
- 開始枠、終了枠の位置／大きさを設定し直すには、◀を押してください。
- []を押すと、設定した効果を確認できます。

5 ライブクロップ撮影を有効にする

- **MENU/SET** ⇒ [**ライブクロップ**] ⇒ [**ライブクロップ**] ⇒ [ON]
- ライブクロップを撮影できない動画画質を選んでいる場合は、撮影できる動画画質に切り換わります。





6 ライブクロップ撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画記録ボタンを押してください。



- (C) 記録経過時間
(D) 設定した動作時間

❖ 切り出し枠の設定操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	枠の移動
	ピンチアウト/ ピンチイン	枠を細かく拡大/縮小
	—	枠を拡大/縮小
[DISP.]	[リセット]	開始枠: 枠の位置と大きさを初期設定に戻す 終了枠: 枠の位置と大きさの設定を解除する
	[決定]	枠の位置と大きさの決定



- AFモードは[AF-ON]に切り換わります。
- 切り出す範囲内で明るさの測定とピント合わせを行います。ピント位置を固定する場合は、[AF連続動作]を[OFF]にするか、フォーカスモードを[MF]に設定してください。
- [測光モード]は[☉] (マルチ測光) に固定されます。
- [動画撮影範囲]は[FULL]に固定されます。

Log撮影する

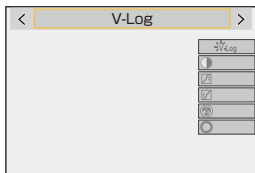
- Logビューアシスト: 449



[フォトスタイル]を[V-Log]または[ARRI LogC3]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

- [ARRI LogC3]はアップグレードソフトウェアキー(別売: DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→ [アクティベーション: 633](#))
 - [M]モード時に使用できます。
 - [ARRI LogC3]を使用できる動画画質 (→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462](#))

→ → → [フォトスタイル] → [V-Log]または[ARRI LogC3]を選ぶ





- LUT (ルックアップテーブル) を使ってポストプロダクション処理ができます。
[V-Log]用のLUTファイルは、下記サポートサイトからダウンロードできます。

<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>

[ARRI LogC3]用のLUTファイルは、下記からダウンロードできます。

(1) ARRI Look Library (LogC3-to-Rec709)

ARRI Look File を適用した Rec.709 色空間用の LUT ファイルです。

87 種類の多様な Look File がご使用いただけます。

**[https://www.arri.com/resource/blob/365070/
de67ce8908d30b22d83526dc4c1c8732/
arri-look-library-logc3-to-rec709-3d-luts-data.zip](https://www.arri.com/resource/blob/365070/de67ce8908d30b22d83526dc4c1c8732/arri-look-library-logc3-to-rec709-3d-luts-data.zip)**

(2) ARRI Look Library (log-to-log)

豊富な色情報をもった Log 空間のまま Look を適用するための LUT ファイルです。

(1) と同様に 87 種類の多様な Look File がご使用いただけます。

**[https://www.arri.com/resource/blob/283984/
763aad4a2be5c301529704b1357513c/
arri-look-library-logc3-log-to-log-3d-luts-data.zip](https://www.arri.com/resource/blob/283984/763aad4a2be5c301529704b1357513c/arri-look-library-logc3-log-to-log-3d-luts-data.zip)**

(3) ARRI LogC3 LUT Package

ARRI LogC3 からさまざまな表示デバイスの色空間へ変換するための LUT ファイルです。

(2) の ARRI Look Library (log-to-log) を介すことで、目的の色空間に応じた Look に仕上げるすることができます。

**[https://www.arri.com/resource/blob/294620/
f4290b963ff83a4dde4fff795645bc26/
2022-09-arri-logc3-v1-2-lut-package-data.zip](https://www.arri.com/resource/blob/294620/f4290b963ff83a4dde4fff795645bc26/2022-09-arri-logc3-v1-2-lut-package-data.zip)**

ARRI Look File に関しては、下記サイトをご参照ください。

**[https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/
image-science/look-files](https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/image-science/look-files)**

❖ [V-Log]設定時のISO感度

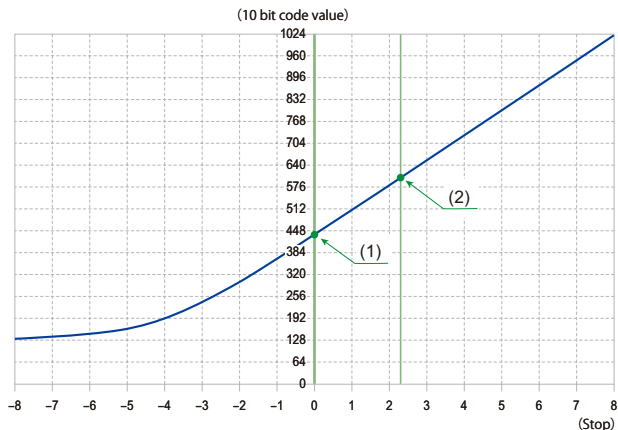
ISO感度は500～12800(センサー出力60 fps以下)または250～3200(センサー出力61 fps以上)の範囲で設定できます。[拡張ISO感度]設定時は125～12800の範囲で設定できます。

❖ [ARRI LogC3]設定時のISO感度

ISO感度は320～12800(センサー出力60 fps以下)または160～3200(センサー出力61 fps以上)の範囲で設定できます。[拡張ISO感度]設定時は160～12800(センサー出力61 fps以上)の範囲で設定できます。

❖ [V-Log]設定時の露出

[V-Log]のカーブ特性は、「V-Log/V-Gamut REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠しています。[V-Log]に設定した場合は、反射率18%のグレーを撮像したときの標準露出が、IREで42%になります。



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定時				
反射率(%)	IRE(%)	Stop	10 bit code value	12 bit code value
0	7.3	—	128	512
(1) 18	42	0.0	433	1732
(2) 90	61	2.3	602	2408

• Stopの単位で輝度を表示する場合、本機はIRE 42%を0 Stopに換算します。

❖ [ARRI LogC3]設定時の露出

[ARRI LogC3]のログ特性は、ARRI社が公開している

「ARRI_ALEXA_LogC_Curve_in_VFX.pdf」で示す 800 ASA (EI 800) に準拠しています。本機[ARRI LogC3]のログ特性は、ISO感度の設定に依存しません。ただし、800 ASA (EI 800) で定義されている Exposure Stops 値から、センサー出力 60 fps 以下では 2 stops 相当の、センサー出力 61 fps 以上では 3 stops 相当の、それぞれクリッピングが発生します。

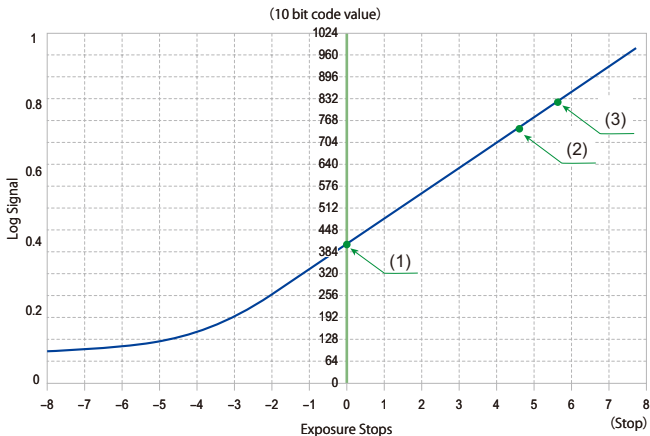
「ARRI_ALEXA_LogC_Curve_in_VFX.pdf」は下記をご参照ください。

[https://www.arri.com/resource/blob/31918/](https://www.arri.com/resource/blob/31918/66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf)

[66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/](https://www.arri.com/resource/blob/31918/66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf)

[2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf](https://www.arri.com/resource/blob/31918/66f56e6abb6e5b6553929edf9aa7483e/2017-03-alexa-logc-curve-in-vfx-data.pdf)

本機[ARRI LogC3]のログ特性図



- (1) 18 %グレー
- (2) クリッピングレベル(センサー出力61 fps以上)
- (3) クリッピングレベル(センサー出力60 fps以下)

[フォトスタイル]を[ARRI LogC3]に設定時							
	Exposure Stops (18 %グレー基準)	フルレンジ			ビデオレンジ		
		IRE (%)	Code Value		IRE (%)	Code Value	
			10 bit	12 bit		10 bit	12 bit
黒レベル	—	3.5	95	380	9.2	145	580
(1)	0.0	38	400	1600	39	407	1628
(2)	4.6	78	748	2992	73	705	2820
(3)	5.6	87	824	3296	81	770	3080

- [フォトスタイル]を[ARRI LogC3]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[ARRI LogC3])に設定しているときは、[輝度レベル設定]が[64-940](ビデオレンジ)に固定されます。
- 撮影データはビデオレンジで記録されます。
- HDMI出力はビデオレンジで出力されます。
- ウェーブフォームやベクトルスコープはビデオレンジで表示されます。
- スポット輝度メーターでは、18 %グレーの出力レベルを0 Stopで表示します。



• Stopの単位で輝度を確認できます：

(→ スポット輝度メーター: 418、ゼブラパターン表示: 419)

Logビューアシスト

[フォトスタイル]を[V-Log]または[ARRI LogC3]に設定すると、撮影画面やHDMI出力された映像は暗く表示されます。[Logビューアシスト]を使用すると、LUTファイルを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。



→ [設定] → [カメラ] → [Logビューアシスト]を選ぶ

LUT選択(V-Log)

プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルから適用するLUTファイルを選びます。(→ [LUTライブラリ: 336](#))

LUT選択(ARRI LogC3)

プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルから適用するLUTファイルを選びます。(→ [LUTライブラリ: 336](#))

- アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→ [アクティベーション: 633](#))

LUTビューアシスト(モニター)

LUTファイルを適用した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。

LUTビューアシスト(HDMI)

LUTファイルを適用した映像をHDMI出力します。



- LUTファイルを適用しているときは、撮影画面に[LUT]が表示されます。
- [フォトスタイル]が[V-Log]のとき、ベースフォトスタイルが[V-Log]以外のLUTファイルは適用できません。
- [フォトスタイル]が[ARRI LogC3]のとき、ベースフォトスタイルが[ARRI LogC3]以外のLUTファイルは適用できません。
- [フォトスタイル]の画質調整で[LUT]を適用しているときは、[LUTビューアシスト(モニター)]／[LUTビューアシスト(HDMI)]は動きません。

HLG 動画

- HLG ビューアシスト: 452



HLG方式のダイナミックレンジの広い動画を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した動画は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)にHDMI出力したり、対応した機器で直接再生したりすることで観賞できます。

- 「HLG(ハイブリッドログガンマ)」とは、HDRに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。

1 撮影モードを[**M**]にする




- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

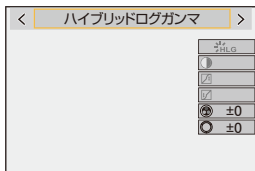
2 HLG動画を撮影できる動画画質を選ぶ

- **MENU/SET** → [**動画**] → [**動画画質**]
- HLG動画を撮影できる項目には、[HLG可能]と表示されます。
- HLG動画を撮影できる動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 462](#))



3 [フォトスタイル]を[ハイブリッドログガンマ]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [フォトスタイル] ⇒ [ハイブリッドログガンマ]



- 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式の表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]で、確認用に変換した映像を、本機のモニター／ファインダーに表示できます。
(→ [HLGビューアシスト:452](#))






- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]で、確認用に表示する映像の変換方法を設定できます。(→ [HLGビューアシスト:452](#))

❖ [ハイブリッドログガンマ]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は250になります。

HLGビューアシスト

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。

 →  →  → **[HLGビューアシスト]** → **[モニター]**／**[HDMI]**を選ぶ

AUTO*

HDR(HLG方式)非対応の機器に接続したときだけ、[MODE2]の設定でHDMI出力する映像を変換します。

MODE1

空などの明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に [MODE1] が表示されます。

MODE2

主要な被写体の明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に [MODE2] が表示されます。

OFF

色域と明るさを変換せずに表示します。

- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。

* [HDMI] 選択中にだけ設定できます。

アナモフィック撮影

- [アナモフィック デスクイーズ表示: 455](#)



多様な映像フォーマット(動画画質)から、アナモフィック撮影に応じた動画画質を選んで撮影できます。

アナモフィック撮影時に、デスクイーズした映像の表示や、デスクイーズ編集後にクロップする画角の表示ができます。アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることもできます。

- [アナモフィック撮影に適した手ブレ補正について\(→\[アナモフィック\\(動画\\): 276\]\(#\)\)](#)

1 [記録ファイル方式]を設定する

- → → → [記録ファイル方式]

2 アナモフィック撮影に応じた動画画質を選ぶ

- → → → [動画画質]

- 以下の動画画質は[M]モード時に設定できます:

- 解像度がC4Kを超える[動画画質]
- 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]

- [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定したときは、[動画画質]を画素数で絞り込むと、条件に合った解像度と横縦比の動画画質だけを表示できます。

(→ [絞り込み: 151](#))



- 本機は、アナモフィック撮影で記録した動画のデスクトップ編集に対応していません。対応したソフトウェアをお使いください。

アナモフィック デスクイーズ表示



アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。[フレーム表示]を使って、デスクイーズ編集後にクロップする画角の枠を重ねて表示することもできます。

1 撮影モードを[**8M**]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [アナモフィック デスクイーズ表示]を設定する

- ⇒ ⇒ ⇒ [アナモフィック デスクイーズ表示]

2.0x

1.8x

1.5x

1.33x




1.30x

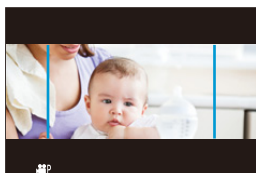
[OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて設定してください。



3 [フレーム表示]を設定する

-  →  →  → [フレーム表示] (→ [フレーム表示:421](#))



- HDMI出力する映像はデスクイーズされません。
- 以下の機能を使用中は、[アナモフィック デスクイーズ表示]は使用できません。
 - [プロキシ記録]

シンクロスキャン(動画)



シャッタースピードを微調整することで、映像のちらつきや横しみを軽減します。

シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 撮影モードを[**M**]にする

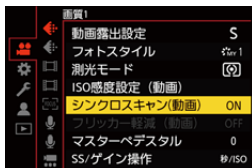
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 露出モードを[**S**]または[**M**]に設定する






- **MENU/SET** → [**露出**] → [**露出設定**] → [**S**] / [**M**]

3 [シンクロスキャン(動画)]を設定する

- **MENU/SET** → [**露出**] → [**露出設定**] → [シンクロスキャン(動画)] → [**ON**]



4 シャッタースピードを設定する

- 、 または  を回して数値を選び、 または  を押しします。
- シャッタースピードは1秒～1/8192.0秒の範囲で設定できます。(シャッタースピードの下限は、記録する動画のフレームレートによって変わります)
- ▲▼を押すと、1/4TV刻みでシャッタースピードが変化します。◀▶を押すと、細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- 撮影画面の表示と撮影結果が異なる場合があります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。

ループ記録(動画)



動画を短い時間で分割しながら、カード容量いっぱいになるまで記録します。カード容量がいっぱいになったら、古いデータを消去しながら記録を続けます。カード容量を超えるような長時間の撮影時に便利です。



- 記録と削除を同時に行うため、撮影する動画画質のビットレートの2倍に相当する書き込み速度のカードが必要です。カード側の書き込み速度が足りない場合、記録が停止されることがあります。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

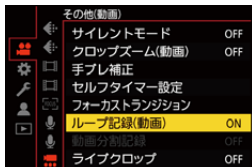
2 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- → → [記録ファイル方式] → [MOV]

3 [ループ記録(動画)]を設定する

- → → [ループ記録(動画)] → [ON]

- 撮影画面にが表示されます。
- カードの容量いっぱいまで記録するとループ記録を開始し、動画記録時間が非表示になります。





- 撮影中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録を開始できません。
- 記録時間が12時間を超えた場合は、記録開始時点から順にデータを消去しながら記録を続けます。
- [動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき、フォルダー数とファイル数が上限に達すると記録を停止します。長時間ループ記録を行う場合は、[動画ファイル名]を[写真と同じ(DCF準拠)]に設定しておくことをお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、[ループ記録(動画)]は使用できません。
 - ビットレートが400 Mbps以上の[動画画質]
 - [バリエアブルフレームレート]
 - [プロキシ記録]
 - [ライブクロップ]

動画分割記録



予期しない電源供給の停止による動画の消失を避けるため、撮影した動画を設定した時間ごとに分割しながら記録します。

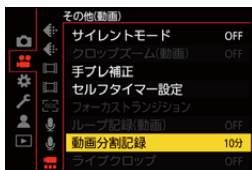
- 分割した動画は1つのグループ画像として保存されます。(→ [グループ画像: 519](#))

1 [記録ファイル方式]を[MOV]または[Apple ProRes]に設定する

- → → → [記録ファイル方式] → [MOV] / [Apple ProRes]

2 [動画分割記録]を設定する

- → → → [動画分割記録] → [10分] / [5分] / [3分] / [1分]



- 以下の機能を使用中は、[動画分割記録]は使用できません。
- [ループ記録(動画)]

特殊な動画を撮影できる動画画質一覧

VFR : [バリエブルフレームレート]を使用できる動画画質

HFR : ハイフレームレート動画用の動画画質

Live Crop : [ライブクロップ]を使用できる動画画質

HLG : HLG動画を撮影できる動画画質

ARRI LogC3 : [フォトスタイル]の[ARRI LogC3]を使用できる動画画質
アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→[アクティベーション:633](#))

❖ 記録ファイル方式:[MP4]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
4K/10bit/100M/60p			✓	✓	
4K/10bit/72M/30p			✓	✓	
4K/8bit/100M/30p			✓		
4K/10bit/72M/24p				✓	
4K/8bit/100M/24p					
FHD/8bit/28M/60p			✓		
FHD/8bit/20M/30p			✓		
FHD/8bit/24M/24p					

システム周波数:50.00Hz(PAL)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
4K/10bit/100M/50p			✓	✓	
4K/10bit/72M/25p			✓	✓	
4K/8bit/100M/25p			✓		
FHD/8bit/28M/50p			✓		
FHD/8bit/20M/25p			✓		

❖ 記録ファイル方式:[MOV]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
5.8K/30p/420/10-L				✓	✓
5.8K/24p/420/10-L				✓	✓
5.7K/60p/420/10-L				✓	✓
5.7K/48p/420/10-L		✓		✓	✓
5.7K/30p/420/10-L				✓	✓
5.7K/24p/420/10-L				✓	✓
4.4K/60p/420/10-L				✓	✓
4.4K/48p/420/10-L		✓		✓	✓
C4K/120p/420/10-L		✓		✓	✓
C4K/60p/422/10-I(H)				✓	✓
C4K/60p/422/10-I(L)				✓	✓
C4K/60p/422/10-L				✓	✓
C4K/60p/420/10-L	✓			✓	✓
C4K/60p/420/8-L					
C4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓	✓
C4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓	✓
C4K/48p/422/10-L		✓		✓	✓
C4K/48p/420/10-L		✓		✓	✓
C4K/30p/422/10-I	✓			✓	✓
C4K/30p/422/10-L				✓	✓
C4K/30p/420/10-L	✓			✓	✓
C4K/30p/420/8-L					
C4K/24p/422/10-I	✓			✓	✓
C4K/24p/422/10-L				✓	✓
C4K/24p/420/10-L	✓			✓	✓
C4K/24p/420/8-L					

4K/120p/420/10-L		✓		✓	✓
4K/60p/422/10-I(H)				✓	✓
4K/60p/422/10-I(L)				✓	✓
4K/60p/422/10-L			✓	✓	✓
4K/60p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
4K/60p/420/8-L			✓		
4K/48p/422/10-I(H)		✓		✓	✓
4K/48p/422/10-I(L)		✓		✓	✓
4K/48p/422/10-L		✓		✓	✓
4K/48p/420/10-L		✓		✓	✓
4K/30p/422/10-I	✓			✓	✓
4K/30p/422/10-L			✓	✓	✓
4K/30p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
4K/30p/420/8-L			✓		
4K/24p/422/10-I	✓			✓	✓
4K/24p/422/10-L			✓	✓	✓
4K/24p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
4K/24p/420/8-L			✓		

FHD/240p/422/10-I		✓		✓	✓
FHD/240p/422/10-L		✓		✓	✓
FHD/240p/420/10-L		✓		✓	✓
FHD/120p/422/10-I		✓		✓	✓
FHD/120p/422/10-L		✓		✓	✓
FHD/120p/420/10-L		✓		✓	✓
FHD/60p/422/10-I	✓			✓	✓
FHD/60p/422/10-L			✓	✓	✓
FHD/60p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
FHD/60p/420/8-L			✓		
FHD/60i/422/10-I				✓	✓
FHD/60i/422/10-L				✓	✓
FHD/48p/422/10-I		✓		✓	✓
FHD/48p/422/10-L		✓		✓	✓
FHD/48p/420/10-L		✓		✓	✓
FHD/30p/422/10-I	✓			✓	✓
FHD/30p/422/10-L			✓	✓	✓
FHD/30p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
FHD/30p/420/8-L			✓		
FHD/24p/422/10-I	✓			✓	✓
FHD/24p/422/10-L			✓	✓	✓
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
FHD/24p/420/8-L			✓		

システム周波数：50.00Hz(PAL)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
5.8K/25p/420/10-L				✓	✓
5.7K/50p/420/10-L				✓	✓
5.7K/25p/420/10-L				✓	✓
4.4K/50p/420/10-L				✓	✓
C4K/100p/420/10-L		✓		✓	✓
C4K/50p/422/10-I(H)				✓	✓
C4K/50p/422/10-I(L)				✓	✓
C4K/50p/422/10-L				✓	✓
C4K/50p/420/10-L	✓			✓	✓
C4K/50p/420/8-L					
C4K/25p/422/10-I	✓			✓	✓
C4K/25p/422/10-L				✓	✓
C4K/25p/420/10-L	✓			✓	✓
C4K/25p/420/8-L					
4K/100p/420/10-L		✓		✓	✓
4K/50p/422/10-I(H)				✓	✓
4K/50p/422/10-I(L)				✓	✓
4K/50p/422/10-L			✓	✓	✓
4K/50p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
4K/50p/420/8-L			✓		
4K/25p/422/10-I	✓			✓	✓
4K/25p/422/10-L			✓	✓	✓
4K/25p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
4K/25p/420/8-L			✓		
FHD/200p/422/10-I		✓		✓	✓
FHD/200p/422/10-L		✓		✓	✓
FHD/200p/420/10-L		✓		✓	✓
FHD/100p/422/10-I		✓		✓	✓

FHD/100p/422/10-L		✓		✓	✓
FHD/100p/420/10-L		✓		✓	✓
FHD/50p/422/10-I	✓			✓	✓
FHD/50p/422/10-L			✓	✓	✓
FHD/50p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
FHD/50p/420/8-L			✓		
FHD/50i/422/10-I				✓	✓
FHD/50i/422/10-L				✓	✓
FHD/25p/422/10-I	✓			✓	✓
FHD/25p/422/10-L			✓	✓	✓
FHD/25p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
FHD/25p/420/8-L			✓		

システム周波数: 24.00Hz(CINEMA)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
5.8K/24p/420/10-L				✓	✓
5.7K/48p/420/10-L		✓		✓	✓
5.7K/24p/420/10-L				✓	✓
4.4K/48p/420/10-L		✓		✓	✓
C4K/120p/420/10-L		✓		✓	✓
C4K/24p/422/10-I	✓			✓	✓
C4K/24p/422/10-L				✓	✓
C4K/24p/420/10-L	✓			✓	✓
C4K/24p/420/8-L					
4K/120p/420/10-L		✓		✓	✓
4K/24p/422/10-I	✓			✓	✓
4K/24p/422/10-L			✓	✓	✓
4K/24p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
4K/24p/420/8-L			✓		
FHD/120p/422/10-I		✓		✓	✓
FHD/120p/422/10-L		✓		✓	✓
FHD/120p/420/10-L		✓		✓	✓
FHD/24p/422/10-I	✓			✓	✓
FHD/24p/422/10-L			✓	✓	✓
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	✓	✓
FHD/24p/420/8-L			✓		

❖ 記録ファイル方式:[Apple ProRes]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
5.7K/30p/RAW HQ					
5.7K/30p/RAW					
5.7K/30p/422 HQ				✓	✓
5.7K/30p/422				✓	✓
5.7K/24p/RAW HQ					
5.7K/24p/RAW					
5.7K/24p/422 HQ				✓	✓
5.7K/24p/422				✓	✓
C4K/60p/RAW HQ					
C4K/60p/RAW					
C4K/60p/422 HQ				✓	✓
C4K/60p/422				✓	✓
C4K/30p/RAW HQ					
C4K/30p/RAW					
C4K/30p/422 HQ				✓	✓
C4K/30p/422				✓	✓
C4K/24p/RAW HQ					
C4K/24p/RAW					
C4K/24p/422 HQ				✓	✓
C4K/24p/422				✓	✓
FHD/60p/422 HQ				✓	✓
FHD/60p/422				✓	✓
FHD/30p/422 HQ				✓	✓
FHD/30p/422				✓	✓
FHD/24p/422 HQ				✓	✓
FHD/24p/422				✓	✓

システム周波数: 50.00Hz(PAL)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
5.7K/25p/RAW HQ					
5.7K/25p/RAW					
5.7K/25p/422 HQ				✓	✓
5.7K/25p/422				✓	✓
C4K/50p/RAW HQ					
C4K/50p/RAW					
C4K/50p/422 HQ				✓	✓
C4K/50p/422				✓	✓
C4K/25p/RAW HQ					
C4K/25p/RAW					
C4K/25p/422 HQ				✓	✓
C4K/25p/422				✓	✓
FHD/50p/422 HQ				✓	✓
FHD/50p/422				✓	✓
FHD/25p/422 HQ				✓	✓
FHD/25p/422				✓	✓

システム周波数: 24.00Hz(CINEMA)

動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ARRI LogC3
5.7K/24p/RAW HQ					
5.7K/24p/RAW					
5.7K/24p/422 HQ				✓	✓
5.7K/24p/422				✓	✓
C4K/24p/RAW HQ					
C4K/24p/RAW					
C4K/24p/422 HQ				✓	✓
C4K/24p/422				✓	✓
FHD/24p/422 HQ				✓	✓
FHD/24p/422				✓	✓

HDMI出力(動画)

HDMIケーブルで接続した外部モニターや外部レコーダーに、カメラの映像を出力しながら撮影できます。

- HDMI出力制御は撮影時と再生時で異なります。再生時のHDMI出力の設定について (→[HDMI接続設定: 629](#))
- [HDMI機器と接続する: 474](#)
- [HDMI出力の画質: 475](#)
- [HDMI出力の設定: 483](#)
- [動画RAWデータ出力: 488](#)

HDMI機器と接続する

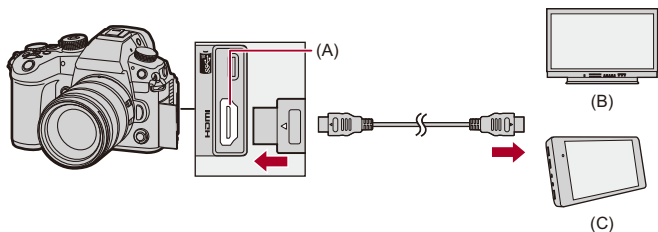


- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

準備:

- カメラと外部モニター／外部レコーダーの電源を切る

市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターや外部レコーダーをつなぐ



(A) HDMI端子(Type A)

(B) 外部モニター

(C) 外部レコーダー

- ウルトラハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、3 m未満)をお使いください。

HDMI出力の画質

- HDMI出力する映像: 475
- ダウンコンバート設定: 478



HDMI出力する映像

撮影時にHDMI出力する映像は、撮影モードによって異なります。

❖ [iA]モード

横縦比、解像度、およびフレームレートは、動画メニュー(記録)の[動画画質]の設定に合わせて出力します。解像度とフレームレートは、用途に合わせてダウンコンバートして出力できます。

YUVおよびビット数は、下記のようにYUVを4:2:2にして出力します。接続する機器が出力方式に対応していない場合は、接続する機器に合わせて出力します。

カード記録	HDMI出力
4:2:2 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 8 bit	4:2:2 8 bit

解像度、フレームレート

- 以下のメニューの組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。
 - 動画メニュー(記録)の[動画画質]
 - カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]の[ダウンコンバート]
- 解像度4Kを超える動画は、C4K / 4K解像度で出力します。

- ハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。
- 詳しくは(→[HDMI出力時の画質: 479](#))



- 16:9と17:9以外の[動画画質]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。
- [動画画質]を[C4K/60p/RAW HQ]/[C4K/60p/RAW]に設定し[プロキシ記録]の設定を[ON]にした場合、FHDの解像度でHDMI出力されます。
- 動画のフレームレートが200p以上のときや[プロキシ記録]を使用中は、以下の機能を使用すると、HDMI出力が停止します。
 - スマートフォンとのWi-Fi接続
 - テザー撮影

❖ [iA] / [P] / [A] / [S] / [M]モード

動画撮影中は、[M]モードと同様に出力します。

撮影待機中は、横縦比は16:9で出力します。解像度、フレームレート、YUVおよびビット数は接続する機器に合わせて出力します。




- 16:9以外の[画像横縦比]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。

❖ HDMI出力についてのお知らせ

- 出力方法が切り換わる時、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影中、HDMI出力画像が遅れて表示されることがあります。
- HDMI出力中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音声を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
- 一部の設定画面はHDMI出力されません。
- **高温表示について**(→ [高温表示について: 132](#))

ダウンコンバート設定

[]モード時、HDMI出力する解像度のダウンコンバート設定をします。

 → [] → [] → [撮影時HDMI出力] → [ダウンコンバート]
を選ぶ

AUTO

接続する機器に合わせてダウンコンバートして出力します。

C4K/4K

解像度をC4K/4Kにダウンコンバートして出力します。

1080p

解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、プログレッシブ方式で出力します。

1080i

解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、インターレース方式で出力します。

OFF

[動画画質]の解像度、記録フレームレートで出力します。



- [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。
- 解像度4K以上のハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、解像度とフレームレートをダウンコンバートして出力する場合があります。
- ダウンコンバートしている場合、通常よりAFでのピント合わせに時間がかかったり、連続したピント合わせの追従性が低下したりすることがあります。

❖ HDMI出力時の画質

[動画画質]と[ダウンコンバート]設定の組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。

- [ダウンコンバート]を[AUTO]に設定しているときは、接続する機器に合わせて出力します。[AUTO]設定時に出力される最大解像度とフレームレートは、[OFF]を選択しているときと同じになります。
- 以下の表で[-]となっている組み合わせを設定しているときは、HDMI出力しません。

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.8K/29.97p 4K/29.97p	5.8K/23.98p 4.4K/47.95p 4K/47.95p 4K/23.98p	4.4K/59.94p 4K/59.94p	5.7K/59.94p C4K/59.94p
C4K/4K	4K/29.97p	4K/23.98p	4K/59.94p ^{*2}	C4K/59.94p ^{*2,4}
1080p	1080/29.97p ^{*1}	1080/23.98p	1080/59.94p ^{*2}	1080/59.94p ^{*2}
1080i	1080/59.94i	—	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	4K/29.97p	4K/23.98p	4K/59.94p	C4K/59.94p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.7K/47.95p 5.7K/23.98p C4K/47.95p C4K/23.98p	5.7K/29.97p C4K/29.97p	C4K/119.88p	4K/119.88p
C4K/4K	C4K/23.98p ^{*4}	C4K/29.97p ^{*4}		
1080p	1080/23.98p	1080/29.97p ^{*1}	1080/59.94p ^{*2}	1080/59.94p ^{*2}
1080i	—	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	C4K/23.98p	C4K/29.97p	1080/59.94p ^{*5}	1080/59.94p ^{*6}

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/239.76p 1080/119.88p	1080/59.94p	1080/59.94i
C4K/4K	—	—	—
1080p	1080/119.88p ^{*3}	1080/59.94p ^{*2}	—
1080i	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	1080/119.88p	1080/59.94p	1080/59.94i

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート	
	1080/47.95p 1080/23.98p	1080/29.97p
C4K/4K	—	—
1080p	1080/23.98p	1080/29.97p ^{*1}
1080i	—	1080/59.94i
OFF	1080/23.98p	1080/29.97p

*1 接続先が29.97pに対応していない場合は、59.94pで出力します。

*2 接続先が59.94pに対応していない場合は、29.97pで出力します。

*3 接続先が119.88pに対応していない場合は、59.94pまたは29.97pで出力します。

*4 接続先がC4Kに対応していない場合は、4Kで出力します。

*5 [4K/120p出力]が[ON]のときは、C4K/119.88pで出力します。

*6 [4K/120p出力]が[ON]のときは、4K/119.88pで出力します。

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.8K/25.00p 4K/25.00p	4.4K/50.00p 4K/50.00p	5.7K/50.00p C4K/50.00p	5.7K/25.00p C4K/25.00p
C4K/4K	4K/25.00p	4K/50.00p ^{*2}	C4K/50.00p ^{*2,4}	C4K/25.00p ^{*4}
1080p	1080/25.00p ^{*1}	1080/50.00p ^{*2}	1080/50.00p ^{*2}	1080/25.00p ^{*1}
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	4K/25.00p	4K/50.00p	C4K/50.00p	C4K/25.00p

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	C4K/100.00p	4K/100.00p	1080/200.00p 1080/100.00p
C4K/4K			—
1080p	1080/50.00p ^{*2}	1080/50.00p ^{*2}	1080/100.00p ^{*3}
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	1080/50.00p ^{*5}	1080/50.00p ^{*6}	1080/100.00p

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/50.00p	1080/50.00i	1080/25.00p
C4K/4K	—	—	—
1080p	1080/50.00p ^{*2}	—	1080/25.00p ^{*1}
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	1080/50.00p	1080/50.00i	1080/25.00p

*1 接続先が25.00pに対応していない場合は、50.00pで出力します。

*2 接続先が50.00pに対応していない場合は、25.00pで出力します。

*3 接続先が100.00pに対応していない場合は、50.00pまたは25.00pで出力します。

*4 接続先がC4Kに対応していない場合は、4Kで出力します。

*5 [4K/100p出力]が[ON]のときは、C4K/100.00pで出力します。

*6 [4K/100p出力]が[ON]のときは、4K/100.00pで出力します。

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
		5.8K/24.00p 4.4K/48.00p	5.7K/48.00p 5.7K/24.00p C4K/24.00p
C4K/4K	4K/24.00p	C4K/24.00p ^{*1}	
1080p	1080/24.00p	1080/24.00p	1080/24.00p
OFF	4K/24.00p	C4K/24.00p	1080/24.00p ^{*3}

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート	
		4K/120.00p
C4K/4K		4K/24.00p
1080p	1080/24.00p	1080/24.00p
OFF	1080/24.00p ^{*4}	4K/24.00p

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート	
		1080/120.00p
C4K/4K	—	—
1080p	1080/120.00p ^{*2}	1080/24.00p
OFF	1080/120.00p	1080/24.00p

*1 接続先がC4Kに対応していない場合は、4Kで出力します。

*2 接続先が120.00pに対応していない場合は、24.00pで出力します。

*3 [4K/120p出力]が[ON]のときは、C4K/120.00pで出力します。

*4 [4K/120p出力]が[ON]のときは、4K/120.00pで出力します。

HDMI出力の設定

- カメラの情報表示をHDMI出力する: 483
- 外部レコーダーに制御情報を出力する: 484
- 音声をHDMI出力する: 484
- HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 485
- 4K/120p(4K/100p)でHDMI出力する: 486
- 4K/120p(4K/100p)省電力ライブビュー: 487



カメラの情報表示をHDMI出力する

HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力します。

 →  →  → **[撮影時HDMI出力]** → **[情報表示]**を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- [情報表示]を[ON]に設定してHDMI接続中は、以下の制限がかかります。
 - [タッチタブ]は使用できません。

外部レコーダーに制御情報を出力する

HDMI 接続した外部レコーダーに、記録開始、停止の制御情報を出力します。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [HDMI記録制御]を
選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [M]モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。(→ [HDMIタイムコード出力: 401](#))
- 動画が記録できない状態(本機にカードが入っていない場合など)でも、動画記録ボタンやシャッターボタンを押すことで、制御情報を出力できます。
- 対応した外部機器だけ制御できます。

音声をHDMI出力する

HDMI 接続した外部機器に、音声を出力します。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [HDMI音声出力]を
選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示

[MFアシスト]または[動画ライブビュー拡大表示]の拡大画面を、HDMI接続した外部機器に出力します。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [ライブビュー拡大表示]を選ぶ

MODE1

動画撮影待機中だけライブビュー拡大表示を出力します。

- [ダウンコンバート]で設定した解像度、フレームレートで出力します。
- [4K/120p出力]([4K/100p出力])を[ON]に設定してライブビュー拡大表示を行うと、動画の解像度、フレームレートは、C4K/120p(100p)または4K/120p(100p)でHDMI出力されますが、映像の更新レートは30 fps以下になります。

MODE2

動画撮影待機中と動画撮影中にライブビュー拡大表示を出力します。

- HDMI出力される動画の解像度、フレームレートはFHD/60p以下になります。
- [ダウンコンバート]を[C4K/4K]または[OFF]に設定しているときは、[MODE2]は使用できません。
- [4K/120p出力]([4K/100p出力])を[ON]に設定しているときは、[MODE2]は使用できません。

OFF

ライブビュー拡大表示を出力しません。

- 本機のモニター/ファインダーで拡大表示をしているときは、カメラの情報表示はHDMI出力されません。
 - [4K/120p出力]([4K/100p出力])を[ON]に設定してライブビュー拡大表示を行うと、カメラ側の映像の更新レートは30 fps以下になります。
-

4K/120p (4K/100p)でHDMI出力する

C4K/120p(100p)または4K/120p(100p)の動画画質に設定しているとき、HDMI接続した外部機器にC4K/120p(100p)または4K/120p(100p)で動画を出力します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [撮影時HDMI出力] ⇒ [4K/120p出力]
([4K/100p出力])を選ぶ

ON

C4K/120p(100p)または4K/120p(100p)でHDMI出力します。

外部機器が非対応の場合は、FHD/60p以下で出力します。

- C4K/120p(100p)または4K/120p(100p)でHDMI出力中は、カードに動画を記録できません。
- YUVおよびビット数は、4:2:2 10bitで出力します。外部機器が非対応の場合は、4:2:0 10bitにして出力します。

OFF

FHD/60p以下でHDMI出力します。



- 以下の機能を使用中は、[4K/120p出力]([4K/100p出力])は使用できません。
- [HDMI RAW データ出力]

4K/120p(4K/100p)省電力ライブビュー

C4K/120p(100p)または4K/120p(100p)でHDMI出力しているとき、撮影待機中のイメージセンサーの駆動を制限して、消費電力と温度上昇を抑えます。

- [HDMI記録制御]と[4K/120p出力]([4K/100p出力])が[ON]のときに設定できます。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [4K/120p省電力ライブビュー]([4K/100p省電力ライブビュー])を選ぶ

ON

撮影待機中のカメラのイメージセンサーの駆動をC4K/60p(50p)または4K/60p(50p)に制限します。

カメラの動画記録ボタンまたはシャッターボタンを押して撮影を開始すると、制限は解除されます。

- 出力先の機器ではC4K/120p(100p)または4K/120p(100p)と認識されますが、撮影待機中に外部レコーダーで撮影を開始すると、制限された画質で記録されてしまうため、外部レコーダーの動画撮影の開始/終了はカメラ側で操作してください。

(→ [外部レコーダーに制御情報を出力する: 484](#))

OFF

撮影待機中もC4K/120p(100p)または4K/120p(100p)のままHDMI出力します。



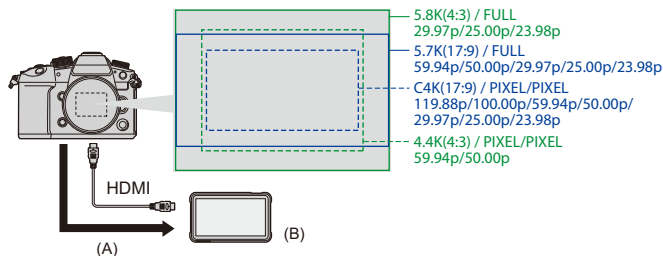
- [4K/120p省電力ライブビュー]([4K/100p省電力ライブビュー])機能を使用すると、タイムコードのスレープ状態が解除されます。

動画RAWデータ出力

- 動画RAWデータをHDMI出力する: 490
- 動画RAWデータ出力時のお知らせ: 494



最大5.8Kの解像度、12 bitの動画RAWデータを、対応した外部レコーダーにHDMI出力できます。



(A) 動画RAW

(B) 外部レコーダー

- 本機の動画RAWデータの記録は、以下の外部レコーダーで動作確認済みです。(2024年5月現在)
 - ATOMOS製: 「NINJA V」/「NINJA V+」/「NINJA」/「NINJA ULTRA」/「SHOGUN」/「SHOGUN ULTRA」/「SHOGUN CONNECT」
 - Blackmagic Design製: 「Blackmagic Video Assist 5" 12G HDR」/「Blackmagic Video Assist 7" 12G HDR」
- 外部レコーダーの対応ファームウェアバージョンは、下記サイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>
- 外部レコーダーの詳細については、ATOMOS / Blackmagic Designの各社にお問い合わせください。
- 対応する外部レコーダーが持つ、すべての性能を保証するものではありません。

- 外部レコーダーで記録した動画RAWデータの編集には、対応したソフトウェアが必要です。対応するソフトウェアはV-Log/V-Gamut変換だけをサポートしています。
- ATOMOS製レコーダーで記録した動画RAWデータを編集する際に、V-Log/V-Gamutと色合いを合わせるには、下記サポートサイトからLUT(ルックアップテーブル)をダウンロードし、ソフトウェアに読み込んでください。
- LUTファイルのダウンロードや、最新のサポート情報は下記サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>



- 動画RAWデータのHDMI出力中は、カードに動画を記録できません。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、動画RAWデータをHDMI出力できません。
- [動画画質]を5.7K/60p(50p)またはC4K/120p(100p)に設定して、Blackmagic Design製レコーダーで記録する場合は、レコーダーのコーデック品質を以下のとおりに設定することをお勧めします。
 - SSDに記録するとき:固定ビットレート5:1以下
 - SDカードに記録するとき:固定ビットレート8:1以下

動画RAWデータをHDMI出力する

出力する映像の画質は[動画画質]で設定します。




準備:

- 1 カメラと外部レコーダーの電源を切る
- 2 市販のHDMIケーブルでカメラと外部レコーダーをつなぐ
 - ウルトラハイスピードHDMIケーブル(Type A-Type Aプラグ、3 m未満)をお使いください。
- 3 カメラと外部レコーダーの電源を入れる

1 撮影モードを[録M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

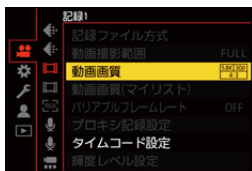
2 [HDMI RAWデータ出力]を設定する

-  →  →  → [HDMI RAWデータ出力] → [ON]
- 撮影画面に[HDMI RAW]が表示されます。



3 動画画質を選ぶ

- MENU/SET → [人] → [映画] → [動画画質]



4 外部レコーダーでHDMI入力を設定する

- 接続が完了すると、外部レコーダーの画面に映像が表示されます。



HDMI出力の動作が通常時と異なります。

- カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]
 - [情報表示]は使用できません。HDMI接続した外部レコーダーに、カメラの情報表示を出力できません。
 - [ダウンコンバート]は使用できません。[動画画質]の設定に応じた解像度とフレームレートで出力します。

❖ 動画画質([HDMI RAWデータ出力]設定時)

動画画質	システム周波数	動画撮影範囲	解像度	フレームレート
5.8K/30p/4:3*	59.94Hz(NTSC)	FULL	5760×4320	29.97p
5.8K/24p/4:3		FULL	5760×4320	23.98p
5.7K/60p/17:9*		FULL	5728×3024	59.94p
5.7K/30p/17:9		FULL	5728×3024	29.97p
5.7K/24p/17:9		FULL	5728×3024	23.98p
4.4K/60p/4:3*		PIXEL/PIXEL	4352×3264	59.94p
C4K/120p/17:9*		PIXEL/PIXEL	4096×2160	119.88p
C4K/60p/17:9		PIXEL/PIXEL	4096×2160	59.94p
C4K/30p/17:9		PIXEL/PIXEL	4096×2160	29.97p
C4K/24p/17:9		PIXEL/PIXEL	4096×2160	23.98p
5.8K/25p/4:3	50.00Hz(PAL)	FULL	5760×4320	25.00p
5.7K/50p/17:9*		FULL	5728×3024	50.00p
5.7K/25p/17:9		FULL	5728×3024	25.00p
4.4K/50p/4:3*		PIXEL/PIXEL	4352×3264	50.00p
C4K/100p/17:9*		PIXEL/PIXEL	4096×2160	100.00p
C4K/50p/17:9		PIXEL/PIXEL	4096×2160	50.00p
C4K/25p/17:9		PIXEL/PIXEL	4096×2160	25.00p

* 「NINJA V」、「NINJA」、「SHOGUN」では記録できません。

- ビット数:12 bit
- 音声フォーマット:LPCM(2ch/4ch)
 - XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)接続時、[4chオーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。
- [動画撮影範囲]は、[動画画質]の設定に応じた範囲に固定されます。
- XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)や、ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)、ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時、[録音音質]を[96kHz/24bit]に設定できます。

❖ 動画RAWデータ出力時のモニター／ファインダー表示

カメラのモニター／ファインダーには、確認用に、V-Log撮影時に相当する映像を表示します。[Logビューアシスト]は、プリセットの[Vlog_709]を適用した[LUTビューアシスト(モニター)]が使用できます。

- モニター表示用のLUTは変更できません。
- [LUTビューアシスト(モニター)]を使用したときは、画面に[709]が表示されます。画面の[LUTビューアシスト(HDMI)]の項目には、[RAW]が表示されます。
- [スポット輝度メーター]、[ゼブラパターン表示]の[基準/幅]は、Stopの単位で設定します。(18%グレーの出力レベルを0 Stopで換算します)




表示する映像のお知らせ

- カメラが表示する映像は、出力される動画RAWデータには影響しません。
- 外部レコーダーには、外部レコーダーの仕様に応じた映像が表示されます。そのため、カメラと外部レコーダーで表示される映像が異なる場合があります。
- カメラのモニター／ファインダーは、動画RAWデータの画角で映像を表示します。外部レコーダーで記録するデータの画角と異なる場合があります。




❖ HDMIタイムコード出力／HDMI記録制御

カメラのタイムコードを付加して、外部レコーダーにHDMI出力できます。カメラの動画記録ボタンやシャッターボタンで、外部レコーダーの記録開始、停止を制御することもできます。

1 [HDMIタイムコード出力]を[ON]に設定する


-  ⇒  ⇒  ⇒ [タイムコード設定] ⇒ [HDMIタイムコード出力] ⇒ [ON]

2 [HDMI記録制御]を[ON]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [撮影時HDMI出力] ⇒ [HDMI記録制御] ⇒ [ON]
- [HDMI記録制御]は、[M]モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。

動画RAWデータ出力時のお知らせ

動画RAWデータ出力時は、以下のように動作します。

- ISO感度は500～12800(センサー出力60 fps以下)または250～3200(センサー出力61 fps以上)の範囲で設定できます。[拡張ISO感度]設定時は125～12800の範囲で設定できます。
- [動画露出設定]を[M]に設定し、MFで撮影しているときは、シャッタースピードの下限が変わります。
 - [動画画質]を[C4K/120p/17:9]に設定時:1/125秒まで設定可能
 - [動画画質]を[C4K/100p/17:9]に設定時:1/100秒まで設定可能
- ホワイトバランスの[AWB]や[AWBc]、[AWBw]、[]は、使用できません。
- [フォトスタイル]は[V-Log]に固定され、画質調整できません。
- AFモードの[+]は使用できません。
- MFアシスト、動画ライブビュー拡大表示を使った拡大表示はできません。
- 以下の機能は使用できません。
 - [マスターペダスタル]
 - [iダイナミックレンジ]
 - [周辺光量補正]
 - [回折補正]
 - [フィルター設定]
 - [記録ファイル方式]
 - [動画画質]の[絞り込み]、[マイリスト登録]
 - [動画画質(マイリスト)]
 - [バリアブルフレームレート]
 - [輝度レベル設定]
 - [手ブレ補正]の[電子手ブレ補正(動画)]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [カラーバー]
 - [ストーリーミング]

外付けSSD(市販)を使う

本機のUSB端子に市販の外付けSSDを接続し、写真や動画を記録・再生できます。

外付けSSDにだけ記録できる動画画質もあります。

- [使用できる外付けSSD: 496](#)
- [外付けSSDを接続する: 497](#)
- [外付けSSDのフォーマット: 500](#)
- [外付けSSDについてのお知らせ: 501](#)

使用できる外付けSSD

本機で使用できる外付けSSDは下記のとおりです。(2024年5月現在)




USB Type-C[®]に対応した外付けSSD(最大2TBまで)

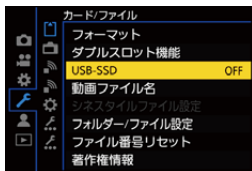
- 本機はSuperSpeed USB 10Gbps (USB 3.2 Gen 2)に対応しています。
- 当社にて動作確認済みの外付けSSDのご使用をお勧めします。
すべての製品の動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 外付けSSDの最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>
- 動作確認済み外付けSSDが持つ、すべての性能を保証するものではありません。
- 事前に試し撮りをし、正常に動作することをご確認ください。
- 外付けSSDの取扱説明書もお読みください。

外付けSSDを接続する

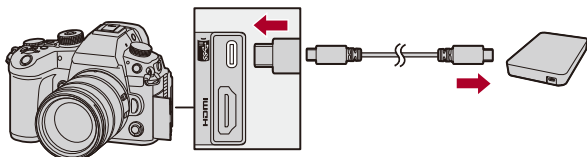
外付けSSDの接続・取り外しの際は、必ず以下の手順をお守りください。
手順どおりに行わないと、外付けSSDを認識しなかったり、外付けSSDや
撮影データが壊れたりするおそれがあります。

1 [USB-SSD]を[ON]にする

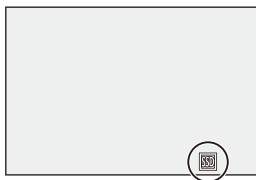
-  →  →  → [USB-SSD] → [ON]






2 USB接続ケーブルでカメラと外付けSSDをつなぐ




- 外付けSSDに付属のUSB接続ケーブルをご使用ください。
- 本機が外付けSSDを認識すると、画面にUSB-SSDのアイコンが表示されます。



❖ 外付けSSDの取り外し

- 1 [USB-SSD]を[OFF]にする
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [USB-SSD] ⇒ [OFF]
- 2 画面のUSB-SSDのアイコンがカードのアイコンに変わったことを確認し、USB接続ケーブルをカメラから抜く






- 外付けSSDの認識に時間がかかる場合があります。
- [USB-SSD]が[ON]に設定されているときは、カードが挿入されていても、カードは使用できません。カードを使用するには、[USB-SSD]を[OFF]にしてください。
- 外付けSSDに書き込み中は、画面に[]が表示されます。
- 画面にUSB-SSDのアイコンが表示されている間は、以下の操作をしないでください。

カメラが正常に動作しなくなったり、外付けSSDや撮影データが壊れたりするおそれがあります。

- USB接続ケーブルを抜く
- バッテリーや電源プラグを抜く
- カメラや外付けSSDに振動や衝撃、静電気を与える

外付けSSDのフォーマット


使用する前に本機で外付けSSDをフォーマットしてください。

 → [] → [] → [フォーマット]



- フォーマットすると、外付けSSDに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

外付けSSDについてのお知らせ

- 以下の動画を記録するには、当社製のDCカプラー(別売:DMW-DCC18)が必要です。
(→[DCカプラー\(別売\): 778](#))
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - フレームレートが60 fpsを超える[パリアブルフレームレート]
- [USB-SSD]を[ON]に設定したときは、以下の機能は使用できません。
 - カードへの記録、カードに記録された写真・動画の再生
 - [ダブルスロット機能]
 - [ストリーミング]([接続方法]の[USB テザリング])/[有線LAN]
 - [USB]
 - [バージョン表示]の[ファームウェアアップデート]
 - [画像コピー]
- 外付けSSD使用中に、撮影した写真をスマートフォンに自動転送するには、[USB-SSD]を[ON]にしたあとに[Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定してください。(→[自動画像転送: 692](#))
- 外付けSSD接続時、カメラから電力を供給するため、バッテリーの消費が早くなります。予備のバッテリーを用意するか、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)とDCカプラー(別売:DMW-DCC18)のご使用をお勧めします。
- 外付けSSDを使用しないときは、[USB-SSD]を[OFF]にしてください。
[ON]にしているときは、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 接続する外付けSSDによっては、電力不足のため、画面に使用不可のメッセージが表示され、動作しない場合があります。
 - 当社にて動作確認済みの外付けSSDのご使用をお勧めします。
 - 事前に試し撮りをし、正常に動作することをご確認ください。
- 外付けSSDに長時間記録しているときなど、カメラの温度が上がると、画面に[ⓘ]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
- 外付けSSDが、パスワードなどによってロックされていると、本機からのアクセスができません。ご使用前に外付けSSDの設定を確認してください。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプター、USBハブは使用しないでください。

画像の再生／編集

本章では、写真や動画の再生、消去方法を説明します。RAW形式で撮影した写真の現像や、再生できない動画ファイルの修復もできます。

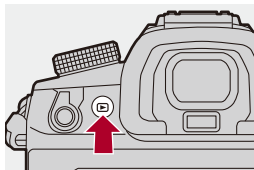
• 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

- [写真の再生: 503](#)
- [動画の再生: 505](#)
- [表示方法の切り換え: 514](#)
- [グループ画像: 519](#)
- [画像の消去: 521](#)
- [RAW現像: 523](#)
- [動画修復: 530](#)
- [再生メニュー: 533](#)

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 写真を選ぶ

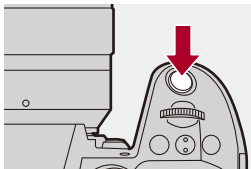
- ◀▶ で写真を選びます。
- ◀▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ☀ または ⚙ を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。



(A) カードスロット

3 再生を終了する



- シャッターボタンを半押しします。
- [▶] ボタンを押しても再生を終了できます。



❖ 表示するカードの切り換え

再生時に [] ボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。

- [スロット切換] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。(→ [Fn ボタン: 545](#))

- 1 [] ボタンを押す
- 2 ▲▼ で [スロット1(CFexpress)] または [スロット2(SD)] を選び、 または  を押す



- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) によって制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。Exif とは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。



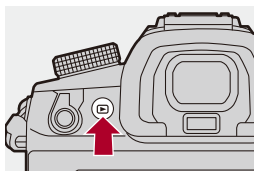
- 撮影画面／再生画面の切り換えを Fn ボタンに登録できます：
(→ [撮影／再生切換: 553](#)、[撮影／再生切換: 556](#))

動画の再生

- 動画のリピート再生: 509
- 写真の切り出し: 511
- 動画分割: 512

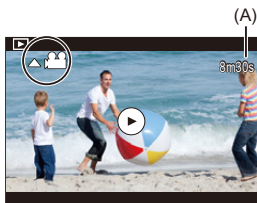
1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

- 画像の選び方について(→ [写真の再生: 503](#))
- 動画には動画アイコン[🎬]が表示されます。
- 画面に動画の記録時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。



(A) 動画の記録時間

3 動画を再生する

- ▲ を押します。
- 画面中央の[▶]をタッチしても再生できます。








- (B) 再生経過時間
(C) 再生バー

4 再生を終了する

- ▼ を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ /	再生／一時停止
▼	—	停止
◀	—	早戻し再生 ・もう一度◀を押すと、早戻し速度が速くなります。 コマ戻し(一時停止中)
▶	—	早送り再生 ・もう一度▶を押すと、早送り速度が速くなります。 コマ送り(一時停止中)
—		表示するコマの選択
 / 	保存	写真の切り出し(一時停止中)(→ 写真の切り出し: 511)
	—	音量を下げる
		音量を上げる



- 本機で再生できる動画のファイル形式はMP4、MOVおよび Apple ProRes です。
- RAW動画は早送り再生／早戻し再生(コマ送り／コマ戻し)できません。
- [動画ファイル名]を[シネスタイル]にして撮影したPRIVATEフォルダー内の動画も再生されます。
- 現在の設定と異なる[システム周波数]で記録した動画は再生できません。
- カード側の読み出し速度が遅いと、再生が一時停止したり、滑らかに再生できなかったりする場合があります。



- 再生できない動画ファイルを修復できる場合があります。
(→ [動画修復: 530](#))
- 動画の再生終了後の動作を設定できます:
(→ [動画再生後の動作: 537](#))
- 撮影画面／再生画面の切り換えをFnボタンに登録できます:
(→ [撮影/再生切換: 553](#)、[撮影/再生切換: 556](#))



動画のリPEAT再生

動画の一部の区間を繰り返し再生できます。

1 リPEAT区間設定画面を表示する

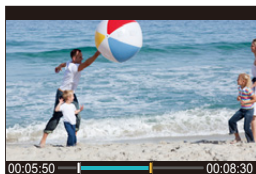
- 一時停止中に[Q]ボタンを押します。
- 一時停止中に[リPEAT再生]をタッチしても、リPEAT区間設定画面が表示されます。

2 リPEAT区間開始位置を設定する

- ◀▶で開始位置を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ☀️、☂️ または  を回しても選択できます。
- 再生バーをタッチしても開始位置を選択できます。

3 リPEAT区間終了位置を設定する

- 2と同じ手順で設定します。
- 開始位置と終了位置が近すぎる場合は設定できません。



4 再生を開始する

- リPEAT再生中の操作は「動画再生中の操作」と同じです。(→ [動画再生中の操作: 507](#))
- ▼を押して再生を停止するか、一時停止中に[Q]ボタンを押すと、リPEAT再生を終了します。



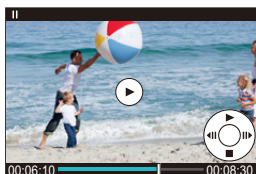
- 記録時間が短い場合はリピート再生できません。
- リピート区間の設定位置は、動画の一時停止位置からずれが生じることがあります。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



2 写真を保存する

- MENU/SET または 📁 を押します。
- [保存]をタッチしても写真を保存できます。



- 動画から作成された写真は、写真画質[FINE]で保存されます。画像サイズは[動画画質]の解像度に応じたサイズで保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に[📄]が表示されます。
- 以下の機能を使用中は、写真の切り出しはできません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)




動画分割

撮影した動画を2つに分割します。



- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割]を選ぶ

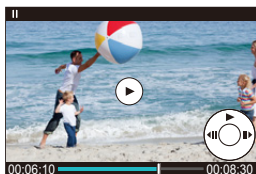
-  →  →  → [動画分割]

2 画像を選び、再生する

- ◀▶ で画像を選び、 または  を押します。

3 分割する位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



4 動画を分割する

- MENU/SET または 📌 を押します。
- [分割]をタッチしても動画を分割できます。



- [記録ファイル方式]が[Apple ProRes]で撮影された動画は分割できません。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。
- [動画分割記録]を使用して撮影した画像には、[動画分割]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[動画分割]は使用できません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

表示方法の切り換え



- 拡大表示: 514
- サムネイル表示: 516
- カレンダー表示: 518

撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示（マルチ再生）に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示




再生画像を拡大表示（再生ズーム）できます。

再生画面を拡大する

-  を右側に回します。
- 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍の順で拡大表示します。
-  を左側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- 記録画素数の小さな画像は16倍で拡大表示できない場合があります。



❖ 拡大表示中の操作




ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	画面を拡大／縮小
—	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る





- AFでピントの合った位置を表示できます。その位置から拡大表示できます：
(→ [AF位置から拡大: 536](#))


サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

-  を左側に回します。
- 12画面 ⇄ 30画面の順に表示が切り換わります。
- 30画面表示中に  を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。
(→ [カレンダー表示: 518](#))
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。

[]: 1画面

[]: 12画面

[]: 30画面

[ CAL]: カレンダー (→ [カレンダー表示: 518](#))




(A) カードスロット


2 画像を選ぶ

-     で画像を選び、 または  を押します。





- サムネイル表示中に[]ボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。
- サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。

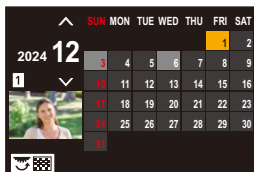


- []と表示される画像は再生できません。

カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える

-  を左側に回します。
- サムネイル表示(12画面) ⇨ サムネイル表示(30画面) ⇨ カレンダー表示の順に表示が切り換わります。
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

- ▲▼◀▶ で日付を選び、 または  を押します。

3 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押します。
-  を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。



- カレンダー表示中は、表示するカードを切り換えることができません。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮り撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)
また、グループ内の画像ごとに消去や編集もできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像



SH連写で撮影したグループ画像



フォーカスブラケット撮影したグループ画像



インターバル撮影したグループ画像




コマ撮り撮影したグループ画像



[動画分割記録]で撮影したグループ画像

❖ グループ内の画像を1枚ずつ再生／編集する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、画像の消去など通常の再生時と同じ操作ができます。

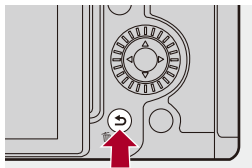
- 1 再生状態でグループ画像を選ぶ(→ [写真の再生: 503](#))
- 2 ▼を押してグループ内の画像を表示する
 - グループ画像のアイコンをタッチしても同じ操作ができます。
- 3 ◀▶で画像を選ぶ
 - 通常の再生画面に戻るには、もう一度▼を押す、または[▶]をタッチしてください。

画像の消去



- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- 選択しているカードスロットの画像だけ消去できます。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

1 再生状態で[消]を押す








2 ▲▼で消去方法を選び、 または を押す

1枚消去


選択中の画像を消去します。

複数消去

複数枚の画像を選んで消去します。

- ▲▼◀▶で消去する画像を選び、 または  を押す
 - 選択した画像にが表示されます。
 - もう一度 または  を押すと、選択が解除されます。
 - 画像は100枚まで選択できます。
- [DISP]ボタンを押して選択した画像を消去する



- 画像を消去するカードを切り換えるには、 ボタンを押してカードスロットを選択してください。



- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- 以下の機能を使用中は、画像の消去はできません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)






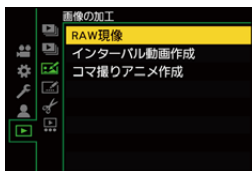
- 消去時の確認画面で、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます：
 - (→ [消去確認画面: 543](#))
- カード内のすべての画像を消去できます。
 - (→ [全画像消去: 543](#))

RAW現像



RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。

1 [RAW現像]を選ぶ

-  →  →  → [RAW現像]

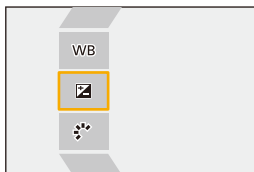


2 RAW画像を選ぶ




- ◀▶ で画像を選び、 または  を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、▼を押してから、グループ内の画像を選択してください。
もう一度▼を押すと、通常の見出し画面に戻ります。
- 表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。

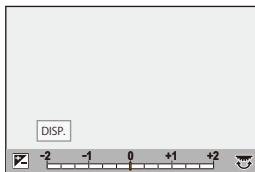
3 設定項目を選ぶ

- ▲▼ で項目を選び、 または  を押します。





4 設定を変更する

- 、 または  を回します。
- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。

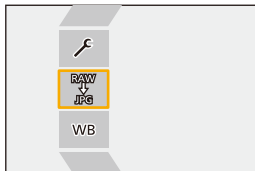


5 設定内容を決定する

-  または  を押します。
- 手順3の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順3から5を繰り返してください。

6 画像を保存する

-  で [RAW現像実行] を選び、 または  を押します。





❖ 設定項目(RAW現像)

RAW現像実行

画像を保存します。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを選んで調整できます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。

- [ホワイトバランス]の選択画面で▼を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。(→ [ホワイトバランスの調整: 315](#))
 - []～[]を選択中に▲を押すと、色温度の設定画面が表示されます。(→ [色温度設定: 314](#))
-

明るさ補正

明るさの補正ができます。

- [明るさ補正]の効果は、撮影時の露出補正と異なります。
-

フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 317](#))

フォトスタイルを選択できます。

- [709ライク]を選択中に[Q]ボタンを押すと、二一設定画面が表示されます。(→ [白飛びを抑えて撮影する\(二一\): 378](#))
 - [V-Log]で撮影した画像は、フォトスタイルを選択できません。[V-Log]以外で撮影した画像では、[V-Log]を選択できません。
 - [シネライク D2]、[シネライク V2]で撮影した画像は、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルを選択できません。[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルで撮影した画像では、[シネライク D2]、[シネライク V2]を選択できません。
 - [リアルタイム LUT]は選択できません。[リアルタイム LUT]で撮影した画像は、ベースとなるフォトスタイルによって選択できるフォトスタイルが変わります。
-

iダイナミックレンジ

iダイナミックレンジの設定を選択できます。

コントラスト

コントラストを調整できます。

ハイライト

明るい部分の明るさを調整できます。

シャドウ

暗い部分の明るさを調整できます。

彩度／色調

彩度または色調を調整できます。

色相

色相を調整できます。

フィルター効果

フィルター効果を選択できます。

粒状

粒状感の設定を選択できます。

色ノイズ

粒状感に色味を追加します。

NR ノイズリダクション

ノイズを軽減する設定ができます。

シャープネス

解像感を調整できます。

LUT

[LUTライブラリ]に登録されているLUTファイルを選択できます。(→ [LUTライブラリ: 336](#))

LUT濃度

LUTファイルの効果を調整します。

詳細設定

[調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。































[色空間]: 色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます。(→ [色空間: 578](#))

[画像サイズ]: 保存時の画像サイズを選択できます。

[保存先スロット]: RAW現像した画像を保存するカードスロットを選択できます。

[AUTO]を選択すると、現像するRAW形式の画像と同じカードスロットに保存します。

• 選択した[フォトスタイル]により、調整できる項目は変わります。

	       		    		
WB	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
	✓	✓	✓		
 (彩度)	✓	✓		✓	✓ ^{*1}
 (色調)			✓		
	✓	✓		✓	
			✓		
		✓	✓		✓ ^{*1}
		✓ ^{*2}			✓ ^{*1, 2}
NR	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓
LUT1 / 	✓	✓	✓	✓	✓
LUT2 / 					

*1 [LUT1]または[LUT2]でLUTファイルを適用した場合に設定できます。

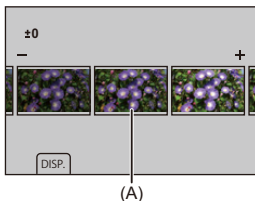
*2 [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

1 手順**4**の画面で、[DISP.]ボタンを押す

- 現在の設定の画像(A)が中央に表示されます。
- 現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[↶]をタッチすると元の表示に戻ります。
- [ノイズリダクション]、[シャープネス]選択中は、比較画面の表示ができません。



2 、 または を回して設定を変更する

3 または を押して決定する



- 比較画面の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機で撮影したRAW画像は常に[4:3]の[L]サイズで記録されます。(ただし、ハイレゾモードで撮影したRAW画像は[4:3]の[XL]サイズで記録されます)
- 本機能では撮影時の画像横縦比や[クロップズーム(写真)]の画角で現像されます。
- [クロップズーム(写真)]を使用して撮影したRAW画像は、現像時に選択できる[画像サイズ]が異なる場合があります。
- 本機能では、[写真画質]は[FINE]で現像されます。
- 本機能と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」のRAW現像の結果は、完全には一致しません。
- 以下の機能を使用中は、RAW現像はできません。
 - HDMI出力
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)
 - [Frame.ioに画像を送る](アップロードキューに画像が存在するとき)

動画修復

動画記録が正常に完了しなかった場合に、再生できない動画ファイル(拡張子「.mdt」)が生成されることがあります。

本機能を使って、「.mdt」のファイルを再生可能な動画ファイルに修復できます。

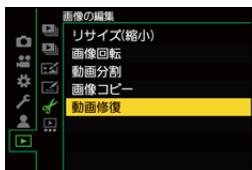
- 「.mdt」ファイルが生成される原因には以下のようなものがあります。
 - 動画記録中に電源が切れる(バッテリーを取り出す、電源コードが抜ける、ACアダプター使用中の停電、など)
 - 動画記録中にカードを取り出す
 - 動画記録後、カードへの書き込み中にカードを取り出す
 - 動画記録中／カード書き込み中に予期せぬフリーズが発生した場合



- 修復できる動画は、[記録ファイル方式]が[MOV]または[Apple ProRes]で撮影した動画です。
[MP4]で撮影した動画は修復できません。
- 修復には時間がかかるため、給電しながら操作してください。(→ [電力を供給しながらカメラを使う\(給電／充電\): 60](#))

1 [動画修復]を選ぶ



- → → → [動画修復]

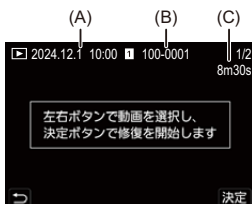


2 [スロット1(CFexpress)]または[スロット2(SD)]を選ぶ

- ▲▼で選択し、 または  を押します。
- 修復可能な動画ファイルが絞り込まれます。

3 修復する動画ファイルを選ぶ

- ◀▶でファイルを選び、 または  を押します。
- 撮影日時(A)、フォルダー番号(ボリュームラベル)・ファイル(クリップ)番号(B)、動画記録時間(C)を参考に動画ファイルを選んでください。



4 確認画面で[はい]を選ぶ

- 動画修復が始まります。修復には時間がかかります。
- 修復された動画ファイルは、修復前のファイルと同じフォルダーに保存されます。

❖ 動画修復を中止する

動画修復を中止してもファイルは消去されないため、後でやり直すことができます。

- 1 動画修復中画面で  または  を押す
- 2 確認画面で[はい]を選ぶ



- 記録時間が短い動画は修復できない場合があります。
- データの状態によっては、動画を修復できない場合があります。
- カードの空き容量が著しく不足している場合は、動画修復を開始できません。
- 修復中は電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 修復中は他の操作をしないでください。
- 本機以外で撮影した動画は修復できません。
- 以下の機能を使用中は、[動画修復]は使用できません。
 - [自動画像転送](転送する画像が存在するとき)

再生メニュー






- 再生メニューでの画像の選び方: 533
- 再生メニュー(表示方法): 535
- 再生メニュー(画像の加工): 538
- 再生メニュー(情報の付与・削除): 539
- 再生メニュー(画像の編集): 540
- 再生メニュー(その他): 543

再生メニューでの画像の選び方


画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

- カードスロットごとに表示されます。
- 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。

❖ [1枚設定]選択中

- 1  で画像を選ぶ
- 2  または  を押す
 - 画面右下に[設定/解除]と表示される場合、もう一度  または  を押すと設定が解除されます。

❖ [複数設定]選択中

[] ボタンを押すと、表示するカードが切り換わります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。



- [DISP.]ボタンを押して実行する

[プロテクト]を選んだとき

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  で設定する(繰り返す)
- 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。



再生メニュー(表示方法)

▶: 初期設定

再生モード

▶通常再生／写真のみ／動画のみ／レーティング

再生する画像の種類を絞り込みます。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.]ボタンを押してください。

スライドショー

全画像／写真のみ／動画のみ／レーティング

画像の種類を選び、一定間隔で順番に再生します。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.]ボタンを押してください。

開始: スライドショー再生を開始します。

再生間隔: 画像を再生する間隔を選びます。

リピート: リピート再生を設定します。

スライドショー中の操作

▲: 再生／一時停止 ([▶] / [⏸]) をタッチしても同じ操作ができます)

◀: 前の画像へ

▶: 次の画像へ

▼: スライドショーを終了する

⊙: 音量の調整

- [動画のみ]を設定したときは、[再生間隔]は使用できません。

縦位置自動回転

▶ON / OFF

カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

画像表示順

ファイル名 / ▶撮影日時

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

ファイル名: フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。

撮影日時: 画像が撮影された日時の順番で表示します。

- 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。

AF位置から拡大

ON / ▶OFF

AFでピントの合った位置を表示します。画像を拡大するときAFでピントの合った位置を中心に拡大します。

- ハイレゾモードで撮影したRAW画像や、ピントが合っていない場合は、画像の中央を拡大します。

LUTビューアシスト(モニター)

ON / ▶OFF

[フォトスタイル]を[V-Log]または[ARRI LogC3]に設定して記録した画像を再生するときに、LUTファイルを適用した映像をモニター / ファインダーに表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(モニター)]と連動しています。

(→ [Logビューアシスト: 449](#))

HLGビューアシスト(モニター)

MODE1 / ▶MODE2 / OFF

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]と連動しています。
(→[HLGビューアシスト:452](#))

アナモフィック デスクイーズ表示

2.0x / 1.8x / 1.5x / 1.33x / 1.30x / ▶OFF

アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[アナモフィック デスクイーズ表示]と連動しています。
(→[アナモフィック デスクイーズ表示:455](#))

動画再生後の動作

▶再生終了 / 最終フレームで一時停止

動画の再生終了後の動作を設定できます。

再生終了: 動画再生を終了して画像選択画面に戻ります。

最終フレームで一時停止: 動画再生を終了せずに、最後のフレームで一時停止します。動画再生を終了するには▼を押してください。



再生メニュー(画像の加工)

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。
(→RAW現像: 523)

インターバル動画作成



[インターバル撮影]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

- 1 ◀▶ で[インターバル撮影]のグループを選び、 または  を押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
(→インターバル/コマ撮りアニメの動画: 246)

- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[インターバル動画作成]は使用できません。

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

- 1 ◀▶ でコマ撮りグループを選び、 または  を押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
(→インターバル/コマ撮りアニメの動画: 246)

- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。

再生メニュー(情報の付与・削除)

プロテクト

1枚設定／複数設定／全解除

誤って消去することがないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。



- 画像の選び方について(→再生メニューでの画像の選び方:533)
- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。

レーティング

1枚設定／複数設定／全解除

画像に5段階のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外を消去する。
- パソコンのファイル詳細表示などで、レーティングのレベルを確認する。(JPEG画像のみ)

- 1 画像を選ぶ(→再生メニューでの画像の選び方:533)
- 2 ◀▶でレーティングのレベル(1~5)を選び、 または  を押す
 - [複数設定]を選択したときは、手順1、2を繰り返してください。
 - 設定を解除するには、レーティングのレベルを[OFF]にしてください。





再生メニュー(画像の編集)

▶: 初期設定

リサイズ(縮小)

1枚設定／複数設定

ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、JPEG画像の容量(画像サイズ)を小さくして、別の画像として保存します。

- 画像の選び方について(→ [再生メニューでの画像の選び方: 533](#))
 - [1枚設定]選択時は、画像を選んだあとに、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。
 - [複数設定]選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像には、[リサイズ(縮小)]は使用できません。
 - 動画撮影
 - グループ画像
 - [写真画質]の[RAW]
 - C4K動画から作成した写真
 - [画像サイズ]の[XS]

画像回転

画像を手動で90°ずつ回転させます。



:時計回りに90°回転します。



:反時計回りに90°回転します。

- 画像の選び方について(→再生メニューでの画像の選び方:533)
- [縦位置自動回転]が[OFF]のときは、[画像回転]は使用できません。

動画分割

撮影した動画を2つに分割します。

(→動画分割:512)

画像コピー

コピー方向

▶ **1** → **2** / **2** → **1**

画像選択コピー／フォルダー内全画像コピー／カード内全画像コピー

カード内の画像をもう一方のカードにコピーできます。

- コピーするときは、新しいフォルダーを作成し保存します。

画像選択コピー:画像を選んでコピーします。

- 1 コピー元のフォルダー(DCIMフォルダー／PRIVATEフォルダー(シネスタイル))を選ぶ
- 2 コピーする画像の入ったフォルダーを選ぶ
- 3 画像を選ぶ(→再生メニューでの画像の選び方:533)

フォルダー内全画像コピー:フォルダー内のすべての画像をコピーします。

- 1 コピー元のフォルダー(DCIMフォルダー／PRIVATEフォルダー(シネスタイル))を選ぶ
- 2 コピーするフォルダーを選ぶ
- 3 コピーする画像を確認し、 または を押して実行する

カード内全画像コピー:カード内のすべての画像をコピーします。

- DCIMフォルダー内の画像はコピー先のDCIMフォルダーに、PRIVATEフォルダー内の画像はコピー先のPRIVATEフォルダーにそれぞれ保存されます。

Fn ボタンで画像をコピーする

1枚再生中に[画像コピー]を登録したFnボタンを押すと、再生中の画像をもう一方のカードにコピーします。(→[Fn ボタン: 545](#))

- 以下の選択肢からコピー先のフォルダーを選んでください。グループ画像の場合は[新規作成]が自動で選ばれます。

コピー元と同じフォルダー番号: コピーする画像と同じ名前のフォルダーにコピーします。

新規作成: フォルダー番号を繰り上げて新規フォルダーを作成し、コピーします。

フォルダー選択: 保存するフォルダーを選んでコピーします。

- コピー元がPRIVATEフォルダーの場合は、[新規作成]だけ選択できます。
- [画像選択コピー]で一度に設定できるのは100枚までです。
- [プロテクト]の設定内容はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画のコピーはできません。
- CFexpressカードからSD／SDHCメモリーカードへのコピー

動画修復

▶スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)

何らかの原因で記録が正常に終了しなかった動画ファイルを修復します。(→[動画修復: 530](#))

再生メニュー(その他)

▶:初期設定

消去確認画面

「はい」がはじめ／▶「いいえ」がはじめ

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

「はい」がはじめ:最初に[はい]が選ばれます。

「いいえ」がはじめ:最初に[いいえ]が選ばれます。

全画像消去

▶スロット1(CFexpress)／スロット2(SD)

カード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- [レーティング以外全消去]を選択すると、レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。
- [全画像消去]は、[再生モード]を[通常再生]に設定しているときに使用できます。

カメラのカスタマイズ

本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能について説明します。

カメラの操作や画面表示の詳細な設定ができるカスタムメニューや、カメラの基本的な設定ができるセットアップメニューについても説明しています。

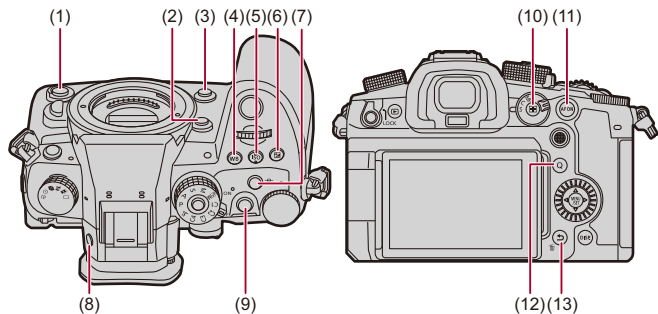
- [Fnボタン: 545](#)
- [ダイヤル動作切換: 559](#)
- [クイックメニューのカスタマイズ: 562](#)
- [カスタムモード: 569](#)
- [カスタムメニュー: 574](#)
- [セットアップメニュー: 612](#)
- [マイメニュー: 638](#)

Fnボタン

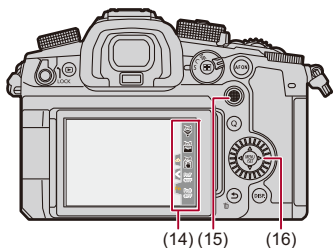
- [Fnボタンへの機能の登録: 548](#)
- [Fnボタンを使う: 558](#)

Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。また、[WB]ボタンなどの専用機能ボタンにも、Fnボタンと同じように、別の機能を登録できます。撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

❖ Fnボタンの初期設定



Fnボタン	撮影時設定	再生時設定
(1) サブ動画記録ボタン	動画撮影	動画撮影
(2) Fn2	AFポイントスコープ	設定なし
(3) Fn3	プレビュー	設定なし
(4) WB	ホワイトバランス	設定なし
(5) ISO	ISO感度	設定なし
(6) 	露出補正	設定なし
(7) オーディオ情報表示ボタン	オーディオ情報表示	設定なし
(8) LVF	LVF/モニター切換	LVF/モニター切換
(9) 動画記録ボタン	動画撮影	動画撮影
(10) 	AFモード	スロット切換
(11) AF ON	AF-ON	レーティング★3
(12) Q	Q.MENU	スマートフォンに画像を送る
(13) Fn1 /  / 	水準器表示	<ul style="list-style-type: none"> 再生時はFnボタンとして使用できません。



	Fnボタン	撮影時設定	再生時設定
(14)	Fn4	Wi-Fi	
	Fn5	ヒストグラム表示	
	Fn6	手ブレ補正ブースト(動画)	
	Fn7	設定なし(長押し無効)	
	Fn8	設定なし(長押し無効)	
(15)		設定なし	<ul style="list-style-type: none"> 再生時はFnボタンとして使用できません。
(16)		ズーム操作(クロップズーム(写真)使用時)	

Fnボタンへの機能の登録



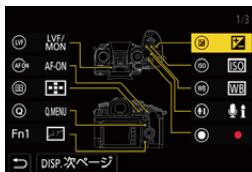
- 初期設定ではジョイスティックの[Fn13]～[Fn17]が使用できません。機能を使用する場合は、カスタムメニュー(操作)の[ジョイスティック設定]を[Fn]に設定してください。(→ [ジョイスティック設定: 592](#))

1 [Fnボタン設定]を選ぶ



- → [設定] → [ジョイスティック設定] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] / [再生時設定]

2 ボタンを選ぶ

- ▲▼でボタンを選び、 または を押します。
- または を回しても選択できます。
- ページを切り換えるには、[DISP.]ボタンを押してください。





3 登録する機能を探す

- ☀️ を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ [設定項目\(Fnボタン設定／撮影時設定\): 550](#)、[設定項目\(Fnボタン設定／再生時設定\): 556](#))を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ◀️ を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼ を押す、または  を回し、▶️ を押しても選択できます。
- [Q] ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 機能を登録する

- ▲▼ で機能を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ☀️ または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。
- ボタンによっては、登録できない機能があります。



- コントロールパネル(→ [コントロールパネル: 787](#))で[Fn \bar{Y}]をタッチしても、手順 **2**の画面を表示できます。
- Fnボタンの長押し(2秒)でも、手順 **4**の画面を表示できます。(登録した機能やボタンの種類によっては表示されません)




- 交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録できます：
(→ [レンズFnボタン設定: 609](#))

❖ 設定項目(Fnボタン設定 / 撮影時設定)

[1]タブ

🔍 画質

- 露出補正 (→ [露出補正: 297](#))
- ISO感度 (→ [ISO感度: 303](#))
- ホワイトバランス (→ [ホワイトバランス\(WB\): 309](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 317](#))
- LUT適用
 - [リアルタイムLUT]または[MY PHOTO STYLE]の[LUT]で設定したLUTファイルを適用します。(→ [画質調整: 322](#))
- リアルタイムLUT (→ [リアルタイムLUT: 335](#))
- 測光モード (→ [測光モード: 279](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 120](#))
- 写真画質 (→ [写真画質: 123](#))
- 画像サイズ (→ [画像サイズ: 121](#))
- ワンショットスポット測光
 - 1回だけ測光モードを[(スポット)]にして撮影します。(→ [測光モード: 279](#))
- 長秒ノイズ除去 (→ [長秒ノイズ除去: 266](#))
- 下限シャッター速度 (→ [下限シャッター速度: 269](#))
- ワンショットRAW+JPG
 - 1回だけRAW画像とJPEG画像を同時に撮影します。(→ [写真画質: 123](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 300](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 330](#))
- ワンプッシュAE
 - 絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた標準露出に合う設定にします。(→ [露出補正: 297](#))
- タッチAE (→ [タッチAE: 115](#))
- AWBロック (→ [AWBロック設定: 577](#))
- 動画露出設定 (→ [露出を設定して動画を撮る: 366](#))
- シンクロスキャン(写真) (→ [シンクロスキャン\(写真\): 267](#))
- シンクロスキャン(動画) (→ [シンクロスキャン\(動画\): 457](#))

[AF] フォーカス/リリース

- AFモード(→[AFモードの選択: 181](#))
- 自動認識設定(→[自動認識: 184](#))
- 自動認識の対象(→[自動認識: 184](#))
- AFカスタム設定(写真)(→[AFカスタム設定\(写真\): 172](#))
- AFカスタム設定(動画)(→[AFカスタム設定\(動画\): 372](#))
- フォーカスリミッター(→[フォーカスリミッター: 174](#))
- フォーカスリミッター範囲設定(→[フォーカスリミッター: 174](#))
- ピーキング(→[ピーキング: 211](#))
- ピーキング感度(→[ピーキング: 211](#))
- フォーカス枠の移動速度(→[フォーカス枠の移動速度: 177](#))
- フォーカスリングロック(→[フォーカスリングロック: 582](#))
- AE LOCK(→[ピントや露出の固定\(AF / AEロック\): 301](#))
- AF LOCK(→[ピントや露出の固定\(AF / AEロック\): 301](#))
- AF/AE LOCK(→[ピントや露出の固定\(AF / AEロック\): 301](#))
- AF-ON(→[\[AF ON\]ボタン: 168](#))
- AF-ON: 近側
 - 近くの被写体を優先してAFが働きます。(→[AFを使う: 166](#))
- AF-ON: 遠側
 - 遠くの被写体を優先してAFが働きます。(→[AFを使う: 166](#))
- AFポイントスコープ(→[AFポイントスコープ: 170](#))
- フォーカスエリア選択
 - AFエリア / MFアシストの移動画面を表示します。(→[AFエリアの操作: 197](#)、[MFアシスト画面での操作: 208](#))
- 動画ライブビュー拡大表示(→[動画ライブビュー拡大表示: 373](#))

⚡ フラッシュ

- フラッシュモード(→[フラッシュモード: 350](#))
- フラッシュ光量調整(→[フラッシュ光量調整: 354](#))
- ワイヤレスフラッシュ設定(→[ワイヤレスフラッシュ撮影: 357](#))

その他(写真)

- ドライブモード設定 (→ [ドライブモードの選択: 222](#))
- ブラケット (→ [ブラケット撮影: 251](#))
- サイレントモード (→ [サイレントモード: 261](#))
- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 274](#))
- シャッター方式 (→ [シャッター方式: 263](#))
- クロップズーム
 - [クロップズーム(写真)], [ズーム操作], [ズーム操作(T側)], [ズーム操作(W側)], [クロップズーム(ステップ)], [ズーム速度(写真)] に設定できます。(→ [クロップズーム\(写真\): 214](#))
- ライブビューコンポジット撮影 (→ [ライブビューコンポジット撮影: 258](#))

[2] タブ

記録

- 記録ファイル方式 (→ [記録ファイル方式: 136](#))
- 動画画質 (→ [動画画質: 137](#))
- 動画画質(マイリスト) (→ [マイリストから設定する、消去する: 152](#))
- バリアブルフレームレート (→ [バリアブルフレームレート: 426](#))
- プロキシ記録 (→ [プロキシ記録: 156](#))
- タイムコード表示 (→ [タイムコード: 399](#))


音

- オーディオ情報表示 (→ [オーディオ情報表示: 388](#))
- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 382](#))
- 音声入力ミュート (→ [音声入力ミュート: 382](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 384](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 385](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 387](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 395](#))
- XLRマイクアダプター設定 (→ [XLRマイクrohホンアダプター\(別売\): 392](#))
- 音声モニタチャンネル (→ [音声モニタチャンネル: 397](#))

その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 274](#))
- 電子手ブレ補正(動画) (→ [電子手ブレ補正\(動画\): 275](#))
- 手ブレ補正ブースト(動画) (→ [手ブレ補正ブースト\(動画\): 273](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 161](#))
- クロップズーム
 - [クロップズーム(動画)], [ズーム操作], [ズーム操作(T側)], [ズーム操作(W側)], [クロップズーム(ステップ)], [ズーム速度(動画)]に設定できます。(→ [クロップズーム\(動画\): 217](#))
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 434](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 438](#))
- ライブクロップ設定 (→ [ライブクロップ: 438](#))

操作

- Q.MENU (→ [クイックメニュー: 94](#))
- 撮影/再生切換
 - 再生画面に切り換えます。(→ [写真の再生: 503](#)、[動画の再生: 505](#))
- 動画撮影 (→ [動画を撮る: 126](#))
- 動画撮影(クリエイティブ動画時)
 - [M]モード時にだけ、動画撮影を開始/停止します。(→ [露出を設定して動画を撮る: 366](#))
- LVF/モニター切換 (→ [モニターとファインダーの切り換え: 88](#))
- ダイヤル動作切換 (→ [ダイヤルの動作を一時的に変更する: 561](#))

モニター/表示

- プレビュー (→ [プレビューモード: 295](#))
- プレビュー(絞りのみ)
 - Fnボタンを押している間、絞り効果を確認できます。(→ [プレビューモード: 295](#))
- 常時プレビュー (→ [常時プレビュー: 593](#))
- 水準器表示 (→ [水準器表示: 601](#))
- ヒストグラム表示 (→ [ヒストグラム表示: 594](#))
- スポット輝度メーター (→ [スポット輝度メーター: 418](#))
- フレーム表示 (→ [フレーム表示: 421](#))
- 写真グリッドライン表示 (→ [写真グリッドライン表示: 595](#))
- ライブビューブースト (→ [ライブビューブースト: 595](#))
- モノクロライブビュー (→ [モノクロライブビュー: 604](#))

- ナイトモード(→[ナイトモード: 596](#))
- LVF/モニター表示設定
 - 表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換えます。
(→[LVF/モニター表示設定: 597](#))
- 動画優先表示(→[動画優先表示: 606](#))
- ゼブラパターン表示(→[ゼブラパターン表示: 419](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→[LUTビューアシスト\(モニター\): 449](#))
- LUTビューアシスト(HDMI)(→[LUTビューアシスト\(HDMI\): 449](#))
- LUT選択(LUTビューアシスト)(→[Logビューアシスト: 449](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→[HLGビューアシスト: 452](#))
- HLGビューアシスト(HDMI)(→[HLGビューアシスト: 452](#))
- オーバーレイ表示(→[オーバーレイ表示: 600](#))
- 手ブレ状態スコープ(→[手ブレ状態スコープ: 601](#))
- WFM/ベクトルスコープ表示(→[WFM/ベクトルスコープ表示: 414](#))
- アナモフィックデスクイーズ表示(→[アナモフィック デスクイーズ表示: 455](#))
- カラーバー(→[カラーバー/テストトーン: 423](#))

[3] タブ

レンズ/その他

- フォーカスリング制御(→[フォーカスリング制御: 610](#))
- AF微調整(→[AF微調整: 178](#))
- パワーズームレンズ
 - [ズーム操作]、[ズーム操作(T側)]、[ズーム操作(W側)]、[ステップズーム]、[ズーム速度(写真)]、[ズーム速度(動画)]に設定できます。(→[ズームを使って撮る: 212](#))
- レンズ情報(→[レンズ情報: 277](#))

カード/ファイル

- 記録先スロット
 - 優先して記録するカードを変更します。[ダブルスロット機能](→[ダブルスロット機能: 614](#))を[リレー記録]にすると使用できます。

IN/OUT

- ストリーミング(→ [ストリーミング機能: 727](#))
- Wi-Fi(→ [Wi-Fi / Bluetooth: 655](#))
- ファン動作モード(→ [ファン動作モード: 608](#))

設定

- カスタムモード登録(→ [インスタントカスタム登録: 570](#))

その他

- 設定なし
 - Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし(長押し無効)
 - Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し(2秒)しても、機能の登録画面を表示しません。
- デフォルトに戻す
 - Fnボタンを初期設定に戻します。(→ [Fnボタンの初期設定: 545](#))

❖ 設定項目(Fnボタン設定／再生時設定)

[1]タブ

表示方法

- AF位置から拡大(→[AF位置から拡大: 536](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→[LUTビューアシスト\(モニター\): 536](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→[HLGビューアシスト\(モニター\): 537](#))
- アナモフィック デスクイーズ表示(→[アナモフィック デスクイーズ表示: 455](#))

画像の加工

- RAW現像(→[RAW現像: 523](#))

情報の付与・削除

- 1枚消去(→[画像の消去: 521](#))
- プロテクト(→[プロテクト: 539](#))
- レーティング★1(→[レーティング: 539](#))
- レーティング★2(→[レーティング: 539](#))
- レーティング★3(→[レーティング: 539](#))
- レーティング★4(→[レーティング: 539](#))
- レーティング★5(→[レーティング: 539](#))

画像の編集

- 画像コピー(→[画像コピー: 541](#))

操作

- 撮影/再生切換
 - 撮影画面に切り換えます。(→[写真を撮る: 118](#)、[動画を撮る: 126](#))
- LVF/モニター切換(→[モニターとファインダーの切り換え: 88](#))
- 動画撮影(→[動画を撮る: 126](#))
- 動画撮影(クリエイティブ動画時)
 - [Ⓜ]モード時にだけ、動画撮影を開始/停止します。(→[露出を設定して動画を撮る: 366](#))

モニター/表示

- ナイトモード(→[ナイトモード: 596](#))

カード/ファイル

- スロット切替(→[表示するカードの切り換え: 504](#))

IN/OUT

- 音声モニタチャンネル(再生時)(→[音声モニタチャンネル\(再生時\): 626](#))
- Wi-Fi(→[Wi-Fi / Bluetooth: 655](#))
- ファン動作モード(→[ファン動作モード: 608](#))
- スマートフォンに画像を送る(→[カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 681](#))
- Frame.ioに画像を送る(→[Frame.ioに画像を送る: 724](#))
- LUTビューアシスト(HDMI)(→[Logビューアシスト: 449](#))
- HLGビューアシスト(HDMI)(→[HLGビューアシスト: 452](#))

[2] タブ

その他





- 設定なし
 - Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし(長押し無効)
 - Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し(2秒)しても、機能の登録画面を表示しません。
- デフォルトに戻す
 - Fnボタンを初期設定に戻します。(→[Fnボタンの初期設定: 545](#))

Fnボタンを使う

Fnボタンを押すと、撮影時は[撮影時設定]で登録した機能を、再生時は[再生時設定]で登録した機能を使うことができます。

1 Fnボタンを押す

2 設定項目を選ぶ


- ◀▶で設定項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- 、 または  を回しても選択できます。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。

❖ [Fn4]～[Fn8]ボタンを使う(タッチアイコン)

撮影時は、タッチタブ内のFnボタンを使うことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→[タッチ設定: 586](#))

- 1  をタッチする
- 2 [Fn4]～[Fn8]のいずれかをタッチする



ダイヤル動作切換

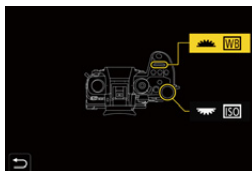
- [ダイヤルへの機能の登録: 559](#)
- [ダイヤルの動作を一時的に変更する: 561](#)

☀️ (前ダイヤル)と 🌑 (後ダイヤル)で動作する機能を一時的に変更します。

ダイヤルへの機能の登録

1 [ダイヤル動作切換設定]を選ぶ

- **MENU/SET** ⇒ [⚙️] ⇒ [☀️] ⇒ [ダイヤル設定] ⇒ [ダイヤル動作切換設定] ⇒ [☀️]/[🌑]





2 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、**MENU/SET** または 🔄 を押します。

❖ 登録できる機能

- 露出補正 (→ 露出補正: 297)
- ISO感度^{*1} (→ ISO感度: 303)
- ホワイトバランス^{*2} (→ ホワイトバランス(WB): 309)
- フォトスタイル (→ フォトスタイル: 317)
- 画像横縦比 (→ 画像横縦比: 120)
- iダイナミックレンジ (→ iダイナミックレンジ: 300)
- フィルター効果 (→ フィルター設定: 330)
- AFモード (→ AFモードの選択: 181)
- フラッシュモード (→ フラッシュモード: 350)
- フラッシュ光量調整 (→ フラッシュ光量調整: 354)



*1  の初期設定

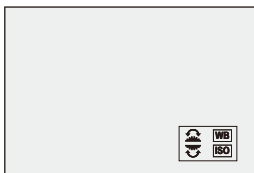
*2  の初期設定

ダイヤルの動作を一時的に変更する



1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する(→Fnボタン: 545)

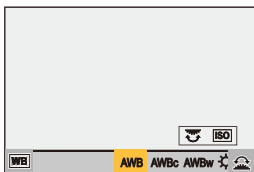
2 ダイヤルの動作を切り換える

- 手順1で設定したFnボタンを押します。
-  と  に登録した機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、 または  を回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

クイックメニューのカスタマイズ

●クイックメニューへの登録: 562

撮影モードによってクイックメニューの項目を変えることができます。また、クイックメニューに表示する項目や順番を、お好みに合わせて配置できます。




クイックメニューの操作方法について(→ [クイックメニュー: 94](#))

クイックメニューへの登録




クイックメニューに表示させるメニューを変更します。

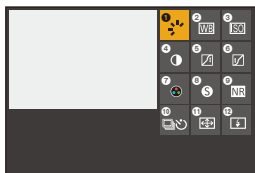
[M]モード(動画)とそれ以外の撮影モード(写真)で別々に設定できます。

1 [Q.MENU設定]を選ぶ



-  →  →  → [Q.MENU設定] → [表示項目カスタマイズ(写真)] / [表示項目カスタマイズ(動画)]

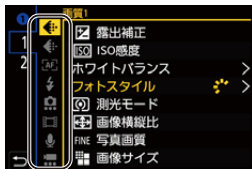
2 項目の位置(1~12)を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、 または  を押します。
-  を回しても選択できます。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。





3 登録する機能を探す

- ☀️ を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ [登録できるメニュー項目: 564](#))を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ◀️ を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼ を押す、または  を回し、▶️ を押しても選択できます。
- [Q] ボタンを押すと、[1]～[2]のタブが切り換わります。



4 メニュー項目を登録する

- ▲▼ で項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ☀️ または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。

❖ 登録できるメニュー項目

[1] タブ

📷 画質

- 露出補正 (→ 露出補正: 297)
- ISO感度 (→ ISO感度: 303)
- ホワイトバランス (→ ホワイトバランス(WB): 309)
- フォトスタイル (→ フォトスタイル: 317)
- 測光モード (→ 測光モード: 279)
- 画像横縦比 (→ 画像横縦比: 120)
- 写真画質 (→ 写真画質: 123)
- 画像サイズ (→ 画像サイズ: 121)
- 長秒ノイズ除去 (→ 長秒ノイズ除去: 266)
- 下限シャッター速度 (→ 下限シャッター速度: 269)
- iダイナミックレンジ (→ iダイナミックレンジ: 300)
- フィルター効果 (→ フィルター設定: 330)
- 動画露出設定 (→ 露出を設定して動画を撮る: 366)
- シンクロスキャン(写真) (→ シンクロスキャン(写真): 267)
- シンクロスキャン(動画) (→ シンクロスキャン(動画): 457)

[AF] フォーカス/レリーズ

- AFモード (→ AFモードの選択: 181)
- 自動認識設定 (→ 自動認識: 184)
- 自動認識の対象 (→ 自動認識: 184)
- AFカスタム設定(写真) (→ AFカスタム設定(写真): 172)
- AFカスタム設定(動画) (→ AFカスタム設定(動画): 372)
- ピーキング (→ ピーキング: 211)
- ピーキング感度 (→ ピーキング: 211)
- フォーカス枠の移動速度 (→ フォーカス枠の移動速度: 177)

📷 フラッシュ

- フラッシュモード (→ フラッシュモード: 350)
- フラッシュ光量調整 (→ フラッシュ光量調整: 354)
- ワイヤレスフラッシュ設定 (→ ワイヤレスフラッシュ撮影: 357)

その他(写真)

- ドライブモード設定 (→ [ドライブモードの選択: 222](#))
- ブラケット (→ [ブラケット撮影: 251](#))
- サイレントモード (→ [サイレントモード: 261](#))
- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 274](#))
- シャッター方式 (→ [シャッター方式: 263](#))
- クロップズーム(写真) (→ [クロップズーム\(写真\): 214](#))
- ズーム速度(写真) (→ [ズーム速度\(写真\): 220](#))

記録

- 記録ファイル方式 (→ [記録ファイル方式: 136](#))
- 動画画質 (→ [動画画質: 137](#))
- 動画画質(マイリスト) (→ [マイリスト登録: 152](#))
- バリアブルフレームレート (→ [バリアブルフレームレート: 426](#))
- プロキシ記録 (→ [プロキシ記録: 156](#))
- タイムコード表示 (→ [タイムコード: 399](#))

音

- オーディオ情報表示 (→ [オーディオ情報表示: 388](#))
- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 382](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 384](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 385](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 387](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 395](#))
- XLRマイクアダプター設定 (→ [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 392](#))
- 音声モニタチャンネル (→ [音声モニタチャンネル: 397](#))

その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 274](#))
- 電子手ブレ補正(動画) (→ [電子手ブレ補正\(動画\): 275](#))
- 手ブレ補正ブースト(動画) (→ [手ブレ補正ブースト\(動画\): 273](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 161](#))
- クロップズーム(動画) (→ [クロップズーム\(動画\): 217](#))
- ズーム速度(動画) (→ [ズーム速度\(動画\): 220](#))
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 434](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 438](#))

[2] タブ

その他(動画)

- ライブクロップ設定 (→ [ライブクロップ: 438](#))

モニター/表示

- 常時プレビュー(→常時プレビュー: 593)
- 水準器表示(→水準器表示: 601)
- ヒストグラム表示(→ヒストグラム表示: 594)
- スポット輝度メーター(→スポット輝度メーター: 418)
- フレーム表示(→フレーム表示: 421)
- 写真グリッドライン表示(→写真グリッドライン表示: 595)
- ライブビューブースト(→ライブビューブースト: 595)
- モノクロライブビュー(→モノクロライブビュー: 604)
- ナイトモード(→ナイトモード: 596)
- LVF/モニター表示設定(→LVF/モニター表示設定: 597)
- 動画優先表示(→動画優先表示: 606)
- ゼブラパターン表示(→ゼブラパターン表示: 419)
- LUTビューアシスト(モニター)(→LUTビューアシスト(モニター): 449)
- LUTビューアシスト(HDMI)(→LUTビューアシスト(HDMI): 449)
- HLGビューアシスト(モニター)(→HLGビューアシスト: 452)
- HLGビューアシスト(HDMI)(→HLGビューアシスト: 452)
- オーバーレイ表示(→オーバーレイ表示: 600)
- 手ブレ状態スコープ(→手ブレ状態スコープ: 601)
- WFM/ベクトルスコープ表示(→WFM/ベクトルスコープ表示: 414)
- アナモフィックデスクイーズ表示(→アナモフィック デスクイーズ表示: 455)
- カラーバー(→カラーバー/テストトーン: 423)

レンズ/その他

- フォーカスリング制御(→フォーカスリング制御: 610)
- ステップズーム(→ステップズーム: 220)
- ズーム速度(写真)(→ズーム速度(写真): 220)
- ズーム速度(動画)(→ズーム速度(動画): 220)
- レンズ情報(→レンズ情報: 277)

カード/ファイル

- 記録先スロット(→表示するカードの切り換え: 504)


IN/OUT

- ストリーミング(→ [ストリーミング機能: 727](#))
- Wi-Fi(→ [Wi-Fi / Bluetooth: 655](#))
- ファン動作モード(→ [ファン動作モード: 608](#))

その他

- 設定なし
 - 使用しないときに設定します。

❖ クイックメニューの詳細な設定

クイックメニューの見た目の変更や、メニュー表示中の  の動作の変更ができます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU 設定] を選ぶ

表示スタイル

クイックメニューの見た目を変更します。

[MODE1]: ライブビューとメニューを同時に表示します。

[MODE2]: メニューを画面全体に表示します。

前ダイヤルの割当

クイックメニューでの  の動作を変更します。

[項目]: メニュー項目の選択をします。

[設定値]: 設定値の選択をします。

表示項目カスタマイズ(写真)

モードダイヤルを [iA] / [P] / [A] / [S] / [M] に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

表示項目カスタマイズ(動画)

モードダイヤルを [M] に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

カスタムモード

- [カスタムモードへの登録: 569](#)
- [カスタムモードを使う: 572](#)
- [設定内容の呼び出し: 573](#)



C1 C2 C3 C4

お好みに合わせた撮影モードやメニューの設定内容を、カスタムモードに登録できます。登録した設定はモードダイヤルの[C1]～[C4]モードに切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

現在のカメラの設定内容を登録できます。

お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P]モードのメニューの初期設定が登録されています。

- 1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする
- 2 [カスタムモード登録]を選ぶ
 - → [] → [] → [カスタムモード登録]
- 3 登録する
 - 登録先の番号を選び、 または を押します。
 - 確認画面が表示されます。[DISP.]ボタンを押すと、カスタムモードの名前を変更できます。
文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))

❖ インスタントカスタム登録

撮影待機画面で、[カスタムモード登録]を登録したFnボタンを押すと、現在の撮影設定を素早くカスタムモードに登録できます。(→Fnボタン: 545)






- [iA]モードはカスタムモードに登録できません。



- カスタムモードに登録できる設定の一覧(→初期設定/カスタム保存/設定コピーの一覧: 842)

❖ カスタムモードの詳細な設定

カスタムモードのセット数を増やしたり、一時的に変更した設定内容をどのタイミングまで維持させるかを設定したりできます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [カスタムモード設定]を選ぶ

カスタムモード表示の制限

[C4]に登録できるカスタムモードの数を設定します。

最大10セットを登録できますが、初期設定では3セットです。

名称変更

カスタムモードの名前を変更します。

入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

• 文字の入力方法(⇒ [文字の入力: 105](#))

登録内容の呼出タイミング

カスタムモード使用中に一時的に変更した設定内容を、登録時の状態に復帰させるタイミングを設定します。

[撮影モードの変更時] / [スリープモード解除時] / [電源ON時]

カスタムモードの呼出範囲

[カスタムモード内容の呼出]で呼び出す設定内容の範囲を設定します。

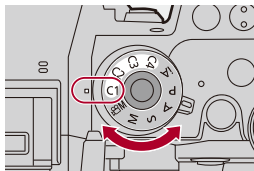
[絞り値/SS/ISO感度]: 絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定内容を呼び出すことができます。

[ホワイトバランス]: ホワイトバランスの設定内容を呼び出すことができます。


カスタムモードを使う

撮影モードを[C1]～[C4]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ **撮影モードの選択: 80**)
- [C4]の場合は、最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。



❖ [C4]のカスタムモードの選択

- 1 撮影モードを[C4]にする
- 2 **MENU/SET** を押す
 - カスタムモードの選択メニューが表示されます。
- 3 ▲▼でカスタムモードを選び、**MENU/SET** または  を押す
 - 選択中のカスタムモードアイコンが撮影画面に表示されます。



❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを[C1]～[C4]に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニュー(設定)の[カスタムモード登録]で登録内容を上書きしてください。




設定内容の呼び出し

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

1 使用する撮影モードにする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [カスタムモード内容の呼出]を選ぶ

-  →  →  → [カスタムモード内容の呼出]

3 呼び出すカスタムモードを選ぶ

- カスタムモードを選び、 または  を押します。



- [P] / [A] / [S] / [M]モードから作成したカスタムモードと、[M]モードから作成したカスタムモードの間では、カスタムモードの呼び出しができません。

カスタムメニュー

- [カスタムメニュー\(画質\): 575](#)
- [カスタムメニュー\(フォーカス/レリーズ\): 580](#)
- [カスタムメニュー\(操作\): 586](#)
- [カスタムメニュー\(モニター/表示\(写真\)\): 593](#)
- [カスタムメニュー\(モニター/表示\(動画\)\): 603](#)
- [カスタムメニュー\(IN/OUT\): 607](#)
- [カスタムメニュー\(レンズ/その他\): 609](#)

カスタムメニュー(画質)

▶: 初期設定

フォトスタイル設定

フォトスタイル表示の制限	ヴィヴィッド／ナチュラル／L.クラシックネオ／フラット／風景／人物／L.モノクローム／L.モノクロームD／L.モノクロームS／LEICAモノクローム／シネライク D2／シネライク V2／709ライク／V-Log／ARRI LogC3／リアルタイムLUT／ハイブリッドログガンマ／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10
<p>メニューに表示するフォトスタイルの項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ARRI LogC3]はアップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→ アクティベーション: 633) 	
マイフォトスタイル設定	調整項目の追加
	登録された設定の呼出
<p>マイフォトスタイルの画質調整に関する詳細設定ができます。</p> <p>調整項目の追加:画質調整で[ISO感度]や[ホワイトバランス]の設定を可能にします。</p> <p>登録された設定の呼出:マイフォトスタイルで変更した画質調整値を、登録時の状態に戻すタイミングを設定します。</p>	
フォトスタイルのリセット	
[フォトスタイル]と[フォトスタイル設定]で変更した内容を、初期設定に戻します。	

LUTライブラリ

Vlog_709 / ARRI 709 / Sample LUT1 / Sample LUT2 / Sample LUT3 / Set4 ~ Set39

LUTファイルをカメラに登録します。

(→ [LUTライブラリ: 336](#))

- [ARRI 709]はアップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。(→ [アクティベーション: 633](#))

ISO感度ステップ

▶1/3 EV / 1 EV

ISO感度の調整値の刻みを変更します。

拡張ISO感度

ON / ▶OFF

ISO感度の設定範囲を拡張します。

基準露出レベル調節

マルチ測光	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
中央重点	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
スポット	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
ハイライト重点	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)

[測光モード]の設定項目ごとに、標準露出の基準となる露出レベルを調整します。露出補正値(→ [露出補正: 297](#))に本機能の調整値を加えて記録します。

- 動画撮影の場合は、±3 EVの範囲を超えて調整値を加えることはできません。

マルチ測光時の顔優先

▶ON / OFF

[測光モード]を[☉]に設定しているとき、自動露出の測光範囲を瞳・顔優先にします。

[OFF]に設定すると、[瞳・顔]の自動認識機能によって露出が変化することを防ぎます。

AWBロック設定

シャッター操作時のロック動作	押している間 / 連写中 / ▶OFF
Fnボタン操作時のロック維持	▶ON / OFF
<p>ホワイトバランスがオート([AWB] / [AWBc] / [AWBw])のとき、シャッターボタンまたはFnボタンを押している間、ホワイトバランスを固定します。 シャッターボタン半押し中や連写中、動画撮影中に、意図せずホワイトバランスが変化することを防ぎます。</p> <p>シャッター操作時のロック動作</p> <p>[押している間]: シャッターボタンを押している間(半押し中、連写中も含む)、ホワイトバランスを固定します。</p> <p>[連写中]: 連写している間、ホワイトバランスを固定します。</p> <p>[OFF]: ホワイトバランスを固定しません。</p> <p>Fnボタン操作時のロック維持</p> <p>[ON]: [AWBロック]を設定したFnボタンを押すと、ホワイトバランスを固定します。もう一度押すとロックを解除します。</p> <p>[OFF]: [AWBロック]を設定したFnボタンを押している間、ホワイトバランスを固定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホワイトバランス固定中は、画面に[AWBL]が表示されます。 • [M]モード時は、[シャッター操作時のロック動作]は働きません。 	

色空間

▶sRGB / AdobeRGB

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。

sRGB: パソコンを中心とした機器で広く使われています。

AdobeRGB: AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の機能を使用中は、[sRGB]に固定されます。
 - 動画撮影
 - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[リアルタイムLUT]
 - [フィルター設定]

露出補正リセット

ON / ▶OFF

撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正値をリセットします。

P/A/S/M動画の露出自動制御

▶ON / OFF

[P] / [A] / [S] / [M]モードで動画を撮影するときの絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定方法を選びます。

ON: カメラが自動で設定した値で撮影します。

OFF: [P] / [A] / [S] / [M]モードで設定した値で撮影します。

クリエイティブ動画の設定値

絞り値/SS/ISO/露出補正	▶  / 
ホワイトバランス	▶  / 
フォトスタイル	▶  / 
測光モード	▶  / 
AFモード	▶  / 
<p>[M]モードで設定した内容を、写真撮影時と分けることができます。 (→ 動画と写真の撮影設定を分ける: 369)</p>	

カスタムメニュー(フォーカス/リリース)

▶:初期設定

フォーカス/リリース優先

AFS	▶フォーカス/バランス/リリース
AFC	フォーカス/▶バランス/リリース
AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。	
フォーカス:ピントが合っていないときは撮影できません。	
バランス:ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。	
リリース:ピントが合っていないくても撮影できます。	

縦/横位置フォーカス切換

ON / ▶OFF
カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置(MF時はMFアシストの位置)を別々に記憶します。 (→ 縦/横位置フォーカス切換:205)

AF/AEロック維持

ON / ▶OFF
AF / AEロック時のボタン動作を設定します。[ON]にすると、ボタンを離したあと、もう一度押すまでロックを維持します。

AF+MF

ON / ▶OFF
フォーカスモードを[AFS]にしたとき、AFロック中に手でピントを微調整できません。
<ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを半押ししたとき [AF ON]ボタンを押したとき Fnボタンの[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]でロックしたとき

MFアシスト

フォーカスリング (フォーカスリングがある交換レンズ装着時)	▶ON / OFF
AFモード	▶ON / OFF
ジョイスティックを押す	ON / ▶OFF
MFアシスト表示	全画面 / ▶PIP
MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。	
<p>フォーカスリング: レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。</p> <p>AFモード: [AF] ボタンを押すと拡大表示されます。</p> <p>ジョイスティックを押す: ジョイスティックを押すと拡大表示されます。([ジョイスティック設定]を[ダイレクトフォーカス]に設定したとき)(→ジョイスティック設定: 592)</p> <p>MFアシスト表示: MFアシスト(拡大画面)の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。</p>	

MFガイド

▶ **m** / **ft.** / OFF

MF時に、撮影距離の目安を示すMFガイドを画面に表示します。表示単位をメートルとフィートから選択できます。

フォーカスリングロック

ON / ▶OFF

MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。

- フォーカスリングのロック中は、撮影画面に[MFL]が表示されます。

AFモード表示の制限

追尾	▶ON / OFF
フルエリア	▶ON / OFF
ゾーン(横・縦)	▶ON / OFF
ゾーン	▶ON / OFF
1点+補助	▶ON / OFF
ピンポイント	▶ON / OFF
AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定します。	

ピンポイントAF設定

ピンポイントAF時間	LONG / ▶MID / SHORT
ピンポイントAF表示	全画面 / ▶PIP
AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。	
ピンポイントAF時間 : シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。	
ピンポイントAF表示 : 拡大画面の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。	

AFポイントスコープ設定

拡大表示維持	ON / ▶OFF
PIP表示	全画面 / ▶PIP
<p>AFポイントスコープ(→AFポイントスコープ: 170)の拡大表示の設定を変更します。</p> <p>拡大表示維持: [ON]に設定すると、Fnボタンを押したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。</p> <p>PIP表示: 拡大画面の表示方法(画面全体^{*1} / 画面の一部^{*2})を設定します。</p> <p>*1 約3倍～10倍に拡大できます。</p> <p>*2 約3倍～6倍に拡大できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [クロップズーム(写真)]が[ON]のとき、AFポイントスコープの拡大倍率は約3倍～6倍になります。 	

シャッター半押しAF

▶ON / OFF
シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。

合焦時の人物瞳認識表示


▶ON / OFF
[OFF]にすると、シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、人物の瞳の十字線を非表示にできます。

シャッター半押しリリース

ON / ▶OFF
シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

シャッター全押し動画記録

▶ON / OFF

[M]モード時、動画記録の開始/終了操作にシャッターボタンを使用します。
[OFF]にすると、シャッターボタンを使用した記録開始/終了操作を無効にできません。

クイックAF

ON / ▶OFF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

- バッテリーの消費が早くなる場合があります。
- 以下の場合、[クイックAF]は働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

アイセンサーAF

ON / ▶OFF

ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、AFが働きます。

- 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。

フォーカス枠のループ移動

ON / ▶OFF

AFエリアやMFアシスト、動画ライブビュー拡大表示移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。

動画ライブビュー拡大表示設定

拡大表示維持	▶ON / OFF
PIP表示	全画面 / ▶PIP

動画ライブビュー拡大表示機能(→[動画ライブビュー拡大表示:373](#))の動作を設定します。

拡大表示維持
[ON]:Fn ボタンを離したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。
[OFF]:Fn ボタンを押している間だけ拡大表示します。

PIP表示
拡大画面の表示方法(画面全体 / 画面の一部)を設定します。


カスタムメニュー(操作)

▶:初期設定

Q.MENU設定

表示スタイル	▶MODE1 / MODE2
前ダイヤルの割当	項目 / ▶設定値
表示項目カスタマイズ(写真)	
表示項目カスタマイズ(動画)	
クイックメニューのカスタマイズができます。 (→ クイックメニューのカスタマイズ: 562)	




タッチ設定

タッチパネル	▶ON / OFF
タッチタブ	ON / ▶OFF
タッチAF	▶AF / AF+AE
タッチパッドAF	絶対位置 / 相対位置1～相対位置7 / ▶OFF
<p>モニター画面のタッチ操作を有効にします。</p> <p>タッチパネル:すべてのタッチ操作。</p> <p>タッチタブ:画面右に表示される[<]などのタブ操作。</p> <p>タッチAF:タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。(→ タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE]): 202)</p> <p>タッチパッドAF:ファインダー表示中のタッチパッド操作。(→ タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 203)</p>	

ロックレバー設定

[AF ON] ボタン	 / 
ジョイスティック	 / 
[Q] ボタン	 / 
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン	 / 
コントロールダイヤル	 / 
[](AFモード) ボタン	 / 
[](再生) ボタン	 / 
タッチパネル	 / 
[](戻る) ボタン / [](消去) ボタン / Fn ボタン (Fn1)	 / 
[DISP] ボタン	 / 
[](露出補正) ボタン	 / 
[ISO] ボタン	 / 
[ i](オーディオ情報表示) ボタン	 / 
後ダイヤル	 / 
動画記録ボタン	 / 
前ダイヤル	 / 
[WB] ボタン	 / 
[LVF] ボタン	 / 
シャッターボタン	 / 
サブ動画記録ボタン	 / 
レンズ	 / 
動画ライブビュー拡大表示ボタン / Fn ボタン (Fn2)	 / 
プレビューボタン / Fn ボタン (Fn3)	 / 

操作ロックレバーで操作を無効にする操作部を設定します。(撮影画面のみ)

-  を押すごとにロック/ロック解除が切り換わります。
- ページを切り換えるには[DISP.]ボタンを押してください。
- [Q]ボタンを押すと初期設定に戻ります。
- ロック中にロックされた操作部を操作すると、画面に[]が表示されます。
- 「レンズ」でロックされる操作部はレンズによって異なります。レンズのスイッチはロックされません。
- 「レンズ」のロック中にレンズを操作しても、画面に[]は表示されません。
「レンズ」のロック設定後は、実際に操作してロック状態を確認してください。

Fn ボタン設定

撮影時設定


再生時設定

Fn ボタンに機能を登録できます。

(→Fn ボタンへの機能の登録: 548)

WB/ISO/露出補正ボタン

押している間 / 押した後1 / ▶押した後2

[WB](ホワイトバランス)ボタン、[ISO](ISO感度)ボタン、および[

押している間: ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。

押した後1: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。


押した後2: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。ボタンを押すごとに設定値が切り換わります。(露出補正を除く)決定して撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

ISO感度画面の操作












前/後ダイヤルの割当

▶ ISO / ISO /  / ISO / OFF / ISO / ISO /  / ISO / OFF















ISO感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。
























[]を割り当てると、[ISOオート上限設定]を変更できます。

露出補正画面の操作

上/下ボタンの割当	 / OFF
露出補正画面での▼▲ボタン動作を設定します。 []を割り当てると、露出ブラケットの設定ができます。	
前/後ダイヤルの割当	▶  /  /  /  / OFF /  /  /  /  / OFF
露出補正画面でのダイヤル動作を設定します。 []を割り当てると、フラッシュ発光量を調整できます。	

ダイヤル設定

F/SSダイヤルの割当		▶ 設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4 / 設定5			
[P] / [A] / [S] / [M]モード時のダイヤルに割り当てる操作を設定します。 P↗: プログラムシフト、F: 絞り値、SS: シャッタースピード					
		P	A	S	M
設定1		P↗	F	SS	F
		P↗	F	SS	SS
設定2		—	F	—	F
		P↗	—	SS	SS
設定3		—	—	SS	SS
		P↗	F	—	F
設定4		—	—	—	F
		P↗	F	SS	SS
設定5		P↗	F	SS	F
		—	—	—	SS
F/SSダイヤルの回転		▶   /  			
絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。					

コントロールダイヤルの割当	▶  (ヘッドホン音量) /  /  (露出補正 / 絞り) /  (露出補正) /  (ISO感度) /  (フォーカス枠サイズ)
<p>撮影画面で  に割り当てる機能を設定します。</p> <p> /  : [M] モード時は、絞り値を調整する操作を割り当てます。[M] モード以外の場合は、露出補正の操作を割り当てます。</p>	
露出補正のダイヤル割当	 /  / ▶ OFF
<p>露出補正の操作を  または  に割り当てます。([M] モード時を除く)</p> <p>• [F/SSダイヤルの割当] の設定が優先されます。</p>	
ダイヤル動作切換設定	 
<p>Fn ボタンの [ダイヤル動作切換] で、 または  に一時的に登録する機能を設定します。(→ ダイヤルへの機能の登録: 559)</p>	
メニュー操作のダイヤル回転	 /  /  /  /  / 
<p>メニューを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。</p>	


ジョイスティック設定

▶ダイレクトフォーカス / Fn / MENU / OFF

撮影画面でのジョイスティックの動作を設定します。

ダイレクトフォーカス: AFエリアやMFアシストを移動します。(→[AFエリアの操作: 197](#)、[MFで撮る: 206](#))

Fn: Fnボタンとして動作します。

MENU: として動作します。傾ける操作は無効になります。

OFF: ジョイスティックの操作を無効にします。

リモコンの動画ボタン

シャッターリモコン(別売)の動画ボタンにお好みの機能を登録できます。

(→[シャッターリモコン\(別売\): 776](#))

- 初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

カスタムメニュー(モニター/表示(写真))

▶:初期設定

オートレビュー

時間(写真)	ホールド / 5秒 ~ 0.5秒 / ▶OFF
再生操作優先	ON / ▶OFF
<p>写真撮影後に撮影画像を表示します。</p> <p>時間(写真): 写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。</p> <p>再生操作優先: [ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。 	

常時プレビュー

ON / ▶OFF	
設定	効果
	MFアシスト中のプレビュー
<p>[A] / [M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます。[M]モード時は同時にシャッタースピードも確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [効果]で絞り効果、シャッタースピード効果の組み合わせを設定できます。 • [MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。 • フラッシュ使用時はシャッタースピード効果のプレビューが働きません。 	

ヒストグラム表示

ON / ▶OFF

ヒストグラムを表示します。

[ON]にすると、ヒストグラムの移動画面が表示されます。▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。

- 撮影画面上でヒストグラムをドラッグしても位置を移動できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。グラフの分布を見ることによって、現在の露出状況を判断できます。



(A) ← → (B)

(A) 暗い


(B) 明るい



- 以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時
 - フラッシュが発光するとき
 - 低照度時など標準露出にならないとき
- 以下の機能を使用中は、[ヒストグラム表示]は働きません。
 - [WFM/ベクトルスコープ表示]
 - [プロキシ記録]の設定が[ON]のときに動画撮影
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

写真グリッドライン表示

 /  /  / ▶OFF

撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。

[]にすると、▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。

- []は、撮影画面上でグリッドラインの[]をドラッグしても位置を移動できません。

ライブビューブースト

MODE1 / MODE2 / ▶OFF

設定

P/A/S/M / ▶M

暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。

MODE1: 明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。



MODE2: 明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。

- [ライブビューブースト]が働く撮影モードは、[設定]で変更できます。
- 記録される画像に影響はありません。
- 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。
- 以下の場合、[ライブビューブースト]は働きません。
 - 露出を合わせるとき(シャッターボタンを半押ししたときなど)
 - 動画撮影中
 - [フィルター設定]使用中
 - [常時プレビュー]のシャッタースピード効果を表示中

ナイトモード



モニター	ON / ▶OFF
LVF	ON / ▶OFF

モニターやファインダーの表示を赤色にします。暗い環境で、画面のまぶしさにより周囲が見えにくくなることを軽減します。赤色で表示するときの輝度の設定もできます。


- ▲▼◀▶でモニターまたはファインダー(LVF)の[ON]を選ぶ
- [DISP.]ボタンを押し、輝度調整の画面を表示する
 - モニターを調整するときはモニターを、ファインダーを調整するときはファインダーを表示してください。
- ◀▶で輝度を調整し、 または  を押す

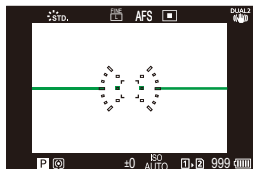
• HDMI出力する映像には、反映されません。

LVF/モニター表示設定

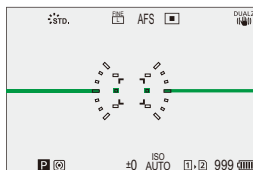
LVF表示設定	
モニター表示設定	

ライブビューを情報表示と重ならないように表示するか、全画面に表示するかを選択できます。

: 適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。



: 画面いっぱいに表示し、画面の細部まで確認できます。



- 現在表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換える機能をFnボタンに登録できます。(→LVF/モニター表示設定: 554)

モニター左右反転表示	▶AUTO / ON / OFF
モニター上下反転表示	▶AUTO / ON / OFF

撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます。

モニター左右反転表示

[AUTO]: モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。
[ON]: 常に左右を反転して表示します。
[OFF]: 反転表示を行いません。

モニター上下反転表示

[AUTO]: モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。
[ON]: 常に上下を反転して表示します。
[OFF]: 反転表示を行いません。

- 本機能の設定は、再生画面には反映されません。

露出メーター

ON / ▶OFF

露出メーターを表示します。

SS	125	60	30	15	8
F	2.8	4.0	5.6	8.0	11

📷 30 F5.6

- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 一定時間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。

焦点距離

▶ON / OFF

ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。

ハイライト表示





ON / ▶OFF

オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。



- 再生画面で[DISP.]ボタンを押したときの表示に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(→ [再生画面: 93](#))

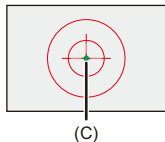
オーバーレイ表示

ON / OFF	
設定	透過度
	画像選択
	電源OFF時解除
	シャッター操作時の表示
撮影済みの写真、または動画から切り出した画像を撮影画面に重ねて表示します。	
<ol style="list-style-type: none"> 1 [画像選択]で表示する写真または動画を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> • ◀▶ で写真または動画を選び、 または  を押して決定します。 2 (動画選択時)写真を切り出す位置で再生を一時停止する <ul style="list-style-type: none"> • ▲ を押すと再生を一時停止します。 • 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。 3 (動画選択時)写真を設定する <ul style="list-style-type: none"> •  または  を押します。 <ul style="list-style-type: none"> • [シャッター操作時の表示]を[OFF]にすると、シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、[オーバーレイ表示]を解除します。 • 動画から切り出した写真は保存されます。 • 以下の機能を使用中は、[オーバーレイ表示]は動きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影 - コマ撮りアニメ - [Frame.io接続] - [自動画像転送] 	

手ブレ状態スコープ

ON / ▶OFF

手ブレ状態を確認できるように、撮影画面に目安となる基準点(C)を表示します。

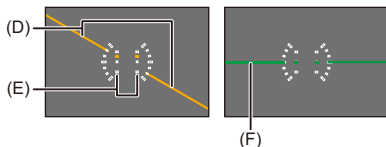


- 以下の場合は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。
 - [手ブレ補正]の[動作設定]を[OFF]に設定時
 - レンズのO.I.S.スイッチが[OFF]のとき
- 以下の機能を使用中は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。
 - 動画撮影
 - ハイレゾモード ([手持ち撮影]を[OFF]に設定時)

水準器表示

▶ON / OFF

カメラの傾きを補正するときに便利な、水準器を表示します。



- (D) 水平方向
- (E) 垂直方向
- (F) 緑色(傾きなし)

- 傾きが補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- カメラを大きく上や下に向けて、水準器が正しく表示できないことがあります。
- セットアップメニュー(モニター/表示)の[水準器調整]で、水準器の調整や、調整値のリセットができます。(→ [水準器調整: 624](#))

スポット輝度メーター

ON / ▶OFF

被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。

(→ [スポット輝度メーター: 418](#))

ライブビュー境界線表示

ON / ▶OFF

ライブビューの境界線を表示します。

撮影画面の遷移(モニター)

コントロールパネル

▶ON / OFF

消灯画面

▶ON / OFF

[DISP] ボタンでの表示切り換え時に、コントロールパネルと消灯画面を表示します。

(→ [撮影画面: 91](#))

カスタムメニュー(モニター/表示(動画))

▶:初期設定

Logビューアシスト

LUT 選択(V-Log)	
LUT 選択(ARRI LogC3)	
LUTビューアシスト(モニター)	ON / ▶OFF
LUTビューアシスト(HDMI)	ON / ▶OFF
<p>LUT ファイルを適用した映像をモニター/ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。</p> <p>(⇒Logビューアシスト: 449)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [LUT 選択(ARRI LogC3)]はアップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU3A)を使って、[アクティベーション]で機能を有効にしたときだけ使用できます。 <p>(⇒アクティベーション: 633)</p>	

HLGビューアシスト

モニター	MODE1 / ▶MODE2 / OFF
HDMI	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
<p>HLG 動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター/ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。</p> <p>(⇒HLGビューアシスト: 452)</p>	

アナモフィック デスクイーズ表示

2.0x / ◀(U)▶ / 1.8x / ◀(U)▶ / 1.5x / ◀(U)▶ / 1.33x / ◀(U)▶ / 1.30x / ▶OFF
<p>アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。</p> <p>(⇒アナモフィック デスクイーズ表示: 455)</p>

モノクロライブビュー

ON / ▶OFF

撮影画面を白黒で表示できます。

- 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。
- [ナイトモード]使用中は、[モノクロライブビュー]は使用できません。

センターマーカー表示

+ / - / + / - / ▶OFF

撮影画面の中心を示す[+]を表示します。マーカーの形状を変更できます。

セーフティーゾーンマーカー表示

□ / [] / ▶OFF

設定	サイズ	95%
		▶90%
		80%

家庭用テレビで受像できる範囲の目安となる、セーフティーゾーンを撮影画面に表示します。

フレーム表示

ON / ▶OFF

設定	フレーム横縦比
	フレーム色
	フレームマスク

設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。[フレーム横縦比]はカスタマイズもできます。

(→ [フレーム表示: 421](#))

ゼブラパターン表示

ゼブラ 1 / ゼブラ 2 / ゼブラ 1+2 / ▶OFF	
設定	ゼブラ 1
	ゼブラ 2
基準値より明るい部分をしま模様で表示します。 (→ ゼブラパターン表示: 419)	

WFM/ ベクトルスコープ表示

WAVE / VECTOR / ▶OFF
撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。 (→ WFM/ ベクトルスコープ表示: 414)

カラーバー

SMPTE / EBU / ARIB
撮影画面にカラーバーを表示します。 (→ カラーバー/ テストトーン: 423)

動画優先表示

ON / ▶OFF

[iA] / [P] / [A] / [S] / [M]モード時に、撮影画面やコントロールパネルを、[M]モードと同じように動画撮影に適したものに切り換えます。再生画面も動画を優先した表示に切り換わります。

- 動画撮影できない設定にしているときは、[動画優先表示]が[OFF]に固定されません。
- 以下の機能を使用中は、[動画優先表示]は動画撮影中だけ働きます。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ

動画記録中の赤枠表示

ON / ▶OFF

撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

ストリーミングの青枠表示

ON / ▶OFF

ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します。

カスタムメニュー(IN/OUT)

▶: 初期設定

撮影時HDMI出力

情報表示(→カメラの情報表示をHDMI出力する: 483)	ON / ▶OFF
ダウンコンバート(→HDMI出力の画質: 475)	▶AUTO / C4K/4K / 1080p / 1080i / OFF
HDMI記録制御(→外部レコーダーに制御情報を出力する: 484)	ON / ▶OFF
HDMI音声出力(→音声をHDMI出力する: 484)	▶ON / OFF
ライブビュー拡大表示(→HDMI出力時の動画ライブビュー拡大表示: 485)	MODE1 / MODE2 / ▶OFF
4K/120p出力 / 4K/100p出力(→4K/120p(4K/100p)でHDMI出力する: 486)	ON / ▶OFF
4K/120p省電力ライブビュー / 4K/100p省電力ライブビュー(→4K/120p(4K/100p)省電力ライブビュー: 487)	ON / ▶OFF
撮影中のHDMI出力を設定します。	

ファン動作モード

AUTO1 / ▶AUTO2 / 高速 / 標準 / 低速 / OFF

ファンの動作を設定します。

AUTO1 : カメラの温度に応じて、[低速] / [標準] を自動で切り換えます。カメラの温度上昇を抑えることを優先します。

AUTO2 : カメラの温度に応じて、[OFF] / [低速] / [標準] を自動で切り換えます。

高速 : 高速で、常にファンが動作します。

標準 : 標準的な速度で、常にファンが動作します。

低速 : 低速で、常にファンが動作します。

OFF : ファンが動作しません。

- [OFF] は [iA] / [P] / [A] / [S] / [M] モード時に設定できます。
- 以下の機能を使用中は、[低速] は設定できません。[低速] 設定中に以下の機能を使用した場合は、[AUTO1] に切り換わります。
 - 解像度が C4K を超える [動画画質]
 - 記録フレームレートが 60.00p を超えるハイフレームレート動画用の [動画画質]
 - フレームレートが 60 fps を超える [バリエーションフレームレート]

タリーランプ

前方タリーランプ	▶H / L / OFF
----------	--------------

後方タリーランプ	H / ▶L / OFF
----------	--------------

動画撮影時のタリーランプの点灯方法と明るさを設定します。

カスタムメニュー(レンズ/その他)

▶:初期設定

レンズ位置メモリー

ON / ▶OFF

電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズーム対応の交換レンズを使用しているときは、ズーム位置も記憶します。

パワーズームレンズ

ステップズーム	ON / ▶OFF
ズーム速度(写真)	H / ▶M / L / SL
ズーム速度(動画)	
ズームリング操作	▶ON / OFF

パワーズーム(電動式ズーム)対応レンズ使用時のズーム動作を設定します。
(→ [パワーズームレンズ: 220](#))

レンズFnボタン設定

▶フォーカスストップ / AFモード / 自動認識設定 / 自動認識の対象 / フォーカスリングロック / AE LOCK / AF LOCK / AF/AE LOCK / AF-ON / AF-ON: 近側 / AF-ON: 遠側 / AFポイントスコープ / フォーカスエリア選択 / 動画ライブビュー拡大表示 / 手ブレ補正 / プレビュー / プレビュー(絞りのみ) / 設定なし / 設定なし(長押し無効) / デフォルトに戻す

交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録します。

- [フォーカスストップ]を設定したときは、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。

絞りリング設定

SMOOTH / ▶1/3EV

絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます。

SMOOTH : 絞り値を細かく設定できます。

1/3EV : 絞り値を1/3 EV 刻みで設定できます。

- クリックレスの絞りリングに対応したレンズ(別売:H-X1025 / H-X2550)を装着したときに使用できます。(2024年5月現在)
- 写真撮影時に、絞りリングの位置を[A]以外に合わせた場合に働きます。
- 絞りリングの位置を[A]に合わせた場合は、カメラ側の絞り値が有効になり、[1/3EV]と同じ設定になります。
- 動画撮影中は[SMOOTH]と同じ細かな設定になります。
- [SMOOTH]で設定するときは、絞り値の端数は画面に表示されません。

フォーカスリング制御

▶ノンリニア / リニア

設定

90度～1080度(▶300度) / 最大

フォーカスリングによるピントの移動量を設定します。(対応レンズ使用時)

ノンリニア : フォーカスリングの回転速度に応じて、加速度をつけてピントを移動します。

リニア : フォーカスリングの回転角度に応じた一定の量でピントを移動します。

- フォーカスクラッチ機構搭載のレンズ使用時は、レンズはAFに、カメラはMFに設定してください。

設定 : [リニア]選択時、フォーカスリングの回転角度を設定します。

- 装着中のレンズで設定できない角度は表示されません。
- フォーカスリング制御に対応したレンズについての情報は、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

AF 微調整

全て / 個別 / ▶OFF

位相差 AF でピントを合わせるときのピント位置を微調整します。
(→ [AF 微調整: 178](#))

レンズ情報

Lens1～Lens12 (▶Lens1)

本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズ情報を登録します。

- 写真メニュー(その他(写真))の[手ブレ補正]の[レンズ情報]と連動しています。
(→ [レンズ情報: 277](#))

レンズ情報確認表示

▶ON / OFF

本機との通信機能がないレンズを取り付けてカメラの電源を入れると、レンズ情報の確認メッセージを表示します。

動画の縦位置情報

▶ON / OFF

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する / しないを設定できます。

ON : 縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。

OFF : 縦位置情報を記録しません。

- カメラの再生画面では、サムネイル表示でだけ縦向きに再生します。

セットアップメニュー

- [セットアップメニュー\(カード/ファイル\): 613](#)
- [セットアップメニュー\(モニター/表示\): 622](#)
- [セットアップメニュー\(IN/OUT\): 625](#)
- [セットアップメニュー\(設定\): 631](#)
- [セットアップメニュー\(その他\): 634](#)

セットアップメニュー(カード/ファイル)

▶: 初期設定

フォーマット

スロット1(CFexpress) / スロット2(SD)

カードをフォーマット(初期化)します。使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。







CFexpressカードの物理フォーマット

CFexpressカードのフォーマット時に、物理フォーマットを行うか選択できます。カードの書き込み速度が低下してきた場合は、物理フォーマットの実行をお勧めします。

- 1 [スロット1(CFexpress)]を選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押して、[物理フォーマット]にチェックマークを入れる
- 3 [はい]を選ぶ

- フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- カードに保存したカメラの設定情報を残してカードをフォーマットできます。
(→ [カメラ設定の保存/読み込み: 632](#))
- フォーマット時、[動画ファイル名]の設定によって、カードのボリュームラベルが変更されます。(→ [動画ファイル名: 616](#))
 - [写真と同じ(DCF準拠)]のとき: 「LUMIX」
 - [シネスタイル]のとき: [シネスタイルファイル設定]で設定したボリュームラベル

ダブルスロット機能

記録方法	▶  /  / 
<p>カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。</p>	
<p> (リレー記録): 優先して記録するカードスロットを選択します。</p>	
<p>[記録先スロット]: [1→2] / [2→1]</p>	
<p>カードの容量がいっぱいになったら、もう一方のカードスロットのカードに続けて記録します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 優先して記録するカードを変更する機能をFnボタンに登録できます。(→ 記録先スロット: 554) 	
<p> (バックアップ記録): 2枚のカードに同じ画像を記録します。</p>	
<p> (振り分け記録): 画像の種類ごとに、記録するカードスロットを指定できます。</p>	
<p>[JPEG記録先] / [RAW記録先] / [動画記録先]</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を使用中は、[ダブルスロット機能]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> SDカードに記録できない[記録ファイル方式]または[動画画質] [プロキシ記録] 	
<p>リレー記録について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 以下の動画は、別のカードに続けて記録できません。 <ul style="list-style-type: none"> [ループ記録(動画)] 	
<p>バックアップ記録について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 容量が同じカードを使用することをお勧めします。 <p>動画撮影時にカードのスピードクラスや容量が不足した場合は、両方のカード記録が停止します。</p> 	
<ul style="list-style-type: none"> 以下の動画は、バックアップ記録ができません。1枚のカードにだけ記録されます。 <ul style="list-style-type: none"> [ループ記録(動画)] 	
<ul style="list-style-type: none"> 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画のバックアップ記録はできません。 <ul style="list-style-type: none"> SD / SDHCメモリーカードとCFexpressカード 	

USB-SSD

ON / ▶OFF

[ON]にすると、USB 端子に接続した市販の外付けSSDを使用できます。(→ [外付けSSD\(市販\)を使う: 495](#))

動画ファイル名

▶写真と同じ(DCF準拠) / シネスタイル

カードに動画を保存するときのフォルダー名とファイル名をシネスタイルに切り換えます。

写真と同じ(DCF準拠): 写真と同じ命名規則で動画ファイルを保存します。保存先はDCIMフォルダー内です。

シネスタイル: 動画ファイルの命名規則をシネスタイルに切り換えます。保存先はPRIVATEフォルダー内になります。

[シネスタイル]に設定したときの命名規則

フォルダー名

001A A P A M

(1) (2)(3)(4)(5)(6)

(1) フォルダー番号(3桁、001～999)

(2) 「A」固定

(3) フレームレート

A: 59.94p / B: 50.00p / C: 29.97p/59.94i / D: 25.00p/50.00i / E: 24.00p / F: 23.98p / G: 48.00p / H: 47.95p / J: 239.76p / K: 200.00p / L: 120.00p / M: 119.88p / N: 100.00p

(4) ビデオフォーマット

J: インターレース記録(MOV, LPCM) / P: プログレッシブ記録(MP4, AAC) / Q: プログレッシブ記録(MOV, LPCM) / Y: プログレッシブ記録(Apple ProRes, LPCM)

(5) 「A」固定

(6) 記録設定

リレー記録 / 振り分け記録時:

M: カードスロット1 / M: カードスロット2

バックアップ記録時:

M: カードスロット1 / T: カードスロット2

ファイル名

A001C001_221201_E125.MOV

A diagram showing the file name A001C001_221201_E125.MOV with brackets underneath indicating the positions of characters (7) through (12).
(7) (8) (9) (10) (11) (12)

- (7) カメラインデックス(1桁、A~Z)
- (8) カード番号(3桁、001~999)
- (9) クリップ番号(4桁、C001~C999)
- (10) 年月日(YYMMDD)
- (11) ハッシュ値(4桁)
- (12) 拡張子

- [シネスタイル]に設定するには、容量が48 GB以上のカードを使用してください。
- 1つのフォルダーに999ファイルまで保存できます。
- クリップ番号は撮影順にC001~C999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、クリップ番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - クリップ番号が999に達したとき
 - 上記(3)、(4)、(6)の設定が変更されたとき
- フォルダー番号が999に達したときは、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- 以下のファイルは[シネスタイル]を選択しても、DCIMフォルダー内に保存されません。
 - [インターバル撮影] / [コマ撮りアニメ]から作成した動画
 - 動画から切り出した写真

シネスタイルファイル設定

▶カメラインデックス／次のカード番号

[動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき、カードのボリュームラベルを設定できます。ボリュームラベルは、下記で設定した[カメラインデックス]+[次のカード番号]になります。

カメラインデックス：ボリュームラベルのカメラインデックスをA～Zの範囲で設定できます。

次のカード番号：ボリュームラベルのカード番号を001～999の範囲で設定できます。

- ボリュームラベルは以下のタイミングで変更されます。
 - カードをフォーマットしたとき
 - 動画を撮影したとき
- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))

フォルダー/ファイル設定

フォルダー選択/新規フォルダー作成/ファイル名設定

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名

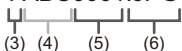
100ABCDE



- (1) フォルダー番号(3桁、100～999)
- (2) 任意の5桁

ファイル名

PABC0001.JPG



- (3) 色空間 ([P]: sRGB、[_]: AdobeRGB)
- (4) 任意の3桁
- (5) ファイル番号(4桁、0001～9999)
- (6) 拡張子

フォルダー選択: 画像を保存するフォルダーを選択します。

- [ダブルスロット機能]を[振り分け記録]に設定しているときは、[フォルダー選択(スロット1)]と[フォルダー選択(スロット2)]が表示されます。

新規フォルダー作成: フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。

- カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。

[OK]:

任意の5桁(上記(2))は変更せずに、フォルダー番号を繰り上げます。

[フォルダー名変更]:

任意の5桁(上記(2))を変更します。フォルダー番号も繰り上がります。

ファイル名設定

[フォルダー番号連動]:

任意の3桁(上記(4))をフォルダー番号(上記(1))にします。

[ユーザー設定]:

任意の3桁(上記(4))を変更します。

- 文字の入力画面が表示されたら、「**文字の入力**」の手順に従って文字入力してください。(→ **文字の入力: 105**)
設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_]
- 1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内のファイル数が1000に達したとき
 - ファイル番号が9999に達したとき
- フォルダー番号が100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- [ダブルスロット機能]の[バックアップ記録]を使用中は、[フォルダー選択]を設定できません。

ファイル番号リセット

スロット1(CFexpress) / スロット2(SD)

DCIM フォルダ内内のフォルダ番号を更新し、ファイル番号を0001にリセットします。

- フォルダ番号が999になるとファイル番号リセットができなくなります。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- **フォルダ番号を100にリセットするには:**
 - 1 [フォーマット]を実行し、カードをフォーマットする(→ [フォーマット: 613](#))
 - 2 [ファイル番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする
 - 3 フォルダ番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ
- PRIVATE フォルダ内内のフォルダ番号とファイル番号を001にリセットするには、カードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 613](#))

著作権情報

撮影者	ON / ▶OFF / 設定
著作権者	ON / ▶OFF / 設定
著作権情報の表示	
登録した撮影者、著作権者の名称を、画像のExif情報に記録します。	
<ul style="list-style-type: none"> • [撮影者]、[著作権者]の[設定]から、それぞれの名称を登録できます。 文字の入力方法(→ 文字の入力: 105) • 入力できる文字数は最大63文字です。 • 登録した著作権情報は、[著作権情報の表示]で確認できます。 	

セットアップメニュー(モニター/表示)

▶: 初期設定

エコモード

スリープモード	10分 / 5分 / 2分 / ▶1分 / OFF
スリープモード(Wi-Fi)	▶ON / OFF
LVF/モニター自動OFF	5分 / 2分 / ▶1分 / OFF
省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間
	動作する条件
一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー/モニターを消灯したりする機能です。 (→ エコモード:63)	

動画撮影時の制限緩和

動画記録停止温度	高 / ▶標準
動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定します。[高]に設定すると、カメラの温度が上昇しても撮影を続けます。	
動画記録停止温度	
[高]: カメラの温度上昇により、撮影を停止する温度を高く設定します。	
<ul style="list-style-type: none"> より長時間の撮影が可能になりますが、カメラ本体が熱くなります。長時間、直接触れていると低温やけどの原因になるため、三脚などをご使用ください。 	
[標準]: カメラの温度が上がると撮影を停止します。	
<ul style="list-style-type: none"> 手持ち撮影のときは、[標準]に設定してください。 	

モニター表示速度

30fps / ▶60fps

写真撮影時におけるモニターのライブビュー表示速度を設定します。

30fps : 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。

60fps : 動きを滑らかに表示できます。

- 以下の機能を使用中は、[モニター表示速度]は働きません。
- HDMI出力

LVF表示速度

▶60fps / 120fps

写真撮影時におけるファインダーのライブビュー表示速度を設定します。

60fps : 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。



120fps : 動きを滑らかに表示できます。

- [120fps]で表示中は、ファインダーに[LVF120]が表示されます。
- [120fps]に設定すると、[60fps]よりもファインダーの画質が劣りますが、記録される画像に影響はありません。
- 以下の機能を使用中は、[LVF表示速度]は働きません。
- HDMI出力
- Wi-Fi接続中

モニター調整 / LVF調整

明るさ / コントラスト / 彩度 / 赤み / 青み

モニター / ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。

- 1 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する
- 2  または  を押して決定する

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。



モニター輝度 / LVF 輝度

▶AUTO / -3 ~ +3
モニター / ファインダーの輝度を調整します。
AUTO: 周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。
<ul style="list-style-type: none"> • モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。 • [AUTO] または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。 • [ナイトモード] 使用中は、[モニター輝度] / [LVF 輝度] は使用できません。

アイセンサー

感度	▶強 / 弱
アイセンサーの感度を設定します。	
LVF / モニター切換	▶LVF / MON AUTO (ファインダー / モニター自動切換) / LVF (ファインダー表示) / MON (モニター表示)
ファインダー表示 / モニター表示の切り換えを設定します。	
<ul style="list-style-type: none"> • [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF / モニター切換] の設定も切り換わります。 	

水準器調整

調整
カメラを水平な状態にし、  または  を押してください。水準器が調整されません。
調整値リセット
水準器の調整値を初期設定に戻します。

セットアップメニュー(IN/OUT)

▶: 初期設定

電子音

電子音音量	(大) / (小) / (OFF)
合焦音音量	(大) / (小) / (OFF)
合焦音音色	① (パターン1) / ② (パターン2) / ③ (パターン3)
電子シャッター音音量	(大) / (小) / (OFF)
電子シャッター音音色	① (パターン1) / ② (パターン2) / ③ (パターン3)
電子音や合焦音、電子シャッター音を設定します。	

ヘッドホン音量

0～LEVEL15 (▶LEVEL3)

ヘッドホンを接続したときの音量を調整します。

(→ [ヘッドホンの音量の調整: 397](#))

- 動画メニュー(音)の[ヘッドホン音量]と連動します。

音声モニタチャンネル(再生時)

▶撮影連動 / CH1/CH2 / CH3/CH4 / CH1+CH2/CH3+CH4 /
CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH1+CH2 / CH3+CH4 / CH1+CH2+CH3+CH4

動画再生時に本体スピーカーやヘッドホンに出力する音声チャンネルを選択します。
出力される音声について(→ [音声モニタチャンネル: 397](#))

撮影連動: 動画メニュー(音)の[音声モニタチャンネル]と同じ設定で音声を出力します。

- 動画再生中は設定を変更できません。
- カメラのスピーカーからはLチャンネルとRチャンネルをミックスした音声を出力します。

ストリーミング

ストリーミング機能(→ ストリーミングの設定: 741)	ON / ▶OFF
配信方法(→ ストリーミングの設定: 741)	▶直接配信 / PCソフトで配信
接続方法(→ ストリーミングの設定: 741)	▶Wi-Fi ^{*1} / USB テザリング ^{*1} / 有線LAN ^{*2}
ストリーミング設定(→ ストリーミングの設定: 741)	配信画質
	RTSPポート ^{*2}
	配信先のアドレス ^{*1}
	配信先の保存/読み込み ^{*1}
	Wi-Fi 接続先設定 ^{*3}

*1 [配信方法]を[直接配信]に設定したときに表示されます。

*2 [配信方法]を[PCソフトで配信]に設定したときに表示されます。

*3 [接続方法]を[Wi-Fi]に設定したときに表示されます。

有線LAN/Wi-Fi®

Wi-Fi機能(→スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続): 676、Wi-Fi接続: 704)

有線LAN/Wi-Fi設定(→有線LAN/Wi-Fi設定メニュー: 715)

Bluetooth®

Bluetooth機能(→スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 659)

ペアリング	登録
	解除

自動画像転送(→自動画像転送: 692)

位置情報記録(→位置情報記録: 695)

LUMIX Sync 設定	スマートフォンに画像を送る(→メニュー操作で簡単に転送する: 682)
	リモート起動(→リモート起動: 696)
	スリープモードからの復帰動作(→[スリープモード]からの復帰時間を短くする: 689)
	自動時刻合わせ(→自動時刻合わせ: 698)
Wi-Fiネットワーク設定	

Wi-Fiネットワーク設定: Wi-Fiの無線アクセスポイントを登録します。Wi-Fi接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。

Frame.io

Frame.io 接続 (→ Frame.io との接続: 719)	
Frame.io に画像を送る (→ Frame.io に画像を送る: 724)	
接続設定	接続方法
	Wi-Fi 接続先設定
アップロード設定	自動アップロード予約
	アップロードファイル形式
	アップロード履歴削除
	アップロード状況確認
	アップロードキュー削除

USB

USB モード	▶ 接続時に選択 / PC(Storage) / PC(Tether)
<p>USB 接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。</p> <p>▶ 接続時に選択: 機器と接続したときに USB 通信方式を選びます。(→ USB 端子: 752)</p> <p> PC(Storage): パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。(→ パソコンに画像を取り込む: 757)</p> <p> PC(Tether): 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコンでカメラを操作する場合に設定します。(→ テザー撮影: 764)</p>	
USB 給電	▶ ON / OFF
<p>USB 接続ケーブルから給電します。</p> <p>• AC アダプターに接続したときは、[OFF] に設定していても給電されます。</p>	
Tether 接続 (USB イーサネットアダプター)	ON / ▶ OFF
有線 LAN 接続による「LUMIX Tether」への接続を有効にします。	

HDMI接続設定

出力解像度(再生時)	▶AUTO / C4K/120p / C4K/100p / C4K/60p / C4K/50p / C4K/30p / C4K/25p / C4K/24p / 4K/120p / 4K/100p / 4K/60p / 4K/50p / 4K/30p / 4K/25p / 4K/24p / 1080/120p / 1080/100p / 1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p
<p>再生時のHDMI出力解像度を設定します。</p> <p>AUTO: 接続した外部機器に合わせた解像度で出力します。写真再生時は最大8Kの解像度で出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。 • [AUTO]に設定して映像が外部機器に出ない場合は、外部機器が表示できる[AUTO]以外の設定に切り換えてください。(外部機器の取扱説明書もお読みください) • 接続する外部機器によっては、動画が再生できない場合があります。 	
LUTビューアシスト(HDMI)	ON / ▶OFF
<p>[フォトスタイル]を[V-Log]または[ARRI LogC3]に設定して記録した動画を再生するときに、LUT(ルックアップテーブル)ファイルを適用した映像をHDMI出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(HDMI)]と連動しています。 (→Logビューアシスト: 449) 	
HLGビューアシスト(HDMI)	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
<p>HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]と連動しています。 (→HLGビューアシスト: 452) 	

ビエラリンク	ON / ▶OFF
HDMIケーブルを使ってカメラをビエラリンク対応機器に接続すると、機器側のリモコンで操作ができます。 (→ ビエラリンク(HDMI)を使う:755)	
画像背景色(再生時)	■ / ▶■
外部機器に出力する際に画像の上下や左右に付く帯の色を設定します。 • 出力先画面の焼き付き防止のため、[■]に設定することをお勧めします。	
写真出力輝度レベル	0-255 / ▶16-255
外部機器に写真を出力するときの輝度レベルを設定します。	

電源 / NETWORKランプ

▶ON / OFF
電源表示ランプとNETWORK接続ランプを点灯します。

セットアップメニュー(設定)

カスタムモード登録

C1 / C2 / C3 / C4-1 ~ C4-10

現在のカメラの設定内容を登録できます。

(→ [カスタムモードへの登録: 569](#))

カスタムモード内容の呼出

C1 / C2 / C3 / C4-1 ~ C4-10

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

(→ [設定内容の呼び出し: 573](#))

カスタムモード設定

カスタムモード表示の制限

名称変更

登録内容の呼出タイミング

カスタムモードの呼出範囲

カスタムモードの使いやすさの設定をします。

(→ [カスタムモードの詳細な設定: 571](#))

カメラ設定の保存/読み込み

保存/読み込み/消去/カードフォーマット時に保持

カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。

保存 : カメラの設定情報をカードに保存します。

- 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。
- [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。

[OK] :

画面に表示されたファイル名で保存します。

[ファイル名変更] :

ファイル名を変更して保存します。

- 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで
- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))

読み込み : カード内の設定情報を読み込んで、カメラにコピーします。

消去 : カード内の設定情報を消去します。

カードフォーマット時に保持 : カードをフォーマットする際に、カードに保存したカメラの設定情報を残してフォーマットできます。

- 設定情報を読み込むことができるのは、同じ機種だけです。
- 1枚のカードに保存できる設定情報は10件までです。
- 設定情報の保存が可能な機能の一覧(→ [初期設定/カスタム保存/設定コピーの一覧: 842](#))

設定リセット

カメラの設定を初期設定に戻します。(→ [設定リセット: 104](#))

アクティベーション

シリアル番号出力／アクティベーションコード読込／アクティベーション済リスト

アップグレードソフトウェアキー(別売: DMW-SFU3A)を使って、本機の拡張機能を使用可能にします。

シリアル番号出力 : カメラの機器情報をカードに書き出します。

アクティベーションコード読込 : カメラにアクティベーションコードを読み込み、拡張機能を有効にします。

アクティベーション済リスト : 本機で使用可能になった拡張機能を表示します。

- 一度アクティベーションすると、セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]を実行しても、再度アクティベーションする必要はありません。
- アクティベーション方法については、アップグレードソフトウェアキー(別売: DMW-SFU3A)に付属の導入ガイドをお読みください。

セットアップメニュー(その他)


▶: 初期設定

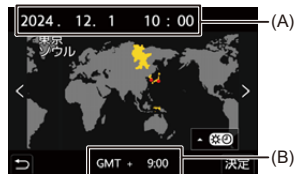
時計設定

日付や時刻を設定します。(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 74](#))

タイムゾーン


タイムゾーンを設定します。

◀▶でタイムゾーンを選び、**MENU/SET** または  を押して決定してください。



(A) 現在日時

(B) GMT(グリニッジ標準時)との時差

- サマータイム [] (夏時間) を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。

システム周波数

▶59.94Hz(NTSC) / 50.00Hz(PAL) / 24.00Hz(CINEMA)

本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。

(→ [システム周波数: 134](#))

ピクセルリフレッシュ

撮像素子と画像処理の最適化を行います。

- 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体のない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

センサークリーニング


撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。

- 特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

言語設定

▶[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

画面表示の言語を設定します。



- 誤った言語に設定した場合は、のアイコンが付くメニューを選び、言語を設定し直してください。

バージョン表示

ファームウェアアップデート/ソフト情報

カメラ本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。ファームウェアアップデートの実行や、カメラのソフトウェア情報の表示もできます。

ファームウェアアップデート:アップデートを実行します。

- 1 「[カメラ/レンズのファームウェアについて](#)」のサイトからファームウェアをダウンロードする(→[カメラ/レンズのファームウェアについて:26](#))
- 2 カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)にファームウェアを保存し、カメラに挿入する
- 3 [ファームウェアアップデート]を選んで  または  を押し、[はい]を選んでアップデートを実行する

ソフト情報:カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。

- XLRマイクロホンアダプターなどの対応別売品を装着中は、別売品のファームウェアバージョンも確認できます。

CLUB Panasonic 登録

URL表示/QRコード表示

CLUB Panasonicに登録するためのURLまたはQRコードを表示します。
(→[「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします:897](#))

認証情報

電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

ルート証明書

読み込み／消去／証明書情報

ネットワークに接続する際のルート証明書を登録します。

読み込み : カードに保存したルート証明書をカメラに登録します。(最大6ファイル)

- ルート証明書の取得方法は、接続先サービスの管理者にお問い合わせください。
- 新しく登録する証明書は、カードのルートディレクトリーに保存してください。
- ファイルの拡張子が「.pem」、「.cer」または「.crt」の証明書を登録できます。
- OpenSSLのコマンドで証明書と認識できないものは登録できません。

消去 : [読み込み]で登録したルート証明書を選んで消去します。

証明書情報 : [読み込み]で登録したルート証明書を選んで情報を表示します。

マイメニュー

- [マイメニューへの登録: 638](#)
- [マイメニューの編集: 639](#)

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。

登録したメニューは[]～[]から呼び出すことができます。

マイメニューへの登録

1 [登録]を選ぶ






-  → [] → [] → [登録]

2 登録する

- 登録するメニューを選び、 または  を押します。

❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

 →  → []₁ / []₂ / []₃ → 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

 →  → []を選ぶ

登録

マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。

並べ換え

マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。

消去

マイメニューに登録したメニューを消去します。

[項目消去]:メニューを選び、消去します。

[全消去]:マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。

マイメニューから表示

メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。

[ON]:マイメニューを表示します。

[OFF]:最後に使ったメニューを表示します。

メニュー一覧


本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。本章では、メニューの全項目を一覧形式で紹介しています。









- メニューの操作方法について(→ [メニューの操作方法: 99](#))
- 以下の一覧資料は、「資料」の章をお読みください。
 - [初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 842](#)
 - [各撮影モードで設定できる機能一覧: 867](#)

- [写真メニュー: 641](#)
- [動画メニュー: 643](#)
- [カスタムメニュー: 646](#)
- [セットアップメニュー: 650](#)
- [マイメニュー: 652](#)
- [再生メニュー: 653](#)

写真メニュー

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

画質

- フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 317](#)) 
- 測光モード(→ [測光モード: 279](#)) 
- 画像横縦比(→ [画像横縦比: 120](#))
- 写真画質(→ [写真画質: 123](#))
- 画像サイズ(→ [画像サイズ: 121](#))
- ハイレゾモード設定(→ [ハイレゾモード: 232](#))
- 長秒ノイズ除去(→ [長秒ノイズ除去: 266](#))
- ISO感度設定(写真)(→ [ISO感度設定\(写真\): 307](#))
- シンクロスキャン(写真)(→ [シンクロスキャン\(写真\): 267](#))
- 下限シャッター速度(→ [下限シャッター速度: 269](#))
- iダイナミックレンジ(→ [iダイナミックレンジ: 300](#)) 
- 周辺光量補正(→ [周辺光量補正: 342](#)) 
- 回折補正(→ [回折補正: 343](#)) 
- フィルター設定(→ [フィルター設定: 330](#)) 




フォーカス

- 自動認識設定(→ [自動認識: 184](#)) 
- 自動認識の対象(→ [自動認識: 184](#)) 
- AFカスタム設定(写真)(→ [AFカスタム設定\(写真\): 172](#))
- フォーカスリミッター(→ [フォーカスリミッター: 174](#)) 
- AF補助光(→ [AF補助光: 176](#)) 
- ピーキング(→ [ピーキング: 211](#)) 
- フォーカス枠の移動速度(→ [フォーカス枠の移動速度: 177](#)) 


フラッシュ

- フラッシュモード(→ [フラッシュモード: 350](#))
- 発光モード(→ [発光モード、マニュアル発光量設定: 352](#))
- フラッシュ光量調整(→ [フラッシュ光量調整: 354](#))
- フラッシュシンクロ(→ [フラッシュシンクロ: 355](#))
- マニュアル発光量設定(→ [発光モード、マニュアル発光量設定: 352](#))
- 露出補正連動(→ [露出補正連動: 356](#))
- ワイヤレスモード(→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 357](#))
- ワイヤレスチャンネル(→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 357](#))
- ワイヤレスFP(→ [ワイヤレスFP: 362](#))
- ワイヤレス通信光量(→ [ワイヤレス通信光量: 362](#))
- ワイヤレス設定(→ [設定項目\(ワイヤレス設定\): 361](#))







その他(写真)

- ブラケット(→ [ブラケット撮影: 251](#))
- サイレントモード(→ [サイレントモード: 261](#)) 
- クロップズーム(写真)(→ [クロップズーム\(写真\): 214](#))
- 手ブレ補正(→ [手ブレ補正: 271](#)) 
- 連写設定(→ [連写する: 224](#))
- シャッター方式(→ [シャッター方式: 263](#))
- シャッターディレイ(→ [シャッターディレイ: 270](#))
- インターバル/コマ撮り撮影(→ [インターバル撮影: 237](#) / [コマ撮りアニメ撮影: 243](#))
- ライブビューコンポジット撮影(→ [ライブビューコンポジット撮影: 258](#))
- セルフタイマー(→ [セルフタイマー撮影: 248](#)) 

👤 動画メニュー

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

👤 画質

- 動画露出設定 (→ [露出を設定して動画を撮る: 366](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 317](#)) 
- 測光モード (→ [測光モード: 279](#)) 
- ISO感度設定(動画) (→ [ISO感度設定\(動画\): 380](#))
- シンクロスキャン(動画) (→ [シンクロスキャン\(動画\): 457](#))
- フリッカー軽減(動画) (→ [フリッカー軽減\(動画\): 411](#))
- マスターペダスタル (→ [マスターペダスタル: 377](#))
- SS/ゲイン操作 (→ [SS/ゲイン操作: 412](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 300](#)) 
- 周辺光量補正 (→ [周辺光量補正: 342](#)) 
- 回折補正 (→ [回折補正: 343](#)) 
- フィルター設定 (→ [フィルター設定: 330](#)) 

📷 記録

- 記録ファイル方式 (→ [記録ファイル方式: 136](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 161](#))
- 動画画質 (→ [動画画質: 137](#))
- 動画画質(マイリスト) (→ [マイリスト登録: 152](#))
- バリアブルフレームレート (→ [バリアブルフレームレート: 426](#))
- プロキシ記録設定 (→ [プロキシ記録: 156](#))
- タイムコード設定 (→ [タイムコードを設定する: 399](#))
- 輝度レベル設定 (→ [輝度レベル設定: 375](#))
- HDMI RAW データ出力 (→ [動画RAWデータをHDMI出力する: 490](#))


フォーカス

- 自動認識設定 (→ [自動認識: 184](#))  
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 184](#))  
- AFカスタム設定(動画) (→ [AFカスタム設定\(動画\): 372](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 174](#))  
- AF連続動作 (→ [AF連続動作: 370](#))
- AF補助光 (→ [AF補助光: 176](#))  
- ピーキング (→ [ピーキング: 211](#))  
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 177](#))  

音

- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 382](#))
- 音声入力ミュート (→ [音声入力ミュート: 382](#))
- 録音ゲイン切換 (→ [録音ゲイン切換: 383](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 384](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 385](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 387](#))
- 風音キャンセラー (→ [風音キャンセラー: 387](#))
- 風音低減 (→ [風雑音の低減: 391](#))
- レンズ動作音低減 (→ [レンズ動作音低減: 388](#))
- マイク端子 (→ [外部マイク \(別売\): 389](#))
- 専用マイク設定 (→ [收音範囲の設定 \(別売: DMW-MS2\): 391](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 395](#))
- XLRマイクアダプター設定 (→ [XLRマイクロホンアダプター \(別売\): 392](#))
- 音声モニタリング (→ [音声の出力方法の切り換え: 396](#))
- ヘッドホン音量 (→ [ヘッドホンの音量の調整: 397](#))
- 音声モニタチャンネル (→ [音声モニタチャンネル: 397](#))

その他(動画)

- サイレントモード (→ [サイレントモード: 261](#)) 
- クロップズーム(動画) (→ [クロップズーム\(動画\): 217](#))
- 手ブレ補正 (→ [手ブレ補正: 271](#)) 
- セルフタイマー設定 (→ [セルフタイマー撮影: 248](#)) 
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 434](#))
- ループ記録(動画) (→ [ループ記録\(動画\): 459](#))
- 動画分割記録 (→ [動画分割記録: 461](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 438](#))

⚙️ カスタムメニュー

🔍 画質(→ [カスタムメニュー\(画質\): 575](#))


- [フォトスタイル設定\(→ \[フォトスタイル設定: 575\]\(#\)\)](#)
- [LUTライブラリ\(→ \[LUTライブラリ: 336\]\(#\)\)](#)
- [ISO感度ステップ\(→ \[ISO感度ステップ: 576\]\(#\)\)](#)
- [拡張ISO感度\(→ \[拡張ISO感度: 576\]\(#\)\)](#)
- [基準露出レベル調節\(→ \[基準露出レベル調節: 576\]\(#\)\)](#)
- [マルチ測光時の顔優先\(→ \[マルチ測光時の顔優先: 577\]\(#\)\)](#)
- [AWBロック設定\(→ \[AWBロック設定: 577\]\(#\)\)](#)
- [色空間\(→ \[色空間: 578\]\(#\)\)](#)
- [露出補正リセット\(→ \[露出補正リセット: 579\]\(#\)\)](#)
- [P/A/S/M動画の露出自動制御\(→ \[P/A/S/M動画の露出自動制御: 579\]\(#\)\)](#)
- [クリエイティブ動画の設定値\(→ \[クリエイティブ動画の設定値: 579\]\(#\)\)](#)

[AF] フォーカス/リリース(⇒カスタムメニュー(フォーカス/リリース): 580)

- フォーカス/リリース優先(⇒フォーカス/リリース優先: 580)
- 縦/横位置フォーカス切換(⇒縦/横位置フォーカス切換: 580)
- AF/AEロック維持(⇒AF/AEロック維持: 580)
- AF+MF(⇒AF+MF: 581)
- MFアシスト(⇒MFアシスト: 581)
- MFガイド(⇒MFガイド: 582)
- フォーカスリングロック(⇒フォーカスリングロック: 582)
- AFモード表示の制限(⇒AFモード表示の制限: 582)
- ピンポイントAF設定(⇒ピンポイントAF設定: 582)
- AFポイントスコープ設定(⇒AFポイントスコープ設定: 583)
- シャッター半押しAF(⇒シャッター半押しAF: 583)
- 合焦時の人物瞳認識表示(⇒合焦時の人物瞳認識表示: 583)
- シャッター半押しリリース(⇒シャッター半押しリリース: 583)
- シャッター全押し動画記録(⇒シャッター全押し動画記録: 584)
- クイックAF(⇒クイックAF: 584)
- アイセンサーAF(⇒アイセンサーAF: 584)
- フォーカス枠のループ移動(⇒フォーカス枠のループ移動: 584)
- 動画ライブビュー拡大表示設定(⇒動画ライブビュー拡大表示設定: 585)

 **操作(→カスタムメニュー(操作): 586)**

- Q.MENU設定(→Q.MENU設定: 586)
- タッチ設定(→タッチ設定: 586)
- ロックレバー設定(→ロックレバー設定: 587)
- Fnボタン設定(→Fnボタン設定: 588)
- WB/ISO/露出補正ボタン(→WB/ISO/露出補正ボタン: 589)
- ISO感度画面の操作(→ISO感度画面の操作: 589)
- 露出補正画面の操作(→露出補正画面の操作: 590)
- ダイヤル設定(→ダイヤル設定: 590)
- ジョイスティック設定(→ジョイスティック設定: 592)
- リモコンの動画ボタン(→リモコンの動画ボタン: 592)

 **モニター/表示(写真)(→カスタムメニュー(モニター/表示(写真)): 593)**

- オートレビュー(→オートレビュー: 593)
- 常時プレビュー(→常時プレビュー: 593)
- ヒストグラム表示(→ヒストグラム表示: 594)
- 写真グリッドライン表示(→写真グリッドライン表示: 595)
- ライブビューブースト(→ライブビューブースト: 595)
- ナイトモード(→ナイトモード: 596)
- LVF/モニター表示設定(→LVF/モニター表示設定: 597)
- 露出メーター(→露出メーター: 599)
- 焦点距離(→焦点距離: 599)
- ハイライト表示(→ハイライト表示: 599)
- オーバーレイ表示(→オーバーレイ表示: 600)
- 手ブレ状態スコープ(→手ブレ状態スコープ: 601)
- 水準器表示(→水準器表示: 601)
- スポット輝度メーター(→スポット輝度メーター: 602)
- ライブビュー境界線表示(→ライブビュー境界線表示: 602)
- 撮影画面の遷移(モニター)(→撮影画面の遷移(モニター): 602)

モニター/表示(動画) (→ [カスタムメニュー\(モニター/表示\(動画\)\)](#)): **603**

- [Logビューアシスト](#) (→ [Logビューアシスト: 603](#))
- [HLGビューアシスト](#) (→ [HLGビューアシスト: 603](#))
- [アナモフィック デスクイーズ表示](#) (→ [アナモフィック デスクイーズ表示: 603](#))
- [モノクロライブビュー](#) (→ [モノクロライブビュー: 604](#))
- [センターマーカー表示](#) (→ [センターマーカー表示: 604](#))
- [セーフティーゾーンマーカー表示](#) (→ [セーフティーゾーンマーカー表示: 604](#))
- [フレーム表示](#) (→ [フレーム表示: 604](#))
- [ゼブラパターン表示](#) (→ [ゼブラパターン表示: 605](#))
- [WFM/ベクトルスコープ表示](#) (→ [WFM/ベクトルスコープ表示: 605](#))
- [カラーバー](#) (→ [カラーバー: 605](#))
- [動画優先表示](#) (→ [動画優先表示: 606](#))
- [動画記録中の赤枠表示](#) (→ [動画記録中の赤枠表示: 606](#))
- [ストーリーミングの青枠表示](#) (→ [ストーリーミングの青枠表示: 606](#))

IN/OUT (→ [カスタムメニュー\(IN/OUT\)](#)): **607**

- [撮影時HDMI出力](#) (→ [撮影時HDMI出力: 607](#))
- [ファン動作モード](#) (→ [ファン動作モード: 608](#))
- [タリーランプ](#) (→ [タリーランプ: 608](#))

レンズ/その他 (→ [カスタムメニュー\(レンズ/その他\)](#)): **609**

- [レンズ位置メモリー](#) (→ [レンズ位置メモリー: 609](#))
- [パワーズームレンズ](#) (→ [パワーズームレンズ: 609](#))
- [レンズFnボタン設定](#) (→ [レンズFnボタン設定: 609](#))
- [絞りリング設定](#) (→ [絞りリング設定: 610](#))
- [フォーカスリング制御](#) (→ [フォーカスリング制御: 610](#))
- [AF微調整](#) (→ [AF微調整: 178](#))
- [レンズ情報](#) (→ [レンズ情報: 611](#))
- [レンズ情報確認表示](#) (→ [レンズ情報確認表示: 611](#))
- [動画の縦位置情報](#) (→ [動画の縦位置情報: 611](#))

セットアップメニュー

カード/ファイル(→[セットアップメニュー\(カード/ファイル\): 613](#))

- フォーマット(→[フォーマット: 613](#))
- ダブルスロット機能(→[ダブルスロット機能: 614](#))
- USB-SSD(→[USB-SSD: 615](#))
- 動画ファイル名(→[動画ファイル名: 616](#))
- シネスタイルファイル設定(→[シネスタイルファイル設定: 618](#))
- フォルダー/ファイル設定(→[フォルダー/ファイル設定: 619](#))
- ファイル番号リセット(→[ファイル番号リセット: 621](#))
- 著作権情報(→[著作権情報: 621](#))

モニター/表示(→[セットアップメニュー\(モニター/表示\): 622](#))

- エコモード(→[エコモード: 622](#))
- 動画撮影時の制限緩和(→[動画撮影時の制限緩和: 622](#))
- モニター表示速度(→[モニター表示速度: 623](#))
- LVF表示速度(→[LVF表示速度: 623](#))
- モニター調整 / LVF調整(→[モニター調整 / LVF調整: 623](#))
- モニター輝度 / LVF輝度(→[モニター輝度 / LVF輝度: 624](#))
- アイセンサー(→[アイセンサー: 624](#))
- 水準器調整(→[水準器調整: 624](#))

IN/OUT (→ [セットアップメニュー \(IN/OUT\): 625](#))

- [電子音 \(→ \[電子音: 625\]\(#\)\)](#)
- [ヘッドホン音量 \(→ \[ヘッドホン音量: 625\]\(#\)\)](#)
- [音声モニタチャンネル \(再生時\) \(→ \[音声モニタチャンネル \\(再生時\\): 626\]\(#\)\)](#)
- [ストリーミング \(→ \[ストリーミング: 626\]\(#\)\)](#)
- [有線 LAN/Wi-Fi® \(→ \[有線 LAN/Wi-Fi®: 627\]\(#\)\)](#)
- [Bluetooth® \(→ \[Bluetooth®: 627\]\(#\)\)](#)
- [Frame.io \(→ \[Frame.io: 628\]\(#\)\)](#)
- [USB \(→ \[USB: 628\]\(#\)\)](#)
- [HDMI接続設定 \(→ \[HDMI接続設定: 629\]\(#\)\)](#)
- [電源 / NETWORKランプ \(→ \[電源 / NETWORKランプ: 630\]\(#\)\)](#)

設定 (→ [セットアップメニュー \(設定\): 631](#))

- [カスタムモード登録 \(→ \[カスタムモード登録: 631\]\(#\)\)](#)
- [カスタムモード内容の呼出 \(→ \[カスタムモード内容の呼出: 631\]\(#\)\)](#)
- [カスタムモード設定 \(→ \[カスタムモード設定: 631\]\(#\)\)](#)
- [カメラ設定の保存 / 読み込み \(→ \[カメラ設定の保存 / 読み込み: 632\]\(#\)\)](#)
- [設定リセット \(→ \[設定リセット: 632\]\(#\)\)](#)
- [アクティベーション \(→ \[アクティベーション: 633\]\(#\)\)](#)

その他 (→ [セットアップメニュー \(その他\): 634](#))

- [時計設定 \(→ \[時計設定: 634\]\(#\)\)](#)
- [タイムゾーン \(→ \[タイムゾーン: 634\]\(#\)\)](#)
- [システム周波数 \(→ \[システム周波数: 634\]\(#\)\)](#)
- [ピクセルリフレッシュ \(→ \[ピクセルリフレッシュ: 635\]\(#\)\)](#)
- [センサークリーニング \(→ \[センサークリーニング: 635\]\(#\)\)](#)
- [言語設定 \(→ \[言語設定: 635\]\(#\)\)](#)
- [バージョン表示 \(→ \[バージョン表示: 636\]\(#\)\)](#)
- [CLUB Panasonic登録 \(→ \[CLUB Panasonic登録: 636\]\(#\)\)](#)
- [認証情報 \(→ \[認証情報: 636\]\(#\)\)](#)
- [ルート証明書 \(→ \[ルート証明書: 637\]\(#\)\)](#)

マイメニュー

 **1** ページ1 (→ [マイメニュー: 638](#))

 **2** ページ2 (→ [マイメニュー: 638](#))

 **3** ページ3 (→ [マイメニュー: 638](#))

 **マイメニュー編集** (→ [マイメニューの編集: 639](#))

- 登録
- 並べ換え
- 消去
- マイメニューから表示

▶ 再生メニュー

🔍 表示方法(→再生メニュー(表示方法): 535)

- 再生モード(→再生モード: 535)
- スライドショー(→スライドショー: 535)
- 縦位置自動回転(→縦位置自動回転: 536)
- 画像表示順(→画像表示順: 536)
- AF位置から拡大(→AF位置から拡大: 536)
- LUTビューアシスト(モニター)(→LUTビューアシスト(モニター): 536)
- HLGビューアシスト(モニター)(→HLGビューアシスト(モニター): 537)
- アナモフィック デスクイーズ表示(→アナモフィック デスクイーズ表示: 537)
- 動画再生後の動作(→動画再生後の動作: 537)

🔍 画像の加工(→再生メニュー(画像の加工): 538)


- RAW現像(→RAW現像: 538)
- インターバル動画作成(→インターバル動画作成: 538)
- コマ撮りアニメ作成(→コマ撮りアニメ作成: 538)

🔍 情報の付与・削除(→再生メニュー(情報の付与・削除): 539)

- プロテクト(→プロテクト: 539)
- レーティング(→レーティング: 539)

✂ 画像の編集(→再生メニュー(画像の編集): 540)

- リサイズ(縮小)(→リサイズ(縮小): 540)
- 画像回転(→画像回転: 541)
- 動画分割(→動画分割: 541)
- 画像コピー(→画像コピー: 541)
- 動画修復(→動画修復: 542)

 その他 (→ [再生メニュー\(その他\): 543](#))

- 消去確認画面 (→ [消去確認画面: 543](#))
- 全画像消去 (→ [全画像消去: 543](#))

Wi-Fi / Bluetooth

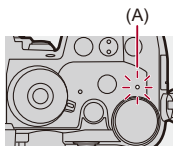
本章では、カメラのWi-Fi® / Bluetooth®機能について説明します。

• 本書ではスマートフォンとタブレットを併せてスマートフォンと表記します。

- 「LUMIX Lab」と接続する: 657
- 「LUMIX Lab」を使う: 662
- 「LUMIX Sync」と接続する: 669
- 「LUMIX Sync」を使う: 683
- カメラからパソコンへ画像を送る: 700
- Wi-Fi接続: 704
- 送信設定、画像の選択: 713
- 有線LAN/Wi-Fi 設定メニュー: 715

❖ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認

ランプ(青色)	モニター	動作
点灯		Wi-Fi機能をオンに設定しているとき、または接続中
		Bluetooth機能をオンに設定しているとき、または接続中
点滅		カメラ操作による画像データ送信時



(A) NETWORK接続ランプ



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。



- NETWORK接続ランプが点灯しないように設定できます：
(→ [電源 / NETWORKランプ: 630](#))

「LUMIX Lab」と接続する

- [「LUMIX Lab」のインストール: 658](#)
- [スマートフォンとの接続\(Bluetooth接続\): 659](#)

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Lab」(以降は「LUMIX Lab」と表記)をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Lab」を使うと、[LUTライブラリ]の操作や画像の転送ができます。

「LUMIX Lab」のインストール


「LUMIX Lab」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 10以上

iOS: iOS 15以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix lab」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Lab」を選び、インストールする



- [リアルタイムLUT]で表示されるQRコードからダウンロードすることもできます。
- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2024年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについては、「LUMIX Lab」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Lab」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
2回目以降の接続時は、カメラのBluetooth機能をオンにすると自動で接続されます。



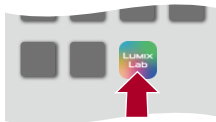
対応スマートフォン

Android™: Android 10以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 15以上

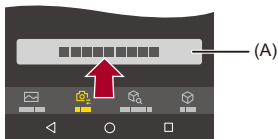
- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

1 スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する






2 表示されるガイドの内容を確認し、アプリの使用を開始する

3 [カメラ]画面に切り換え、「カメラをペアリング」を選ぶ



(A) カメラをペアリング



4 カメラをBluetoothのペアリング待機状態にする

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [ON]
- カメラがペアリングの待機状態になります。
- カメラが認識されると「LUMIX Lab」に表示されます。

5 「LUMIX Lab」で接続するカメラを選ぶ




- 確認画面で[ペアリング]を選ぶと、ペアリングを実行します。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[]が半透明で表示されます。
- スマートフォンは16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- 「LUMIX Lab」と「LUMIX Sync」を同時にカメラに接続することはできません。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。




 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [OFF]を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリングの解除

1 カメラのペアリング設定を解除する

•  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [解除]

2 ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

「LUMIX Lab」を使う

- LUTライブラリ操作: 662
- 画像取り込み: 664
- 自動画像転送: 666
- 位置情報記録: 668

「LUMIX Lab」からカメラを操作する機能について説明します。

LUTライブラリ操作

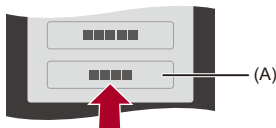
「LUMIX Lab」を操作して、カメラ内の[LUTライブラリ]を更新できます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 659](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[LUT転送]を選ぶ

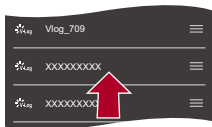
- カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。



(A) LUT転送

2 [LUTライブラリ]画面でLUTファイルを選んで編集する

- LUTファイルの転送、名前の変更、削除、順番の変更ができます。
- [スマホ]には「LUMIX Lab」に保存されているLUTファイルが一覧表示されます。
- [カメラ]にはカメラに保存されているLUTファイルが一覧表示されます。



3 [スマホ]の中から転送するLUTファイルを選ぶ

4 [カメラに転送]を選び、カメラの[LUTライブラリ]を更新する



- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

画像取り込み

「LUMIX Lab」を操作して、カメラからスマートフォンへ画像を転送します。

準備:

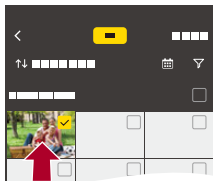
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth 接続\): 659](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[画像・動画転送]を選ぶ

- カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。

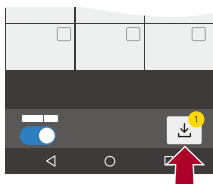
2 転送する画像を選ぶ

- チェックボックスをタッチして選びます。



3 画像を転送する

- [↓]を選びます。





- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]、[Apple ProRes]の動画
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]
- カメラの温度が上がると、転送速度が低下します。

自動画像転送

撮影するたびに、カメラからスマートフォンへ画像を自動転送します。


準備:

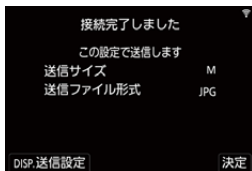
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 659](#))

1 カメラの[自動画像転送]を有効にする

- **MENU/SET** → [] → [] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]
- 「LUMIX Lab」で機能を有効にすることもできます。
- スマートフォンとWi-Fi接続を行います。

2 カメラで送信設定を確認し、**MENU/SET**を押す



- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→[画像の送信設定: 713](#))
- カメラの撮影画面に[]が表示されると、自動画像転送ができます。



3 カメラで撮影する

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[]が表示されます。

❖ 自動画像転送を終了する

- **MENU/SET** → [] → [] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [OFF]を選ぶ
- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。



- カメラの[Bluetooth機能]と[自動画像転送]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi / Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動して、カメラと接続してください。なお、スマートフォンで「LUMIX Sync」が起動していると、正しく自動画像転送ができない場合があります。



- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。
- 動画の撮影中や再生中は、自動画像転送が一時中断します。送信を再開すると、中断したファイルの先頭から転送を行います。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 周囲の温度が高いところで自動画像転送を行うと、通信が切断される場合があります。カメラの温度が下がると、自動的に再接続され、自動画像転送が再開されます。自動画像転送が再開されない場合は、電源を入れ直して再接続してください。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]




位置情報記録

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:

- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 659](#))

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [位置情報記録] ⇒ [ON]
- 「LUMIX Lab」で機能を有効にすることもできます。
- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。

2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試してください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

「LUMIX Sync」と接続する

- 「LUMIX Sync」のインストール: 670
- スマートフォンとの接続 (Bluetooth 接続): 671
- スマートフォンとの接続 (Wi-Fi 接続): 676
- カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 681

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Sync」(以降は「LUMIX Sync」と表記)をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Sync」を使うと、リモート撮影や画像の転送ができます。

「LUMIX Sync」のインストール

「LUMIX Sync」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 10以上

iOS: iOS 15以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix sync」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Sync」を選び、インストールする



- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2024年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Sync」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Sync」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定をすると、スマートフォンとのWi-Fi接続も自動で行います。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
2回目以降の接続について(→ [ペアリング済みスマートフォンとの接続: 674](#))



対応スマートフォン

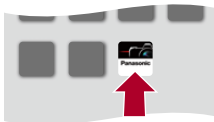
Android™: Android 10以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 15以上

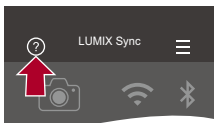
- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

1 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- 機器(カメラ)登録についてのメッセージが表示されます。「次へ」を選んでください。






- メッセージを閉じた場合は、[?]を選び、[カメラの登録(ペアリング)]からカメラを登録してください。

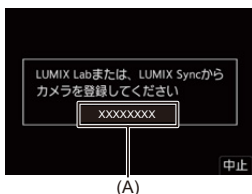


2 表示されるガイドの内容を確認し、カメラを登録する画面が表示されるまで、「次へ」を選ぶ

スマートフォンのガイドに従って、カメラを操作します。

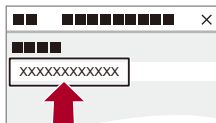
3 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [登録]
- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名 (A) が表示されます。



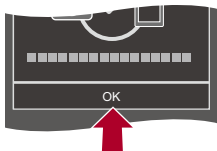
4 スマートフォンでカメラのデバイス名を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。



5 機器の登録が完了したメッセージが表示されたら、[OK]を選ぶ

- カメラとスマートフォンがBluetooth接続されます。



- ペ어링設定したスマートフォンはペ어링済み機器として登録されます。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[Bluetooth]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[Bluetooth]が半透明で表示されます。
- スマートフォンは16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。



MEHU SET → [] → [Bluetooth] → [Bluetooth機能] → [OFF]を選ぶ

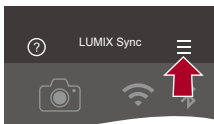


- 接続を解除してもペ어링設定は解除されません。

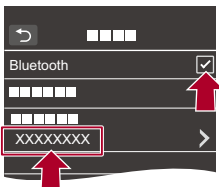
❖ ペ어링済みスマートフォンとの接続

ペ어링済みのスマートフォンとは、以下の手順で接続できます。

- 1 カメラのBluetooth機能を有効にする
 - **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [ON]
- 2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する
 - カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。
- 3 [] を選ぶ





- 4 [Bluetooth設定] を選ぶ
- 5 Bluetooth をオンにする
- 6 [登録済みカメラ] の項目からカメラのデバイス名を選ぶ



- 複数のスマートフォンとペ어링設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペ어링に時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペ어링設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。

❖ ペアリングの解除

- 1 カメラのペアリング設定を解除する
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [解除]
- 2 ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ






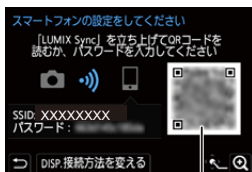
- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

スマートフォンとの接続 (Wi-Fi接続)

スマートフォンを Wi-Fi で接続します。初期設定では、パスワード認証を使って、セキュリティを強化した状態で接続できます。パスワードを入力せずに、簡単にスマートフォンと接続することもできます。

1 QRコード(B)を表示する

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する] ⇒ [スマートフォンとつないで使う]
- [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(⇒Fnボタン: 545)
- **MENU/SET** または  を押すと、QRコードが拡大表示されます。



(B)

2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

3 [☰]を選ぶ

4 [Wi-Fi接続]を選ぶ

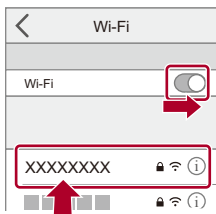
5 [QRコード]を選ぶ

6 カメラの画面に表示されているQRコードを「LUMIX Sync」で読み取る

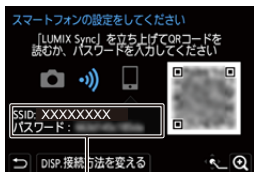
- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

パスワードを手動入力して接続する

- 1 「スマートフォンとの接続 (Wi-Fi接続)」手順1の画面を表示する(→スマートフォンとの接続 (Wi-Fi接続): 676)
- 2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする









- 3 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSID(C)を選ぶ
- 4 (初回接続時)カメラに表示されたパスワード(C)を入力する



(C)

- 5 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

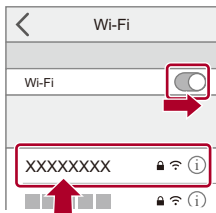
❖ パスワード認証を使わずに接続する

- 1 カメラの[Wi-Fiパスワード]を[OFF]にする
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi 設定] ⇒ [Wi-Fiパスワード] ⇒ [OFF]
- 2 カメラをWi-Fiの接続待機状態にする
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する] ⇒ [スマートフォンとつないで使う]
 - 画面にカメラのSSID(D)が表示されます。
 - [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(→Fnボタン: 545)

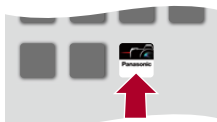


(D)

- 3 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をオンにする
- 4 カメラに表示されたSSIDを選ぶ



5 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する






6 (初回接続時)カメラに表示される機器名称を確認して[はい]を選ぶ





- 実際に接続したい機器とは別の機器が表示されている場合でも、[はい]を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別のWi-Fi接続機器がある場合などは、QRコードまたは手動入力によるパスワード認証での接続をお勧めします。(→ [スマートフォンとの接続 \(Wi-Fi接続\): 676](#))
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi機能]は使用できません。
 - [ストリーミング機能]
 - [自動画像転送]
 - [Frame.io 接続]

❖ 初期設定以外の接続方法



[ネットワーク経由]や[直接接続]の[WPS接続]で接続する場合は、以下の操作をしてください。

- 1 カメラの接続方法の設定画面を表示する
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する]
⇒ [スマートフォンとつないで使う]
- 2 [DISP.]ボタンを押す

ネットワーク経由で接続する




- 1 [ネットワーク経由]を選び、 または  を押す
 - 「ネットワーク経由」の接続方法に従ってカメラを無線アクセスポイントに接続してください。(⇒ [ネットワーク経由: 705](#))
- 2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする
- 3 カメラが接続している無線アクセスポイントに、スマートフォンを接続する
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

直接接続で接続する

- 1 [直接接続]を選び、 または  を押す
 - [WPS接続]を選び、「直接接続」の接続方法に従って、カメラをスマートフォンに接続してください。(⇒ [直接接続: 709](#))
- 2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ Wi-Fi接続を終了する

カメラとスマートフォンのWi-Fi接続を終了するには、以下の操作をしてください。


- 1 シャッターボタンを半押しして、カメラを撮影モードにする
- 2 Wi-Fi接続を終了する
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [[はい]]
 - [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(⇒Fnボタン: 545)
- 3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を終了する

カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時に [Q] ボタンを押すだけで、Bluetooth接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(⇒Fnボタン: 545)



準備:

- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(⇒「LUMIX Sync」のインストール: 670)
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(⇒スマートフォンとの接続 (Bluetooth接続): 671)
- カメラの[




写真を1枚送る

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2 [Q]ボタンを押す
- 3 [1枚選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(⇒画像の送信設定: 713)
- 4 スマートフォンで[[はい]](Android機器)または[接続](iOS機器)を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。



複数枚の写真を送る

- 1 [Q]ボタンを押す
- 2 [複数選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 713](#))
- 3 画像を選び、転送する
 - ◀▶: 画像の選択
 -  または  : 設定 / 解除
 - [DISP.]: 転送の実行
- 4 スマートフォンで[はい](Android機器)または[接続](iOS機器)を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。

❖ メニュー操作で簡単に転送する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Lumix Sync 設定] ⇒ [スマートフォンに画像を送る]

設定: [1枚選択] / [複数選択]

- [1枚選択]のときは、◀▶で画像を選び、 または  を押して実行します。
- [複数選択]のときは、「[複数枚の写真を送る](#)」の場合と同じ操作で実行できます。(→ [複数枚の写真を送る: 682](#))



- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]の動画、[Apple ProRes]の動画
- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができません。
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi機能]は使用できません。
 - [ストリーミング機能]
 - [自動画像転送]
 - [Frame.io 接続]

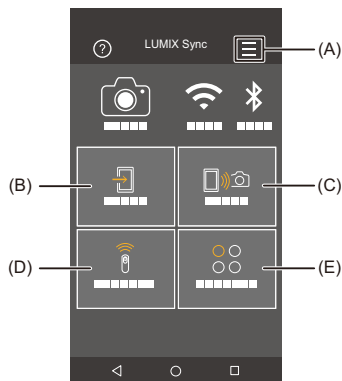
「LUMIX Sync」を使う


- リモート撮影: 685
- シャッターリモコン: 687
- 画像取り込み: 690
- 自動画像転送: 692
- 位置情報記録: 695
- リモート起動: 696
- 自動時刻合わせ: 698
- カメラ設定コピー: 699

「LUMIX Sync」からカメラを操作する機能について説明します。本書で **Bluetooth** の記号を付けて説明している機能は、Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンが必要です。





❖ ホーム画面

「LUMIX Sync」を起動すると、ホーム画面が表示されます。



- (A)  : アプリ設定 (→ [ペアリング済みスマートフォンとの接続: 674](#)、[スマートフォンとの接続 \(Wi-Fi 接続\): 676](#)、[リモート起動: 696](#))

接続の設定やカメラの電源操作、ヘルプの表示などをします。

- (B)  : 画像取り込み (→ [画像取り込み: 690](#))
- (C)  : リモート撮影 (→ [リモート撮影: 685](#))
- (D)  : シャッターリモコン (→ [シャッターリモコン: 687](#))
- (E)  : ツール (カメラ設定コピー) (→ [カメラ設定コピー: 699](#)、[ストリーミング機能: 727](#))

リモート撮影

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

準備:

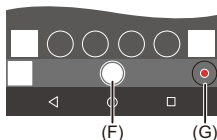
- カメラとスマートフォンを接続する(→ [スマートフォンとの接続\(Bluetooth接続\): 671](#)、[スマートフォンとの接続\(Wi-Fi接続\): 676](#))
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で [📷] (リモート撮影) を選ぶ

- (iOS機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

2 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。



(F) 写真撮影

(G) 動画撮影開始 / 終了






- [自動画像転送] と組み合わせて使用すると、リモート撮影した画像をスマートフォンに自動で転送できます。(→ [自動画像転送: 692](#))



- 設定など一部利用できないものがあります。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth] は使用できません。
 - [Frame.io 接続]

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi 設定] ⇒ [リモート優先操作設定] を選ぶ

カメラ

カメラとスマートフォンの両方で操作できます。

- ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できません。

スマートフォン

スマートフォンでだけ操作できます。

- ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。
- リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了]を選んでください。

-
- 初期設定は[カメラ]に設定されています。



- 接続中は、設定を変更できません。


シャッターリモコン

Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で [] (シャッターリモコン) を選ぶ

2 撮影する



動画撮影開始 / 終了



写真撮影





- [バルブ撮影: 688](#)
-

❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるため、星空や夜景の撮影に便利です。

準備:

- カメラを[M]モードにする(→ [マニュアル露出モード: 291](#))
- カメラのシャッタースピードをB(バルブ)に設定する(→ [B\(バルブ\): 294](#))




- 1 []をタッチして、撮影を開始する(タッチしたまま、指を離さない)
- 2 []から指を離して、撮影を終了する
 - []をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([])を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
 - B(バルブ)撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。

❖ [スリープモード]からの復帰時間を短くする

[シャッターリモコン]を使ってカメラが[スリープモード]から復帰するときにかかる時間を短くできます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))
- [Lumix Sync設定]の[リモート起動]を[ON]に設定する(→ [リモート起動: 696](#))

 ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Lumix Sync設定] ⇒ [スリープモードからの復帰動作]を選ぶ

画像取り込み/リモート撮影優先

[画像取り込み]や[リモート撮影]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

シャッターリモコン優先

[シャッターリモコン]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。



- [シャッターリモコン]を使ってカメラの[スリープモード]を解除するには、セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]で下記のとおり設定してから、Bluetooth接続してください。
 - [リモート起動]([Lumix Sync設定]):[ON](→ [リモート起動: 696](#))
 - [自動画像転送]:[OFF](→ [自動画像転送: 692](#))
- [シャッターリモコン]を使ってカメラの電源を入れることはできません。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

画像取り込み

カードに保存した画像をWi-Fi接続したスマートフォンに転送します。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→ [スマートフォンとの接続\(Bluetooth接続\): 671](#)、[スマートフォンとの接続\(Wi-Fi接続\): 676](#))
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で[](画像取り込み)を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

2 転送する画像を選ぶ

- (H)をタッチすると、表示するカードを切り換えることができます。



3 画像を転送する

- []を選びます。
- 動画の場合、画面中央の[]をタッチすると再生できます。





- 動画再生時は、データサイズを小さくして「LUMIX Sync」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に画質劣化や音飛びが発生する場合があります。
- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]の動画、[Apple ProRes]の動画
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io 接続]
- カメラの温度が上がると、転送速度が低下します。

自動画像転送




Bluetooth

写真を撮影するたびに、撮影画像をスマートフォンに自動転送できます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))


1 カメラの[自動画像転送]を有効にする

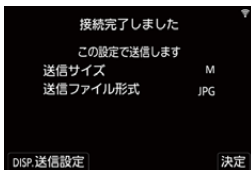
-  →  →  → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]
- カメラにWi-Fi接続の終了確認画面が表示されたら、[はい]を選んで終了してください。

2 スマートフォンで[はい](Android機器)または[接続](iOS機器)を選ぶ


- Wi-Fi接続を自動で行います。

3 カメラで送信設定を確認し、 または を押す




- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 713](#))
- カメラの撮影画面に  が表示されると、自動画像転送ができます。



4 カメラで撮影する

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。

❖ 自動画像転送を終了する

 ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [自動画像転送] ⇒ [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されます。



- カメラの[Bluetooth機能]と[自動画像転送]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi / Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動して、カメラと接続してください。なお、スマートフォンで「LUMIX Lab」が起動していると、正しく自動画像転送ができない場合があります。



- [リモート撮影]でカメラの撮影画面をスマートフォンに表示しているときは、画像は転送されません。
- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。
- 動画の撮影中や再生中は、自動画像転送が一時中断します。送信を再開すると、中断したファイルの先頭から転送を行います。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影
- 以下の機能使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

位置情報記録




Bluetooth

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:

- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする

-  →  →  → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]
- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。

2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

リモート起動

Bluetooth

カメラの電源を切っても、スマートフォン操作でカメラを起動して撮影したり、撮影画像を確認したりできます。

準備:


- 1 スマートフォンとBluetooth接続する(→スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 671)
- 2 カメラの[リモート起動]を有効にする
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Lumix Sync設定] ⇒ [リモート起動] ⇒ [ON]
- 3 カメラの電源スイッチを[OFF]にする
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ カメラの電源を入れる

「LUMIX Sync」のホーム画面で[リモート撮影]を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- カメラの電源が入り、自動でWi-Fi接続を行います。

❖ カメラの電源を切る

- 1 「LUMIX Sync」のホーム画面でを選ぶ
- 2 [電源OFF操作]を選ぶ
- 3 [電源を切る]を選ぶ



- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、リモート起動中に撮影した画像はスマートフォンに自動で転送されます。未送信の画像が残った状態で[電源を切る]を選んだ場合は、次にカメラの電源を入れたときに送信を再開します。
- [リモート起動]を設定しているときは、カメラの電源スイッチを[OFF]にしてもBluetooth機能が働くため、バッテリーを消費します。
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
 - [Frame.io接続]

自動時刻合わせ




Bluetooth

カメラの時刻とタイムゾーン(時間帯)の設定をスマートフォンに合わせます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))

カメラの[自動時刻合わせ]を有効にする

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Lumix Sync設定] ⇒ [自動時刻合わせ] ⇒ [ON]



- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
– [Frame.io接続]

カメラ設定コピー

Bluetooth

カメラの設定情報をスマートフォンに保存します。保存した設定情報をカメラに読み込んで、複数のカメラを同じ設定にできます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))

1 「LUMIX Sync」のホーム画面で[](ツール) → [](カメラ設定コピー)を選ぶ

2 設定情報の保存、読み込みをする

- 「LUMIX Sync」の操作について詳しくは、「LUMIX Sync」の「ヘルプ」をお読みください。



- 設定情報の読み込みができるのは、同じ機種だけです。
- 設定情報を転送するときに、Wi-Fi接続を自動で行います。
(iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- セットアップメニュー(設定)の[カメラ設定の保存/読み込み]と同じ項目の設定情報を保存、読み込みできます。(→[初期設定 / カスタム保存 / 設定コピーの一覧: 842](#))
- 以下の機能を使用中は、[Bluetooth]は使用できません。
- [Frame.io 接続]

カメラからパソコンへ画像を送る

Wi-Fi接続したパソコンに撮影画像を送信します。



対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.6、14.1～14.2

準備:

- パソコンの電源を入れる
- 画像を受信するフォルダーを作成する
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合は、[PC接続設定]でカメラの設定も変更する(→[PC接続設定: 716](#))

❖ 画像を受信するフォルダーを作成する

Windowsをお使いの場合(Windows 10の例)

- 1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする
- 2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする




Macをお使いの場合(macOS 12.0の例)

- 1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする
「ファイル」⇒「情報を見る」
- 2 フォルダーに共有の設定をする



- パソコンのアカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内)は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- コンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、認識できないことがあります。その場合は、15文字以内の英数字だけに変更することをお勧めします。
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書やOSのヘルプをご参照ください。

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する] ⇒ [撮影中にPCへ画像を送る] / [カメラ内の画像をPCへ送る]

2 カメラとパソコンをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由](⇒ [ネットワーク経由: 705](#))または[直接接続](⇒ [直接接続: 709](#))を選び、接続してください。

3 接続したいパソコンのコンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)を入力する

- 文字の入力方法(⇒ [文字の入力: 105](#))


4 画像を保存するフォルダーを選ぶ

- 選択したフォルダーの中に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。

5 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 713](#))

6 ([撮影中にPCへ画像を送る]選択時)写真を撮る

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 →  →  → [有線LAN/Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

([カメラ内の画像をPCへ送る]選択時)画像を選ぶ(→ [画像の選択: 714](#))

- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。



- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。
- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi機能]は使用できません。
 - [ストリーミング機能]
 - [自動画像転送]
 - [Frame.io接続]

❖ 送信できる画像

送信できる画像は送信方法によって異なります。

送信できる画像	
撮影中にPCへ画像を送る	カメラ内の画像をPCへ送る
JPEG / RAW	JPEG / RAW / MP4 / MOV / Apple ProRes



- OSのバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- お使いの機器によっては送信できない場合があります。
- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

Wi-Fi接続

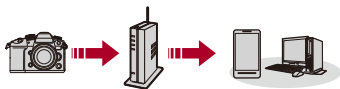
- ネットワーク経由: 705
- 直接接続: 709
- 以前と同じ設定でWi-Fi接続する: 710
- [Wi-Fi]を登録したFnボタン: 712

セットアップメニュー(IN/OUT)の[有線LAN/Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]で[新規に接続する]を選んだ場合、接続方法を[ネットワーク経由]と[直接接続]から選んで接続します。

[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]の場合、以前と同じ設定で接続します。

ネットワーク経由

カメラと送信先機器を無線アクセスポイント経由で接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ

設定: [WPS (プッシュボタン)] / [WPS (PINコード)] / [一覧から選ぶ]
(→ **WPS (プッシュボタン): 706**、**WPS (PINコード): 706**、**一覧から選ぶ: 707**)



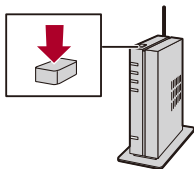
- 2回目以降に[ネットワーク経由]を選んだときは、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続する無線アクセスポイントを変更する場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- 無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。

❖ WPS (プッシュボタン)

無線アクセスポイントのWPSボタンを押して接続します。



無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す

(例)



❖ WPS (PINコード)

無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。

- 1 カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ
- 2 カメラの画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する
- 3 カメラの  または  を押す

❖ 一覧から選ぶ

利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



• 無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

- 1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ
 - [DISP] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
 - 無線アクセスポイントが見つからない場合は「[マニュアル入力で接続する](#)」をお読みください。(→ [マニュアル入力で接続する: 708](#))
- 2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する
 - 文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))

❖ マニュアル入力で接続する



- お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

- 1 「[一覧から選ぶ](#)」手順1の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ(→[一覧から選ぶ: 707](#))
- 2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
 - 文字の入力方法(→[文字の入力: 105](#))
- 3 ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA3-SAE / WPA3/WPA2 / WPA2-PSK / WPA2/WPA-PSK

対応する暗号化方式: TKIP、AES

暗号化なし

- 4 ([暗号化なし]以外選択時)暗号化キーを入力して[決定]を選ぶ

直接接続

カメラと送信先機器を直接接続します。



送信先機器との接続方法を選ぶ

WPS接続

WPS (プッシュボタン):送信先機器のWPSボタンを押して接続します。

- カメラの[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。

WPS (PINコード):カメラにPINコードを入力して接続します。

手動接続

送信先機器でカメラを検索して接続します。

- 1 ネットワークの認証方式を選ぶ

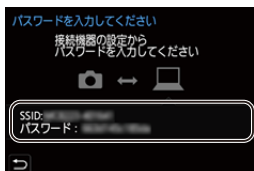
[WPA3] / [WPA3/WPA2]

- [有線LAN/Wi-Fi 設定]の[Wi-Fiパスワード]が[OFF]で、接続先が[スマートフォン]の場合は表示されません。

- 2 カメラに表示されているSSIDとパスワードを、機器に入力する

- [有線LAN/Wi-Fi 設定]の[Wi-Fiパスワード]が[OFF]で、接続先が[スマートフォン]の場合は、パスワードは表示されません。SSIDを選んで接続してください。

(→スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続): 676)





- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fiの接続履歴を使って、以前と同じ設定で接続できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

- ⇒ ⇒ ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [履歴から接続する] / [お気に入りから接続する]

2 接続する履歴を選ぶ

- [DISP.]ボタンを押すと接続履歴の詳細を確認できます。

❖ お気に入り登録

Wi-Fiの接続履歴をお気に入りに登録できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

- ⇒ ⇒ ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [履歴から接続する]




2 登録する履歴を選び、▶を押す

3 登録名を入力して[決定]を選ぶ

- 文字の入力方法(⇒ [文字の入力: 105](#))
- 入力できる文字数は最大30文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

❖ お気に入り登録した項目の編集

1 お気に入り登録した履歴を表示する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [お気に入りから接続する]

2 編集する履歴を選び、▶を押す

お気に入りを消す

お気に入りの順番を変える

移動先を選び、表示する順番を変更します。

登録名を変える

文字を入力し、登録名を変更します。

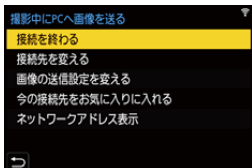
- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))
-



- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、履歴とお気に入り登録した内容が消去されます。
- PCなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する]で接続し直してください。(→ [カメラからパソコンへ画像を送る: 700](#))
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する]で接続してください。
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi機能]は使用できません。
 - [ストリーミング機能]
 - [自動画像転送]
 - [Frame.io接続]

[Wi-Fi]を登録したFnボタン

Wi-Fi接続後に[Wi-Fi]を登録したFnボタンを押すと、以下の操作ができます。(→ [Fnボタン: 545](#))



接続を終わる

Wi-Fi接続を終了します。

接続先を変える

Wi-Fi接続を終了し、別のWi-Fi接続先を選択します。

画像の送信設定を変える

画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(→ [画像の送信設定: 713](#))

今の接続先をお気に入りに入れる

現在の接続先や接続方法を登録すると、次回以降、同じ接続設定で接続できます。

ネットワークアドレス表示

本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(→ [ネットワークアドレス表示 \(Wi-Fi\): 717](#))

- お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

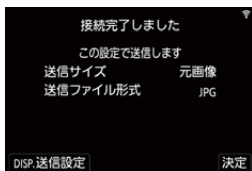
送信設定、画像の選択

- [画像の送信設定: 713](#)
- [画像の選択: 714](#)

画像の送信設定

接続先機器に送信する画像のサイズやファイル形式などを設定します。

1 Wi-Fi接続後に送信設定の確認画面が表示されたら、[DISP.] ボタンを押す



2 送信設定を変更する

送信サイズ

送信する画像のサイズを変更します。

[元画像] / [変更] ([L]、[M]、[S]、[XS] または [VGA])

送信ファイル形式

送信する画像のファイル形式を設定します。

[JPG] / [RAW+JPG] / [RAW]



- 送信先が本機からのRAW画像転送に対応している場合に設定できます。
(→ [送信できる画像: 703](#))

画像の選択






[カメラ内の画像をPCへ送る]で送信するときは、以下の手順で画像を選択してください。

- 1 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ
- 2 画像を選ぶ

[1枚選択]を選択したとき

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2  または  を押す

[複数選択]を選択したとき

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。
 - カードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、
[] ボタンを押してください。
 - 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。



- 2 [DISP.] ボタンを押して実行する

有線LAN/Wi-Fi 設定メニュー

有線LAN / Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定ができます。有線LAN / Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

有線LAN/Wi-Fi 設定メニューを表示する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi 設定]



Wi-Fi 周波数帯

スマートフォンと直接接続するとき使用する周波数帯を設定します。

2.4GHz: 2.4 GHzの周波数帯で接続します。

5GHz: 5 GHzの周波数帯で接続します。

- 5 GHzの周波数帯は電波法により屋外での使用を禁じられています。屋外で使用する場合は[2.4GHz]に設定してください。

リモート優先操作設定

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(⇒ [リモート撮影中の操作方法: 686](#))

IP アドレス設定(有線LAN)

有線LAN接続時のIPアドレスを設定します。

DHCPを使ってIPアドレスを自動で割り振るか、任意の固定IPアドレスを設定するかを選択できます。

DHCP サーバ:カメラをDHCPサーバとして接続するときに選択します。

DHCP クライアント:カメラをDHCPクライアントとして接続するときに選択します。
(初期設定)

固定IP:[固定IP アドレス設定]で設定したIPを使用して接続するときに選択します。

固定IP アドレス設定:[固定IP]で使用するIPアドレスを設定します。

IPアドレス:初期設定は<192.168.0.2>です。

サブネットマスク:初期設定は<255.255.255.0>です。

デフォルトゲートウェイ:初期設定は<192.168.0.1>です。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは正しい組み合わせで設定してください。

- DHCPの設定や固定IPアドレスの設定について、詳しくはご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。
- [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

Wi-Fiパスワード

スマートフォンと接続する際にパスワードを使用することで、セキュリティをより強化できます。(→[スマートフォンとの接続\(Wi-Fi接続\):676](#))

- パスワードは、[機器名称/パスワード]で変更できます。(→[機器名称/パスワード:717](#))

PC接続設定

ワークグループ名を設定できます。パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。

(初期設定では「WORKGROUP」に設定されています)

- ワークグループ名を変更するには、 または  を押してからワークグループ名を入力してください。
 - 初期設定に戻すには、[DISP]ボタンを押してください。
-

機器名称/パスワード

カメラの名前 (SSID) とパスワードを変更できます。

- 機器名称、パスワードを変更するには、[DISP] ボタンを押してください。
 - 入力できる文字数は、機器名称は最大32文字、パスワードは8文字から63文字です。
-

有線LAN/Wi-Fi 機能ロック

誤操作や、第三者による有線LAN / Wi-Fi機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を守るため、パスワードを設定できます。

[設定]: 数字4桁で任意のパスワードを設定します。

- パスワードを設定すると、[有線LAN/Wi-Fi 設定]、[ストリーミング]を選択したときに、パスワードの入力が必要になります。

[解除]: パスワードを解除します。

ネットワークアドレス表示 (有線LAN)

有線LAN接続時のカメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。

ネットワークアドレス表示 (Wi-Fi)

Wi-Fi接続時のカメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。



- パスワードを忘れた場合、セットアップメニュー (設定) の [設定リセット] でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。



- 文字の入力方法 (→ [文字の入力: 105](#))

Frame.io Camera to Cloud

本機は「Frame.io Camera to Cloud」に対応しており、カメラをWi-Fi経由でインターネットに接続することで、Frame.ioのプラットフォームへ静止画・プロキシ動画を直接アップロードできます。

* 「Frame.io Camera to Cloud」のすべての機能を保証するものではありません。

- [Frame.ioとの接続: 719](#)
- [Frame.ioに画像を送る: 724](#)
- [アップロード設定: 725](#)

Frame.ioとの接続

MENU **SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Frame.io] ⇒ [Frame.io 接続] ⇒ [ON] を選ぶ



- 初回接続時は、[Wi-Fi 接続先設定]、および [ペアリング (Frame.io)] を行います。

Wi-Fi 接続先設定

[新規接続] を選び、アクセスポイントとWi-Fi接続してください。

ペアリング (Frame.io)

カメラにペアリングコードが表示されます。

パソコンなどからFrame.ioにログインし、デバイス登録画面でペアリングコードを入力してください。

- [Frame.io 接続] ⇒ [設定] ⇒ [ペアリング (Frame.io)] を選んで設定することもできます。
- [Frame.io] メニューの画面で、Frame.io との [接続状態] を確認できます。
 - [未接続]: Frame.io との接続を開始していない
 - [接続中]: Frame.io と接続中 (未完了)
 - [接続済]: Frame.io と接続完了
 - [接続済 (paused)]: Frame.io サイト上でカメラを一時停止中
- 接続が完了すると、ユーザー名 ([User]) とプロジェクト名 ([Project]) がカメラに表示されます。



- Frame.ioとの接続に何度も失敗する(認証に失敗する)場合は、再度ペアリング設定してください。
- Frame.ioと接続できない場合は、接続方法を確認し、再度[Frame.io接続]を[ON]に設定してください。
- カメラの状態により、画像の転送に時間がかかる場合があります。



- 以下の機能を使用中は、[Frame.io]は使用できません。
 - [Bluetooth]
 - [ストリーミング]
 - [USB]
 - テザー撮影

❖ 接続方法を変更する


 ⇒  ⇒  ⇒ **[Frame.io]** ⇒ **[接続設定]** ⇒ **[接続方法]** を選ぶ

Wi-Fi

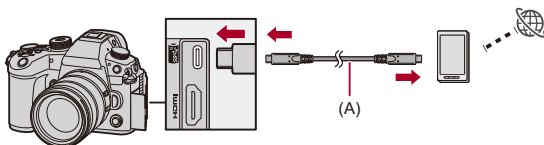
アクセスポイントとWi-Fiで接続します。

USBテザリング

スマートフォンのUSBテザリング機能を使用して接続します。

- スマートフォンを使用すると、モバイルデータ通信(4G / 5Gなど)経由でカメラをインターネットに接続し、外出先などルーターがない場所でもFrame.ioに接続できます。

1 カメラとスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続する



(A) USB接続ケーブル(市販)

2 スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする

- スマートフォンで**[USB テザリング]**(Android機器)、または**[インターネット共有]**(iOS機器)を選んでください。
 - スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
 - スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
-
- Frame.ioとの接続中に接続方法を変更するときは、Frame.ioとの接続を一時的に中断し、変更後に再接続します。




USBテザリング接続時のお知らせ

- スマートフォンのテザリング機能について、スマートフォンの取扱説明書や、携帯電話会社との契約内容をご確認ください。契約内容によってはテザリングに制限が設けられていたり、高額な追加料金が発生したりする場合があります。
- **Frame.ioとの接続を行わないときは、[Frame.io接続]を[OFF]にしてください。**
[ON]にしているときは、[接続方法]が[USB テザリング]に設定されている場合、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- **高温表示について**
カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
- USBテザリングでインターネットに接続しているときは、NETWORK接続ランプは点灯しません。
- USBテザリング接続をしたあとに、カメラ内のバッテリーを充電するときは、カメラの充電ランプが赤色に点灯することをご確認ください。充電ランプが点灯しない場合は、カメラの電源を切った状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。

❖ Wi-Fiの接続先を変更する

Frame.ioと接続中にアクセスポイントの変更などを行います。

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Frame.io] ⇒ [接続設定] ⇒ [Wi-Fi 接続先設定]を選ぶ

- [DISP.] ボタンを押し、接続先を選び直してください。

❖ Frame.ioとの接続を切断する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Frame.io] ⇒ [Frame.io 接続] ⇒ [OFF] を選ぶ

- Frame.ioとの接続(Wi-Fi)を切断しても、アップロードキューは削除されません。

❖ ペ어링(Frame.io)を解除する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Frame.io] ⇒ [Frame.io 接続] ⇒ [設定] ⇒ [解除]を選ぶ

- Frame.ioとのペ어링情報を削除し、Frame.ioとの接続(Wi-Fi)を切断します。
- アップロードキューは削除されます。

Frame.ioに画像を送る

[Frame.io接続]が[ON]のときに、アップロードする画像を手動で予約します。

MENU/SET → [**⌂**] → [**📶**] → [**Frame.io**] → [**Frame.ioに画像を送る**]を**選ぶ**

- [Frame.ioに画像を送る]を登録したFnボタンを押しても画像選択の画面を表示できます。
- [アップロード設定]の[アップロードファイル形式]で絞り込んだ画像が表示されます。

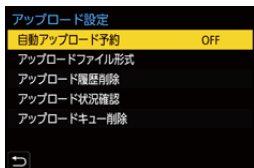


- ◀▶ で画像を選び、**MENU/SET** を押してチェックを付けてください。
- [DISP.]ボタンを押すとアップロードキューの最後に追加されます。
- 転送予約された画像には [**📶**]、転送済みの画像には [**📶**]が、再生時に表示されます。

アップロード設定

画像のアップロードに関する設定を行います。

MENU SET → [] → [] → [Frame.io] → [アップロード設定] を選ぶ



自動アップロード予約

[ON]に設定すると、撮影するたびにFrame.ioへのアップロードを予約します。

アップロードファイル形式

自動アップロードするファイルの形式を選択します。

[Frame.ioに画像を送る]の場合は、画像選択時に表示するファイルを絞り込みます。プロキシ動画および写真(JPEG/RAW)をアップロードできます。

アップロード履歴削除

アップロード済みの画像からアップロード済みを表すアイコンを削除します。

アップロード状況確認

接続しているプロジェクトや残りのアップロードファイル数などを確認できます。[DISP]ボタンを押すとさらに詳しい情報を確認できます。

アップロードキュー削除

Frame.ioへのアップロードキューを削除します。

アップロード予約中の画像から、アップロード予約中を表すアイコンを削除します。

- アップロード予約を解除された画像は、Frame.ioへアップロードされません。

❖ アップロードキュー(転送予約リスト)について

Frame.ioと接続済みの場合、アップロードキューの画像をFrame.ioへアップロードします。

- アップロードキューに画像が残っているときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてもアップロードを継続し、完了後にカメラの電源を切ります。[終了]を選んで電源を切った場合は、次に電源を入れたときにアップロードを再開します。
- Frame.ioとの接続を切断するとアップロードを中止し、接続復帰後に再開します。
- アップロードキューは以下の場合に削除されます。
 - 「アップロードキュー削除」を実行する
 - Frame.ioとのペアリングを解除する
- カメラの電源を入れたままバッテリーを取り出さないでください。アップロードキューが正しく維持されません。

ストリーミング機能

カメラの映像と音声をインターネットでライブ配信します。

ストリーミングには、以下の接続方法があります。

ルーターやスマートフォンなどのアクセスポイントとのWi-Fi接続／スマートフォンとのUSBテザリング接続

- ストリーミングを開始するには、スマートフォンで操作する方法と、カメラで操作する方法があります。
- RTMP／RTMPS*に対応しています。これらの規格に対応した動画共有サイトに配信できます。
- スマートフォンを使用すると、モバイルデータ通信(4G／5Gなど)経由でカメラをインターネットに接続し、外出先などルーターがない場所でもライブ配信ができます。

パソコンとの有線LAN接続

- パソコンと有線LAN接続するには、市販のUSBイーサネットアダプターが必要です。
- パソコンにインストールしたストリーミングソフトウェアを操作して配信します。
- RTP／RTSP*に対応しています。これらの規格に対応した動画共有サイトに配信できます。

* ストリーミング配信するための通信規格



- ストリーミング機能使用中は、カードに動画を記録できません。
- スマートフォンのテザリング機能について、スマートフォンの取扱説明書や、携帯電話会社との契約内容をご確認ください。契約内容によってはテザリングに制限が設けられていたり、高額な追加料金が発生したりする場合があります。
- 動作確認済みUSBイーサネットアダプターについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。(2024年5月現在)

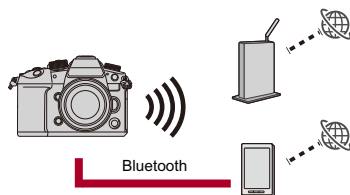
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

- スマートフォンを操作して配信する: 729
- カメラを操作して配信する: 733
- パソコンで操作して配信する: 738
- ストリーミングの設定: 741
- ストリーミング機能使用時のお知らせ: 748

スマートフォンを操作して配信する



スマートフォン用アプリ「LUMIX Sync」を操作してストリーミングを開始します。(対応プロトコル: RTMP / RTMPS)



準備:

- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→[「LUMIX Sync」のインストール: 670](#))
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→[スマートフォンとの接続 \(Bluetooth接続\): 671](#))
- (USBテザリング接続時)カメラとスマートフォンがUSB接続されていないことを確認する

1 カメラの撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→[撮影モードの選択: 80](#))

2 スマートフォンでストリーミングの設定をする

- 1 「LUMIX Sync」を起動する
- 2 「LUMIX Sync」のホーム画面で[ツール] ➡ [ライブ配信]を選ぶ
- 3 動画共有サイトまたは[RTMP/RTMPS で配信]を選択する
 - 手動で配信先アドレスを入力するときは、[RTMP/RTMPS で配信]を選んでください。
- 4 配信の詳細を設定する
 - 設定項目は、手順3の選択内容によって異なります。スマートフォンの画面に従って設定してください。

[接続方法]: [Wi-Fi]または[USB テザリング]を選ぶ

- [Wi-Fi]を選んだときは、ストリーミング時にカメラが接続する無線アクセスポイントを設定してください。

[配信画質]: 配信する画質を設定します。

[公開範囲]: 公開範囲を選択します。

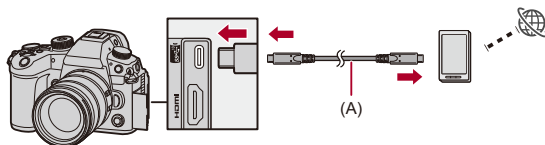
[ストリームURL]: 配信サービスから取得したストリームURLを入力します。

[ストリームキー]: 配信サービスから取得したストリームキーを入力します。

- 5 [カメラへ設定]を選ぶ
 - 「配信先の安全性を確認できません 配信を継続しますか?」と表示された場合、配信先のURLが正しいことを確認してから、接続操作を継続してください。
 - スマートフォンからカメラに設定内容が送信されます。
 - カメラの[ストリーミング機能]が[ON]になり、撮影画面に[▲]が表示されます。
 - (Wi-Fi接続時)カメラがアクセスポイントにWi-Fi接続します。

3 (USBテザリング接続時)USBテザリング接続の設定をする

1 カメラとスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続する



(A) USB接続ケーブル(市販)

2 スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする

- スマートフォンで[USB テザリング](Android機器)、または[インターネット共有](iOS 機器)を選んでください。
- スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

4 ストリーミングを開始する

- 「LUMIX Sync」で[配信を開始]を選びます。
- カメラの撮影画面に[📡]が表示されます。

5 ストリーミングを停止する

- 「LUMIX Sync」で[配信を停止]を選びます。

6 ストリーミング機能を終了する

- 「LUMIX Sync」で[配信の終了]を選ぶと、カメラの[ストリーミング機能]が[OFF]になります。

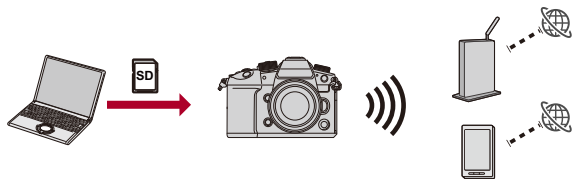


- ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します：
(→ [ストリーミングの青枠表示: 606](#))
- カメラのシャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して配信を開始すると、配信中の映像をHDMI接続した外部レコーダーに記録できます：
(→ [外部レコーダーに制御情報を出力する: 484](#))

カメラを操作して配信する



パソコンで配信先を設定してカードに保存します。カードをカメラに挿入し、カメラを操作してストリーミングを開始します。(対応プロトコル: RTMP / RTMPS)



準備:

- パソコンにソフトウェア「LUMIX Network Setting Software」をインストールする
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>

対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.6、14.0～14.2

- パソコンにカードを挿入する
- (USBテザリング接続時)カメラとスマートフォンがUSB接続されていないことを確認する

1 パソコンで配信先を設定する




- 1 「LUMIX Network Setting Software」を起動する
- 2 動画共有サイトにログインし、配信先(URL、ストリームキー)を取得する
- 3 「LUMIX Network Setting Software」に配信先(URL、ストリームキー)を入力し、[次へ]を選ぶ
- 4 出力先(カード)とファイル名を設定し、[保存]を選ぶ
 - [ファイル名]で設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで
 - 第三者による使用を防止するため、配信先をパスワードで保護することができます。
 - [パスワード]にチェックマークを入れてください。
 - パスワードを設定すると、配信先を読み込むときにパスワードの入力が必要になります。
 - 数字4桁で任意のパスワードを設定できます。
 - 手順3で設定した内容がカードに保存されます。

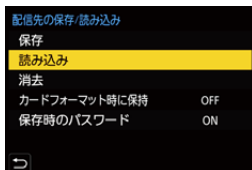
2 カメラの撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

3 手順1で配信先を保存したカードをカメラに入れる

4 カメラに配信先を読み込む

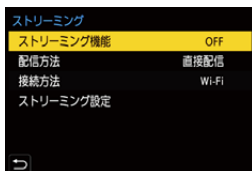
-  →  →  → [ストリーミング] → [ストリーミング設定] → [配信先の保存/読み込み] → [読み込み]
- 手順1でパスワードを設定した場合は、パスワードを入力してください。



- 配信先のアドレスを表示/変更できます(→ [ストリーミング設定: 743](#))



5 カメラでストリーミングの設定をする

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ストリーミング]



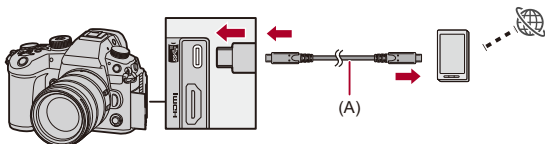
- 1 [配信方法]で[直接配信]を選ぶ
- 2 [接続方法]で[Wi-Fi]または[USB テザリング]を選ぶ
- 3 [ストリーミング設定]で[配信画質]を選ぶ(⇒[ストリーミングの設定: 741](#))
- 4 (Wi-Fi接続時)[ストリーミング設定]で[Wi-Fi 接続先設定]を設定する(⇒[ストリーミングの設定: 741](#))

6 カメラで[ストリーミング機能]を[ON]にする

- **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ストリーミング] ⇒ [ストリーミング機能] ⇒ [ON]
- 「配信先の安全性を確認できません 配信を継続しますか?」と表示された場合、配信先のURLが正しいことを確認してから、接続操作を継続してください。
- 撮影画面に[▲]が表示されます。
- (Wi-Fi接続時)カメラがアクセスポイントにWi-Fi接続します。

7 (USBテザリング接続時)USBテザリング接続の設定をする

1 カメラとスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続する



(A) USB接続ケーブル(市販)

2 スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする

- スマートフォンで[USB テザリング](Android 機器)、または[インターネット共有](iOS 機器)を選んでください。
- スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

8 ストリーミングを開始する

- シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押します。
- 撮影画面に[📶]が表示されます。
- 動画共有サイト側で配信開始操作が必要な場合があります。

9 ストリーミングを停止する

- シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押します。

10 ストリーミング機能を終了する

- **MENU/SET** ➔ [🔧] ➔ [📶] ➔ [ストリーミング] ➔ [ストリーミング機能] ➔ [OFF]

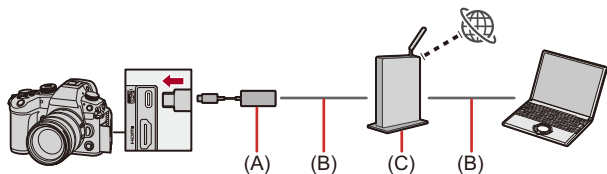


- ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します：
(→ [ストリーミングの青枠表示: 606](#))
- カメラのシャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して配信を開始すると、配信中の映像をHDMI接続した外部レコーダーに記録できます：
(→ [外部レコーダーに制御情報を出力する: 484](#))

パソコンで操作して配信する



市販のUSBイーサネットアダプター経由で、カメラとルーター／パソコンを有線LAN接続し、パソコンにインストールしたストリーミングソフトウェアを使ってIPストリーミングします。(対応プロトコル: RTP / RTSP)



(A) USBイーサネットアダプター (市販)

(B) LANケーブル(市販)

(C) ルーター

準備:

- パソコンにRTP / RTSP対応のストリーミングソフトウェアをインストールする

1 カメラの撮影モードを[⌘M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 80](#))

2 [IP アドレス設定(有線LAN)]をパソコンと同じネットワークに設定する

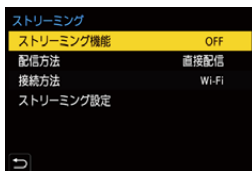
-  →  →  → [有線LAN/Wi-Fi] → [有線LAN/Wi-Fi 設定] → [IP アドレス設定(有線LAN)] (→ [IP アドレス設定\(有線LAN\): 716](#))



- [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

3 カメラでストリーミングの設定をする

-  →  →  → [ストリーミング]



- 1 [配信方法]で[PCソフトで配信]を選び、[接続方法]を[有線LAN]に設定する
- 2 [ストリーミング設定]で[配信画質]と[RTSPポート]を設定する
- 3 [ストリーミング機能]を[ON]にする
 - 撮影画面に[▲]が表示されます。

4 カメラに市販のUSBイーサネットアダプターを接続し、市販のLANケーブルでカメラとパソコンをルーターにつなぐ

5 ストリーミングソフトウェアを操作して、ストリーミングを開始／終了する

- ストリーミングソフトウェアでURLを次のように設定してください。

rtsp://(本機のIPアドレス)/stream

- [RTSPポート]を初期設定(554)から変更した場合は、次のように設定してください。

rtsp://(本機のIPアドレス):(RTSPポート)/stream

- ストリーミングを開始すると、カメラの撮影画面に【📺】が表示されます。
- 操作方法はストリーミングソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



- ストリーミング中、画面に青色の枠を表示します：
(→ [ストリーミングの青枠表示: 606](#))
- カメラのシャッターボタンまたは動画記録ボタンを押すと、配信中の映像をHDMI接続した外部レコーダーに記録できます：
(→ [外部レコーダーに制御情報を出力する: 484](#))






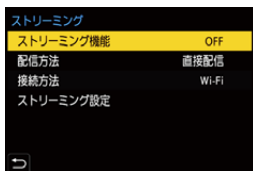
- IPストリーミング中は、カメラを操作することなく、「LUMIX Tether」を起動するだけで、「LUMIX Tether」と有線LAN接続できます。
(ストリーミング配信中は「LUMIX Tether」の画面にライブビューが表示されません)

ストリーミングの設定



ストリーミングの設定をします。

 →  →  → **[ストリーミング]**を選ぶ



<p>ストリーミング機能</p>	<p>ストリーミング機能の有効／無効を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラにUSB機器が接続されているときは設定が反映されない場合があります。その場合、USB接続ケーブルを接続し直してください。 • [ON]にする前に、[配信方法]、[接続方法]、[ストリーミング設定]を設定してください。
<p>配信方法</p>	<p>直接配信: カメラからライブ配信サービスに直接配信します。 (対応プロトコル: RTMP / RTMPS)</p> <p>PCソフトで配信: パソコンのストリーミングソフトウェアを使用して配信します。(対応プロトコル: RTP / RTSP)</p>
<p>接続方法</p>	<p>Wi-Fi^{*1}: スマートフォンなどのアクセスポイントとWi-Fiで接続します。</p> <p>USB テザリング^{*1}: スマートフォンのUSBテザリング機能を使用して接続します。</p> <p>有線LAN^{*2}: 市販のUSBイーサネットアダプターを使用して、LANケーブルでパソコンと接続します。</p>
<p>ストリーミング設定</p>	<p>ストリーミングの詳細を設定します。 (→ ストリーミング設定: 743)</p>

*1 [配信方法]を[直接配信]に設定したときに表示されます。

*2 [配信方法]を[PCソフトで配信]に設定したときに表示されます。

❖ ストリーミング設定

配信画質	配信する画質を設定します。(→ 配信画質: 745)
RTSPポート*1	RTSPポート番号を設定します。 変更: 任意の番号に変更します。(65535まで) デフォルト: 初期設定(554)に設定します。 • 次の番号には設定できません。 0～553、555～1023、1900、10669、10670、15740、50001、60606
配信先のアドレス*2	現在の配信先アドレスを表示します。 配信先アドレスを変更するには、[DISP.]ボタンを押してから配信先アドレスを入力してください。

配信先の保存/読み込み ^{*2}	保存	<p>現在の配信先アドレスをカードに保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。 • [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。 <p>[OK]: 画面に表示されたファイル名で保存します。</p> <p>[ファイル名変更]: ファイル名を変更して保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで <p>[保存時のパスワード]を設定しているときは、パスワード(数字4桁)の入力画面が表示されます。</p>
	読み込み	<p>カード内の配信先アドレスをカメラにコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 配信先アドレスをカードに保存したときにパスワードを設定している場合、パスワードの入力画面が表示されます。
	消去	カード内の配信先アドレスを消去します。
	カードフォーマット時に保持	カードをフォーマットする際に、カードに保存した配信先アドレスを残してフォーマットできます。
	保存時のパスワード	配信先アドレスをカードに保存したときにパスワードを設定するかを選びます。
Wi-Fi 接続先設定 ^{*3}	ストリーミング時にカメラが接続する無線アクセスポイントを設定します。接続先を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ ネットワーク経由: 705)	

- *1 [ストリーミング]の[配信方法]を[PCソフトで配信]に設定したときに表示されま
す。
- *2 [ストリーミング]の[配信方法]を[直接配信]に設定したときに表示されます。
- *3 [ストリーミング]の[接続方法]を[Wi-Fi]に設定したときに表示されます。



- 1枚のカードに保存できる配信先アドレスは10件までです。
- [Wi-Fi 接続先設定]は、[ストリーミング機能]を[ON]にする前に設定してください。
- パスワードを忘れたときは、新しいパスワードで保存し直してください。



- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 105](#))

❖ 配信画質

- ビデオ圧縮方式
 - [H.265]の配信画質: H.265/HEVC
 - [H.264]の配信画質: H.264/MPEG-4 AVC
- 音声フォーマット: AAC(2ch)

- (A) フレームレート
(B) ビットレート(Mbps)
(C) Wi-Fi
(D) USB テザリング
(E) 有線LAN

システム周波数: [59.94Hz(NTSC)]

配信画質	動画撮影範囲		解像度	(A)	(B)	接続方法		
	FULL	PIXEL PIXEL				(C)	(D)	(E)
H.265/4K/50M/60p		✓	3840×2160	59.94p	50	—	—	✓
H.265/4K/25M/60p		✓	3840×2160	59.94p	25	—	—	✓
H.265/4K/25M/30p	✓	✓	3840×2160	29.97p	25	—	—	✓
H.265/4K/12.5M/30p	✓	✓	3840×2160	29.97p	12.5	—	—	✓
H.265/FHD/20M/60p	✓	✓	1920×1080	59.94p	20	—	—	✓

H.265/FHD/16M/60p	✓	✓	1920×1080	59.94p	16	—	—	✓
H.265/FHD/12M/30p	✓	✓	1920×1080	29.97p	12	—	—	✓
H.265/FHD/6M/30p	✓	✓	1920×1080	29.97p	6	—	—	✓
H.264/4K/50M/60p		✓	3840×2160	59.94p	50	—	—	✓
H.264/4K/25M/60p		✓	3840×2160	59.94p	25	—	—	✓
H.264/4K/25M/30p	✓	✓	3840×2160	29.97p	25	—	—	✓
H.264/4K/12.5M/30p	✓	✓	3840×2160	29.97p	12.5	—	✓	✓
H.264/FHD/16M/60p	✓	✓	1920×1080	59.94p	16	✓*	✓	✓
H.264/FHD/8M/60p	✓	✓	1920×1080	59.94p	8	✓	✓	✓
H.264/FHD/6M/30p	✓	✓	1920×1080	29.97p	6	✓	✓	✓
H.264/FHD/3M/30p	✓	✓	1920×1080	29.97p	3	✓	✓	✓
H.264/HD/6M/60p	✓	✓	1280×720	59.94p	6	✓	✓	✓
H.264/HD/4M/30p	✓	✓	1280×720	29.97p	4	✓	✓	✓

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

配信画質	動画撮影範囲		解像度	(A)	(B)	接続方法		
	FULL	PIXEL PIXEL				(C)	(D)	(E)
H.265/4K/50M/50p		✓	3840×2160	50.00p	50	—	—	✓
H.265/4K/25M/50p		✓	3840×2160	50.00p	25	—	—	✓
H.265/4K/25M/25p	✓	✓	3840×2160	25.00p	25	—	—	✓
H.265/4K/12.5M/25p	✓	✓	3840×2160	25.00p	12.5	—	—	✓
H.265/FHD/20M/50p	✓	✓	1920×1080	50.00p	20	—	—	✓
H.265/FHD/16M/50p	✓	✓	1920×1080	50.00p	16	—	—	✓
H.265/FHD/12M/25p	✓	✓	1920×1080	25.00p	12	—	—	✓
H.265/FHD/6M/25p	✓	✓	1920×1080	25.00p	6	—	—	✓
H.264/4K/50M/50p		✓	3840×2160	50.00p	50	—	—	✓
H.264/4K/25M/50p		✓	3840×2160	50.00p	25	—	—	✓
H.264/4K/25M/25p	✓	✓	3840×2160	25.00p	25	—	—	✓
H.264/4K/12.5M/25p	✓	✓	3840×2160	25.00p	12.5	—	✓	✓
H.264/FHD/16M/50p	✓	✓	1920×1080	50.00p	16	✓*	✓	✓
H.264/FHD/8M/50p	✓	✓	1920×1080	50.00p	8	✓	✓	✓
H.264/FHD/6M/25p	✓	✓	1920×1080	25.00p	6	✓	✓	✓

H.264/FHD/3M/25p	✓	✓	1920×1080	25.00p	3	✓	✓	✓
H.264/HD/6M/50p	✓	✓	1280×720	50.00p	6	✓	✓	✓
H.264/HD/4M/25p	✓	✓	1280×720	25.00p	4	✓	✓	✓

* 配信先がRTMPのときに設定できます。(RTMPSのときは設定できません)



- インターネット回線の通信速度に応じて適切な配信画質(ビットレート)に設定してください。
- HDMI出力する映像は、[配信画質]に応じた解像度とフレームレートで出力します。
ただし、[配信画質]をHDにしているときは、FHD解像度で出力します。

ストリーミング機能使用時のお知らせ

- USBテザリング／有線LAN接続時のお知らせ: 749
- ストリーミング機能使用中は、以下の機能は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[ハイブリッドログガンマ]
 - [記録ファイル方式]
 - [動画画質]
 - [動画画質(マイリスト)]
 - [録音音質]
 - [4chオーディオ記録]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [ライブクロップ]
 - [Wi-Fi機能](ストリーミング時のWi-Fi接続先は、[ストリーミング設定]で設定できません)
 - [Bluetooth]のペアリング機能
 - [設定リセット]
- 以下の機能を使用中は、ストリーミング機能は使用できません。
 - [HDMI RAWデータ出力]
 - [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時
 - USB接続中(パソコン)
 - [Frame.io接続]
 - テザー撮影(有線LAN接続時を除く)
- インターネット回線や端末によって通信速度が異なるため、事前に配信テストを行うことをお勧めします。
- ストリーミング機能を終了せずにカメラの電源を切ると、次回電源を入れたときに、自動で前回接続していた接続先に再接続します。
- ストリーミング配信中は、メニュー画面を表示できません。
- 配信される映像に、カメラの撮影情報は表示されません。
- 動画共有サイトによって、ストリーミング配信に必要な条件が異なります。詳細は動画共有サイトでご確認ください。

USBテザリング／有線LAN接続時のお知らせ

- ストリーミング機能を使用しないときは、[ストリーミング機能]を[OFF]にしてください。
[ON]にしているときは、[接続方法]が[USB テザリング]または[有線LAN]に設定されている場合、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 高温表示について(→ [高温表示について: 132](#))
- USBテザリングでインターネットに接続しているときは、NETWORK接続ランプは点灯しません。
- USBテザリング接続や有線LAN接続をしたあとに、カメラ内のバッテリーを充電するときは、カメラの充電ランプが赤色に点灯することをご確認ください。充電ランプが点灯しない場合は、カメラの電源を切った状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。

他機器との接続

本章では、テレビなどのHDMI機器やパソコンなど、他機器との接続について説明します。

接続にはカメラのHDMI端子またはUSB端子を使用します。

- 接続する: 751
- テレビで見る: 753
- パソコンに画像を取り込む: 757
- レコーダーにダビングする: 763
- テザー撮影: 764

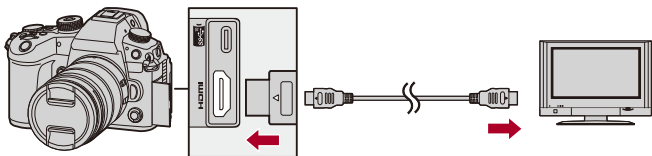
接続する



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMI端子

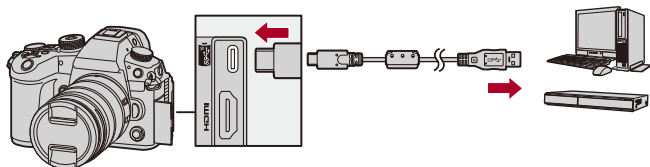
市販のHDMIケーブルでカメラとHDMI機器(テレビなど)をつなぐ



- ウルトラハイスピードHDMIケーブル(Type A-Type Aプラグ、3 m未満)をお使いください。

USB 端子

USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンまたはレコーダーをつなぐ



- USB接続ケーブルはUSB規格に準拠したケーブルをお使いください。

テレビで見る

カメラをテレビや外部モニターに接続して、撮影した写真や動画を見ることが出来ます。

準備:

- カメラとテレビの電源を切る

- 1 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ(→**HDMI端子:751**)
- 2 テレビの電源を入れる
- 3 テレビの入力をHDMI入口に切り換える
- 4 カメラの電源を入れる
- 5 再生画面を表示する
 - [▶]ボタンを押します。
 - 撮影した画像がカメラとテレビに表示されます。







- 初期設定では、接続したテレビに合わせて最適な解像度で出力されます。[出力解像度(再生時)]で出力解像度の変更もできます。(→ [出力解像度\(再生時\): 629](#))
- 画像の横縦比によっては、上下左右にグレーの帯が表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→ [画像背景色\(再生時\): 630](#))
- [USBモード]を[PC(Storage)]に設定しているときは、USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI出力できません。
- [4ch オーディオ記録]を[OFF]以外に設定して撮影した動画の音声は、HDMI接続した外部機器が、4チャンネルの音声やハイレゾ音声に対応していない場合は出力されません。
- 画像の上下が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

❖ ビエラリンク(HDMI)を使う

비에라링크(HDMI) (HDAVI Control™)とは、カメラとHDMIケーブルを使って接続した비에라링크対応機器を自動で連動させて、비에라의リモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)




- 비에라링크(HDMI)を使うにはテレビ側でも設定が必要です。設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

- 1 市販のHDMIケーブルで、カメラと비에라링크(HDMI)に対応した当社製テレビ(비에라)をつなぐ(→HDMI端子: 751)
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 비에라링크をオンにする
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [HDMI接続設定] ⇒ [비에라링크] ⇒ [ON]
- 4 再生画面を表示する
 -  ボタンを押します。
 - 撮影した画像がテレビに表示されます。(カメラのモニターやファインダーは消灯します)
- 5 テレビのリモコンで操作する

電源オフ連動

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、カメラの電源も連動して切れます。

自動入力切替

カメラの電源を入れ、 ボタンを押すと、テレビの入力が自動でカメラを接続した入力に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)



- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしていません。
- 本機は、비에라링크(HDMI) Ver.5に対応しています。비에라링크(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製비에라링크機器にも対応した当社基準です。
- 本機のボタンを使っでの操作は制限されます。

パソコンに画像を取り込む

- [パソコンに画像をコピーする: 758](#)
- [ソフトウェアのインストール: 762](#)

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。

パソコンで動画の再生や編集をするには、記録した動画形式に対応したソフトウェアをご使用ください。

また、RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをご利用いただけます。(→ [ソフトウェアのインストール: 762](#))

パソコンに画像をコピーする

パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップして、撮影した画像をコピーできます。



- マスストレージデバイス(大容量記憶装置)が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.6、14.0～14.2



- Mac:

「Final Cut Pro X」に対応しています。

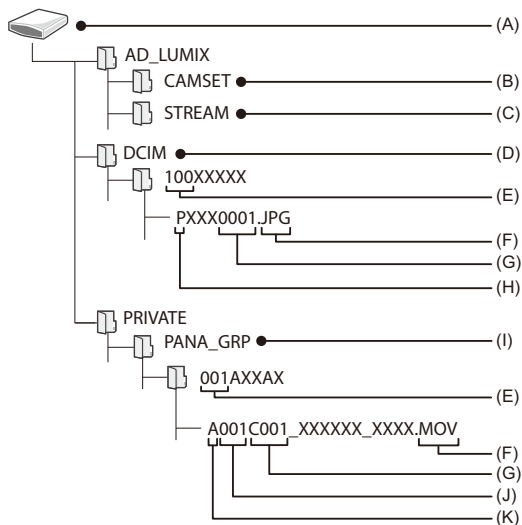
「Final Cut Pro X」の詳細は、Appleにお問い合わせください。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる

- 1 USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ
(→USB端子: 752)**
- 2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、 または  を押す**
 - Windows: 「PC」にドライブ(「LUMIX」または[シネスタイルファイル設定]で設定したカードのボリュームラベル)が表示されます。
 - Mac: デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」または[シネスタイルファイル設定]で設定したカードのボリュームラベル)が表示されます。
- 3 カメラのファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする**

❖ カード内のフォルダー構造



(A) ボリュームラベル

[動画ファイル名]を[写真と同じ(DCF準拠)]に設定しているとき:LUMIX

[動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定しているとき:[シネスタイルファイル設定]で設定したカードのボリュームラベル

(B) カメラの設定情報

(C) ストリーミング設定

(D) 画像

(E) フォルダー番号

(F) JPG:JPEG形式の写真

RW2:RAW形式の写真

MP4:MP4動画

MOV:MOV動画/Apple ProRes動画

(G) ファイル番号

(H) 色空間

P:sRGB

_ :AdobeRGB

(I) シネスタイル動画

(J) カード番号

(K) カメラインデックス



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ [USBモード: 628](#))



- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをインストールします。



- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 対応OSは2024年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

動作環境

● 対応OS

Windows: Windows 10(64 bit)、Windows 11

Mac: macOS 10.13～10.15、11、12、13、14



- SILKYPIX Developer Studioの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」またはアドワーズのサポートサイトをお読みください。

レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備:

- カメラとレコーダーの電源を入れる
- カードスロット1にカードを入れる

- 1 **USB接続ケーブル(市販)でカメラとレコーダーをつなぐ**
(→**USB端子: 752**)
- 2 **▲▼で[PC(Storage)]を選び、またはを押す**
- 3 **レコーダーを操作してダビングする**



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。(→**USBモード: 628**)



- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ダビングや再生の方法については、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

テザー撮影

- ソフトウェアのインストール: 765
- パソコンからカメラを操作する: 766
- 有線 LAN 接続で「LUMIX Tether」を使う: 767
- 複数台のカメラのリモート操作: 769

パソコンにカメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether」をインストールすると、USB 接続したパソコンからカメラを制御し、パソコンの画面でライブビューを確認しながら撮影できます（テザー撮影）。また、テザー撮影中に別の外部モニターやテレビに HDMI 出力することもできます。

市販の USB イーサネットアダプターを使うと、カメラとパソコンを LAN ケーブルでつないでテザー撮影ができます。複数台のカメラのリモート操作も可能です。



- 動作確認済み USB イーサネットアダプターについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。（2024年5月現在）

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

ソフトウェアのインストール

❖ LUMIX Tether

カメラをパソコンから制御するためのソフトウェアです。各種設定の変更やリモート撮影ができ、リモート撮影後に画像をパソコンに保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

動作環境

● 対応OS

Windows: Windows 10 (64 bit)、Windows 11

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.6、14.0～14.2

● インターフェース

USB 端子 (SuperSpeed USB (USB 3.1))






- 対応OSは2024年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 「LUMIX Tether」は最新のバージョンをお使いください。
- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 操作方法については、「LUMIX Tether」の「操作ガイド」をお読みください。

パソコンからカメラを操作する

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

- 1 USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ
(→USB端子: 752)**
- 2 ▲▼で[PC(Tether)]を選び、 または  を押す**
 - カメラの画面にが表示されます。
- 3 「LUMIX Tether」を使ってパソコンからカメラを操作する**



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Tether)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→USBモード: 628)



- [PC(Tether)]でパソコンと接続しているときは、以下の機能は使用できません。
 - [ストリーミング]
 - [有線LAN/Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]
 - [Bluetooth]
- 以下の機能を使用中は、テザー撮影はできません。
 - [Frame.io接続]

有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

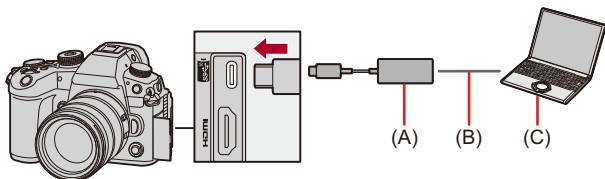
1 カメラをDHCPサーバに設定する

- **MENU/SET** ⇒ [**W**] ⇒ [**Wi-Fi**] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi 設定] ⇒ [IP アドレス設定(有線LAN)] ⇒ [DHCP サーバ]
- [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

2 有線LANテザー接続の設定にする

- **MENU/SET** ⇒ [**W**] ⇒ [**Wi-Fi**] ⇒ [USB] ⇒ [Tether接続(USBイーサネットアダプター)] ⇒ [ON]

3 カメラに市販のUSBイーサネットアダプターを接続し、市販のLANケーブルでカメラとパソコンをつなぐ



- (A) USBイーサネットアダプター (市販)
- (B) LANケーブル(市販)
- (C) 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコン

4 「LUMIX Tether」を操作して、カメラをリモート操作する

- (初回接続時)「LUMIX Tether」からカメラに接続するためのパスワードを設定してください。(8～31文字以内)
- カメラの画面の右上に[品名]が表示されます。
- 正しく動作しない場合は、USB接続ケーブルを接続し直してください。




複数台のカメラのリモート操作

「LUMIX Tether」を使って複数台のカメラをリモート操作します。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

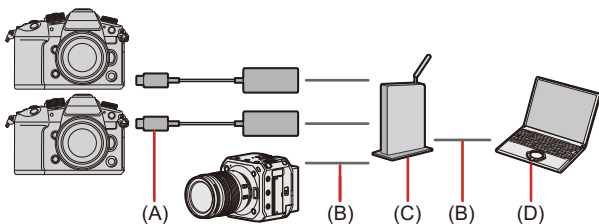
1 カメラをDHCPクライアントに設定する(初期設定)

-  ⇒  ⇒  ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi 設定] ⇒ [IP アドレス設定(有線LAN)] ⇒ [DHCP クライアント]
- LAN内にDHCPサーバがない場合は、カメラ1台を[DHCP サーバ]に、残りを[DHCP クライアント]に設定して接続することもできます。
- [IP アドレス設定(有線LAN)]の設定を変更した場合は、カメラの電源を入れ直してください。

2 「有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使う」の手順2以降の操作をする

- カメラ、パソコン、ルーター(ハブ)は下図のように接続してください。

例) LAN内にDHCPサーバが存在し、カメラをDHCPクライアントとして接続する場合



(A) USBイーサネットアダプター (市販)



(B) LANケーブル(市販)

(C) ルーター(またはハブ)

(D) 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコン

- 「LUMIX Tether」を操作して、任意の複数台のカメラをリモート操作できます。



- 有線LAN接続を使用しないときは、[Tether接続(USBイーサネットアダプター)]を[OFF]にしてください。
[ON]にしているときは、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 有線LAN接続で「LUMIX Tether」を使用しているときは、以下の機能は使用できません。
 - [有線LAN/Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]
 - [Bluetooth]
- 以下の機能を使用中は、テザー撮影はできません。
 - [Frame.io接続]
- 複数台のカメラを使ってテザー撮影するときは、カメラごとに個別の機器名称を設定することをお勧めします：
[] ⇒ [] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi] ⇒ [有線LAN/Wi-Fi設定] ⇒ [機器名称/パスワード] ⇒ [機器名称/パスワード]

本章では、困ったときの対処方法や、参考となる仕様情報について説明しています。

- 別売品のご紹介: 773
- 別売品を使う: 775
- モニター／ファインダーの表示: 779
- メッセージ表示: 799
- Q&A 故障かな?と思ったら: 803
- 使用上のお願い: 815
- 無線機能(Wi-Fi／Bluetooth)使用上のお願い: 825
- バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間: 828
- 記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 831
- 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 842
- 各撮影モードで設定できる機能一覧: 867
- 仕様: 875
- 商標、ライセンス: 889
- 保証とアフターサービス(よくお読みください): 893

別売品のご紹介

(品番は2024年5月現在)

バッテリーパック	DMW-BLK22
バッテリーチャージャー	DMW-BTC15 ^{*1}
ACアダプター	DMW-AC11 ^{*2}
DCカプラー	DMW-DCC18 ^{*3}
フラッシュライト	DMW-FL580L、DMW-FL200L
LEDビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
XLRマイクロホンアダプター	DMW-XLR2
シャッターリモコン	DMW-RS2
トライポッドグリップ	DMW-SHGR2、DMW-SHGR1
三脚アダプター	DMW-TA1 ^{*4}
ボディキャップ	DMW-BDC1
アップグレードソフトウェアキー	DMW-SFU3A

*1 ACアダプター、電源コード、USB接続ケーブル付き(充電時間:約175分)

*2 電源コード、USB接続ケーブル付き

*3 別途、ACアダプターとUSB接続ケーブルが必要です。当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。

*4 取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
- レンズの最新情報やレンズに対応する別売品については、カタログ／ホームページをご覧ください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



別売品を使う

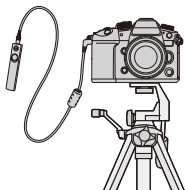
- シャッターリモコン(別売): 776
- トライポッドグリップ(別売): 777
- DCケーブル(別売): 778

- 外部フラッシュについて(→外部フラッシュ(別売)を使う: 345)
- 外部マイクについて(→外部マイク(別売): 389)
- XLRマイクロホンアダプターについて(→XLRマイクロホンアダプター(別売): 392)

シャッターリモコン(別売)




シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)をカメラにつないで、以下の使い方ができます。

- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始/終了する
- シャッターリモコンの動画ボタンに登録した機能を使う



❖ 動画ボタンへの機能の登録

シャッターリモコンの動画ボタンにお好みの機能を登録できます。登録できる機能はFnボタンの撮影時設定(→[設定項目\(Fnボタン設定/撮影時設定\):550](#))と同じです。初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

 ⇒  ⇒  ⇒ [リモコンの動画ボタン]を選ぶ

- [Fnボタン設定]と同じ操作で機能を登録します。(→[Fnボタンへの機能の登録:548](#))

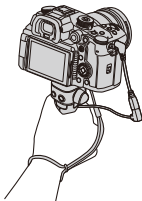


- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

トライポッドグリップ(別売)

トライポッドグリップ(別売:DMW-SHGR2/DMW-SHGR1)を取り付けて、歩き撮り用のグリップや、三脚、シャッターリモコンとして使用できます。

- カメラの[REMOTE]端子にグリップのケーブルを差し込んでください。



- [リモコンの動画ボタン]メニューは、トライポッドグリップには動きません。
- カメラを取り付けた状態で、ハンドストラップだけを持って運ばないでください。
- 詳しくは、トライポッドグリップの取扱説明書をお読みください。

DCカプラー(別売)

DCカプラー(別売:DMW-DCC18)を使うと、外付けSSD使用時にもバッテリー残量を気にせずに使用できます。



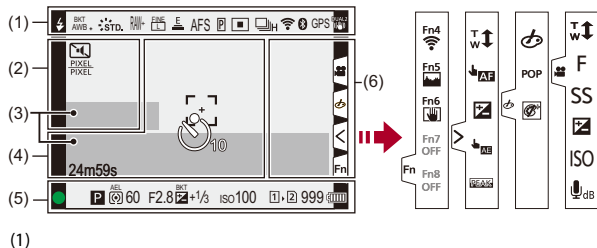
- 別途、ACアダプターとUSB接続ケーブルが必要です。当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴がカメラ内部に付着、侵入しないようにしてください。使用後は、DCカプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。




モニター／ファインダーの表示

- 撮影画面: 779
- 再生画面: 794

●画面は[LVF/モニター表示設定]を[]にしたときのモニター表示の例です。

撮影画面



	フラッシュモード(⇒ フラッシュモード: 350)
	フラッシュ設定(⇒ フラッシュシンクロ: 355 、 ワイヤレスフラッシュ撮影: 357)
AWBc AWBw  2500K	ホワイトバランス(⇒ ホワイトバランス(WB): 309)／色温度(⇒ 色温度設定: 314)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケット(⇒ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット): 257)





AWB+ AWB-	ホワイトバランス調整(→ホワイトバランスの調整: 315)
AWBL	AWBロック設定(→AWBロック設定: 577)
 STD.	フォトスタイル(→フォトスタイル: 317)
*POP	フィルター設定(→フィルター設定: 330)／ フィルター効果調整(→フィルター効果の調整: 331)
MON LUT HDMI V-Log	LUTビューアシスト(→Logビューアシスト: 449)
MON MODE2 HDMI HLG	HLGビューアシスト(→HLGビューアシスト: 452)
RAW+  	写真画質(→写真画質: 123)、画像サイズ(→画像サイズ: 121)
  	クロップズーム(写真)(→クロップズーム(写真): 214)
CrZ	クロップズーム(動画)(→クロップズーム(動画): 217)
  	記録ファイル方式(→記録ファイル方式: 136)／ 動画画質(→動画画質: 137)
MOV 4K 420/10-L	記録ファイル方式(→記録ファイル方式: 136)／ 動画画質(→動画画質: 137)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→動画画質: 137)／ バリエーションフレームレート(→バリエーションフレームレート: 426)
	電子シャッター(→シャッター方式: 263)
AFS AFC MF	フォーカスモード(→フォーカスモードの選択: 164、MFで撮る: 206)
 	フォーカスリミッター(→フォーカスリミッター: 174)
BKT AFS	フォーカスブラケット(→詳細設定(フォーカスブラケット): 256)
AFL	AFロック(→ピントや露出の固定(AF/AEロック): 301)
MFL	フォーカスリングロック(→フォーカスリングロック: 582)
	ピーキング(→ピーキング: 211)

	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 161)
	AFモード(→ AFモードの選択: 181)
	自動認識設定(→ 自動認識: 184)
	ドライブモード(→ ドライブモードの選択: 222)
	Wi-Fi接続状態(→ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 656)
	Bluetooth接続状態(→ スマートフォンとの接続(Bluetooth接続): 671)
GPS	位置情報記録(→ 位置情報記録: 695)
	手ブレ補正(→ 手ブレ補正: 271)
	手ブレ警告(→ 手ブレ補正を使う: 272)

(2)

	セルフタイマー(→セルフタイマー撮影: 248)
	サイレントモード(→サイレントモード: 261)
	プロキシ記録(→プロキシ記録: 156)
	動画撮影範囲(→動画撮影範囲: 161)
	アナモフィック デスクイーズ表示(→アナモフィック デスクイーズ表示: 455)
LC	ライブビューコンポジット撮影(→ライブビューコンポジット撮影: 258)
	オーバーレイ表示(→オーバーレイ表示: 600)
	LUTビューアシスト(→Logビューアシスト: 449)
	ループ記録(→ループ記録(動画): 459)
	ストリーミング機能オン(→ストリーミング機能: 727)
	ストリーミング中(→ストリーミング機能: 727)


(3)

	内蔵マイク、外部マイク(→録音レベル表示: 382、外部マイク(別売): 389)
96kHz/24bit 	録音音質／XLRマイクアダプター設定(→録音音質: 385、XLRマイクロホンアダプター(別売): 392)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 395)
	録音レベルリミッター(→録音レベルリミッター: 387)
	ミュート(→音声入力ミュート: 382)

録音レベル(→録音レベル表示: 382)

露出メーター(→露出メーター: 599)

(4)



	ヒストグラム(→ヒストグラム表示: 594)
	AFエリア(→AFエリアの操作: 197)
+	スポット測光ターゲット(→測光モード: 279)
+	センターマーカー(→センターマーカー表示: 604)
	セルフタイマー(→セルフタイマー撮影: 248)
	ロックレバー(→操作ロックレバー: 86)
XXmXXs	記録経過時間(→動画を撮る: 126)
TC 00:00:00:00	タイムコード(→タイムコード: 399)
	画像送信中(→自動画像転送: 692)

(5)

	フォーカス(緑点灯)(→写真を撮る: 118)／ 記録動作表示(赤点灯)(→ハイレゾモード: 232、動画を撮る: 126)
LOW 	フォーカス(低照度AF時)(→低照度AF: 168)
STAR 	フォーカス(星空AF時)(→星空AF: 168)
	フラッシュ光量調整(→フラッシュ光量調整: 354)
iA P A S M  P  P	撮影モード(→撮影モードの選択: 80)
	プログラムシフト(→プログラムシフト: 283)
	測光モード(→測光モード: 279)
AEL	AEロック(→ピントや露出の固定(AF / AEロック): 301)








60	シャッタースピード(→ 写真を撮る: 118)
F2.8	絞り値(→ 写真を撮る: 118)
^{BKT} F2.8	絞りブラケット(→ 詳細設定 (絞りブラケット): 255)
^{BKT}  +1/3	露出補正值(→ 露出補正: 297) 露出ブラケット(→ 詳細設定 (露出ブラケット): 255)
 +1	マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 292)
iso100	ISO感度(→ ISO感度: 303)
	カード／外付けSSDアクセス表示(赤点灯)(→ 動画を撮る: 126 、 外付けSSD(市販)を使う: 495)
	カードスロット(→ カード(別売)の挿入: 65)／ ダブルスロット機能(→ ダブルスロット機能: 614)／ 外付けSSD(→ 外付けSSD(市販)を使う: 495)
	カード／外付けSSDなし
	カード／外付けSSD残量なし
999	写真撮影枚数(→ 記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 831)
r20	連続撮影可能枚数(→ 連続撮影可能枚数: 229)
XXmXXs	動画記録時間(→ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 832)
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61)
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電): 60)

(6)

	温度上昇警告アイコン(→ 撮影: 805)
	ファン異常アイコン(→ その他: 814)
A001C001	動画ファイル名([シネスタイル]設定時)(→ 動画ファイル名: 616)

タッチタブ(→ [タッチ設定: 586](#))

	
	Fnボタン(→ [Fn4]～[Fn8]ボタンを使う(タッチアイコン): 558)
	
	タッチズーム(→ 動画撮影中の操作: 367)/ クローズズーム(写真)(→ クローズズーム(写真): 214)/ クローズズーム(動画)(→ クローズズーム(動画): 217)
	タッチAF、タッチシャッター(→ タッチAF/タッチシャッター: 113)
	露出補正(→ 露出補正: 297)
	タッチAE(→ タッチAE: 115)
	ピーキング(→ ピーキング: 211)

 (→ タッチ操作でフィルターを設定する: 332) /  (→ 動画撮影中の操作: 367)	
	フィルター効果調整(→ フィルター効果の調整: 331)
	フィルターの入/切(→ タッチ操作でフィルターを設定する: 332)
POP	フィルター設定(→ フィルター設定: 330)
	ズーム(→ 動画撮影中の操作: 367)
F	絞り値(→ 動画撮影中の操作: 367)
SS	シャッタースピード(→ 動画撮影中の操作: 367)
	露出補正(→ 動画撮影中の操作: 367)
ISO	ISO感度(→ 動画撮影中の操作: 367)
	録音レベル設定(→ 動画撮影中の操作: 367)

❖ コントロールパネル



(1)

P	撮影モード(→ 撮影モードの選択: 80)
1/60	シャッタースピード(→ 写真を撮る: 118)
F2.8	絞り値(→ 写真を撮る: 118)
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61) /
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電/充電): 60)

(2)

ISO 100	ISO感度(→ ISO感度: 303)
± 0 	露出補正值(→ 露出補正: 297) / マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 292)
± 0 	フラッシュ設定(→ フラッシュ光量調整: 354 、 フラッシュシンクロ: 355 、 ワイヤレスフラッシュ撮影: 357) / フラッシュモード(→ フラッシュモード: 350)

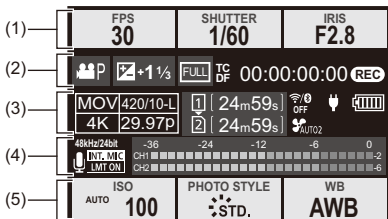
(3)

	ドライブモード(→ ドライブモードの選択: 222)
AFS	フォーカスモード(→ フォーカスモードの選択: 164 、MFで撮る: 206)
	AFモード(→ AFモードの選択: 181)
FINE	写真画質(→ 写真画質: 123)
	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 161)／
	記録ファイル方式(→ 記録ファイル方式: 136)／
	動画画質(→ 動画画質: 137)
	画像サイズ／画像横縦比(→ 画像サイズ: 121)
	Wi-Fi／Bluetooth 接続状態(→ Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認: 656)
Fn 	Fn ボタン設定(→ Fn ボタン: 545)

(4)

 STD.	フォトスタイル(→ フォトスタイル: 317)
AWB	ホワイトバランス(→ ホワイトバランス(WB): 309)
 iOFF	iダイナミックレンジ(→ iダイナミックレンジ: 300)
	測光モード(→ 測光モード: 279)
 1 	カードスロット(→ カード(別売)の挿入: 65)／ ダブルスロット機能(→ ダブルスロット機能: 614)／ 外付けSSD(→ 外付けSSD(市販)を使う: 495)
 2 	
 1 	カード／外付けSSDなし
 2 	
 1 	カード／外付けSSD残量なし
 2 	
999	写真撮影枚数(→ 記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間: 831)
r20	連続撮影可能枚数(→ 連続撮影可能枚数: 229)
残XXmXXs	動画記録時間(→ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 832)
----	カードなし

❖ コントロールパネル(クリエイティブ動画モード)



(1)

FPS 60	記録フレームレート(→ 動画画質: 137)/ バリエーションフレームレート(→ バリエーションフレームレート: 426)
SHUTTER 1/60	シャッタースピード(→ シャッター優先AEモード: 288)
IRIS F2.8	絞り値(→ 絞り優先AEモード: 285)





(2)

	動画露出設定(→ 露出を設定して動画を撮る: 366)
 	露出補正值(→ 露出補正: 297)/ マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 292)
	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 161)
TC DF 00:00:00:00	タイムコード(→ タイムコード: 399)
	記録動作表示(→ 動画撮影中の画面表示: 128)

(3)

	記録ファイル方式(→記録ファイル方式: 136)／ 動画画質(→動画画質: 137)
	カードスロット(→カード(別売)の挿入: 65)／ ダブルスロット機能(→ダブルスロット機能: 614)／ 外付けSSD(→外付けSSD(市販)を使う: 495)
24m59s	動画記録時間(→動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 832)
	Wi-Fi / Bluetooth 接続状態(→Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 656)
A001 C001	動画ファイル名([シネスタイル]設定時)(→動画ファイル名: 616)
	ファン動作モード(→ファン動作モード: 608)
	ストリーミング機能オン(→ストリーミング機能: 727)
	ストリーミング中(→ストリーミング機能: 727)
	バッテリー残量(→電源に関する表示: 61)／ 給電(→電力を供給しながらカメラを使う(給電/充電): 60)

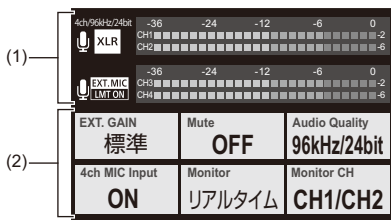
(4)

	内蔵マイク、外部マイク(→録音レベル表示: 382、外部マイク(別売): 389)
96kHz/24bit 	録音音質 / XLRマイクアダプター設定(→録音音質: 385、XLRマイクアダプター(別売): 392)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 395)
	録音レベルリミッター(→録音レベルリミッター: 387)
	ミュート(→音声入力ミュート: 382)
録音レベル(→録音レベル表示: 382)	

(5)

ISO AUTO 100	ISO感度(→ISO感度:303)
PHOTO STYLE STD. MON LUT HDMI V4Log MON H00E2 HDMI HLG	フォトスタイル(→フォトスタイル:317)／ LUTビューアシスト(→Logビューアシスト:449)／ HLGビューアシスト(→HLGビューアシスト:452)
WB AWB	ホワイトバランス(→ホワイトバランス(WB):309)

❖ オーディオ情報表示



(1)

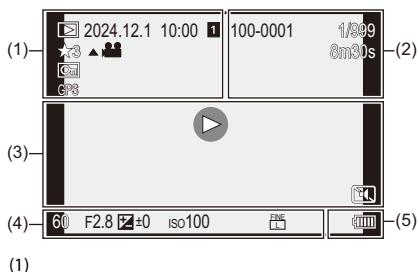
INT. MIC EXT. MIC	内蔵マイク、外部マイク(→ 録音レベル表示: 382、外部マイク(別売): 389)
96kHz/24bit XLR	録音音質/XLRマイクアダプター設定(→ 録音音質: 385、XLRマイクロホンアダプター(別売): 392)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 395)
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター(→ 録音レベルリミッター: 387)
	ミュート(→ 音声入力ミュート: 382)

録音レベル(→ 録音レベル表示: 382)

(2)



EXT. GAIN 標準	録音ゲイン切替(→ 録音ゲイン切替: 383)
Mute OFF	音声入力ミュート(→ 音声入力ミュート: 382)
Audio Quality 96kHz/24bit	録音音質(→ 録音音質: 385)
4ch MIC Input ON	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 395)
Monitor リアルタイム	音声モニタリング(→ヘッドホン: 396)
Monitor CH CH1/CH2	音声モニタチャンネル(→ 音声モニタチャンネル: 397)

再生画面



	再生モード(→再生モード: 535)
2024.12. 1 10:00	撮影日時(→時計の設定 (初めて電源を入れるとき): 74)
 	カードスロット(→表示するカードの切り換え: 504) / 外付けSSD(→外付けSSD(市販)を使う: 495)
★3	レーティング(→レーティング: 539)
	動画再生(→動画の再生: 505)
	プロテクト(→プロテクト: 539)
GPS	位置情報記録(→位置情報記録: 695)
 	プロキシ記録(オリジナル動画／プロキシ動画)(→プロキシ記録: 156)
	情報取得中

(2)

100-0001 A001C001	フォルダー・ファイル番号(→ フォルダー/ファイル設定: 619)/ 動画ファイル名([シネスタイル]設定時)(→ 動画ファイル名: 616)
1/999	画像番号/トータル枚数
9枚 9ファイル	グループ画像枚数/ ファイル数
XXmXXs	動画記録時間(→ 動画の再生: 505)
▶ XXmXXs ■ XXs	バリエーションフレームレート(→ バリエーションフレームレート: 426)
↻ XXmXXs	ループ記録(→ ループ記録(動画): 459)
	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 449)
	HLGビューアシスト(→ HLGビューアシスト: 452)



(3)

	再生(動画)(→ 動画の再生: 505)
	グループ画像(→ グループ画像: 519)
TC 00:00:00:00	タイムコード(→ タイムコード: 399)
96kHz/24bit	録音音質(→ 録音音質: 385)
MOV 4K 420/10-L	記録ファイル方式(→ 記録ファイル方式: 136)/ 動画画質(→ 動画画質: 137)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→ 動画画質: 137)/ バリエーションフレームレート(→ バリエーションフレームレート: 426)
FULL 	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 161)
	Wi-Fi／Bluetooth 接続状態(→ Wi-Fi／Bluetooth機能の動作確認: 656)
	サイレントモード(→ サイレントモード: 261)

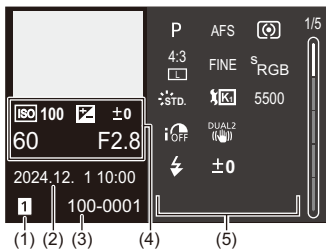
(4)

撮影情報

(5)

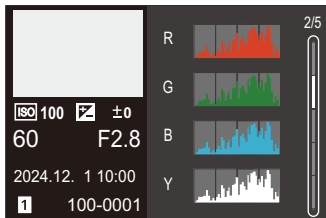
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 61)
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電): 60)

詳細情報表示



- (1) カードスロット(→[カード\(別売\)の挿入: 65](#))／外付けSSD(→[外付けSSD\(市販\)を使う: 495](#))
- (2) 撮影日時(→[時計の設定\(初めて電源を入れるとき\): 74](#))
- (3) フォルダー・ファイル番号(→[フォルダー/ファイル設定: 619](#))／動画ファイル名([シネスタイル]設定時)(→[動画ファイル名: 616](#))
- (4) 撮影情報(基本)
- (5) 撮影情報(詳細)

ヒストグラム表示



フォトスタイル表示

この画面は、カメラのフォトスタイル設定を表示するインターフェースです。左側にはプレビュー画像と撮影パラメータが、右側には調整可能な項目とスライダーが並んでいます。

項目	設定値
標準	スタンダード
コントラスト	±0
ハイライト	±0
シャドウ	±0
彩度	±0
色相	±0
シャープネス	±0
ノイズリダクション	±0

ISO 100 ±0
60 F2.8
2024.12. 1 10:00
100-0001

ホワイトバランス表示

この画面は、ホワイトバランス設定を表示するインターフェースです。左側にはプレビュー画像と撮影パラメータが、右側には色温度の調整と色相図が示されています。

5500K

色相図の中心は白、周囲はG（緑）、A（青）、B（赤）、M（紫）の方向に色相が変化します。

ISO 100 ±0
60 F2.8
2024.12. 1 10:00
100-0001

レンズ情報表示

この画面は、レンズに関する情報を表示するインターフェースです。左側にはプレビュー画像と撮影パラメータが、右側にはレンズの仕様と機能設定が示されています。

LEICA DG 12-60/F2.8-4.0

焦点距離 12mm
35mm焦点距離 24mm
周辺光量補正 OFF
長秒ノイズ除去 OFF

ISO 100 ±0
60 F2.8
2024.12. 1 10:00
100-0001

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 613](#))

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(→ [使用できるメモリーカード: 34](#))

カードを入れ直してください／別のカードでお試してください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- カードが撮影に必要な書き込み速度を満たしていません。動画画質によって使用できるカードが異なります。ご使用のカードが、撮影に必要な条件を満たしているか確認してください。(→ [本機で使用できるSDカード: 35](#))
 - * カードの仕様については、各カードメーカーにご確認ください。
- 撮影に必要な条件を満たしたカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードの書き込み速度が低下している可能性があります。データのバックアップを取り、カードのフォーマット(SDカード)または物理フォーマット(CFexpressカード)を実行してください。(→ [フォーマット: 613](#))
- CFexpressカードをご使用の場合、カードの温度が上昇すると書き込み速度が低下することがあります。カードの温度が下がるまでお待ちください。

❖ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(→ [レンズの取り付け: 68](#))
電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

バッテリーの寿命です。このバッテリーのご使用をお控えください。

- バッテリーが劣化しています。該当バッテリーのご使用はお控えください。

❖ その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 613](#))

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。

[動画ファイル名]を[写真と同じ(DCF準拠)]に設定時:

カードをフォーマットしたあと、セットアップメニュー(カード/ファイル)の[ファイル番号リセット]を実行してください。(→ [ファイル番号リセット: 621](#))

[動画ファイル名]を[シネスタイル]に設定時:

カードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 613](#))

電源を入れ直してください / システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ファンが正常に動作していません。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

Q&A 故障かな?と思ったら

- 電源、バッテリー: 804
- 撮影: 805
- 動画: 808
- 再生: 809
- モニター/ファインダー: 809
- フラッシュ: 810
- Wi-Fi機能: 811
- テレビ、パソコン: 813
- その他: 814

故障かな?と思ったら、まず**1**の内容をお試しく下さい。
それでも解決できない場合は、**2、3、4**の順にお試しく下さい。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

- 電源、バッテリー: 804
- 撮影: 805
- 動画: 808
- 再生: 809
- モニター/ファインダー: 809
- フラッシュ: 810
- Wi-Fi機能: 811
- テレビ、パソコン: 813
- その他: 814

2 カメラを初期設定に戻す

-  ⇒  ⇒  ⇒ [設定リセット]

3 パナソニックのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

- 最新のサポート情報を掲載しています。

4 ご相談窓口にお問い合わせ

- 本書の「保証とアフターサービス(よくお読みください)」をお読みください。
(→ [保証とアフターサービス\(よくお読みください\)](#): 893)

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(→ [エコモード](#): 63)

バッテリーの消費が早い。

- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](→ [エコモード](#): 63)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
- [AF連続動作]を[MODE2]に設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。[MODE1]または[OFF]にするとバッテリーの消費を抑えられます。(→ [AF連続動作](#): 370)
- 以下の機能を使用しているときは、本機のバッテリーから接続機器に給電されるため、バッテリーの消費が早くなります。
 - [USB-SSD]
 - [ストリーミング]([ストリーミング]の[接続方法]が[USB テザリング]または[有線LAN]の場合)
 - [USB]の[Tether接続(USBイーサネットアダプター)]これらの機能を使用しないときは、設定を[OFF]にしてください。(→ [外付けSSD\(市販\)](#)を使う: 495、[ストリーミング機能](#): 727、[テザー撮影](#): 764)

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、高精細な動画撮影、HDMI出力などを連続して使用しているときは、カメラの温度が上昇しやすくなります。カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影やHDMI出力など、一部の機能が停止します。カメラの温度が下がって、使用可能のメッセージが表示されるまでお待ちください。使用可能のメッセージが表示されたら、電源を入れ直してください。
 - * 三脚などに設置して撮影する場合、撮影を停止する温度を高め設定できます。
(→ [動画撮影時の制限緩和: 622](#))

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(→ [フォーカス/リリース優先: 580](#))

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなることがあります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
撮像素子のお手入れについて(→ [撮像素子のごみの付着について: 817](#))

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(→ [ピントや露出の固定\(AF/ AEロック\): 301](#))


1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[**I**] (連写1) または[**II**] (連写2) に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(→ [ドライブモードの選択: 222](#))
- [ブラケット]を設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(→ [ブラケット撮影: 251](#))

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(→シャッター半押しAF: 583)
 - [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていないか。(→フォーカス/リリース優先: 580)
 - 不適切な状態でAFロック(→ピントや露出の固定(AF/AEロック): 301)がかかっているか。
 - [フォーカスリミッター]が[ON]になっていないか。(→フォーカスリミッター: 174)
 - [AF微調整]が設定されていないか。(→AF微調整: 178)

レンズでピント合わせやズームができない。

- 以下の内容を確認してください。
 - [ロックレバー設定]の「レンズ」がになっていないか。(→ロックレバー設定: 587)
 - [フォーカスリングロック]が[ON]になっていないか。(→フォーカスリングロック: 582)

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しください。
 - ISO感度を低くする(→ISO感度: 303)
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(→画質調整: 322)
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(→長秒ノイズ除去: 266)
- カメラを連続して使用しているときは、カメラ内部の温度が上昇し、画質が低下する場合があります。撮影時以外はこまめに電源を切ることをお勧めします。

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
- これは、本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しماが出る。



- 本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(→ [シャッター方式: 263](#))使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しماが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しماが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカー軽減(動画)](→ [フリッカー軽減\(動画\): 411](#))を設定するか、[M]モード(→ [動画専用撮影モード\(クリエイティブ動画\): 364](#))でシャッタースピードを固定してください。
- [シンクロスキャン(写真)]または[シンクロスキャン(動画)]を使うと、シャッタースピードを細かく設定できます。([シンクロスキャン\(写真\): 267](#)、 [シンクロスキャン\(動画\): 457](#))

ISO感度が高いとき、横しماが出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しماが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。(→ [ISO感度: 303](#))

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。

被写体でない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ](→ [ピクセルリフレッシュ: 635](#))を実行してください。

動画

動画が撮影できない。

- [システム周波数]を元の設定に戻すか、別のカードを入れてお試してください。
- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
- SDカードには記録できない[記録ファイル方式]や[動画画質]があります。CFexpressカードを使用してください。(→ [使用できるメモリーカード: 34](#))

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が記録される。記録される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](→ [AF連続動作: 370](#))で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[M]モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(→ [動画撮影中の操作: 367](#))

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。
- [再生モード]を設定すると、一部の画像が表示されません。[通常再生]に設定してください。(→ [再生モード: 535](#))
- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。[システム周波数]を撮影したときの設定に戻してください。(→ [システム周波数: 134](#))

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](→ [LVF/モニター自動OFF: 63](#))が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- 以下の機能を使用中は、フラッシュは発光しません。
 - 動画撮影
 - 電子シャッター、[サイレントモード]
 - ハイレゾモード
 - [フィルター設定]

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
 - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
 - 無線アクセスポイントのSSIDが非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSIDを入力して接続してください。(→ [マニュアル入力で接続する: 708](#))
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

無線アクセスポイントに接続できない。

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。(→ [マニュアル入力で接続する: 708](#))
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

iOS機器でWi-Fi接続に失敗する。

- 表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定画面でカメラのSSIDを選択して接続してください。SSIDが表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度Bluetooth接続の設定をしてください。

スマートフォンとWi-Fi接続できない。

- スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

パソコンとWi-Fi接続しようとする、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。パソコンのワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[有線LAN/Wi-Fi設定]メニューの[PC接続設定]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。(→ [PC接続設定: 716](#))
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- カメラと接続するパソコンの時計設定が大きすぎる、OSによっては接続できないことがあります。

動画・画像送信が途中で失敗する。送信できない動画・画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ](→[送信サイズ: 713](#))で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](→[動画分割: 512](#))で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(→[送信できる画像: 703](#))
- 動画・画像の送信に失敗する場合は、USB接続ケーブルによる転送を推奨します。

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。(→[設定リセット: 104](#))ただし、[有線LAN/Wi-Fi 設定]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。

テレビ、パソコン

テレビの画像にグレーの帯が付いて表示される。

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右にグレーの帯が付いて表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→[画像背景色\(再生時\): 630](#))

パソコンに接続しても画像を取り込むことができない。

- カメラの[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。(→[USBモード: 628](#))
- カメラの電源を入れ直してください。

その他

画面に[─]が表示される。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

カード扉を開くと警告音が鳴る。

- カード書き込み中に扉を開くと、警告音が鳴る場合があります。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってからカードを取り出してください。

カメラを振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

カメラの電源を入/切したとき、またはカメラを振ったときに、レンズから「カタカタ」音がする。撮影するときに、レンズから音がする。

- これはレンズ移動や絞り動作の音です。故障ではありません。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使用してください。

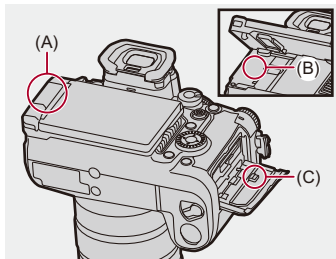
- テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使用しないでください。

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなる場合があります。

コード、ケーブルは延長しないでください。

磁石部(A)、(B)、(C)に磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。



殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

- 外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。

❖ 寒冷地や低温下でのご使用について

- 寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。
- -10℃～0℃の環境では、一時的にバッテリーの性能(撮影可能枚数/時間)が低下します。バッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。
- 0℃未満ではバッテリーを充電できません。充電できないときは、チャージャーまたはカメラ本体にエラー表示が出ます。
 - チャージャーで充電時:50%の充電ランプが速く点滅します。
 - カメラ本体で充電時:充電ランプが赤色で点滅します。
- 寒冷地で使用する場合、雪や水滴が付いたまま放置しないでください。放置すると、電源スイッチ、スピーカーやマイクの隙間などの雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなったり、音が小さくなったりする場合があります。これは故障ではありません。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースやマウントなど、本機の表面が変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。特にごみが気になる場合は、セットアップメニュー(その他)の[センサークリーニング]を実行してください。(→[センサークリーニング:635](#))

撮像素子のごみの除去

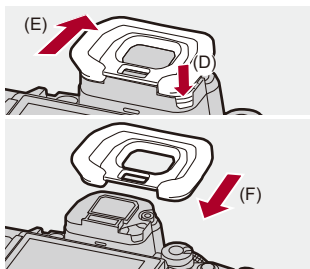
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のプロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れてください。万一、プロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、アイカップを取り外してお手入れできます。アイカップロックレバーを押しながら(D)、アイカップを矢印の方向に押し上げて取り外します(E)。市販のプロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

- お手入れ後は、アイカップを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し付けてください(F)。
- アイカップの紛失にお気をつけください。

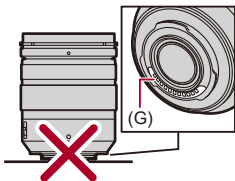


❖ モニター／ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ レンズ

- レンズを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。レンズおよびデジタルカメラの故障や破損の原因になります。
- 太陽や強い光源にレンズを向けないでください。集光作用により、火災・故障の原因になることがあります。
- レーザー光などの強い光線を、直接、本機(レンズ)に照射しないでください。撮像素子が破損し、本機の故障の原因になることがあります。
- レンズ表面のほこり、ごみ、汚れ(水、油、指紋など)が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、ブローでレンズの表面に付いたほこりやごみを吹き飛ばしたあと、乾いた柔らかい布で汚れを軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点(G)を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
 - レンズの接点に触れる
 - レンズの接点を汚す
 - レンズ取り付け部を下にして置く



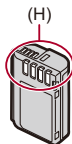
- 交換レンズ(H-ES12060)は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
 - デジタルカメラのマウント部にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
 - レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

バッテリーの端子部(H)を汚さないでください。

- 汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ

<http://www.jbrc.com>



充電式

リチウムイオン
電池使用

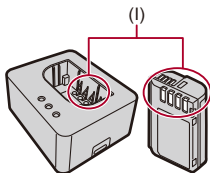
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

❖ チャージャー

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- チャージャーやバッテリーの端子部(Ⅰ)を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-Fiパスワードや有線LAN/Wi-Fi機能ロックを設定してセキュリティを強化することをお勧めします。(→ [有線LAN/Wi-Fi 設定メニュー: 715](#))

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を、[設定リセット](→ [設定リセット: 104](#))を実行して必ず消去してください。
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→ [設定リセット: 104](#))
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにすると過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター(別売:DMW-TA1)を取り付けてから三脚に装着することをお勧めします。
- 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズを取り付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

❖ Wi-Fi機能

本機は無線LAN機器としてお使いください。

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています。

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください。

Wi-Fi使用時は、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。



-
- 本製品に対応するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
 - 本製品の使用 (他社製品との組み合わせ使用含む)、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

無線機能(Wi-Fi / Bluetooth)使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz/5 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、[MENU]ボタン ➡  [セットアップ] ➡  [その他]の[認証情報]で確認できます。

本機の無線機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4: 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX: 変調方式がDSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1: 想定される与干渉距離が約10 mであることを示します。

4: 想定される与干渉距離が約40 mであることを示します。

無線機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス) ・ムービーご相談窓口		
フリーダイヤル 	バナハ ロクサンハチ 0120-878-638	受付時間 9:00~18:00 月~土曜日 (祝日・正月三が日を除く)
■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187	■ FAX フリーダイヤル  0120-878-236	

■ 5 GHz帯使用時の注意事項



5150 MHz～5350 MHzの周波数帯域は電波法により屋外での使用は禁じられています。

5 GHz帯を設定し、スマートフォンと直接接続しているときも屋外では使用できません。屋外でスマートフォンとWi-Fi接続する場合は、[有線LAN/Wi-Fi 設定]メニューの[Wi-Fi 周波数帯]を[2.4GHz]に設定してください。

5 GHz帯対応の無線アクセスポイントを屋外で使用する場合、無線アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください。詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

- 1  [セットアップ]メニューの  [その他]タブを選ぶ
- 2 [認証情報]を選んで決定する

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の撮影可能枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による。
- Nextorage 製 CFexpress Type B カード使用。
- Nextorage 製 SDXC メモリーカード使用。
- Samsung 製外付け SSD 使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録(モニター使用時)

交換レンズ H-ES12060 使用時

記録メディア	撮影可能枚数(枚)
CFexpress カード	330
SDXC メモリーカード	360
外付け SSD	280

❖ 写真記録(ファインダー使用時)

交換レンズ H-ES12060 使用時

記録メディア	撮影可能枚数(枚)
CFexpress カード	330(750)
SDXC メモリーカード	360(850)
外付け SSD	280

- () 内は[省電力ファインダー撮影]の[スリープするまでの時間]を[1秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。(CIPA 規格をベースにした当社測定条件による)

❖ 動画撮影(モニター使用時)

• [動画撮影範囲]: [FULL]

(A) CFexpressカード使用時

(B) SDXCメモリーカード使用時

交換レンズH-ES12060使用時

記録方式	動画画質	記録メディア	連続撮影可能時間(分)	実撮影可能時間(分)
MP4	4K/10bit/100M/60p	(A)	90	45
	4K/10bit/100M/50p	(B)	90	45
	FHD/8bit/20M/30p	(A)	100	50
	FHD/8bit/20M/25p	(B)	100	50
MOV	5.7K/60p/420/10-L	(A)	50	25
	5.7K/50p/420/10-L	(B)	50	25
	C4K/120p/420/10-L	(A)	40	20
	C4K/100p/420/10-L	(B)	40	20
	C4K/60p/422/10-I(L)	(A)	80	40
	C4K/50p/422/10-I(L)	(B)	80	40
	FHD/30p/420/10-L	(A)	90	45
	FHD/25p/420/10-L	(B)	90	45
Apple ProRes	5.7K/30p/RAW HQ	(A)	50	25
		(B)		
	5.7K/30p/422 HQ	(A)	50	25
		(B)		
	C4K/60p/RAW HQ	(A)	60	30
		(B)		
	C4K/60p/422 HQ	(A)	50	25
		(B)		

• 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ 再生(モニター使用時)

交換レンズH-ES12060使用時

記録メディア	再生使用時間(分)
CFexpressカード	240
SDXCメモリーカード	240
外付けSSD	180



- 撮影可能枚数と撮影可能時間は、周囲の環境や使用条件によって変わります。
例えば、以下の場合には減少します。
 - スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

記録メディアの写真撮影枚数、動画記録時間

記録メディアに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- Nextorage製CFexpress Type Bカード使用。
- Nextorage製SDXCメモリーカード使用。
- Samsung製外付けSSD使用。

❖ 写真撮影枚数(枚)

• 記載している数値は最少撮影枚数の目安です。撮影する被写体によっては、変動する場合があります。

• 画像横縦比[4:3]、写真画質[FINE]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
L(25M)	41950	84560	16880	33130	63570	127160
M(12.5M)	74040	149220	31050	60920	112190	224400
S(6.5M)	125860	253660	53480	104920	190710	381460
XS(3M)	209750	422730	96250	188830	317830	635720

• 画像横縦比[4:3]、写真画質[RAW+FINE]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
L(25M)	8740	17610	3370	6620	13240	26490
M(12.5M)	9600	19360	3710	7290	14550	29120
S(6.5M)	10150	20450	3910	7670	15380	30760
XS(3M)	10480	21130	4040	7930	15890	31790

❖ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。

• 記録ファイル方式[MP4]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
4K/10bit/100M/60p 4K/8bit/100M/30p 4K/8bit/100M/24p	14h35m	29h25m	5h30m	10h55m	22h05m	44h20m
4K/10bit/72M/30p 4K/10bit/72M/24p	20h15m	40h55m	7h45m	15h10m	30h45m	61h30m
FHD/8bit/28M/60p	51h15m	103h20m	19h45m	38h50m	77h40m	155h25m
FHD/8bit/20M/30p	68h10m	137h35m	26h20m	51h45m	103h25m	206h55m
FHD/8bit/24M/24p	59h45m	120h30m	23h00m	45h20m	90h35m	181h15m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
4K/10bit/100M/50p 4K/8bit/100M/25p	14h35m	29h25m	5h30m	10h55m	22h05m	44h20m
4K/10bit/72M/25p	20h15m	40h55m	7h45m	15h10m	30h45m	61h30m
FHD/8bit/28M/50p	51h15m	103h20m	19h45m	38h50m	77h40m	155h25m
FHD/8bit/20M/25p	68h10m	137h35m	26h20m	51h45m	103h25m	206h55m

• 記録ファイル方式[MOV]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカード の容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
C4K/60p/422/10-I(H) C4K/48p/422/10-I(H) 4K/60p/422/10-I(H) 4K/48p/422/10-I(H) FHD/240p/422/10-I	1h45m	3h40m			2h45m	5h30m
C4K/60p/422/10-I(L) C4K/48p/422/10-I(L) 4K/60p/422/10-I(L) 4K/48p/422/10-I(L)	2h25m	4h50m	55m00s	1h45m	3h40m	7h20m
C4K/30p/422/10-I C4K/24p/422/10-I 4K/30p/422/10-I 4K/24p/422/10-I FHD/120p/422/10-I	3h35m	7h20m	1h20m	2h40m	5h30m	11h00m
5.7K/60p/420/10-L 5.7K/48p/420/10-L 4.4K/60p/420/10-L 4.4K/48p/420/10-L C4K/120p/420/10-L 4K/120p/420/10-L	4h50m	9h45m	1h50m	3h35m	7h20m	14h40m

5.8K/30p/420/10-L 5.8K/24p/420/10-L 5.7K/30p/420/10-L 5.7K/24p/420/10-L C4K/60p/422/10-L C4K/60p/420/10-L C4K/48p/422/10-L C4K/48p/420/10-L 4K/60p/422/10-L 4K/60p/420/10-L 4K/48p/422/10-L 4K/48p/420/10-L FHD/240p/422/10-L FHD/240p/420/10-L FHD/60p/422/10-I FHD/48p/422/10-I FHD/30p/422/10-I FHD/24p/422/10-I	7h10m	14h35m	2h45m	5h25m	10h55m	21h55m
C4K/60p/420/8-L C4K/30p/422/10-L C4K/30p/420/10-L C4K/24p/422/10-L C4K/24p/420/10-L 4K/60p/420/8-L 4K/30p/422/10-L 4K/30p/420/10-L 4K/24p/422/10-L 4K/24p/420/10-L FHD/120p/422/10-L FHD/120p/420/10-L	9h35m	19h20m	3h40m	7h10m	14h30m	29h05m

C4K/30p/420/8-L C4K/24p/420/8-L 4K/30p/420/8-L 4K/24p/420/8-L FHD/60p/422/10-L FHD/60p/420/10-L FHD/60i/422/10-L FHD/48p/422/10-L FHD/48p/420/10-L FHD/30p/422/10-L FHD/30p/420/10-L FHD/24p/422/10-L FHD/24p/420/10-L	14h15m	28h50m	5h25m	10h40m	21h40m	43h20m
FHD/60p/420/8-L FHD/60i/422/10-L	27h55m	56h25m	10h40m	20h55m	42h20m	84h50m
FHD/30p/420/8-L FHD/24p/420/8-L	53h30m	107h55m	20h25m	40h10m	81h05m	162h20m

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
C4K/50p/422/10-I(H) 4K/50p/422/10-I(H) FHD/200p/422/10-I	1h45m	3h40m			2h45m	5h30m
C4K/50p/422/10-I(L) 4K/50p/422/10-I(L)	2h25m	4h50m	55m00s	1h45m	3h40m	7h20m
C4K/25p/422/10-I 4K/25p/422/10-I FHD/100p/422/10-I	3h35m	7h20m	1h20m	2h40m	5h30m	11h00m
5.7K/50p/420/10-L 4.4K/50p/420/10-L C4K/100p/420/10-L 4K/100p/420/10-L	4h50m	9h45m	1h50m	3h35m	7h20m	14h40m
5.8K/25p/420/10-L 5.7K/25p/420/10-L C4K/50p/422/10-L C4K/50p/420/10-L 4K/50p/422/10-L 4K/50p/420/10-L FHD/200p/422/10-L FHD/200p/420/10-L FHD/50p/422/10-I FHD/25p/422/10-I	7h10m	14h35m	2h45m	5h25m	10h55m	21h55m
C4K/50p/420/8-L C4K/25p/422/10-L C4K/25p/420/10-L 4K/50p/420/8-L 4K/25p/422/10-L 4K/25p/420/10-L FHD/100p/422/10-L FHD/100p/420/10-L	9h35m	19h20m	3h40m	7h10m	14h30m	29h05m

C4K/25p/420/8-L 4K/25p/420/8-L FHD/50p/422/10-L FHD/50p/420/10-L FHD/50i/422/10-I FHD/25p/422/10-L FHD/25p/420/10-L	14h15m	28h50m	5h25m	10h40m	21h40m	43h20m
FHD/50p/420/8-L FHD/50i/422/10-L	27h55m	56h25m	10h40m	20h55m	42h20m	84h50m
FHD/25p/420/8-L	53h30m	107h55m	20h25m	40h10m	81h05m	162h20m

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
C4K/24p/422/10-I 4K/24p/422/10-I FHD/120p/422/10-I	3h35m	7h20m	1h20m	2h40m	5h30m	11h00m
5.7K/48p/420/10-L 4.4K/48p/420/10-L C4K/120p/420/10-L 4K/120p/420/10-L	4h50m	9h45m	1h50m	3h35m	7h20m	14h40m
5.8K/24p/420/10-L 5.7K/24p/420/10-L FHD/24p/422/10-I	7h10m	14h35m	2h45m	5h25m	10h55m	21h55m
C4K/24p/422/10-L C4K/24p/420/10-L 4K/24p/422/10-L 4K/24p/420/10-L FHD/120p/422/10-L FHD/120p/420/10-L	9h35m	19h20m	3h40m	7h10m	14h30m	29h05m
C4K/24p/420/8-L 4K/24p/420/8-L FHD/24p/422/10-L FHD/24p/420/10-L	14h15m	28h50m	5h25m	10h40m	21h40m	43h20m
FHD/24p/420/8-L	53h30m	107h55m	20h25m	40h10m	81h05m	162h20m

• 記録ファイル方式[Apple ProRes]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
5.7K/30p/RAW HQ	*				*	
5.7K/30p/RAW						
5.7K/30p/422 HQ	45m00s	1h30m			1h05m	2h15m
5.7K/30p/422	1h05m	2h15m			1h40m	3h25m
5.7K/24p/RAW HQ	*				*	
5.7K/24p/RAW						
5.7K/24p/422 HQ	57m00s	1h55m			1h25m	2h50m
5.7K/24p/422	1h25m	2h50m			2h10m	4h20m
C4K/60p/RAW HQ	*				*	
C4K/60p/RAW						
C4K/60p/422 HQ	44m00s	1h30m			1h05m	2h15m
C4K/60p/422	1h05m	2h15m			1h40m	3h25m
C4K/30p/RAW HQ	*				*	
C4K/30p/RAW						
C4K/30p/422 HQ	1h25m	3h00m			2h15m	4h30m
C4K/30p/422	2h10m	4h30m			3h20m	6h45m
C4K/24p/RAW HQ	*				*	
C4K/24p/RAW						
C4K/24p/422 HQ	1h50m	3h45m			2h50m	5h40m
C4K/24p/422	2h45m	5h35m			4h15m	8h30m
FHD/60p/422 HQ	3h10m	6h25m	1h10m	2h20m	4h50m	9h40m
FHD/60p/422	4h45m	9h40m	1h50m	3h35m	7h15m	14h35m
FHD/30p/422 HQ	6h20m	12h50m	2h25m	4h45m	9h40m	19h20m
FHD/30p/422	9h30m	19h15m	3h35m	7h05m	14h25m	28h55m
FHD/24p/422 HQ	7h55m	16h05m	3h00m	5h55m	12h05m	24h10m
FHD/24p/422	11h50m	23h55m	4h30m	8h50m	17h55m	36h00m

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
5.7K/25p/RAW HQ	*				*	
5.7K/25p/RAW						
5.7K/25p/422 HQ	55m00s	1h50m			1h20m	2h45m
5.7K/25p/422	1h20m	2h45m			2h05m	4h10m
C4K/50p/RAW HQ	*				*	
C4K/50p/RAW						
C4K/50p/422 HQ	53m00s	1h45m			1h20m	2h40m
C4K/50p/422	1h20m	2h40m			2h00m	4h05m
C4K/25p/RAW HQ	*				*	
C4K/25p/RAW						
C4K/25p/422 HQ	1h45m	3h35m			2h40m	5h25m
C4K/25p/422	2h40m	5h25m			4h05m	8h10m
FHD/50p/422 HQ	3h50m	7h45m	1h25m	2h50m	5h50m	11h40m
FHD/50p/422	5h45m	11h35m	2h10m	4h15m	8h40m	17h25m
FHD/25p/422 HQ	7h35m	15h25m	2h55m	5h40m	11h35m	23h10m
FHD/25p/422	11h20m	23h00m	4h20m	8h30m	17h15m	34h35m


システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]						
動画画質	CFexpressカードの容量		SDカードの容量		外付けSSDの容量	
	660 GB	1330 GB	256 GB	512 GB	1 TB	2 TB
5.7K/24p/RAW HQ	*				*	
5.7K/24p/RAW						
5.7K/24p/422 HQ	57m00s	1h55m			1h25m	2h50m
5.7K/24p/422	1h25m	2h50m			2h10m	4h20m
C4K/24p/RAW HQ	*				*	
C4K/24p/RAW						
C4K/24p/422 HQ	1h50m	3h45m			2h50m	5h40m
C4K/24p/422	2h45m	5h35m			4h15m	8h30m
FHD/24p/422 HQ	7h55m	16h00m	3h00m	5h55m	12h00m	24h05m
FHD/24p/422	11h50m	23h55m	4h30m	8h50m	17h55m	36h00m


- * 640 GB で記録を停止します。
640 GB での記録時間の目安
C4K/60p/RAW HQ: 約20分








- 動画分割記録、ループ記録設定時、SDカードによっては記録可能時間が短くなります。
- 撮影条件、記録メディアの種類により写真撮影枚数、動画記録時間は変動します。
- 写真撮影枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面に[9999+]と表示されます。
- 動画記録時間の残り時間が100時間以上の場合、撮影画面に[99h59m]と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

 : [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

 : [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

 : [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能






メニュー		初期設定			
 写真:  画質					
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
画像横縦比		4:3	✓	✓	✓
写真画質		FINE	✓	✓	✓
画像サイズ		L 25M	✓	✓	✓
ハイレゾモード設定	手持ち撮影	OFF	✓	✓	✓
	写真画質	連動	✓	✓	✓
	画像サイズ	XL	✓	✓	✓
	通常撮影同時記録	ON	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
被写体ブレの処理		MODE1	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去		ON	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
シンクロスキャン(写真)		OFF	✓	✓	✓
下限シャッター速度		AUTO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		OFF	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 写真:  フォーカス					
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体	人物	✓	✓	✓
	被写体の部位		✓	✓	✓
AFカスタム設定(写真)		設定1	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 写真:  フラッシュ					
フラッシュモード			✓	✓	✓
発光モード		TTL	✓	✓	✓
フラッシュ光量調整		±0 EV	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ		先幕	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定		1/1	✓	✓	✓
露出補正連動		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスモード		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル		1CH	✓	✓	✓
ワイヤレスFP		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量		強	✓	✓	✓
ワイヤレス設定		—	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 写真:  その他(写真)					
ブラケット	ブラケット種類	OFF	✓	✓	✓
	詳細設定	—	✓	✓	✓
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
クロップズーム(写真)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
連写設定	連写1設定	H	✓	✓	✓
	連写2設定	SH75	✓	✓	✓
	SH連写プリ記録時間	0.5秒	✓	✓	✓
シャッター方式		メカシャッター	✓	✓	✓
シャッターディレイ		OFF	✓	✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影	✓	✓	✓
	撮影間隔設定	ON	✓	✓	✓
	開始時刻	即時開始	✓	✓	✓
	撮影枚数	1	✓	✓	✓
	撮影間隔	1m00s	✓	✓	✓
	露出平滑化	OFF	✓	✓	✓
	撮影開始時のフォルダー作成	—	✓	✓	✓
ライブビューコンポジット撮影	開始	—			
	シャッターディレイ	OFF	✓	✓	✓
セルフタイマー	 10 /  10 /  2 /  5 ~  10	 10	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓




メニュー		初期設定			
 動画:  画質					
動画露出設定		P	✓	✓	✓
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
シンクロスキャン(動画)		OFF	✓	✓	✓
フリッカー軽減(動画)		OFF	✓	✓	✓
マスターベデスタル		0	✓	✓	✓
SS/ゲイン操作		秒/ISO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		OFF	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  記録					
記録ファイル方式		[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]または [50.00Hz(PAL)]に設 定時: MP4	✓	✓	✓
		[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時: MOV			
動画撮影範囲		FULL	✓	✓	✓
動画画質		[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]に設 定時: 4K/8bit/100M/ 30p			
		[システム周波数]を [50.00Hz(PAL)]に設定 時: 4K/8bit/100M/25p	✓	✓	✓
		[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時: 4K/24p/420/ 10-L			
動画画質(マイリスト)		—	✓	✓	✓
バリエーションフレームレート		OFF	✓	✓	✓
プロキシ記録設定	プロキシ記録	OFF	✓	✓	✓
	プロキシ画質	M	✓	✓	✓
	リアルタイムLUT(プロキシ)	OFF	✓	✓	✓
タイムコード設定	タイムコード表示	OFF	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	レックラン	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	—			
	タイムコードモード	DF	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力	OFF	✓	✓	✓
	外部タイムコード設定	—	✓	✓	✓
輝度レベル設定		16-235	✓	✓	✓
HDMI RAW データ出力		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  フォーカス					
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体	人物	✓	✓	✓
	被写体の部位		✓	✓	✓
AFカスタム設定 (動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF連続動作		MODE1	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		高速	✓	✓	✓






メニュー		初期設定			
 動画:  音					
録音レベル表示	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
音声入力ミュート		OFF	✓	✓	✓
録音ゲイン切換		標準	✓	✓	✓
録音レベル設定		0dB	✓	✓	✓
録音音質		48kHz/24bit	✓	✓	✓
録音レベルリミッター		ON	✓	✓	✓
風音キャンセラー		標準	✓	✓	✓
風音低減		OFF	✓	✓	✓
レンズ動作音低減		ON	✓	✓	✓
マイク端子		MIC 	✓	✓	✓
専用マイク設定		ステレオ	✓	✓	✓
4chオーディオ記録		OFF	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		ON	✓	✓	✓
音声モニタリング		リアルタイム	✓	✓	✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
音声モニタチャンネル		CH1/CH2	✓	✓	✓




メニュー		初期設定			
 動画:  その他(動画)					
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
クローズズーム(動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	 10	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	OFF	✓	✓	✓
フォーカストランジション	フォーカス位置設定	—			
	フォーカストランジション速度	M	✓	✓	✓
	フォーカストランジションレック	OFF	✓	✓	✓
	フォーカストランジションウエイト	OFF	✓	✓	✓
ループ記録(動画)		OFF	✓	✓	✓
動画分割記録		OFF	✓	✓	✓
ライブクローズ		OFF	✓	✓	✓


メニュー		初期設定			
 カスタム:  画質					
フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	—	✓	✓	✓
	マイフォトスタイル設定	—	✓	✓	✓
	フォトスタイルのリセット	—			
LUTライブラリ		—	✓		✓
ISO感度ステップ		1/3 EV	✓	✓	✓
拡張ISO感度		OFF	✓	✓	✓
基準露出レベル調節	マルチ測光	±0 EV	✓	✓	✓
	中央重点	±0 EV	✓	✓	✓
	スポット	±0 EV	✓	✓	✓
	ハイライト重点	±0 EV	✓	✓	✓
マルチ測光時の顔優先		ON	✓	✓	✓
AWBロック設定	シャッター操作時のロック動作	OFF	✓	✓	✓
	Fnボタン操作時のロック維持	ON	✓	✓	✓
色空間		sRGB	✓	✓	✓
露出補正リセット		OFF	✓		✓
P/A/S/M動画の露出自動制御		ON	✓	✓	✓
クリエイティブ動画の設定値	絞り値/SS/ISO/露出補正		✓	✓	✓
	ホワイトバランス		✓	✓	✓
	フォトスタイル		✓	✓	✓
	測光モード		✓	✓	✓
	AFモード		✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  フォーカス/リリース					
フォーカス/リリース優先	AFS	フォーカス	✓	✓	✓
	AFC	バランス	✓	✓	✓
縦/横位置フォーカス切換		OFF	✓	✓	✓
AF/AEロック維持		OFF	✓	✓	✓
AF+MF		OFF	✓	✓	✓
MFアシスト	フォーカスリング	ON	✓	✓	✓
	AFモード	ON	✓	✓	✓
	ジョイスティックを押す	OFF	✓	✓	✓
	MFアシスト表示	PIP	✓	✓	✓
MFガイド			✓	✓	✓
フォーカスリングロック		OFF	✓	✓	✓
AFモード表示の制限	追尾	ON	✓	✓	✓
	フルエリア	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(横・縦)	ON	✓	✓	✓
	ゾーン	ON	✓	✓	✓
	1点+補助	ON	✓	✓	✓
	ピンポイント	ON	✓	✓	✓
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	MID	✓	✓	✓
	ピンポイントAF表示	PIP	✓	✓	✓
AFポイントスコープ設定	拡大表示維持	OFF	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓
シャッター半押しAF		ON	✓	✓	✓
合焦時の人物瞳認識表示		ON	✓	✓	✓
シャッター半押しリリース		OFF	✓	✓	✓
シャッター全押し動画記録		ON	✓	✓	✓
クイックAF		OFF	✓	✓	✓
アイセンサーAF		OFF	✓	✓	✓
フォーカス枠のループ移動		OFF	✓	✓	✓






動画ライブビュー	拡大表示維持	ON	✓	✓	✓
拡大表示設定	PIP表示	PIP	✓	✓	✓




メニュー		初期設定			
 カスタム:  操作					
Q.MENU設定	表示スタイル	MODE1	✓	✓	✓
	前ダイヤルの割当	設定値	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(写真)	—	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(動画)	—	✓	✓	✓
タッチ設定	タッチパネル	ON	✓	✓	✓
	タッチタブ	OFF	✓	✓	✓
	タッチAF	AF	✓	✓	✓
	タッチパッドAF	OFF	✓	✓	✓

ロックレバー設定	[AF ON] ボタン		✓	✓	✓
	ジョイスティック		✓	✓	✓
	[Q] ボタン		✓	✓	✓
	カーソルボタン/ [MENU/SET] ボタン		✓	✓	✓
	コントロールダイヤル		✓	✓	✓
	[](AFモード)ボ タン		✓	✓	✓
	[](再生)ボタン		✓	✓	✓
	タッチパネル		✓	✓	✓
	[](戻る)ボタン/ [](消去)ボタン/Fn ボタン(Fn1)		✓	✓	✓
	[DISP.] ボタン		✓	✓	✓
	[](露出補正)ボタン		✓	✓	✓
	[ISO] ボタン		✓	✓	✓
	[ i](オーディオ情報表 示)ボタン		✓	✓	✓
	後ダイヤル		✓	✓	✓
	動画記録ボタン		✓	✓	✓
	前ダイヤル		✓	✓	✓
	[WB] ボタン		✓	✓	✓
	[LVF] ボタン		✓	✓	✓
	シャッターボタン		✓	✓	✓
	サブ動画記録ボタン		✓	✓	✓
	レンズ		✓	✓	✓
	動画ライブビュー拡大 表示ボタン/Fn ボタン (Fn2)		✓	✓	✓
	プレビューボタン/Fn ボタン(Fn3)		✓	✓	✓

Fnボタン設定	撮影時設定	—	✓	✓	✓
	再生時設定	—	✓	✓	✓
WB/ISO/露出補正ボタン		押した後2	✓	✓	✓
ISO感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当	ISO/ISO	✓	✓	✓
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当	OFF	✓	✓	✓
	前/後ダイヤルの割当	 / 	✓	✓	✓
ダイヤル設定	F/SSダイヤルの割当	設定1	✓	✓	✓
	F/SSダイヤルの回転	 	✓	✓	✓
	コントロールダイヤルの割当		✓	✓	✓
	露出補正のダイヤル割当	OFF	✓	✓	✓
	ダイヤル動作切換設定	—	✓	✓	✓
	メニュー操作のダイヤル回転	 	✓	✓	✓
ジョイスティック設定	ダイレクトフォーカス	✓	✓	✓	
リモコンの動画ボタン	動画撮影	✓	✓	✓	

メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(写真)					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
	再生操作優先	OFF	✓	✓	✓
常時プレビュー	ON/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ヒストグラム表示		OFF	✓	✓	✓
写真グリッドライン表示		OFF	✓	✓	✓
ライブビューブースト	MODE1/MODE2/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	M	✓	✓	✓
ナイトモード	モニター	OFF	✓	✓	✓
	LVF	OFF	✓	✓	✓
LVF/モニター表示設定	LVF表示設定		✓	✓	✓
	モニター表示設定		✓	✓	✓
	モニター左右反転表示	AUTO	✓	✓	✓
	モニター上下反転表示	AUTO	✓	✓	✓
露出メーター		OFF	✓	✓	✓
焦点距離		ON	✓	✓	✓
ハイライト表示		OFF	✓	✓	✓
オーバーレイ表示	ON/OFF	OFF	✓		
	設定	—	✓		
手ブレ状態スコープ		OFF	✓	✓	✓
水準器表示		ON	✓	✓	✓
スポット輝度メーター		OFF	✓	✓	✓
ライブビュー境界線表示		OFF	✓	✓	✓
撮影画面の遷移(モニター)	コントロールパネル	ON	✓	✓	✓
	消灯画面	ON	✓	✓	✓






メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(動画)					
Logビューアシスト	LUT選択(V-Log)	Vlog_709	✓	✓	✓
	LUT選択(ARRI LogC3)	ARRI 709	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト	モニター	MODE2	✓	✓	✓
	HDMI	AUTO	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示		OFF	✓	✓	✓
モノクロライブビュー		OFF	✓	✓	✓
センターマーカー表示		OFF	✓	✓	✓
セーフティゾーンマーカー表示		OFF	✓	✓	✓
フレーム表示	ON/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1/ゼブラ 2/ゼブラ 1+2/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
WFM/ベクトルスコープ表示		OFF	✓	✓	✓
カラーバー		SMPTE	✓	✓	✓
動画優先表示		OFF	✓	✓	✓
動画記録中の赤枠表示		OFF	✓	✓	✓
ストリーミングの青枠表示		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  IN/OUT					
撮影時HDMI出力	情報表示	OFF	✓	✓	✓
	ダウンコンバート	AUTO	✓	✓	✓
	HDMI記録制御	OFF	✓	✓	✓
	HDMI音声出力	ON	✓	✓	✓
	ライブビュー拡大表示	OFF	✓	✓	✓
	4K/120p出力／4K/100p出力	OFF	✓	✓	✓
	4K/120p省電力ライブビュー／4K/100p省電力ライブビュー	OFF	✓	✓	✓
ファン動作モード		AUTO2	✓	✓	✓
タリーランプ	前方タリーランプ	H	✓	✓	✓
	後方タリーランプ	L	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  レンズ/その他					
レンズ位置メモリー		OFF	✓	✓	✓
パワーズームレンズ	ステップズーム	OFF	✓	✓	✓
	ズーム速度(写真)	M	✓	✓	✓
	ズーム速度(動画)	M	✓	✓	✓
	ズームリング操作	ON	✓	✓	✓
レンズFnボタン設定		フォーカスストップ	✓	✓	✓
絞りリング設定		1/3 EV	✓	✓	✓
フォーカスリング制御	ノンリニア/リニア	ノンリニア	✓	✓	✓
	設定	300度	✓	✓	✓
AF微調整		OFF	✓	✓ ^{*1}	✓ ^{*2}
レンズ情報		Lens1	✓		✓
レンズ情報確認表示		ON	✓	✓	✓
動画の縦位置情報		ON	✓	✓	✓

*1 ピント位置の調整値は登録できません。

*2 カメラ設定の保存を行ったカメラと異なるカメラでは設定情報の読み込みはできません。

メニュー		初期設定			
 セットアップ:  カード/ファイル					
フォーマット		—			
ダブルスロット機能	記録方法		✓		✓
	記録先スロット	1 → 2	✓		✓
USB-SSD		OFF	✓		
動画ファイル名		写真と同じ(DCF準拠)	✓		✓
シネスタイルファイル設定	カメラインデックス	A	✓		✓
	次のカード番号	001	✓		✓
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択	—			
	新規フォルダー作成	—			
	ファイル名設定	フォルダー番号連動	✓		✓
ファイル番号リセット		—			
著作権情報	撮影者	OFF	✓		✓
	著作権者	OFF	✓		✓
	著作権情報の表示	—			





メニュー		初期設定			
 セットアップ:  モニター/表示					
エコモード	スリープモード	1分	✓		✓
	スリープモード(Wi-Fi)	ON	✓		✓
	LVF/モニター自動OFF	1分	✓		✓
	省電力ファインダー撮影	—	✓		✓
動画撮影時の制限緩和	動画記録停止温度	標準	✓		✓
モニター表示速度		60fps	✓		✓
LVF表示速度		60fps	✓		✓
モニター調整/LVF調整		—	✓		
モニター輝度/LVF輝度		AUTO	✓		✓
アイセンサー	感度	強	✓		✓
	LVF/モニター切換	LVF/MON AUTO	✓		✓
水準器調整	調整	—	✓		
	調整値リセット	—			

メニュー		初期設定			
 セットアップ:  IN/OUT					
電子音	電子音音量		✓		✓
	合焦音音量		✓		✓
	合焦音音色		✓		✓
	電子シャッター音音量		✓		✓
	電子シャッター音音色		✓		✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
音声モニタチャンネル(再生時)		撮影連動	✓	✓	✓
ストリーミング	ストリーミング機能	OFF			
	配信方法	直接配信	✓		✓
	接続方法	Wi-Fi	✓		✓
	ストリーミング設定	—	✓		✓ ^{*3}
有線LAN/Wi-Fi	Wi-Fi機能	—	✓		
	有線LAN/Wi-Fi 設定	—	✓		✓ ^{*4}
Bluetooth		—	✓		
USB	USBモード	 接続時に選択	✓		✓
	USB給電	ON	✓		✓
	Tether接続(USBイーサネットアダプター)	OFF	✓		✓
Frame.io	Frame.io接続	OFF	✓		
	Frame.ioに画像を送る	—			
	接続設定	—	✓		
	アップロード設定	—	✓		
HDMI接続設定	出力解像度(再生時)	AUTO	✓		✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	✓
	HLGビューアシスト(HDMI)	AUTO	✓	✓	✓
	ピエラリンク	OFF	✓		✓
	画像背景色(再生時)		✓		✓
	写真出力輝度レベル	16-255	✓		✓






電源/NETWORKランプ	ON	✓		✓
---------------	----	---	--	---

*3 [配信画質]と[RTSPポート]の設定を保存します。






*4 [有線LAN/Wi-Fi設定]の[IPアドレス設定(有線LAN)]の設定を保存します。
ただし、[固定IPアドレス設定]で設定したIPアドレスは保存されません。






メニュー		初期設定			
 セットアップ:  設定					
カスタムモード登録		—	✓		✓
カスタムモード内容の呼出		—	✓		✓
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限	3	✓		✓
	名称変更	—	✓		✓
	登録内容の呼出タイミング	—	✓		✓
	カスタムモードの呼出範囲	—	✓		✓
カメラ設定の保存/ 読み込み	保存	—			
	読み込み	—			
	消去	—			
	カードフォーマット時に保持	OFF	✓		✓
設定リセット		—			
アクティベーション	シリアル番号出力	—			
	アクティベーションコード読込	—			
	アクティベーション済リスト	—			






メニュー	初期設定			
 セットアップ:  その他				
時計設定	2024. 1. 1. 0:00:00			
タイムゾーン	GMT + 9:00			✓
システム周波数	59.94Hz(NTSC)	✓		✓
ピクセルリフレッシュ	—			
センサークリーニング	—			
言語設定	日本語	✓		✓
バージョン表示	—			
CLUB Panasonic 登録	—			
認証情報	—			
ルート証明書	—			






メニュー	初期設定			
 マイメニュー:  マイメニュー編集				
登録	—	✓		✓
並べ換え	—			
消去	—			
マイメニューから表示	OFF	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生:  表示方法				
再生モード	通常再生	✓		✓
スライドショー	—	✓		✓
縦位置自動回転	ON	✓		✓
画像表示順	撮影日時	✓		✓
AF位置から拡大	OFF	✓		✓
LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト(モニター)	MODE2	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示	OFF	✓	✓	✓
動画再生後の動作	再生終了	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生:  画像の加工				
RAW現像	—			
インターバル動画作成	—			
コマ撮りアニメ作成	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  情報の付与・削除				
プロテクト	—			
レーティング	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  画像の編集				
リサイズ(縮小)	—			
画像回転	—			
動画分割	—			
画像コピー	—			
動画修復	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  その他				
消去確認画面	「いいえ」がはじめ	✓		✓
全画像消去	—			

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	M
📷 写真: 🏠 画質							
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	
測光モード			✓	✓	✓	✓	
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓	
写真画質		✓	✓	✓	✓	✓	
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓	
ハイレゾモード設定	手持ち撮影		✓	✓	✓	✓	
	写真画質		✓	✓	✓	✓	
	画像サイズ		✓	✓	✓	✓	
	通常撮影同時記録		✓	✓	✓	✓	
	シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	
被写体ブレの処理			✓	✓	✓	✓	
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓	
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定		✓	✓	✓	✓	
	ISOオート上限設定		✓	✓	✓	✓	
シンクロスキャン(写真)					✓	✓	
下限シャッター速度			✓	✓			
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓	
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	
回折補正			✓	✓	✓	✓	
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	M
写真: フォーカス							
自動認識設定			✓	✓	✓	✓	
自動認識の対象	認識する被写体		✓	✓	✓	✓	
	被写体の部位		✓	✓	✓	✓	
AFカスタム設定(写真)			✓	✓	✓	✓	
フォーカスリミッター		✓	✓	✓	✓	✓	
AF補助光			✓	✓	✓	✓	
ピーキング	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	
フォーカス枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	M
写真: フラッシュ							
フラッシュモード		✓	✓	✓	✓	✓	
発光モード			✓	✓	✓	✓	
フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓	
フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓	
マニュアル発光量設定			✓	✓	✓	✓	
露出補正連動			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスモード			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスチャンネル			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスFP			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス通信光量			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス設定			✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	☰M
📷 写真: 📷 その他(写真)							
ブラケット	ブラケット種類	✓	✓	✓	✓	✓	
	詳細設定	✓	✓	✓	✓	✓	
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	
クロップズーム(写真)		✓	✓	✓	✓	✓	
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	電子手ブレ補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓	
連写設定	連写1設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	連写2設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	SH連写プリ記録時間	✓	✓	✓	✓	✓	
シャッター方式		✓	✓	✓	✓	✓	
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓	
インターバル/コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓	
ライブビューコンポジション撮影	開始					✓	
	シャッターディレイ					✓	
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	M
 動画:  画質							
動画露出設定							✓
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓	✓
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定						✓
	ISOオート上限設定						✓
シンクロスキャン(動画)							✓
フリッカー軽減(動画)			✓	✓	✓	✓	
マスターペダスタル							✓
SS/ゲイン操作							✓
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓	✓
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	

メニュー		iA	P	A	S	M	M
 動画:  記録							
記録ファイル方式		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画撮影範囲		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画画質		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画画質(マイリスト)		✓	✓	✓	✓	✓	✓
バリエーションフレームレート							✓
プロキシ記録設定	プロキシ記録	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	プロキシ画質	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	リアルタイムLUT(プロキシ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
タイムコード設定	タイムコード表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコードモード	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力						✓
	外部タイムコード設定						✓
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDMI RAW データ出力							✓

メニュー		iA	P	A	S	M	M
 動画:  フォーカス							
自動認識設定			✓	✓	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体		✓	✓	✓	✓	✓
	被写体の部位		✓	✓	✓	✓	✓
AFカスタム設定(動画)	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF連続動作		✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓	✓
ピーキング	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー	iA	P	A	S	M	M
 動画:  音						
録音レベル表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声入力ミュート	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音ゲイン切換	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音音質	✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベルリミッター	✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音キャンセラー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音低減	✓	✓	✓	✓	✓	✓
レンズ動作音低減	✓	✓	✓	✓	✓	✓
マイク端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓
専用マイク設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4chオーディオ記録	✓	✓	✓	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタリング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ヘッドホン音量	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタチャンネル	✓	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M	M
 動画:  その他(動画)							
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	✓
クロップズーム(動画)							✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓	✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカストランジション							✓
ループ記録(動画)							✓
動画分割記録		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ライブクロップ							✓

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源

9.0V===

消費電力

4.8 W(モニター撮影時)、3.8 W(モニター再生時)[交換レンズ(H-ES12060)使用時]

型式

● 型式

レンズ交換式デジタル一眼カメラ

● レンズマウント

マイクロフォーサーズマウント

● 記録メディア

カードスロット1:CFexpress Type Bカード

カードスロット2:SDメモリーカード/SDHCメモリーカード*1/SDXCメモリーカード*1

*1 UHS-I/UHS-II UHS Speed Class 3対応、UHS-II Video Speed Class 90対応
ダブルスロット記録機能あり

撮像素子

● 撮像素子

4/3型 裏面照射型CMOSイメージセンサー、総画素数 約2650万画素、
原色カラーフィルター

● カメラ有効画素数

約2520万画素

ラチチュード

13+ストップ(センサー出力60 fps以下)、12+ストップ(センサー出力61 fps以上)
(V-Log)

静止画記録形式

● 静止画ファイル形式

JPEG (DCF 準拠、Exif 3.0 準拠) / RAW

● 画像サイズ(画素)

画像横縦比 [4:3] 設定時

L: 5776×4336

M: 4096×3072

S: 2944×2208

XS: 1920×1440

ハイレゾモード(XL): 11552×8672

ハイレゾモード(LL): 8192×6144

画像横縦比 [3:2] 設定時

L: 5776×3848

M: 4096×2728

S: 2944×1960

XS: 1920×1280

ハイレゾモード(XL): 11552×7696

ハイレゾモード(LL): 8192×5464

画像横縦比 [16:9] 設定時

L: 5776×3248

M: 4096×2304

S: 2944×1656

XS: 1920×1080

ハイレゾモード(XL): 11552×6496

ハイレゾモード(LL): 8192×4608

画像横縦比 [1:1] 設定時

L: 4336×4336

M: 3072×3072

S: 2208×2208

XS: 1440×1440

ハイレゾモード(XL): 8672×8672

ハイレゾモード(LL): 6144×6144

- 写真画質

ファイン/スタンダード/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/RAW

動画記録形式

- 動画フォーマット

MP4 (H.264/MPEG-4 AVC, H.265/HEVC)

MOV (H.264/MPEG-4 AVC, H.265/HEVC, Apple ProRes, Apple ProRes RAW)

- 音声圧縮形式

4ch オーディオ記録「OFF」選択時

MP4 リニア形式: AAC (ステレオ 2ch 48 kHz/16 bit)

MOV リニア形式: LPCM (ステレオ 2ch 48 kHz/24 bit, 96 kHz/24 bit)^{*2}

フロート形式: LPCM (ステレオ 2ch 48 kHz/32 bit, 96 kHz/32 bit)^{*3}

4ch オーディオ記録「XLR」選択時

MOV リニア形式: LPCM (モノラル 4ch 48 kHz/24 bit)^{*3}

フロート形式: LPCM (モノラル 4ch 48 kHz/32 bit)^{*3}

4ch オーディオ記録「XLR+カメラ」選択時

MOV リニア形式: LPCM (モノラル 4ch 48 kHz/24 bit, 96 kHz/24 bit)^{*2, 3}

*2 内蔵マイク使用時は 48 kHz のみ対応

*3 XLR マイクロホンアダプター DMW-XLR2 装着時

- システム周波数

59.94 Hz / 50.00 Hz / 24.00 Hz

- 動画画質

解像度や記録フレームレートなど、動画画質については「[動画画質](#)」のページをお読みください。(→ [動画画質: 137](#))

ファインダー

- **形式**
アスペクト比 4:3、0.5型、約368万ドット、有機EL(OLED)ライブビューファインダー
- **視野率**
約100 %
- **倍率**
約1.6倍、約0.8倍(35 mm フィルムカメラ換算)、 -1.0 m^{-1} 50 mm 無限遠時、画像横縦比[4:3]設定時
- **アイポイント**
約21 mm(-1.0 m^{-1} 時)
- **視度調整範囲**
 $-4.0 \sim +2.0$ diopter
- **アイセンサー**
あり

モニター

- **形式**
アスペクト比 3:2、3.0型、約184万ドットモニター、静電容量方式タッチパネル
- **視野率**
約100 %

フォーカス

- **AF方式**

映像検出によるTTL方式(像面位相差AF/コントラストAF)

- **フォーカスモード**

AFS/AFC/MF

- **AFモード**

追尾^{*4}/フルエリア^{*4}/ゾーン(横・縦)^{*4}/ゾーン^{*4}/1点+補助^{*4}/1点^{*4}/ピンポイント

タッチおよびジョイスティックによるフォーカスエリア選択可能

^{*4} 自動認識(人物/動物/車/バイク/列車/飛行機)のON/OFF切り換え可能

- **AF微調整**

対応(全て/個別)

露出制御

- **測光方式、測光モード**

1728分割測光、マルチ測光/中央重点測光/スポット測光/ハイライト重点測光

- **測光範囲**

EV 0～EV 18(F2.0レンズ、ISO100換算)

- **露出**

プログラムAE(P)/絞り優先AE(A)/シャッター優先AE(S)/マニュアル露出(M)

- **露出補正**

1/3 EVステップ、±5 EV

- **静止画時ISO感度(標準出力感度)**

通常:オート/50^{*5}/100～25600

V-log:オート/125^{*5}～400^{*5}/500～12800

^{*5} [拡張ISO感度]設定時

• 1/3、1 EVステップ切り換え可能

● 動画時ISO感度(標準出力感度)

通常:

センサー出力60 fps以下: オート / 50^{*6} / 100 ~ 12800 (ベース感度 ISO100)

センサー出力61 fps以上: オート / 50^{*6} / 100 ~ 3200 / 4000^{*6} ~ 12800^{*6} (ベース感度 ISO100)

V-log:

センサー出力60 fps以下: オート / 125^{*6} ~ 400^{*6} / 500 ~ 12800 (ベース感度 ISO500)

センサー出力61 fps以上: オート / 125^{*6} ~ 200^{*6} / 250 ~ 3200 / 4000^{*6} ~ 12800^{*6} (ベース感度 ISO250)

ARRI LogC3:

センサー出力60 fps以下: オート / 320 ~ 12800 (ベース感度 ISO320)

センサー出力61 fps以上: オート / 160 ~ 3200 / 4000^{*6} ~ 12800^{*6} (ベース感度 ISO160)

ハイブリッドログガンマ:

センサー出力60 fps以下: オート / 250 ~ 12800 (ベース感度 ISO250)

センサー出力61 fps以上: オート / 250 ~ 3200 / 4000^{*6} ~ 12800^{*6} (ベース感度 ISO250)

*6 [拡張ISO感度]設定時

- 1/3、1 EVステップ切り換え可能

手ブレ補正

● 手ブレ補正方式

撮像素子シフト方式、5軸補正、Dual I.S.2対応

● 手ブレ補正効果

ボディ内手ブレ補正: 7.5段

[焦点距離 f=60 mm (35 mm フィルムカメラ換算 f=120 mm)、交換レンズ (H-ES12060) 使用時]

Dual I.S.2: 7.5段

[焦点距離 f=140 mm (35 mm フィルムカメラ換算 f=280 mm)、交換レンズ (H-FSA14140) 使用時]

(CIPA規格準拠、Yaw / Pitch方向)

ホワイトバランス

- **ホワイトバランスモード**

AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ / セットモード

1・2・3・4 / 色温度1・2・3・4

AWBロック対応

シャッター

- **形式**

フォーカルプレーンシャッター

- **シャッター速度**

静止画:

メカシャッター: バルブ(最大約30分)、60～1/8000秒

電子先幕: バルブ(最大約30分)、60～1/2000秒

電子シャッター: バルブ(最大約60秒)、60～1/32000秒

動画:

1/25^{*7}～1/25000秒

*7 クリエイティブ動画モードで[動画露出設定]を[M]、フォーカスモードを[MF]に設定時、1/8秒まで設定可能

- **フラッシュ同調速度**

1/250秒以下

連写撮影

● メカシャッター

高速: 14コマ/秒(AFS、MF) / 10コマ/秒(AFC)

中速: 6コマ/秒(AFS、AFC、MF)

低速: 2コマ/秒(AFS、AFC、MF)

● 電子先幕

高速: 14コマ/秒(AFS、MF) / 9コマ/秒(AFC)

中速: 6コマ/秒(AFS、AFC、MF)

低速: 2コマ/秒(AFS、AFC、MF)

● 電子シャッター

SH75 / SH75 PRE: 75コマ/秒(AFS、MF)

SH60 / SH60 PRE: 60コマ/秒(AFS、AFC、MF)

SH20 / SH20 PRE: 20コマ/秒(AFS、AFC、MF)

高速: 14コマ/秒(AFS、MF) / 9コマ/秒(AFC)

中速: 6コマ/秒(AFS、AFC、MF)

低速: 2コマ/秒(AFS、AFC、MF)

● 最大撮影可能コマ数(SH連写)

[FINE] / [STD.] / [RAW+FINE] / [RAW+STD.] / [RAW]: 190コマ

● 最大撮影可能コマ数(高速、中速、低速)

[FINE] / [STD.]: 260コマ以上^{*8} / 250コマ以上^{*9}

[RAW+FINE] / [RAW+STD.]: 170コマ以上^{*8} / 165コマ以上^{*9}

[RAW]: 215コマ以上^{*8} / 200コマ以上^{*9}

^{*8} Nextorage製CFexpress Type Bカード使用時

^{*9} Nextorage製UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時
(当社測定条件による撮影時)

ズーム

● クロップズーム(写真)

最大 約3倍(ズーム時の最小画像サイズ:[XS]選択時)

● クロップズーム(動画)

最大 約2.7倍(動画画質:FHD動画選択時)

表示言語切り換え

[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

マイク／スピーカー

- **マイク**
ステレオ
- **スピーカー**
モノラル

インターフェース

- **USB**
USB Type-C[®]、SuperSpeed USB 10Gbps (USB 3.2 Gen 2)
USB Power Delivery 対応 (9.0 V / 3.0 A)
出力: DC 5 V、900 mA
- **HDMI**
HDMI Type A
- **[REMOTE]**
Ø2.5 mm ジャック
- **[MIC]**
Ø3.5 mm ステレオミニジャック
マイク入力 Plug-in Power / マイク入力 / ライン入力 (メニューによる切り換え)
入力基準レベル: -55 dBV (マイク入力) / -10 dBV (ライン入力)
- **ヘッドホン**
Ø3.5 mm ステレオミニジャック
- **フラッシュシンク口**
あり
- **TC IN/OUT**
あり (フラッシュシンク口端子に BNC 変換ケーブル (付属) を接続)
入力: 1.0 V ~ 4.0 V [p-p] 10 kΩ
出力: 2.0 V ±0.5 V [p-p] ローインピーダンス

防じん防滴

あり

HDMI動画RAWデータ出力

対応

外付けSSD記録

対応

ストリーミング

- 無線IPストリーミング
対応プロトコル: RTMP / RTMPS
- スマートデバイスとのUSBテザリング
対応プロトコル: RTMP / RTMPS
- 有線IPストリーミング
対応プロトコル: RTP / RTSP

外形寸法／質量

- 外形寸法
約幅138.4 mm×高さ100.3 mm×奥行き99.6 mm(突起部除く)
- 質量
約805 g(本体、バッテリー、カード1枚含む)
約721 g(本体のみ)

動作環境

- 推奨使用温度
-10℃～40℃
 - 低温(-10℃～0℃)では、一時的にバッテリーの性能が低下し、撮影可能枚数、撮影可能時間が減少します。
- 許容相対湿度
10%RH～80%RH

Wi-Fi

- 準拠規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac(無線LAN標準プロトコル)

- 使用周波数範囲(中心周波数)

2412 MHz～2472 MHz(1～13ch)

5180 MHz～5320 MHz(36 / 40 / 44 / 48 / 52 / 56 / 60 / 64ch)

5500 MHz～5720 MHz(100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140 / 144ch)

- 暗号化方式

WPA™ / WPA2™ / WPA3™、Wi-Fi準拠

- アクセス方式

インフラストラクチャーモード

Bluetooth

- 準拠規格

Bluetooth v5.0、Bluetooth Low Energy (BLE)

- 使用周波数範囲(中心周波数)

2402 MHz～2480 MHz

専用バッテリーチャージャー: DVLC1005Z

入力

9.0V \equiv 3.0 A

5.0V \equiv 1.8 A

出力

8.4V \equiv 1.2 A

8.4V \equiv 0.85 A

使用温度

0℃～40℃

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLK22

電圧/容量

7.2V / 2200 mAh

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

\equiv DC(直流)



高温表面

交換レンズ: H-ES12060 (LEICA DG VARIO-ELMARIT 12-60mm/ F2.8-4.0 ASPH./POWER O.I.S.)

- マウント
マイクロフォーサーズマウント
- 焦点距離
f=12 mm～60 mm
(35 mm フィルムカメラ換算: 24 mm～120 mm)
- レンズ構成
12群14枚(非球面レンズ4枚、EDレンズ2枚)
- 絞り形式
9枚羽根 円形虹彩絞り
- 開放絞り
F2.8(W端時)～F4.0(T端時)
- 最小絞り値
F22
- 画角
84°(W端時)～20°(T端時)
- 撮影範囲
0.20 m～∞(W端時) / 0.24 m～∞(T端時) (撮像面から)
- 最大撮影倍率
0.3×(35 mm フィルムカメラ換算: 0.6×)
- 手ブレ補正
あり
- フィルター径
62 mm
- 最大径
Ø68.4 mm

- **全長**

約86 mm(レンズ先端からレンズマウント基準面まで)

- **質量**

約320 g

- **防じん防滴**

あり

- **推奨使用温度**

-10℃～40℃

- **許容相対湿度**

10%RH～80%RH

商標、ライセンス

- マイクロフォーサース™ 及びマイクロフォーサース ロゴマークはOMデジタルソリューションズ(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。



- “Nextorage”はNextorage株式会社の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



- USB Type-C[®] および USB-C[®] は USB Implementers Forum の登録商標です。
- USB Type-C[®] Charging Trident ロゴは USB Implementers Forum, Inc. の登録商標です。



- SuperSpeed USB 10Gbps Trident ロゴは USB Implementers Forum, Inc. の登録商標です。



- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される Apple Inc. の商標または登録商標です。



- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Frame.io、Frame.io ロゴおよび Camera to Cloud は、Adobe の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Final Cut Pro、Mac、macOS、ProRes は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- “ATOMOS”、“ATOMOS NINJA”、“SHOGUN” および“ATOMOS SHOGUN”は、Atomos Limitedの登録商標です。
- 「Blackmagic Design」は、Blackmagic Design Pty. Ltd.の登録商標です。
- ARRI はArnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KGの登録商標です。
- Samsungは、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステムズIR GmbHの登録商標です。ELMARIT/エルマリートはライカカメラ社の登録商標です。LEICA DG レンズは、ライカカメラ社の品質基準に基づき、ライカカメラ社が認定した測定機器と品質保証システムによって生産されています。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[その他]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはLGPL V2.1に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口: oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは


■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () —
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」(→メッセージ表示:799)「Q&A 故障かな?と思ったら」(→Q&A 故障かな?と思ったら:803)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

製品名	デジタルカメラ／レンズキット／ボディ
品番	<input type="checkbox"/> DC-GH7L <input type="checkbox"/> DC-GH7 <input checked="" type="checkbox"/>  お買い上げの品番に記入してください。
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料:診断・修理・調整・点検などの費用

部品代:部品および補助材料代

出張料:技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間:8年

当社は、このデジタルカメラ／レンズキット／ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>

LUMIX(ルミックス)・ムービー 使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル	0120-878-638 受付時間 9:00 ~ 18:00 月~土曜日(祝日・正月三が日を除く) 上記電話番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187 FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan	Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル	0120-878-554 上記電話番号がご利用いただけない場合 03-6633-6700
便利な修理サービスサイト	https://panasonic.jp/support/repair.html

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を!



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した
- その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。



「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら

<https://club.panasonic.jp/aiyo/>

- カメラのモニターに表示されるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。

以下の操作をするとQRコードを表示できます。

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2  [セットアップ]の  [その他] から [CLUB Panasonic登録] の [QRコード表示] を選ぶ